高野山大学・大学院

講義概要・授業計画

平成30年度

2018
KOYASAN UNIVERSITY
OVERVIEW LECTURE-LESSON PLANS

講義概要・授業計画

平成 30 年度（2018）

高野山大学

総　目　次

■　本誌の利用に際して

■　入学から卒業までの履修について　密教学科・人間学科

■　目的を持った学習生活を送ろう！－宗教的教養を持った社会人を目指して

■　《僧侶実力養成プログラム》

■　カリキュラムマップ　密教学科・人間学科

■　講義概要・授業計画

文学部／別科　文１～文67

大　学　院　院１～院11

■　教員別索引（50音順）　索引１～索引３

本誌の利用に際して

　この「講義概要・授業計画」は、平成 30 年度に開講される授業科目の講義内容を掲載したものです。

　学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により、当該科目の頁を開くことで見ることができます。

文　学　部

別　　　科

◆目次について

この『平成 30 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の学科のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	乾　　龍　仁	2	1年次	−		1

- 開講学期 曜日 時間
- 講義コード
- 授業科目名
- 担当教員名
- 単位数
- シラバスページ番号

◆講義コードについて

講義コードは５ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。

□　□　□　□　□　（５ケタ）

課程
5 = 文学部生用
8 = 別科生用
9 = 大学院生用

曜日
1 = 月曜日
2 = 火曜日
3 = 水曜日
4 = 木曜日
5 = 金曜日
6 = 土曜日
7 = 集中講義
8 = 実習
9 = 論文

時限
1 = 1 講時
2 = 2 講時
3 = 3 講時
4 = 4 講時
5 = 5 講時

通し番号
01 〜 49 = 前期授業
および通年授業
51 〜 99 = 後期授業

◆受講登録について

1　受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**4月9日（月）から4月13日（金）午後5時まで**に教務課へ提出してください。

2　履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。

①　学籍番号（※ 身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。

②　履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成 30 年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（卒業論文も含む）を記入してください。

3　履修登録票を教務課へ提出した学生は、**4月20日（金）から4月26日（木）午後5時まで**に、教務課で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

この時に学生証（身分証明書）が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務課へ提出してください。

4　最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。

5　後期（9月25日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**9月25日（火）から9月28日（金）午後5時まで**の後期履修登録変更期間に、教務課へ申し出てください。ただし、通年科目の追加·変更·取消はできません。

◆出席票について

「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。

それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」(999)になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加してください。午後の授業は実施されません。

入学から卒業までの履修について（密教学科）

文学部密教学科では卒業までに **130 単位以上**の科目を履修することとしています（**履修規程**第３条）。

授業科目は、大きく**必修科目**と**選択科目**に分かれ、その中でいくつかにグループ分けされていて、グループごとに何単位を履修するかが定められています。また、必修・選択科目以外に資格取得や就職準備のための**自由科目**が用意されていますが、自由科目は卒業に必要な単位に算入されません。また履修できるのは**１年間に 44 単位まで**と上限が定められています（**自由科目を除く**）ので、４年で卒業するには１回生からコンスタントに学習することが重要です。

必修科目には、①１回生履修科目、②２回生履修科目、③３回生履修科目、④４回生履修科目があり、①～④で卒業に必要な単位数が決まっています。選択科目には密教学科科目、総合科目などの種類がありますが、基本的には選択科目全体で卒業に必要な合計単位数が決まっています。それぞれの科目グループで単位をいくつ履修しなければならないかの詳細は、**『高野山大学要覧』**の**高野山大学履修規程 別表Ⅰ**に記載していますので参照してください。なお、原則として最終授業時に、期末試験・レポート試験の採点済み答案を返却します。

以下では必修・選択科目それぞれの中にある科目グループについて説明します。これを参考に、各自の興味や関心に沿った履修を計画してください。

必修科目

必修科目とは、**卒業までに必ず履修しなければならない科目**のことです。学年が上がってくると、「○科目のうちから○科目以上履修すればよい」という場合もありますが、１、２回生では「指定された科目を必ず履修しなければならない」という場合がほとんどです。これを取り損ねると次年度からの履修にも支障を来しますので、必ず指定された学年で履修しましょう。

１回生必修科目

以下の１回生必修科目はすべて**合格しないと卒業できない科目**です。それだけ今後の学習において重要な位置を占めると考え、必ず１回生のうちに履修をすませてください。

１）「建学の精神」科目

空海の思想入門

文字どおり本学の教育の基本となる科目で、学長が担当します。空海について名前くらいしか知らないという人を想定して、その思想を中心に基本的なことを学びます。

２）語学科目

英語Ⅰ

語学はコミュニケーションの手段としても、またそれを通じて世界の見方を広げる手段としても重要です。１回生では高校レベルの復習を中心に学びます。１回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

３）導入科目

日本語

大学での筆記試験やレポート、ひいては４回生での卒業論文の作成を念頭に、その準備として「読む・書く」を中心としたトレーニングをします。１回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

４）基礎講義

現代思想　人間と宗教　釈尊伝　弘法大師伝

本学で学び始めたみなさんに最低限知っておいてもらいたい、考えてもらいたい内容です。一方で、現代の抱える問題、人間が抱えてきた問題を学び、他方で仏教の開祖であるブッダや真言宗の開祖である弘法大師について、名前くらいしか知らないという人を想定して、その時代背景と生涯を学びます。

5）古典語

漢文Ⅰ・Ⅱ

古典を学ぶのに必須となる漢文の力を養います。１回生では中学・高校レベルの復習を中心に学びます。

２回生必修科目

以下の２回生必修科目もほとんどが**合格しないと卒業できない科目**です。３回生から始まる専門科目を学ぶための基礎としても重要です。必ず２回生のうちに履修をすませてください。

1）語学科目

英語Ⅱ

２年次には高校レベルをベースに長文を読み進める忍耐力を養います。２回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

2）講義Ⅰ

密教学概論　密教史概説　仏教学概論　仏教史概説

１年次の**空海の思想入門、釈尊伝、弘法大師伝**を基礎として、密教と仏教それぞれについて、その学問分野の全体像と歴史を学びます。

3）２回生講読

祖典講読Ⅰ・Ⅱ

弘法大師の思想は本学での学習に欠かせない要素です。それを原典の漢文で読み進めていきます。弘法大師の思想に触れると共に、それが漢文でどのように表現されているかについても学びます。

３回生必修科目

いよいよ３回生から本格的な専門の内容を学びます。履修科目の選択にあたっては４回生になってどんな内容で卒業論文を書きたいか、その希望も踏まえてその領域の科目を重点的に学んでください。

1）３回生講読

祖典講読Ⅲ・Ⅳ

２回生に引きつづき弘法大師の著作を原典で読み、その思想に触れます。漢文の勉強もしっかり進めてください。

2）講読演習

密教学講読演習　仏教学講読演習　真言密教講読演習

講読演習は卒業論文作成の準備作業としての意義を持つ科目です。１冊または複数の文献を丁寧に読み、要点をまとめ、それを自分の考察や議論に生かしていくための方法を学びます。

3）講義Ⅱ

密教学特殊講義　仏教学特殊講義　真言密教特殊講義

２回生までに学んだ密教、仏教の基礎的知識を踏まえ、担当教員がそれぞれの得意分野で専門的な講義を展開します。自分の興味や卒業論文のテーマに合わせ、３回生と４回生で必要単位がそろうように履修してください。

4）演習Ⅰ

密教学演習

４回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。３回生のうちは特に、４回生の卒論報告を聞いて資料の集め方、議論の進め方、発表の仕方などを学びます。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

４回生必修科目

１）講読演習

　密教学講読演習　仏教学講読演習　真言密教講読演習

　３回生必修科目と同じです。

２）講義Ⅱ

　密教学特殊講義　仏教学特殊講義　真言密教特殊講義

　３回生必修科目と同じです。

３）演習Ⅱ

　密教学演習

　３回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。４回生の卒論報告は３回生のための手本ともなります。必要に応じて担当教員に相談しながら、早めに準備を始めて納得のいく卒業論文を仕上げてください。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

※ 演習の選択にあたって

　演習は卒業論文を作成するための科目です。主にどの教員の指導を受けて卒論を書くか、３回生までにいろいろな教員の授業を受けながらよく考えておいて下さい。何か書いてみたいテーマがぼんやりとでも見えてきたら、オフィスアワーや授業の前後の時間を利用して、教員に直接相談してみるのもよいでしょう。場合によっては、卒論はこの先生の指導で書くが、あの先生の演習も受けて参考にしたいという希望が出てくるかもしれません。その時にはそれぞれの教員にその希望を伝え、十分に相談してから受講して下さい。

選択科目

　選択科目とは、本学での学びを支えるために用意された科目です。企画科目や**総合科目**などいくつかのグループがありますが、グループ分けにこだわらず興味のあるものを選び、卒業までに全体で 52 単位を履修することが必要です。

　選択科目と必修科目が重複して開講されている場合には必修科目を優先して履修してください。時間割をつくる際には、まず前の学年で履修できなかった必修科目があればそれを登録し、次に今の学年の必修科目を登録し、その後で空いている時間に選択科目を登録していくといいでしょう。１学年で履修できる科目の上限が 44 単位ですから、月曜から金曜まで、１講時から４講時（５講時）まで、すべてを授業で埋めることはできません。受けている授業の予習・復習をしたり、図書館で調べ物をしたり、空き時間をうまく活用して勉強を進めてください。密教合同研究室を覗いて先輩たちにアドバイスをもらったり、学習・就職支援室で就職活動の準備をするのもいいでしょう。

資格科目について

　密教学科では、必要な科目を履修することによって、以下の免許・資格を取得できます。

・教育職員免許（宗教中学校１種、宗教高等学校１種、国語中学校１種、国語高等学校１種）

・高野山金剛峯寺・高野山大学書道師範

・社会福祉主事任用資格

・僧階

　いずれも『**高野山大学要覧**』の**高野山大学履修規程**および**高野山大学履修要項**を参考にしてください。特に教職免許は卒業単位以外に必要となる科目が多いので、１回生のうちから計画的に履修していくことが重要です。

入学から卒業までの履修について（人間学科）

文学部人間学科では卒業までに 124 単位以上の科目を履修することとしています（履修規程第３条)。

授業科目は、大きく**必修科目**と**選択科目**に分かれ、その中でいくつかにグループ分けされていて、グループごとに何単位を履修するかが定められています。また、必修・選択科目以外に資格取得や就職準備のための**自由科目**が用意されていますが、自由科目は卒業に必要な単位に算入されません。また履修できるのは**１年間に 44 単位まで**と上限が定められています（**自由科目を除く**）ので、４年で卒業するには １ 回生からコンスタントに学習することが重要です。

必修科目には、①１回生履修科目、②２回生履修科目、③３回生履修科目、④４回生履修科目があり、①〜④で卒業に必要な単位数が決まっています。選択科目は、選択科目全体で卒業に必要な合計単位数が決まっています。それぞれの科目グループで単位をいくつ履修しなければならないかの詳細は、**『高野山大学要覧』**の**高野山大学履修規程 別表Ⅰ**に記載していますので参照してください。

以下では必修・選択科目それぞれの中にある科目グループについて説明します。これを参考に、各自の興味や関心に沿った履修を計画してください。

必修科目

卒業までに必ず履修しなければならない科目のことです。これを取り損ねると次年度からの履修にも支障を来しますので、必ず指定された学年で履修しましょう。

１回生必修科目

以下の １ 回生必修科目はすべて**合格しないと卒業できない科目**です。必ず １回生のうちに履修をすませてください。

１）「建学の精神」科目

空海の思想入門

空海について名前くらいしか知らないという人を想定して、その思想を中心に基本的なことを学びます。

２）語学科目

英語Ⅰ

１回生では高校レベルの復習を中心に学びます。

３）学科基礎科目

人間学基礎ゼミⅠ、Ⅱ

大学での筆記試験やレポート、ひいては４回生での卒業論文の作成を念頭に、その準備として「読む・書く」を中心としたトレーニングをします。

４）基礎講義

現代思想　人間と宗教

人間学科での学びの出発点となる、いろいろな問題を学びます。

５）キャリア教育

キャリアカウンセリングⅠ

働くことの意義を学ぶことで、社会に出る準備を始めます。

２回生必修科目

以下の２回生必修科目も３回生から始まる専門科目を学ぶための基礎としても重要です。必ず２回生のうちに履修をすませてください。

１）語学科目

英語Ⅱ

２年次には高校レベルをベースに長文を読み進める忍耐力を養います。

2）講義

人間学概論Ⅰ・Ⅱ

地域デザイン、日本文化、心理ケアの連続講義で、一つのテーマを５つの学問の視点から考察します。さまざまな角度から人間を見ることを学びます。

3）ゼミ

人間学基礎ゼミⅢ、Ⅳ

人間学概論で学んだ知識を深めるための、人間学概論で取り上げられたテーマに関する文献講読、発表、話し合いを行います。

4）伝統文化実習

茶道、民俗調査など

実際に体を使った学びを通して、たんなる座学に留まらない立体的学びを目指します。

5）キャリア教育

キャリアカウンセリングⅡ

職業世界について理解を深め、自己分析を通した自分の職業的傾向を把握します。

３回生必修科目

いよいよ卒論に向けた準備が始まります。自分なりのテーマを見つけ、卒業論文作成に向けて、計画的に研究を進めましょう。

1）語学科目

英語Ⅲ

３年次には、ネット上の時事英語の読解など、より実践的な英語を学びます。

2）ゼミ

人間学演習Ⅰ

３，４年生共通の卒論作成ゼミです。先輩の卒論発表を聴き、議論に参加することで、卒論作成についての準備を開始します。

人間学特殊ゼミⅠ、Ⅱ

地域デザイン、日本文化、心理ケアのコースごとに開講されます。自分の卒論テーマに近い特殊ゼミを受講し、それぞれの専門分野の理解を深めます。

3）キャリア教育

キャリアカウンセリングⅢ

就職活動に必要な知識、技能を学びます。

４回生必修科目

1）ゼミ

人間学演習Ⅱ

３回生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。４回生の卒論報告は３回生のための手本ともなります。必要に応じて担当教員に相談しながら、早めに準備を始めて納得のいく卒業論文を仕上げてください。

選択科目

選択科目とは、必修科目に加えて、より広い教養を身につけてもらうための科目です。なお、人間学科生が密教学科科目を履修した場合、選択科目にカウントされます。密教学科科目を含めた選択科目の中から、76 単位を履修してください。

各種講座

　MOS 検定講座、秘書検定講座、漢字検定講座、簿記講座（H29 年度実績）

本学では、授業のほかに、さまざまな資格取得を応援する講座を開設しています。これらの講座は、卒業単位とは関係ありませんが、社会に出る準備として、積極的に活用してください。

＊時間割作成上の注意

　選択科目と必修科目が重複して開講されている場合には必修科目を優先して履修してください。時間割をつくる際には、まず前の学年で履修できなかった必修科目があればそれを登録し、次に今の学年の必修科目を登録し、その後で空いている時間に選択科目を登録していくといいでしょう。

資格科目について

　人間学科では、必要な科目を履修することによって、以下の免許・資格を取得できます。

・高野山金剛峯寺・高野山大学書道師範

・社会福祉主事任用資格

・僧階

　いずれも『高野山大学要覧』の**高野山大学履修規程**および**高野山大学履修要項**を参考にしてください。

目的を持った学習生活を送ろう！――宗教的教養を持った社会人を目指して

副学長（教務担当）

本学のカリキュラムは「宗教的教養を持った社会人」を育成するよう設計されています。宗教的教養を持った社会人とは、宗教の知恵を人生の指針とし、それを社会で活かしていける力を持った社会人です。それは例えば、すべての「いのち」が平等だという弘法大師の教えを具体化し実践できる人です。

カリキュラムマップは、そうした人になるための学習の体系を図示したものです。弘法大師の教えを具体化し、実践するためには、密教・仏教の古典の知識はもちろん必要ですが、それだけでは足りません。人に教えを伝えるためには高いコミュニケーション能力も必要ですし、寺院を経営したり、福祉事業を展開するための社会活動力も必要です。哲学・歴史・文学といった広い教養も求められます。本学カリキュラムは、そうした勉強が段階を追って出来るようになっています。

また、こうした勉強を通して、社会人として必要な力も培われます。たとえば、古典を勉強することで古人の英知を身につけることができます。テキストを読解することで論理的に考える力が育ちます。語学の学習はコツコツと一つのことをやり遂げる根気を培います。ゼミでの討論は、人の話を理解し、自分の考えを人に説明する力を育てます。総じて学問を修めることは、何かを絶対視せず、批判的・総合的に物事を考察する習慣を育みます。

こうした力は、僧侶になる人にも一般企業に就職する人にも役に立ちます。こうした力を基礎に、僧侶を目指す人は僧侶実力養成プログラムを、一般企業を目指す人は就職支援授業をさらに活用してください。大学の学問は難しい。初めはまるでチンプンカンということもあるかもしれません。しかし、そこが大学の学問のいいところなのです。見通しがきかない未知の世界に身を投げ入れ、そこでもがき苦しんで、自分なりのなにかを見つけること、そこに大学の勉強の醍醐味があります。それは社会で生きることに似ていると思います。難しい勉強をあきらめずに続けることが、そのまま、社会に出るためのトレーニングなのです。

大学４年間という時間は、長いようで短いものです。ぼんやりしているとアッと言う間にすぎてしまいます。しっかりと目的意識を持って、自分を鍛えてください。

《僧侶実力養成プログラム》

密教学科主任

僧階取得を目指す学生は、必ず得度、受戒、加行、潅頂を在学中におこなってください。詳しくは掲示に注意するとともに学生手帳「D 僧侶の道」をよく読んでおいてください。

二年次において専修学院（学外授業実施施設）にてこれらの行位を全て履修することもできます。

専修学院以外の場所で加行をする人は、「教学実習」科目、法式、声明、常用経典、布教を加行に入る前にできるだけ履修してください。特に、声明、常用経典は、加行をすすめるのには必要不可欠ですので必ず履修するとともに練習を積んでおいてください。

専修学院（学外授業実施施設）にて加行、潅頂と講義を受ける事を希望する学生は、学外施設において開講する指定科目を履修することにより本学の開講する必修科目・選択科目と同等の科目と見なし算入することができます。学外施設における指定された科目は毎年 12 月頃に掲示で告知しますので注意しておいてください。なお、『大学要覧』の「学外施設（高野山専修学院）における授業の単位取得」にも必ず目を通しておいてください。

密教学科の講義の中には潅頂を修した後に初めて受けることが出来る講義があります。早めに加行と潅頂を終わらせて積極的にこれらの講義を受講するようにしてください。

その他、僧侶として身につけておいた方が良い科目群を「僧侶実力養成プログラム」と題して選び出しています。これらの科目についても積極的に受講してください。

受講モデルケース

１回生		
常用経典	阿字観	声明
詠歌	法式	

２回生		
布教	声明上級	梵字悉曇

３回生　４回生		
法式上級	密教学特殊講義（事相）	一流伝授

僧侶実力養成プログラム

【教学実習科目】

法式　声明　常用経典　布教

【企画科目】

詠歌　阿息観　月輪観と阿字観　法式上級　声明上級　一流伝授

【選択科目】

梵字悉曇

【講義】

金剛界伝授次第　胎蔵界伝授次第　事作法伝授　葬送儀礼　中院流三十三尊法の研究

カリキュラムマップ（密教学科）

建学の精神科目　空海の思想入門

		古典に学ぶ	伝統文化を学ぶ	人と関わる	社会に生かす	僧侶
1回生	必修	弘法大師伝 釈尊伝	漢文Ⅰ・Ⅱ	日本語 人間と宗教 英語Ⅰ	現代思想	
	選択	サンスクリット語Ⅰ チベット語 宗教思想史Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 宗教史Ⅰ・Ⅱ 総合科目（書誌学） 総合科目（古文書入門）	日本文学Ⅰ・Ⅱ 国文法Ⅰ・Ⅱ 国語学Ⅰ・Ⅱ 漢字Ⅰ かなⅠ 企画科目（舞踊） 企画科目（華道） 企画科目（仏画） 企画科目（芸能） 企画科目（詠歌） 企画科目（歴史学Ⅰ・Ⅱ）	心理学Ⅰ・Ⅱ 英会話 中国語（初級） 体育実技 企画科目（マインドフルネス） 企画科目（地域連携） 企画科目（チベット語会話）	社会学Ⅰ 現代の人権 日本国憲法 情報処理 社会保障総論Ⅰ キャリアカウンセリングⅠ・Ⅳ 企画科目（おもしろ数学思考力） 企画科目（地方行政論） 企画科目（地方自治法） 企画科目（社会調査入門） 企画科目（質的調査論） 企画科目（地域産業論） 企画科目（高野文化圏論） 企画科目（社会調査方法論）	梵字悉曇 常用経典 声明 法式 布教 企画科目（寺院経営講座） 企画科目（阿息観） 企画科目（月輪観と阿字観） 企画科目（詠歌）
2回生	必修	密教学概論Ⅰ・Ⅱ 仏教学概論Ⅰ・Ⅱ 密教史概説Ⅰ・Ⅱ 仏教史概説Ⅰ・Ⅱ 祖典講読Ⅰ・Ⅱ		英語Ⅱ		
	選択	日本文学概論Ⅰ・Ⅱ 漢文学概論Ⅰ・Ⅱ 日本文学史概説Ⅰ・Ⅱ	国語学講義Ⅰ・Ⅱ 漢字Ⅱ かなⅡ 篆刻Ⅰ・Ⅱ 書道史（中国） 伝統文化実習（茶道）	哲学方法論 中国語（上級）	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉） キャリアカウンセリングⅡ・Ⅴ 伝統文化実習（民俗調査） 企画科目（情報リテラシー論） 企画科目（基礎統計学）	宗教学方法論 企画科目（声明上級） 企画科目（法式上級）

3・4回生	必修	祖典講読Ⅲ・Ⅳ A　（『吽字義』を読む） 祖典講読Ⅲ・Ⅳ B　（『声字実相義』を読む）	
	講読演習	密教学講読演習A　（密教図像） 密教学講読演習B　（各種曼荼羅について） 密教学講読演習C　（『大日経』を読む） 密教学講読演習D　（『金剛頂経』を読む） 仏教学講読演習A　（『続日本紀』を読む） 仏教学講読演習B　（『日本霊異記』を読む）	真言密教講読演習A　（道範『初心頓覚鈔』を読む） 真言密教講読演習B　（中院流の金剛界の伝授次第の伝授と講義） 真言密教講読演習C　（中院流の胎蔵界の伝授次第の伝授と講義） 真言密教講読演習D　（『秘蔵記』の研究１） 真言密教講読演習E　（『秘蔵記』の研究２）
	特殊講義	密教学特殊講義A　（日本仏教美術史） 密教学特殊講義B　（高野山における仏教美術研究） 仏教学特殊講義A　（仏像のかたち①） 仏教学特殊講義B　（仏像のかたち②） 仏教学特殊講義C　（信心とは何か） 仏教学特殊講義D　（スピリチュアルケア）	真言密教特殊講義A　（事作法伝授①） 真言密教特殊講義B　（事作法伝授②） 真言密教特殊講義C　（葬送儀礼①） 真言密教特殊講義D　（葬送儀礼②）
	演習	密教学演習A（中国書論を読む） 密教学演習B（釈雲照の研究） 密教学演習C（仏教要語の意味） 密教学演習D（歴史学の研究） 密教学演習E（『宗義決択集』の研究）	密教学演習F（密教図像学） 密教学演習G（外典を読む） 密教学演習H（卒業論文作成トレーニング） 密教学演習Ｉ（『秘密儀軌』を読む）
	選択	日本文化特殊講義A（地蔵説話の世界） 日本文化特殊講義B（鎌倉後期の王権と真言密教） 中国文化特殊講義A（『説文解字』を読む） 中国文化特殊講義B（『新釈漢文大系』を読む） 日本文化講読演習A（『建礼門院右京大夫集』を読む） 日本文化講読演習B（慈円『愚管抄』とその周辺）	キャリアカウンセリングⅢ・Ⅵ（就職活動に必要なスキルの修得①） 就職スキル講座（就職活動に必要なスキルの修得②） 中国文化講読演習（『漢文大系』を読む） 条幅制作A（条幅作品の創作①） 条幅制作B（条幅作品の創作②）

卒　業　論　文

教員・就職（自由科目）			
１回生	２回生	３回生	４回生
教職入門 教育原論 教育社会学 教育課程論	教育心理学 宗教科教育法Ⅰ・Ⅱ 国語科教育法Ⅰ・Ⅱ 教育方法論 情報技術論 道徳教育の研究 特別教育活動指導 生徒指導・進路指導	宗教科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ 教育相談 教育実習Ⅰ 教育実習の研究	教職実践演習 教育実習Ⅱ

カリキュラムマップ（人間学科）

講義・実習をゼミ・卒業論文へつなぐ

・３年生から地域デザイン、日本文化、心理ケアの３コースに所属して、それぞれの専門分野について学びます。人間学概論、人間学科特殊ゼミで、３コースの基礎を学びます。

・１回生～４回生までのゼミが学びの中心です。発表・議論を通してコミュニケーション能力を養うとともに、ゼミ生同士や教員とのふれあいによって人間力を向上させます。４年間の総括として卒業論文を作成します。コース毎に用意された選択科目を目安として履修し、専門性を深め、自分なりのテーマを見つけましょう。

・伝統文化実習では、茶道や民俗調査によって、体験的に伝統文化や地域の文化を学びます。

・キャリアカウンセリングは１回生から始まります。社会人基礎力の習得に向けた段階的指導を行います。

・１回生から、一人ひとりの学生にチューターを決め、個人学習支援を行います。個人学習支援では、修学に関することはもちろん、進路のことなども含めた支援を行います。

人間学科　コース制　カリキュラム（平成29年度入学生より）

		１年次	２年次		３年次		４年次
必修科目	建学の精神科目	空海の思想入門					
	語学科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ		
	導入科目	人間学基礎ゼミⅠ	人間学基礎ゼミⅢ				
		人間学基礎ゼミⅡ	人間学基礎ゼミⅣ				
	演習				人間学演習Ⅰ		人間学演習Ⅱ
	特殊ゼミ				人間学特殊ゼミⅠ		
					人間学特殊ゼミⅡ		
	卒業論文						人間学科卒業論文
	講義Ⅰ		人間学概論Ⅰ				
			人間学概論Ⅱ				
	伝統文化		伝統文化実習				
	基礎講義	現代思想					
		人間と宗教					
	キャリア教育	キャリアカウンセリングⅠ	キャリアカウンセリングⅡ		キャリアカウンセリングⅢ		
選択科目	日本文化コース	日本文学Ⅰ	国文法		日本文化講読演習Ａ		
		日本文学Ⅱ	国語学		日本文化講読演習Ｂ		
		歴史学Ⅰ	国語学講義Ⅰ		日本文化特殊講義Ａ		
		歴史学Ⅱ	国語学講義Ⅱ		日本文化特殊講義Ｂ		
			日本文学史概説Ⅰ		中国文化特殊講義Ａ		
			日本文学史概説Ⅱ		中国文化特殊講義Ｂ		
			日本文学概論Ⅰ		中国文化講読演習		
			日本文学概論Ⅱ				
			漢文学概論Ⅰ				
			漢文学概論Ⅱ				
			書道史				
	地域デザインコース	心理学Ⅰ	社会調査入門	※	インターンシップ	※	
		心理学Ⅱ	質的調査論	※	密教学特殊講義Ⅰ（高野文化圏の生活文化）		
		社会学Ⅰ	「高野山で学ぶ」キャリアと私	※	密教学特殊講義Ⅱ（高野文化圏の信仰生活）		
		社会学Ⅱ	社会調査方法論	※	社会保障総論Ⅰ		
			情報リテラシー論	※	社会保障総論Ⅱ		
			心理統計学	※	社会福祉各論Ⅰ		
			地方行政論	※	社会福祉各論Ⅱ		
			地方自治法	※			
			地域連携Ⅰ（地域を知る）	※			
			地域連携Ⅱ（仕事を知る）	※			
			地域産業論	※			
	心理ケアコース	心理学Ⅰ	心理統計学	※	心理検査法演習Ⅰ	※	
		心理学Ⅱ	心理測定法	※	心理検査法演習Ⅱ	※	
		教育心理学	心理学基礎実験演習Ⅰ	※	臨床心理学面接演習Ⅰ	※	
		教育相談	心理学基礎実験演習Ⅱ	※	臨床心理学面接演習Ⅱ	※	
			発達心理学	※	臨床心理学面接演習Ⅲ	※	
			家族心理学	※	臨床心理学面接演習Ⅳ	※	
			社会心理学	※	スピリチュアルケア概論	※	
			カウンセリング論	※			
			コミュニケーション演習Ⅰ	※			
			コミュニケーション演習Ⅱ	※			
			死生観	※			

※ 印は企画科目です。

文 学 部 目 次

文学部 密教学科

1．必修科目

［密教学科 1年次履修科目］

1）「建学の精神」科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	乾　龍 仁	2	1年次	−		1

2）語学科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	金	3	55301	英語Ⅰ A	高 倉 正 行	2	1年次	教職基礎	クラス分け有り	1
通年	金	3	55302	英語Ⅰ B	静　春 樹	2	1年次	教職基礎		1
通年	月	4	51401	英語Ⅰ（再履修）	高 倉 正 行	2	2年次～	教職基礎		2

3）導入科目（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	月	4	51402	日本語 A	土 居 夏 樹	4	1年次	−	クラス分け有り	2
通年	月	4	51403	日本語 B	櫻 木　潤	4	1年次	−		2
通年	火	5	52501	日本語（再履修）	櫻 木　潤	4	2年次～	−		2

4）基礎講義（2+2+2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	火	3	52302	弘法大師伝	櫻 木　潤	2	1年次	教免（宗教）		3
後期	火	3	52351	釈尊伝	前 谷　彰	2	1年次	教免（宗教）		3
前期	月	2	51201	現代思想	山 脇 雅 夫	2	1年次	教免（宗教）		3
後期	月	2	51251	人間と宗教	山 脇 雅 夫	2	1年次	教免（宗教）		3

5）古典語（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	木	1	54102	漢文Ⅰ A	南　昌 宏	2	1年次	教免（国語）		4
後期	月	5	51551	漢文Ⅰ B（再履修）	高 柳 健 太 郎	2	2年次	教免（国語）		4
後期	木	1	54151	漢文Ⅱ A	南　昌 宏	2	1年次	教免（国語）	受講資格：漢文Ⅰの単位を修得していること	4
前期	月	5	51502	漢文Ⅱ B（再履修）	高 柳 健 太 郎	2	2年次	教免（国語）		4

［密教学科2年次履修科目］

1）語学科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	金	4	55401	英語Ⅱ A	高 倉 正 行	2	2年次	教職基礎	クラス分け有り	5
通年	金	4	55402	英語Ⅱ B	静　春 樹	2	2年次	教職基礎		5
通年	水	3	53301	英語Ⅱ（再履修）	高 倉 正 行	2	3年次～	教職基礎		5

2）講義Ⅰ（2+2+2+2+2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	月	2	51202	密教学概論Ⅰ A	佐 藤 隆 彦	2	2年次	教免（宗教）		6

後期	月	2	51252	密教学概論Ⅱ A	佐藤隆彦	2	２年次	教免（宗教）		6
前期	月	3	51304	密教史概説Ⅰ A	德重弘志	2	２年次	教免（宗教）		6
後期	月	3	51351	密教史概説Ⅱ A	櫻木潤	2	２年次	教免（宗教）		6
前期	木	4	54403	仏教史概説Ⅰ	前谷彰	2	２年次	教免（宗教）		7
後期	木	4	54451	仏教史概説Ⅱ	前谷彰	2	２年次	教免（宗教）		7

3）２回生講読（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	火	2	52206	祖典講読Ⅰ A	松長恵史	2	２年次	教免（宗教）	クラス分け有り	7
前期	火	2	52207	祖典講読Ⅰ B	土居夏樹	2	２年次	教免（宗教）		7
後期	火	2	52252	祖典講読Ⅱ A	松長恵史	2	２年次	教免（宗教）	クラス分け有り	7
後期	火	2	52253	祖典講読Ⅱ B	土居夏樹	2	２年次	教免（宗教）		7

［密教学科３年次履修科目］

1）3 回生講読（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	2	51203	祖典講読Ⅲ A	土居夏樹	2	３年次			8
前期	火	1	52102	祖典講読Ⅲ B	松長恵史	2	３年次			8
後期	月	2	51253	祖典講読Ⅳ A	土居夏樹	2	３年次			8
後期	火	1	52151	祖典講読Ⅳ B	松長恵史	2	３年次			8

2）講読演習（2+2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	3	51305	密教学講読演習 A	松長恵史	2	３年次	教免（宗教）		9
後期	月	3	51352	密教学講読演習 B	松長恵史	2	３年次	教免（宗教）		9
前期	木	2	54202	密教学講読演習 C	川崎一洋	2	３年次	教免（宗教）		9
後期	木	2	54251	密教学講読演習 D	川崎一洋	2	３年次	教免（宗教）		9
前期	水	1	53102	仏教学講読演習 A	櫻木潤	2	３年次	教免（宗教）		10
後期	水	1	53151	仏教学講読演習 B	櫻木潤	2	３年次	教免（宗教）		10
前期	金	1	55103	真言密教講読演習 A	土居夏樹	2	３年次	教免（宗教）		10
前期	金	1	55104	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	３年次	教免（宗教）	已灌頂者	10
後期	金	1	55151	真言密教講読演習 C	T.ドライトライン	2	３年次	教免（宗教）	已灌頂者	11
前期	金	2	55203	真言密教講読演習 D	T.ドライトライン	2	３年次	教免（宗教）	已灌頂者	11
後期	金	2	55251	真言密教講読演習 E	T.ドライトライン	2	３年次	教免（宗教）	已灌頂者	11

3）講義Ⅱ（2+2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	火	4	52407	密教学特殊講義 A	和田圭子	2	３年次	教免（宗教）		11
後期	火	4	52452	密教学特殊講義 B	和田圭子	2	３年次	教免（宗教）		12
前期	火	3	52303	仏教学特殊講義 A	和田圭子	2	３年次	教免（宗教）		12
後期	火	3	52352	仏教学特殊講義 B	和田圭子	2	３年次	教免（宗教）		12
前期	火	4	52406	仏教学特殊講義 C	前谷彰	2	３年次	教免（宗教）		12
後期	火	4	52451	仏教学特殊講義 D	井上ウィマラ	2	３年次	教免（宗教）		13
前期	月	1	51103	真言密教特殊講義 A	中西雄泰	2	３年次	教免（宗教）	已灌頂者、前期後期通して受講	13
後期	月	1	51151	真言密教特殊講義 B	中西雄泰	2	３年次	教免（宗教）		13
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義 C	齋藤天譽	2	３年次	教免（宗教）		13
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 D	齋藤天譽	2	３年次	教免（宗教）		14

4）演習Ⅰ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	水	2	53201	密教学演習 A	野 田 　悟	4	3 年次	–		14
通年	水	2	53202	密教学演習 B	奥 山 直 司	4	3 年次	–		14
通年	水	2	53203	密教学演習 C	前 谷 　彰	4	3 年次	–		14
通年	水	2	53204	密教学演習 D	櫻 木 　潤	4	3 年次	–		15
通年	水	2	53205	密教学演習 E	土 居 夏 樹	4	3 年次	–		15
通年	水	2	53206	密教学演習 F	松 長 恵 史	4	3 年次	–		15
通年	水	2	53207	密教学演習 G	南 　昌 宏	4	3 年次	–		15
通年	木	1	54101	密教学演習 I	T.ドライトライン	4	3 年次	–	已灌頂者	16

［密教学科４年次履修科目］

1）講読演習（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	月	3	51305	密教学講読演習 A	松 長 恵 史	2	4 年次	教免（宗教）		9
後期	月	3	51352	密教学講読演習 B	松 長 恵 史	2	4 年次	教免（宗教）		9
前期	木	2	54202	密教学講読演習 C	川 﨑 一 洋	2	4 年次	教免（宗教）		9
後期	木	2	54251	密教学講読演習 D	川 﨑 一 洋	2	4 年次	教免（宗教）		9
前期	水	1	53102	仏教学講読演習 A	櫻 木 　潤	2	4 年次	教免（宗教）		10
後期	水	1	53151	仏教学講読演習 B	櫻 木 　潤	2	4 年次	教免（宗教）		10
前期	金	1	55103	真言密教講読演習 A	土 居 夏 樹	2	4 年次	教免（宗教）		10
前期	金	1	55104	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	4 年次	教免（宗教）	已灌頂者	10
後期	金	1	55151	真言密教講読演習 C	T.ドライトライン	2	4 年次	教免（宗教）	已灌頂者	11
前期	金	2	55203	真言密教講読演習 D	T.ドライトライン	2	4 年次	教免（宗教）	已灌頂者	11
後期	金	2	55251	真言密教講読演習 E	T.ドライトライン	2	4 年次	教免（宗教）	已灌頂者	11

2）講義Ⅱ（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	火	4	52407	密教学特殊講義 A	和 田 圭 子	2	4 年次	教免（宗教）		11
後期	火	4	52452	密教学特殊講義 B	和 田 圭 子	2	4 年次	教免（宗教）		12
前期	火	3	52303	仏教学特殊講義 A	和 田 圭 子	2	4 年次	教免（宗教）		12
後期	火	3	52352	仏教学特殊講義 B	和 田 圭 子	2	4 年次	教免（宗教）		12
前期	火	4	52406	仏教学特殊講義 C	前 谷 　彰	2	4 年次	教免（宗教）		12
後期	火	4	52451	仏教学特殊講義 D	井上ウィマラ	2	4 年次	教免（宗教）		13
前期	月	1	51103	真言密教特殊講義 A	中 西 雄 泰	2	4 年次	教免（宗教）	已灌頂者、前期後期通して受講	13
後期	月	1	51151	真言密教特殊講義 B	中 西 雄 泰	2	4 年次	教免（宗教）		13
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義 C	齋 藤 天 譽	2	4 年次	教免（宗教）		13
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 D	齋 藤 天 譽	2	4 年次	教免（宗教）		14

3）演習Ⅱ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	水	2	53201	密教学演習 A	野 田 　悟	4	4 年次	–		14
通年	水	2	53202	密教学演習 B	奥 山 直 司	4	4 年次	–		14
通年	水	2	53203	密教学演習 C	前 谷 　彰	4	4 年次	–		14
通年	水	2	53204	密教学演習 D	櫻 木 　潤	4	4 年次	–		15
通年	水	2	53205	密教学演習 E	土 居 夏 樹	4	4 年次	–		15
通年	水	2	53206	密教学演習 F	松 長 恵 史	4	4 年次	–		15
通年	水	2	53207	密教学演習 G	南 　昌 宏	4	4 年次	–		15

通年	月	1	51101	密教学演習Ｈ	南　　昌　宏	4	４年次	−		16
通年	木	1	54101	密教学演習Ｉ	T.ドライトライン	4	４年次	−	已灌頂者	16

４）卒業論文（８）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	−	−	59001	密教学科卒業論文	密教学科主任	8	４年次	−		−
前期	−	−	59002	密教学科卒業論文（前期）	密教学科主任	8	４年次	−	７月提出許可者に限る	−

２．選択科目

１）総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
後期	水	1	53152	総合科目（古文書入門）	坂 口 太 郎	2	１年次～	−		16
前期	水	1	53103	総合科目（書誌学）	坂 口 太 郎	2	３年次～	−		16

２）企画科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	月	3	51306	企画科目（寺院経営講座）	加 賀　　博	2	１年次～	−		17
前期	月	3	51307	企画科目（社会調査入門）	森 本 一 彦	2	１年次～	社会調査士		17
後期	月	3	51353	企画科目（質的調査論）	森 本 一 彦	2	２年次～	社会調査士		17
通年	月	3	51302	企画科目（舞踊）	高　祖・　辻	2	１年次～	−		17
前期	月	5	51503	企画科目 （おもしろ数学思考力）	木 地 茂 典	2	１年次～	−		18
後期	火	2	52254	企画科目（地方行政論）	笛 木　　淳	2	２年次～	−		18
後期	火	3	52353	企画科目（地方自治法）	笛 木　　淳	2	２年次～	−		18
通年	火	4	52401	企画科目（華道）	五 味 和 樹	2	１年次～	−		18
通年	火	4	52402	企画科目（仏画）	有 松 孝 雄	2	１年次～	−		19
前期	水	1	53104	企画科目（高野文化圏論）	森 本 一 彦	2	２年次～	−		19
前期	水	2	53210	企画科目 （マインドフルネス）	井上ウィマラ	2	１年次～	−		19
前期	水	3	53305	企画科目 （社会調査方法論）	栃 澤 健 史	2	１年次～	社会調査士		19
通年	水	3	53303	企画科目（法式上級）	渕 田 雲 渓	2	１年次～	−		20
前期	水	4	53403	企画科目 （情報リテラシー論）	栃 澤 健 史	2	２年次～	社会調査士		20
後期	水	4	53451	企画科目（基礎統計学）	栃 澤 健 史	2	２年次～	社会調査士		20
通年	水	4	53401	企画科目（芸能）	糀 谷 有 桜	2	１年次～	−		20
前期	木	2	54204	企画科目（阿息観）	佐 藤 隆 彦	2	１年次～	−		21
後期	木	2	54253	企画科目 （月輪観と阿字観）	佐 藤 隆 彦	2	１年次～	−		21
通年	木	3	54304	企画科目（詠歌）	上山・辻・村上	2	１年次～	−		21
前期	木	4	54404	企画科目（地域連携）	森 本 一 彦	2	１年次～	−		21
前期	木	4	54405	企画科目（歴史学Ⅰ）	坂 口 太 郎	2	１年次～	−		22
後期	木	4	54452	企画科目（歴史学Ⅱ）	坂 口 太 郎	2	１年次～	−		22
通年	金	3	55303	企画科目（声明上級）	辻　　秀 道	2	１年次～	−		22
通年	金	3	55304	企画科目 （チベット語会話）	ﾃﾝｼﾞﾝ・ｳｾﾙ	2	１年次～	−		22
前期	金	4	55403	企画科目（地域産業論）	鈴 木 裕 範	2	２年次～	−		23
集中	集中	集中	57001	企画科目（導入研修）	土 居・ 森 本	2	１年次～	−	入学式後２日間＋１日＝３日	23
後期	火	4	52453	企画科目 （キャリアカウンセリングⅣ）	高 田 綾 子	2	１年次～	−	キャリアカウンセリングⅠと同年に履修すること	23
後期	火	3	52354	企画科目 （キャリアカウンセリングⅤ）	高 田 綾 子	2	２年次～	−	キャリアカウンセリングⅡと同年に履修すること	23
後期	火	2	52255	企画科目 （キャリアカウンセリングⅥ）	高 田 綾 子	2	３年次～	−	キャリアカウンセリングⅢと同年に履修すること	24

通年	木	4	54401	企画科目 （日本語留学生中級Ａ）	廣田恵美子	2	１年次～	－	外国人留学生に限る	24
通年	木	5	54501	企画科目 （日本語留学生上級Ａ）	廣田恵美子	2	１年次～	－		24
通年	月	3	51303	企画科目 （日本語留学生中級Ｂ）	松 本 貴 子	2	１年次～	－		24
通年	月	5	51501	企画科目 （日本語留学生上級Ｂ）	松 本 貴 子	2	１年次～	－		25

３）語学科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	火	2	52201	サンスクリット語Ⅰ	前 谷 彰	2	１年次～	－		25
通年	月	4	51404	チベット語	徳 重 弘 志	2	１年次～	－		25
通年	金	2	55201	英会話	静 春 樹	2	１年次～	－		25
通年	火	1	52101	中国語（初級）	土生川正賢	2	１年次～	－		26
通年	火	2	52202	中国語（上級）	土生川正賢	2	１年次～	－		26

４）健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	木	3	54305	体育実技	加 陽 生 子	2	１年次～	教職基礎		26

５）普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	木	1	54103	宗教思想史Ⅰ	川 﨑 一 洋	2	１年次～	教免（宗教）		26
後期	木	1	54152	宗教思想史Ⅱ	川 﨑 一 洋	2	１年次～	教免（宗教）		27
前期	金	2	55204	心理学Ⅰ Ａ	戸 來 知 子	2	１年次～	社会福祉主事		27
後期	金	2	55252	心理学Ⅱ Ａ	戸 來 知 子	2	１年次～	社会福祉主事		27
前期	月	1	51104	社会学Ⅰ	森 本 一 彦	2	１年次～	社会福祉主事		27
前期	水	2	53211	日本文学Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	１年次～	教免（国語）		28
後期	水	2	53251	日本文学Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	１年次～	教免（国語）		28
前期	水	1	53105	国文法Ⅰ	下 西 忠	2	１年次～	教免（国語）		28
後期	水	1	53153	国文法Ⅱ	下 西 忠	2	１年次～	教免（国語）		28
前期	金	4	55404	国語学Ⅰ	上 田 恭 寿	2	１年次～	教免（国語）		29
後期	金	4	55451	国語学Ⅱ	上 田 恭 寿	2	１年次～	教免（国語）		29
後期	水	4	53452	現代の人権	竹 村 和 也	2	１年次～	－		29
後期	水	3	53351	日本国憲法	竹 村 和 也	2	１年次～	教職基礎/社会福祉主事		29
通年	火	4	52403	情報処理	木 地 茂 典	2	１年次～	教職基礎		30
通年	金	2	55202	梵字悉曇	齋 藤 天 譽	2	１年次～	－		30

６）教学実習科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	水	4	53402	常用経典	宮 田 永 明	2	１年次～	僧階補任		30
通年	金	1	55101	声明	辻 秀 道	2	１年次～	僧階補任		30
通年	月	1	51102	法式	内 海 周 浩	2	１年次～	僧階補任		31
通年	水	3	53304	布教	近 藤 堯 寛	2	１年次～	僧階補任		31

７）教育職員免許状関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	木	2	54205	宗教学Ⅰ	奥 山 直 司	2	１年次～	教免（宗教）		31
後期	木	2	54254	宗教学Ⅱ	奥 山 直 司	2	１年次～	教免（宗教）		31

前期	木	3	54307	宗教史Ⅰ	大 柴 清 圓	2	1年次～	教免（宗教）		32
後期	木	3	54351	宗教史Ⅱ	大 柴 清 圓	2	1年次～	教免（宗教）		32
後期	木	4	54453	哲学方法論	山 脇 雅 夫	2	2年次～	教免（宗教）		32
後期	水	1	53154	宗教学方法論	森 本 一 彦	2	2年次～	教免（宗教）		32
前期	月	4	51407	日本文学概論Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	2年次～	教免（国語）		33
後期	月	4	51453	日本文学概論Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	2年次～	教免（国語）		33
前期	火	3	52305	日本文学史概説Ⅰ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		33
後期	火	3	52355	日本文学史概説Ⅱ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		33
前期	木	3	54308	漢文学概論Ⅰ	南 昌 宏	2	2年次～	教免（国語）		34
後期	木	3	54352	漢文学概論Ⅱ	南 昌 宏	2	2年次～	教免（国語）		34
前期	金	3	55306	国語学講義Ⅰ	上 田 恭 寿	2	2年次～	教免（国語）		34
後期	金	3	55352	国語学講義Ⅱ	上 田 恭 寿	2	2年次～	教免（国語）		34
後期	火	2	52256	日本文化特殊講義A	浜 畑 圭 吾	2	3年次～	教免（国語）		35
後期	金	4	55452	日本文化特殊講義B	坂 口 太 郎	2	3年次～	教免（国語）		35
前期	金	4	55405	中国文化特殊講義A	野 田 悟	2	3年次～	教免（国語）		35
後期	月	3	51354	中国文化特殊講義B	南 昌 宏	2	3年次～	教免（国語）		35
前期	火	2	52208	日本文化講読演習A	浜 畑 圭 吾	2	3年次～	教免（国語）		36
前期	金	4	55406	日本文化講読演習B	坂 口 太 郎	2	3年次～	教免（国語）		36
前期	月	3	51308	中国文化講読演習	南 昌 宏	2	3年次～	教免（国語）		36

8）書道師範関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52203	漢字Ⅰ	野 田 悟	2	1年次～	書道師範/教免(国語)		36
通年	火	4	52404	漢字Ⅱ	木 本 滋 久	2	2年次～	書道師範/教免(国語)		37
通年	木	2	54201	かなⅠ	塩野三恵子	2	1年次～	書道師範/教免(国語)		37
通年	木	3	54306	かなⅡ	塩野三恵子	2	2年次～	書道師範/教免(国語)		37
前期	火	1	52103	篆刻Ⅰ	野 田 悟	2	2年次～	書道師範		37
後期	火	1	52152	篆刻Ⅱ	野 田 悟	2	2年次～	書道師範		38
通年	火	3	52301	条幅制作A	木 本 滋 久	2	3年次～	書道師範		38
通年	木	4	54402	条幅制作B	塩野三恵子	2	3年次～	書道師範		38
通年	金	1	55102	書道史（中国）	野 田 悟	4	2年次～	書道師範		38

9）社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	3	54309	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉Ⅰ）	福 本 幹 雄	2	2年次～	社会福祉主事		39
前期	木	4	54406	社会保障総論Ⅰ	福 本 幹 雄	2	1年次～	社会福祉主事		39

10）キャリア科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	4	52405	キャリアカウンセリングⅠ	高 田 綾 子	2	1年次～	－	平成27年度以降の入学生のみ履修可	39
前期	火	3	52304	キャリアカウンセリングⅡ	高 田 綾 子	2	2年次～	－		39
前期	火	2	52205	キャリアカウンセリングⅢ	高 田 綾 子	2	3年次～	－		40

11）他学科科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	木	3	54301	伝統文化実習（民俗調査）	森 本 一 彦	2	2年次～	社会調査士	平成27年度以前の入学生は企画科目として履修	40
通年	水	3	53302	伝統文化実習（茶道）	岡 本 文 音	2	2年次～	－		40

3．自由科目（卒業要件には参入されません）

1）教職科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	2	53212	教職入門	嶋 田 博	2	1年次～	教免必修		40
前期	木	4	54407	教育原論	山 脇 雅 夫	2	1年次～	教免必修		41
後期	木	1	54153	教育心理学	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		41
後期	木	4	54454	教育社会学	森 本 一 彦	2	1年次～	教免必修		41
後期	水	2	53252	教育課程論	嶋 田 博	2	1年次～	教免必修		41
前期	月	1	51105	宗教科教育法Ⅰ	松 長 恵 史	2	2年次～	教免（宗教）		42
後期	月	1	51152	宗教科教育法Ⅱ	松 長 恵 史	2	2年次～	教免（宗教）		42
前期	火	3	52306	宗教科教育法Ⅲ	岡 田 英 作	2	3年次～	教免（宗教）		42
前期	火	4	52408	国語科教育法Ⅰ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		42
後期	火	4	52454	国語科教育法Ⅱ	下 西 忠	2	2年次～	教免（国語）		43
前期	火	5	52502	国語科教育法Ⅲ	下西・浜畑	2	3年次～	教免（国語）		43
後期	火	5	52551	国語科教育法Ⅳ	下西・浜畑	2	3年次～	教免（国語）		43
集中	集中	集中	57014	教育方法論	伊 藤 博 美	2	2年次～	教免必修	8/4 ～ 8/6	43
後期	金	3	55353	情報技術論	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		44
後期	木	5	54551	道徳教育の研究	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		44
前期	木	2	54206	特別教育活動指導	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		44
後期	木	2	54255	生徒指導・進路指導	戸 來 知 子	2	2年次～	教免必修		44
前期	金	3	55307	教育相談	戸 來 知 子	2	3年次～	教免必修		45
後期	水	3	53352	教職実践演習	戸 來 知 子	2	4年次	教免必修		45
実習	実習	実習	58001	教育実習Ⅰ	山脇・戸來	2	3年次～	教免必修		－
実習	実習	実習	58002	教育実習Ⅱ	山脇・戸來	2	4年次	教免必修		－
前期	木	1	54104	教育実習の研究	山脇・戸來	1	3年次～	教免必修		45

2）就職支援プログラム展開科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	火	4	52405	キャリアカウンセリングⅠ	高 田 綾 子	2	1年次～	－	平成26年度以前の入学生のみ履修可	39
前期	火	3	52304	キャリアカウンセリングⅡ	高 田 綾 子	2	2年次～	－		39
前期	火	2	52257	就職スキル講座	高 田 綾 子	2	3年次～	－		40

文学部 人間学科

1．必修科目

［人間学科 1年次履修科目］

1）「建学の精神」科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	乾　龍 仁	2	1年次	−		1

2）語学科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	金	3	55301	英語Ⅰ A	高 倉 正 行	2	1年次	−	クラス分け有り	1
通年	金	3	55302	英語Ⅰ B	静　春 樹	2	1年次	−		1
通年	月	4	51401	英語Ⅰ（再履修）	高 倉 正 行	2	2年次～	−		2

3）導入科目（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	4	51405	人間学基礎ゼミⅠ	森 本 一 彦	2	1年次	−		45
後期	月	4	51451	人間学基礎ゼミⅡ	森 本 一 彦	2	1年次	−		46

4）基礎講義（2+2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	月	2	51201	現代思想	山 脇 雅 夫	2	1年次	−		3
後期	月	2	51251	人間と宗教	山 脇 雅 夫	2	1年次	−		3

5）キャリア教育（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	火	4	52405	キャリアカウンセリングⅠ	高 田 綾 子	2	1年次	−		39

［人間学科 2年次履修科目］

1）語学科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	金	4	55401	英語Ⅱ A	高 倉 正 行	2	2年次	−	クラス分け有り	5
通年	金	4	55402	英語Ⅱ B	静　春 樹	2	2年次	−		5
通年	水	3	53301	英語Ⅱ（再履修）	高 倉 正 行	2	3年次～			5

2）講義Ⅰ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	水	5	53501	人間学概論Ⅰ	浜 畑・坂 口	2	2年次	−		46
後期	水	5	53551	人間学概論Ⅱ	森 本・井 上	2	2年次	−		46

3）基礎ゼミ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
前期	火	2	52204	人間学基礎ゼミⅢ	井上ウィマラ	2	2年次	−		46
後期	火	2	52251	人間学基礎ゼミⅣ	井上ウィマラ	2	2年次	−		47

4）伝統文化実習（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授業科目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備考	頁
通年	木	3	54301	伝統文化実習（民俗調査）	森 本 一 彦	2	2年次	社会調査士		40

通年	水	3	53302	伝統文化実習（茶道）	岡 本 文 音	2	2年次	−		40

5）キャリア教育（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	火	3	52304	キャリアカウンセリングⅡ	高 田 綾 子	2	2年次	−		39

［人間学科 3年次履修科目］

1）語学科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	月	3	51301	英語Ⅲ	高 倉 正 行	2	3年次	−		47

2）演習（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	水	2	53208	人間学演習ⅠA	森 本 一 彦	4	3年次	−		47
通年	木	3	54302	人間学演習ⅠB	廣田恵美子	4	3年次	−	外国人留学生に限る	47
通年	月	5	51504	人間学演習ⅠC（卒論指導）	井上ウィマラ	4	3年次	−	大阪サテライト教室にて開講	49
通年	火	7	52701	人間学演習ⅠD（臨床心理学演習）	森 崎 雅 好	4	3年次	−		49
通年	木	7	54701	人間学演習ⅠE（臨床心理学演習）	大河内大博	4	3年次	−		50

3）特殊ゼミ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	木	2	54203	人間学特殊ゼミⅠA	森 本 一 彦	2	3年次	−		48
後期	木	2	54252	人間学特殊ゼミⅡA	森 本 一 彦	2	3年次	−		48
前期	月	4	51406	人間学特殊ゼミⅠB	松 本 貴 子	2	3年次	−	外国人留学生に限る	48
後期	月	4	51452	人間学特殊ゼミⅡB	松 本 貴 子	2	3年次	−		48
前期	月	6	51601	人間学特殊ゼミⅠC（仏教心理学と事例検討）	井上ウィマラ	2	3年次	−	大阪サテライト教室にて開講	50
後期	月	6	51651	人間学特殊ゼミⅡC（マインドフルネス）	井上ウィマラ	2	3年次	−		50
前期	火	5	52503	人間学特殊ゼミⅠD（宗教学入門）	山 脇 雅 夫	2	3年次	−		50
後期	火	5	52552	人間学特殊ゼミⅡD（現代日本と宗教）	山 脇 雅 夫	2	3年次	−		51
前期	火	6	52602	人間学特殊ゼミⅠE（悲嘆学）	森 崎 雅 好	2	3年次	−		51
後期	火	6	52651	人間学特殊ゼミⅡE（自殺学）	森 崎 雅 好	2	3年次	−		51
前期	木	6	54602	人間学特殊ゼミⅠF（悲嘆学）	大河内大博	2	3年次	−		51
後期	木	6	54651	人間学特殊ゼミⅡF（スピリチュアルケア実践論）	大河内大博	2	3年次	−		52

4）キャリア教育（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	火	2	52205	キャリアカウンセリングⅢ	高 田 綾 子	2	3年次	−		40

［人間学科 4年次履修科目］

1）演習（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	水	2	53209	人間学演習ⅡA	森 本 一 彦	4	4年次	−		49
通年	木	3	54303	人間学演習ⅡB	廣田恵美子	4	4年次	−	外国人留学生に限る	49

通年	月	5	51505	人間学演習ⅡＣ（卒論指導）	井上ウィマラ	4	4年次	–	大阪サテライト教室にて開講	52
通年	火	7	52702	人間学演習ⅡＤ（臨床心理学演習）	森 崎 雅 好	4	4年次	–		52
通年	木	7	54702	人間学演習ⅡＥ（臨床心理学演習）	大河内大博	4	4年次	–		52

2）卒業論文（8）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	論文	論文	59003	人間学科卒業論文	人間学科主任	8	4年次	–		

2．選択科目

1）総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	水	1	53152	総合科目（古文書入門）	坂 口 太 郎	2	1年次～	–		16
前期	水	1	53103	総合科目（書誌学）	坂 口 太 郎	2	3年次～	–		16
自主企画	自主企画	自主企画	57012	総合科目（聖地巡礼Ⅰ）	井上ウィマラ	2	3年次～	–		53
自主企画	自主企画	自主企画	57013	総合科目（聖地巡礼Ⅱ）	井上ウィマラ	2	4年次	–		53

2）企画科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	3	51306	企画科目（寺院経営講座）	加 賀 博	2	1年次～	–		17
前期	月	3	51307	企画科目（社会調査入門）	森 本 一 彦	2	1年次～	社会調査士		17
後期	月	3	51353	企画科目（質的調査論）	森 本 一 彦	2	2年次～	社会調査士		17
通年	月	3	51302	企画科目（舞踊）	高 祖・ 辻	2	1年次～	–		17
前期	月	5	51503	企画科目（おもしろ数学思考力）	木 地 茂 典	2	1年次～	–		18
後期	火	2	52254	企画科目（地方行政論）	笛 木 淳	2	2年次～	–		18
後期	火	3	52353	企画科目（地方自治法）	笛 木 淳	2	2年次～	–		18
通年	火	4	52401	企画科目（華道）	五 味 和 樹	2	1年次～	–		18
通年	火	4	52402	企画科目（仏画）	有 松 孝 雄	2	1年次～	–		19
前期	水	1	53104	企画科目（高野文化圏論）	森 本 一 彦	2	2年次～	–		19
前期	水	2	53210	企画科目（マインドフルネス）	井上ウィマラ	2	1年次～	–		19
前期	水	3	53305	企画科目（社会調査方法論）	栃 澤 健 史	2	1年次～	社会調査士		19
通年	水	3	53303	企画科目（法式上級）	渕 田 雲 渓	2	1年次～	–		20
前期	水	4	53403	企画科目（情報リテラシー論）	栃 澤 健 史	2	2年次～	社会調査士		20
後期	水	4	53451	企画科目（基礎統計学）	栃 澤 健 史	2	2年次～	社会調査士		20
通年	水	4	53401	企画科目（芸能）	糀 谷 有 桜	2	1年次～	–		20
前期	木	2	54204	企画科目（阿息観）	佐 藤 隆 彦	2	1年次～	–		21
後期	木	2	54253	企画科目（月輪観と阿字観）	佐 藤 隆 彦	2	1年次～	–		21
通年	木	3	54304	企画科目（詠歌）	上山・辻・村上	2	1年次～	–		21
前期	木	4	54404	企画科目（地域連携）	森 本 一 彦	2	1年次～	–		21
前期	木	4	54405	企画科目（歴史学Ⅰ）	坂 口 太 郎	2	1年次～	–		22
後期	木	4	54452	企画科目（歴史学Ⅱ）	坂 口 太 郎	2	1年次～	–		22
通年	金	3	55303	企画科目（声明上級）	辻 秀 道	2	1年次～	–		22
通年	金	3	55304	企画科目（チベット語会話）	ﾃﾝｼﾞﾝ・ｳｾﾙ	2	1年次～	–		22
前期	金	4	55403	企画科目（地域産業論）	鈴 木 裕 範	2	2年次～	–		23
集中	集中	集中	57001	企画科目（導入研修）	土居・森本	2	1年次～	–	入学式後2日間＋1日＝3日	23
後期	火	4	52453	企画科目（キャリアカウンセリングⅣ）	高 田 綾 子	2	1年次～	–	キャリアカウンセリングⅠと同年に履修すること	23

後期	火	3	52354	企画科目 （キャリアカウンセリングⅤ）	高 田 綾 子	2	２年次～	－	キャリアカウンセリングⅡと同年に履修すること	23
後期	火	2	52255	企画科目 （キャリアカウンセリングⅥ）	高 田 綾 子	2	３年次～		キャリアカウンセリングⅢと同年に履修すること	24
通年	木	4	54401	企画科目 （日本語留学生中級Ａ）	廣田恵美子	2	１年次～		外国人留学生に限る	24
通年	木	5	54501	企画科目 （日本語留学生上級Ａ）	廣田恵美子	2	１年次～			24
通年	月	3	51303	企画科目 （日本語留学生中級Ｂ）	松 本 貴 子	2	１年次～			24
通年	月	5	51501	企画科目 （日本語留学生上級Ｂ）	松 本 貴 子	2	１年次～			25
前期	月	7	51701	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅲ）	井上ウィマラ	2	３年次～		大阪サテライト教室にて開講	53
後期	月	7	51751	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅳ）	井上ウィマラ	2	３年次～			53
前期	火	6	52601	企画科目 （心理検査法演習Ⅰ）	木 下 忠 恭	2	３年次～			54
後期	火	6	52652	企画科目 （心理検査法演習Ⅱ）	木 下 忠 恭	2	３年次～			54
前期	水	4	53404	企画科目 （両部曼荼羅を読み解くⅠ）	川 﨑 一 洋	2	３年次～			54
後期	水	4	53453	企画科目 （両部曼荼羅を読み解くⅡ）	川 﨑 一 洋	2	３年次～			54
前期	水	6	53602	企画科目（心理統計学）	五 明 優 介	2	３年次～			55
後期	水	6	53652	企画科目（心理測定法）	五 明 優 介	2	３年次～			55
後期	水	6	53651	企画科目（臨床死生学）	井上ウィマラ	2	３年次～			55
前期	水	7	53702	企画科目 （心理学基礎実験演習Ⅰ）	五 明 優 介	2	３年次～			55
後期	水	7	53752	企画科目 （心理学基礎実験演習Ⅱ）	五 明 優 介	2	３年次～			56
後期	水	7	53751	企画科目（災害心理学）	森 崎 雅 好	2	３年次～			56
前期	木	5	54502	企画科目 （こころのケアとは）	山 添 　 正	2	３年次～			56
後期	木	5	54552	企画科目（深層心理学）	山 添 　 正	2	３年次～			56
前期	木	6	54601	企画科目 （臨床心理学面接演習ⅠＡ）	山 添 　 正	2	３年次～			57
後期	木	6	54652	企画科目 （臨床心理学面接演習ⅡＡ）	山 添 　 正	2	３年次～			57
前期	金	6	55601	企画科目（発達心理学）	西川みち子	2	３年次～			57
後期	金	6	55651	企画科目（家族心理学）	西川みち子	2	３年次～			57
前期	金	7	55701	企画科目（学校心理学）	木 下 忠 恭	2	３年次～			58
後期	金	7	55751	企画科目 （カウンセリング論）	木 下 忠 恭	2	３年次～			58
前期	土	第１週	56001	企画科目 （メンタルヘルス）	根 岸 和 政	2	３年次～			58
後期	土	第１週	56051	企画科目（社会心理学）	松 下 歩 睦	2	３年次～			58
前期	土	第２週	56002	企画科目 （臨床心理学面接演習ⅠＢ）	山 添 　 正	2	３年次～			59
後期	土	第２週	56052	企画科目 （臨床心理学面接演習ⅡＢ）	山 添 　 正	2	３年次～			59
前期	土	第３週	56003	企画科目 （スピリチュアルケア演習Ⅰ）	大河内大博	2	３年次～			59
後期	土	第３週	56053	企画科目 （スピリチュアルケア演習Ⅱ）	大河内大博	2	３年次～			59
集中	集中	集中	57004	企画科目 （スピリチュアルケア概論）	窪 寺 俊 之	2	３年次～	8/3 ～ 8/5		60
集中	集中	集中	57006	企画科目 （コミュニケーション演習Ⅰ）	橋本久仁彦	2	３年次～	2/8 ～ 2/10		60
集中	集中	集中	57008	企画科目 （コミュニケーション演習Ⅱ）	橋本久仁彦	2	３年次～	2/22 ～ 2/24		60
集中	集中	集中	57007	企画科目（密教瞑想）	佐 藤 隆 彦	2	３年次～	9/14 ～ 9/15		60
集中	集中	集中	57005	企画科目（死生観）	山本佳世子	2	３年次～	8/18 ～ 8/20		61
集中	集中	集中	57009	企画科目 （もの語り心理学）	やまだようこ	2	３年次～	1/28 ～ 1/30		61
実習	実習	実習	58003	企画科目（臨床実習Ⅰ）	森 崎 雅 好	2	３年次～			61
実習	実習	実習	58004	企画科目（臨床実習Ⅱ）	森 崎 雅 好	2	４年次～			61

実習	実習	実習	58005	企画科目（臨床実習Ⅲ）	森崎雅好	2	3年次～	－		61
実習	実習	実習	58006	企画科目（臨床実習Ⅳ）	川口道雄	2	3年次～	－		62
実習	実習	実習	58007	企画科目（臨床実習Ⅴ）	川口道雄	2	4年次～	－		62

3）語学科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	火	2	52201	サンスクリット語Ⅰ	前谷　彰	2	1年次～	－		25
通年	月	4	51404	チベット語	徳重弘志	2	1年次～	－		25
通年	金	2	55201	英会話	静　春樹	2	1年次～	－		25
通年	火	1	52101	中国語（初級）	土生川正賢	2	1年次～	－		26
通年	火	2	52202	中国語（上級）	土生川正賢	2	1年次～	－		26

4）健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
通年	木	3	54305	体育実技	加陽生子	2	1年次～	－		26

5）普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担当者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	木	1	54103	宗教思想史Ⅰ	川崎一洋	2	1年次～	－		26
後期	木	1	54152	宗教思想史Ⅱ	川崎一洋	2	1年次～	－		27
前期	金	2	55204	心理学Ⅰ A	戸來知子	2	1年次～	社会福祉主事		27
後期	金	2	55252	心理学Ⅱ A	戸來知子	2	1年次～	社会福祉主事		27
集中	集中	集中	57010	心理学Ⅰ B	上野和久	2	3年次～	社会福祉主事	大阪サテライト教室にて開講 8/31 ～ 9/2 2/2 ～ 2/4	62
集中	集中	集中	57011	心理学Ⅱ B	上野和久	2	3年次～	社会福祉主事		63
前期	月	1	51104	社会学Ⅰ	森本一彦	2	1年次～	社会福祉主事		27
前期	水	2	53211	日本文学Ⅰ	浜畑圭吾	2	1年次～	－		28
後期	水	2	53251	日本文学Ⅱ	浜畑圭吾	2	1年次～	－		28
前期	水	1	53105	国文法Ⅰ	下西　忠	2	1年次～	－		28
後期	水	1	53153	国文法Ⅱ	下西　忠	2	1年次～	－		28
前期	金	4	55404	国語学Ⅰ	上田恭寿	2	1年次～	－		29
後期	金	4	55451	国語学Ⅱ	上田恭寿	2	1年次～	－		29
後期	水	4	53452	現代の人権	竹村和也	2	1年次～	－		29
後期	水	3	53351	日本国憲法	竹村和也	2	1年次～	－		29
通年	火	4	52403	情報処理	木地茂典	2	1年次～	－		30
通年	金	2	55202	梵字悉曇	齋藤天譽	2	1年次～	－		30
前期	木	2	54205	宗教学Ⅰ	奥山直司	2	1年次～	－		31
後期	木	2	54254	宗教学Ⅱ	奥山直司	2	1年次～	－		31
前期	木	3	54307	宗教史Ⅰ	大柴清圓	2	1年次～	－		32
後期	木	3	54351	宗教史Ⅱ	大柴清圓	2	1年次～	－		32
後期	木	4	54453	哲学方法論	山脇雅夫	2	2年次～	－		32
後期	水	1	53154	宗教学方法論	森本一彦	2	2年次～	－		32
前期	月	4	51407	日本文学概論Ⅰ	浜畑圭吾	2	2年次～	－		33
後期	月	4	51453	日本文学概論Ⅱ	浜畑圭吾	2	2年次～	－		33
前期	火	3	52305	日本文学史概説Ⅰ	下西　忠	2	2年次～	－		33
後期	火	3	52355	日本文学史概説Ⅱ	下西　忠	2	2年次～	－		33
前期	木	3	54308	漢文学概論Ⅰ	南　昌宏	2	2年次～	－		34
後期	木	3	54352	漢文学概論Ⅱ	南　昌宏	2	2年次～	－		34

前期	金	3	55306	国語学講義Ⅰ	上 田 恭 寿	2	2年次～	－		34
後期	金	3	55352	国語学講義Ⅱ	上 田 恭 寿	2	2年次～	－		34
後期	火	2	52256	日本文化特殊講義A	浜 畑 圭 吾	2	3年次～	－		35
後期	金	4	55452	日本文化特殊講義B	坂 口 太 郎	2	3年次～	－		35
前期	金	4	55405	中国文化特殊講義A	野 田 悟	2	3年次～	－		35
後期	月	3	51354	中国文化特殊講義B	南 昌 宏	2	3年次～	－		35
前期	火	2	52208	日本文化講読演習A	浜 畑 圭 吾	2	3年次～	－		36
前期	金	4	55406	日本文化講読演習B	坂 口 太 郎	2	3年次～	－		36
前期	月	3	51308	中国文化講読演習	南 昌 宏	2	3年次～	－		36

6）教学実習科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	4	53402	常用経典	宮 田 永 明	2	1年次～	僧階補任		30
通年	金	1	55101	声明	辻 秀 道	2	1年次～	僧階補任		30
通年	月	1	51102	法式	内 海 周 浩	2	1年次～	僧階補任		31
通年	水	3	53304	布教	近 藤 堯 寛	2	1年次～	僧階補任		31

7）書道師範関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52203	漢字Ⅰ	野 田 悟	2	1年次～	書道師範		36
通年	火	4	52404	漢字Ⅱ	木 本 滋 久	2	2年次～	書道師範		37
通年	木	2	54201	かなⅠ	塩野三恵子	2	1年次～	書道師範		37
通年	木	3	54306	かなⅡ	塩野三恵子	2	2年次～	書道師範		37
前期	火	1	52103	篆刻Ⅰ	野 田 悟	2	2年次～	書道師範		37
後期	火	1	52152	篆刻Ⅱ	野 田 悟	2	2年次～	書道師範		38
通年	火	3	52301	条幅制作A	木 本 滋 久	2	3年次～	書道師範		38
通年	木	4	54402	条幅制作B	塩野三恵子	2	3年次～	書道師範		38
通年	金	1	55102	書道史（中国）	野 田 悟	4	2年次～	書道師範		38

8）社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	3	54309	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉Ⅰ）	福 本 幹 雄	2	2年次～	社会福祉主事		39
前期	木	4	54406	社会保障総論Ⅰ	福 本 幹 雄	2	1年次～	社会福祉主事		39

9）他学科科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	3	52302	弘法大師伝	櫻 木 潤	2	1年次～	－		3
後期	火	3	52351	釈尊伝	前 谷 彰	2	1年次～	－		3
前期	木	1	54102	漢文ⅠA	南 昌 宏	2	1年次～	－		4
後期	月	5	51551	漢文ⅠB（再履修）	高柳健太郎	2	2年次～	－		4
後期	木	1	54151	漢文ⅡA	南 昌 宏	2	1年次～	－	受講資格：漢文Ⅰの単位を修得していること	4
後期	月	5	51502	漢文ⅡB（再履修）	高柳健太郎	2	2年次～	－		4
前期	月	2	51202	密教学概論ⅠA	佐 藤 隆 彦	2	2年次～	－		6
後期	月	2	51252	密教学概論ⅡA	佐 藤 隆 彦	2	2年次～	－		6
前期	月	3	51304	密教史概説ⅠA	德 重 弘 志	2	2年次～	－		6
後期	月	3	51351	密教史概説ⅡA	櫻 木 潤	2	2年次～	－		6
前期	木	4	54403	仏教史概説Ⅰ	前 谷 彰	2	2年次～	－		7
後期	木	4	54451	仏教史概説Ⅱ	前 谷 彰	2	2年次～	－		7
前期	月	3	51305	密教学講読演習A	松 長 恵 史	2	3年次～	－		9

後期	月	3	51352	密教学講読演習Ｂ	松 長 恵 史	2	３年次～	－		9
前期	木	2	54202	密教学講読演習Ｃ	川 﨑 一 洋	2	３年次～	－		9
後期	木	2	54251	密教学講読演習Ｄ	川 﨑 一 洋	2	３年次～	－		9
前期	水	1	53102	仏教学講読演習Ａ	櫻 木 潤	2	３年次～	－		10
後期	水	1	53151	仏教学講読演習Ｂ	櫻 木 潤	2	３年次～	－		10
前期	金	1	55103	真言密教講読演習Ａ	土 居 夏 樹	2	３年次～	－		10
前期	金	1	55104	真言密教講読演習Ｂ	T.ﾄﾞﾗｲﾄﾗｲﾝ	2	３年次～	－	已灌頂者	10
後期	金	1	55151	真言密教講読演習Ｃ	T.ﾄﾞﾗｲﾄﾗｲﾝ	2	３年次～	－	已灌頂者	11
前期	金	2	55203	真言密教講読演習Ｄ	T.ﾄﾞﾗｲﾄﾗｲﾝ	2	３年次～	－	已灌頂者	11
後期	金	2	55251	真言密教講読演習Ｅ	T.ﾄﾞﾗｲﾄﾗｲﾝ	2	３年次～	－	已灌頂者	11
前期	火	4	52407	密教学特殊講義Ａ	和 田 圭 子	2	３年次～	－		11
後期	火	4	52452	密教学特殊講義Ｂ	和 田 圭 子	2	３年次～	－		12
前期	火	3	52303	仏教学特殊講義Ａ	和 田 圭 子	2	３年次～	－		12
後期	火	3	52352	仏教学特殊講義Ｂ	和 田 圭 子	2	３年次～	－		12
前期	火	4	52406	仏教学特殊講義Ｃ	前 谷 彰	2	３年次～	－		12
後期	火	4	52451	仏教学特殊講義Ｄ	井上ウィマラ	2	３年次～	－		13
前期	月	1	51103	真言密教特殊講義Ａ	中 西 雄 泰	2	３年次～	－	已灌頂者、前期後期通して受講	13
後期	月	1	51151	真言密教特殊講義Ｂ	中 西 雄 泰	2	３年次～	－		13
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義Ｃ	齋 藤 天 譽	2	３年次～	－		13
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義Ｄ	齋 藤 天 譽	2	３年次～	－		14
前期	月	4	51408	仏教学特殊講義Ｅ （心とはなにかⅠ）	岡 田 英 作	2	３年次～	－	大阪サテライト教室にて開講	63
後期	月	4	51454	仏教学特殊講義Ｆ （心とはなにかⅡ）	岡 田 英 作	2	３年次～	－		63
前期	火	4	52409	密教学概論ⅠＢ	土 居 夏 樹	2	３年次～	－		63
後期	火	4	52455	密教学概論ⅡＢ	土 居 夏 樹	2	３年次～	－		64
前期	水	5	53502	真言密教特殊講義Ｅ （高野山の宗教文化Ⅰ）	北 川 真 寛	2	３年次～	－		64
前期	水	7	53701	真言密教特殊講義Ｆ （高野山の宗教文化Ⅱ）	北 川 真 寛	2	３年次～	－		64
前期	水	6	53601	真言密教特殊講義Ｇ （真言密教の儀礼ⅠＡ）	北 川 真 寛	2	３年次～	－		64
後期	水	5	53552	真言密教特殊講義Ｈ （真言密教の儀礼ⅠＢ）	北 川 真 寛	2	３年次～	－		65
前期	木	4	54408	密教学特殊講義Ｃ （空海書学の理論と実践Ⅰ）	野 田 悟	2	３年次～	－		65
後期	木	4	54455	密教学特殊講義Ｄ （空海書学の理論と実践Ⅱ）	野 田 悟	2	３年次～	－		65
前期	金	4	55407	祖典講読ⅠＣ （即身成仏義Ⅰ）	大 柴 清 圓	2	３年次～	－		65
後期	金	4	55453	祖典講読ⅡＣ （即身成仏義Ⅱ）	大 柴 清 圓	2	３年次～	－		66
前期	金	5	55501	密教史概説ⅠＢ	德 重 弘 志	2	３年次～	－		66
後期	金	5	55551	密教史概説ⅡＢ	櫻 木 潤	2	３年次～	－		66

別　科　目　次

別科

1．必修科目

1）基礎科目（16）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	読　替　科　目	担 当 者	単位	履修年次	備　考	頁
通年	月	2	81201	真言宗の教え（別）	密教学概論ⅠA 密教学概論ⅡA	佐藤隆彦	4	1年次		6
後期	火	3	82351	釈尊の生涯（別）	釈尊伝	前谷　彰	2	1年次		3
前期	火	3	82301	弘法大師空海の生涯（別）	弘法大師伝	櫻木　潤	2	1年次		3
通年	火	2	82202	真言宗典講読1（別）	祖典講読ⅠA 祖典講読ⅡA	松長恵史	4	1～2年次		7
前期	月	3	81301	真言宗典講読2-1（別）	密教学講読演習A	松長恵史	2	1～2年次	2-1、2-2は同年に履修すること	9
前期	金	1	85102	真言宗典講読2-2（別）	真言密教講読演習A	土居夏樹	2	1～2年次		10

2）実習科目（14）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	読　替　科　目	担 当 者	単位	履修年次	備　考	頁
通年	木	2	84201	観法の理論と実習（別）	企画科目（阿息観） 企画科目（月輪観と阿字観）	佐藤隆彦	4	1～2年次		21
通年	金	2	85201	梵字悉曇（別）	梵字悉曇	齋藤天譽	2	1年次		30
通年	金	1	85101	声明（別）	声明	辻　秀道	2	1年次		30
通年	水	4	83401	常用経典（別）	常用経典	宮田永明	2	1年次		30
通年	月	1	81101	法式（別）	法式	内海周浩	2	1年次		31
通年	水	3	83302	布教（別）	布教	近藤堯寛	2	1年次		31

3）選択科目（18）

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	読　替　科　目	担 当 者	単位	履修年次	備　考	頁
後期	水	4	83451	人権と福祉（別）	現代の人権	竹村和也	2	1～2年次		29
通年	木	2	84202	世界の宗教（別）	宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ	奥山直司	4	1～2年次		31
通年	木	3	84301	宗教の歴史（別）	宗教史Ⅰ 宗教史Ⅱ	大柴清圓	4	1～2年次		32
通年	金	2	85202	心の科学（別）	心理学ⅠA 心理学ⅡA	戸來知子	4	1～2年次		27
通年	火	4	82401	仏教芸術（別）	企画科目（仏画）	有松孝雄	2	1～2年次		19
通年	月	2	81202	哲学（別）	現代思想 人間と宗教	山脇雅夫	2	1～2年次		3
前期	月	1	81102	社会保障A（別）	社会学Ⅰ	森本一彦	4	1～2年次	A・Bは同年に履修すること	27
前期	木	4	84401	社会保障B（別）	社会保障総論Ⅰ	福本幹雄				39
前期	木	4	84303	地域福祉A（別）	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉Ⅰ）	福本幹雄	4	1～2年次	A・Bは同年に履修すること	39
前期	木	3	84402	地域福祉B（別）	企画科目（地域連携）	森本一彦				21
通年	火	2	82201	サンスクリット語（別）	サンスクリット語Ⅰ	前谷　彰	2	1～2年次		25
通年	月	4	81401	チベット語（別）	チベット語	德重広志	2	1～2年次		25
通年	金	3	85301	声明上級（別）	企画科目（声明上級）	辻　秀道	2	1～2年次		22
通年	水	3	83301	法式上級（別）	企画科目（法式上級）	渕田雲渓	2	1～2年次		20
通年	金	3	85302	密教儀礼の理論と実習（別）	真言密教特殊講義C 真言密教特殊講義D	齋藤天譽	4	1～2年次	已灌頂者	13 14
通年	木	3	84302	事相研究（聖教の伝授と実習）（別）	事相研究Ⅱ-1（大） 事相研究Ⅱ-2（大）	佐藤隆彦	4	1～2年次	已灌頂者	院-6 院-7

講　義　概　要

・

授　業　計　画

科目名	
空海の思想入門	
学期	前期
単位数	2
担当者	乾　龍仁

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：弘法大師空海の密教思想を学ぶための基礎的な知識を身につける
テ ー マ：弘法大師の生涯とその密教思想

授業の概要
高野山大学は弘法大師空海の教えを建学の精神にしている。その大師の教育思想は『性霊集』に収録されている「綜芸種智院式并びに序」に述べられているが、さらにその背景には密教の思想がある。この授業では、弘法大師の生涯とその思想に関する基礎的な知識を養うことを目標とし、その概略について学習する。学部共通科目であるが、専門用語にも親しんでもらえるよう務めたい。

授業計画
1．はじめに（オリエンテーション）、および仏教とその広がり
2．密教とその広がり
3．高野山の開創とその意義１
4．高野山の開創とその意義２
5．弘法大師空海の生涯１
6．弘法大師空海の生涯２
7．弘法大師の教育観
8．三教の比較思想書
9．真言密教の相承者の系譜と伝記
10．顕教と密教の違い
11．密教の成仏論
12．十段階の心のあり方
13．密教経典としての般若心経
14．大師の戒律思想
15．筆記試験
16．おわりに（まとめ）

テキスト
授業中に適宜指示する。

参考書・参考資料等
松長有慶『高野山』(岩波新書) 岩波書店
松長有慶『密教』(岩波新書) 岩波書店
『弘法大師空海全集』筑摩書房など
その他、授業中に適宜指示する。

学生に対する評価
期末の筆記試験（80%）、授業参加への積極性（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）弘法大師の思想の基本用語を覚えている。
（良）弘法大師の思想の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。
（優）弘法大師の思想の基本用語について、テキストを含む複数の参考書を見ながら自分の言葉で説明できる。

その他
休まずに出席してください。授業実数の三分の一を欠席すれば失格です。
授業中にノートをしっかり取るようにしてください。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	
英語ⅠA	
学期	通年
単位数	2
担当者	高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：基礎的な英文法の理解。
テ ー マ：基礎的な英文理解を養う。

授業の概要
基本的な英文法を再確認するとともに、英文の理解を養う。

授業計画
【前期】
1．予習、復習、授業の進め方、成績の出し方について説明する。
2．Unit 1 文型
3．　同上
4．Unit 2 文の種類
5．　同上
6．Unit 3 品詞
7．　同上
8．Unit 4 名詞、代名詞、冠詞
9．　同上
10．Unit 5 時制
11．　同上
12．Unit 6 前置詞
13．　同上
14．Unit 7 助動詞
15．　同上
16．総括

【後期】
1．Unit 8 進行形
2．　同上
3．Unit 9 現在完了
4．　同上
5．Unit 10 動名詞と不定詞
6．　同上
7．Unit 11 比較級と最上級
8．　同上
9．Unit 12 受動文
10．　同上
11．Unit 13 条件文
12．　同上
13．Unit 14 関係節
14．　同上
15．Unit 15 接続詞
16．総括

テキスト
Straight Paths: Essentials of English Grammar and Writing(南雲堂)
ISBN 9784523178163

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）基本的な英文法が理解できること
（良）英文章の構造が理解できること
（優）パラグラフ単位で文章の内容を把握できること

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	
英語ⅠB	
学期	通年
単位数	2
担当者	静　春樹

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：１年間の授業で、それまでコマ付きの自転車に乗っていた子供が、コマを外してしばらく練習した後で、「今コマ無しで走っているよ」と実感できるような、その程度にまでもっていく。
テ ー マ：【前期】高校までに習った英語を活性化する。
【後期】英文法の初歩習得

授業の概要
受講生は誰もが最低限６年間の英語学習を経ているはずである。本授業では受講生に関わった中学・高校英語教師の努力に報いるために尽力する。つまり勉強した事柄の想起・活性化・定着である。

授業計画
テキストに沿って行う。

テキスト
南雲堂 What a Story!
（文法・単語で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング）。
＊テキストを持たない学生の受講は認めません。

参考書・参考資料等
＊和英辞書

学生に対する評価
前期授業課題提出評価（25%）前期テスト（25%）、後期授業課題提出評価（25%）期末テスト（25%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）授業中に辞書を引く姿勢が見られること。
（良）中学・高校での自己習得到達点から一歩でも踏み出す姿勢が見られること。
（優）英語の四能力の何れかに向かって大学生として努力する姿勢が見られること。

その他

科目名	
英語Ⅰ（再履修）	
学期	通年
単位数	2
担当者	高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中級程度の英文法の理解。
テ ー マ：英文の基本的構文の習得。

授業の概要
英文の基本構造を学びつつ、練習問題を行います。

授業計画
【前期】
1．授業の方針、指導目標を理解する。
2．Unit 1　I'm a Big Fan ［am / are / is］
3．Unit 2　He's Kissing Her ［現在進行形］
4．Unit 3　I Don't Have Any Money ［現在形・肯定文と否定文］
5．Unit 4　What Do You Do Every Day?［現在形・疑問文］
6．Unit 5　Wow! Is That Your Car?［代名詞］
7．Unit 6　Be Careful!［命令文］
8．Unit 7　Let's Meet at the Station［場所を表す前置詞］
9．Unit 8　How Was Rome? ［was / were］
10. Unit 9　I Read It in a Magazine ［過去形・肯定文］
11. Unit 10　What Did You Do on Sunday? ［過去形・否定文と疑問文］
12. Unit 11　The Goats Were Dancing［過去進行形］
13. Unit 12　If Animals Could Talk ［接続詞］
14. Unit 12　同上
15. 授業の総括とテスト

【後期】
1．Unit 13　Been There, Done That［現在完了］
2．Unit 13　同上
3．Unit 14　It Starts at Eight［時を表す前置詞］
4．Unit 15　Studying Can Be Tiring［動名詞／不定詞］
5．Unit 15　同上
6．Unit 16　I Think I'll Go Shopping［will / be going to］
7．Unit 16　同上）
8．Unit 17　A Cute Little Nose ［形容詞］
9．Unit 18　He Speaks Romantically［副詞］
10. Unit 19　You Must Be Home by Eleven［助動詞］
11. Unit 19　同上
12. Unit 20　A Burger and Fries ［可算名詞／不可算名詞］
13. Unit 21　Mom's Cheesecake Is Better［形容詞の比較級／最上級］
14. Unit 21　同上
15. 授業の総括とテスト

テキスト
English Charge ！（金星堂、市川泰弘、ISBN978-4-7647-3890-4）

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）文の構造が理解できること。
（良）五文型が理解できること。
（優）文章のつながりが理解できること。

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	
日本語A・B	
学期	通年
単位数	4
担当者	A 土居夏樹 B 櫻木潤

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：自分自身の考えを的確に表現できるとともに、他人の意見を的確に把握できるようになる。
テ ー マ：調べ、考え、まとめて、発表する

授業の概要
大学では、多くの専門的な本を読み、それをもとにレポートを書き、最終的には卒業論文に取り組みます。そのためには専門的知識を身につけると共に論理的に構成された文章を、正確に把握できるようにすることが不可欠です。この講義では新入生を対象として、そのためのトレーニングを実施します。

授業計画
【前期】
1．ガイダンス
2．自己紹介をする（1）
　　―自己紹介文の作成―
3．自己紹介をする（2）
4．自己紹介をする（3）
5．レポート・論文とは何か
6．レポート・論文のルール（1）引用
7．レポート・論文のルール（2）参考文献
8．レポート・論文の種類
9．ブックレポートの発表（1）
10. ブックレポートの発表（2）
11. ブックレポートの発表（3）
12. ブックレポートの発表（4）
13. レポートを書く（1）
14. レポートを書く（2）
15. レポートを書く（3）
16. 前期のまとめ

【後期】
1．ガイダンス
2．ブックレポートの発表（1）
3．ブックレポートの発表（2）
4．ブックレポートの発表（3）
5．発想力をつける（1）
6．発想力をつける（2）
7．読解力をつける（1）
8．読解力をつける（2）
9．要約力をつける（1）
10. 要約力をつける（2）
11. 批判的思考力をつける（1）
12. 批判的思考力をつける（2）
13. 表現力をつける（1）
14. 表現力をつける（2）
15. 表現力をつける（3）
16. 後期のまとめ

※ プログラムは変更される場合があります。

テキスト
担当者で用意したものを配布します。

参考書・参考資料等
桑田てるみ編（2016）.『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版』, 実教出版.
国語辞典・漢和辞典を持参してください。※ 電子辞書でもよいが本の辞書を推奨。

学生に対する評価
授業への参加態度（20%）、授業内課題（40%）、授業内発表（40%）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）要約文・レポートを書くことができる。
（良）自分の意見を論理的に論じることができる。
（優）資料を用いつつ自分の意見を論じることができる。

その他
・出席を重視します。遅刻は３回で欠席１回と見なします。
・毎回課題が出ます。
・トレーニングは大変かもしれませんが、その成果は必ずみなさんの財産になります。へこたれず、楽しくやっていきましょう。
・漢字検定準2級を取得することを推奨します。

科目名	
日本語（再履修）	
学期	通年
単位数	4
担当者	櫻木潤

授業の到達目標及びテーマ
他人の言いたいことを的確に把握できるようにすること、自分の言いたいことを的確に、かつ論理的に展開できるようにすること。

授業の概要
卒業論文を作成するためには、自分のテーマに関する専門的な本を読んで思索をめぐらし、論理的に構成された文章により自分の考えを表明する力が不可欠です。この授業では、卒業論文作成のためのスキルを身につけます。

授業計画
【前期】
1．ガイダンス
2．「学問すること」とは？
3．「レポート」と「論文」
4．論文の構成を学ぶ（1）
5．論文の構成を学ぶ（2）
6．論文の構成を学ぶ（3）
7．論文の構成を学ぶ（4）
8．論文の構成を学ぶ（5）
9．注のつけ方（1）
10. 注のつけ方（2）
11. 引用の仕方
12. 文献表のつくり方
13. 原稿用紙の使い方
14. レポートを書いてみる（1）
15. レポートを書いてみる（2）
16. まとめ

【後期】
1．ガイダンス
2．研究テーマの設定とは？（1）
3．研究テーマの設定とは？（2）
4．研究テーマの設定とは？（3）
5．なぜ本を読むのか？
6．テキスト批評の方法（1）
7．テキスト批評の方法（2）
8．テキスト批評の方法（3）
9．テキスト批評の方法（4）
10. テキスト批評の方法（5）
11. 小論文を書いてみる（1）
12. 小論文を書いてみる（2）
13. 小論文を書いてみる（3）
14. 小論文を書いてみる（4）
15. 小論文を書いてみる（5）
16. まとめ

テキスト
テキストとして、河野哲也『レポート･論文の書き方入門〈第三版〉』（慶應義塾大学出版会、2014 年）を使用しますが、必要な部分をプリントとして配布します。

参考書・参考資料等
戸田山和久『新版　論文の教室　レポートから卒論まで』
(NHK ブックス [1194]、2012 年)
松本茂・河野哲也『大学生のための読む・書く・プレゼン・ディベートの方法　改訂第二版』（玉川大学出版部、2015 年。初版は 2007 年）
その他、授業において適宜紹介します。

学生に対する評価
毎回の授業で行う課題（60％）、前期のレポート・後期の小論文（各20％）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）与えられたテーマについて自分の意見を論理的に論じることができる。
（良）テーマを自分で見つけ出し自分の意見を論理的に論じることができる。
（優）資料を用いつつ自分の意見を論じることができる。

その他
卒業論文を作成するスキルは、大学で学問すること、すなわち「研究すること」のノウハウを身につけることにほかなりません。この授業は、再履修者を対象としていますが、「研究の方法を身につけたい」と思っている方は歓迎します。

科目名
弘法大師伝 弘法大師空海の生涯（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
櫻木　潤

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の足跡をたどりながら、日本の歴史上におけるご生涯の意義を考える。
テ ー マ：弘法大師空海の生涯とその時代

授業の概要

高野山を開創し、真言密教を大成した弘法大師空海のご生涯を、時代背景をふまえながらたどります。弘法大師の足跡から、本学で学ぶことの意義と、将来への指針を見いだすことを目指します。

授業計画

1．授業ガイダンス
2．弘法大師空海のイメージ
3．奈良・平安時代の社会と仏教
4．誕生と青年時代
5．「沙門空海」の誕生
6．山林修行と『聾瞽指帰』の撰述
7．不空三蔵と恵果阿闍梨
8．中国への留学
9．韜黙の日々
10．伝教大師最澄との交流
11．高野山の開創
12．天皇・太上天皇との交流
13．満濃池と綜藝種智院
14．真言宗の成立
15．空海以後の密教と「弘法大師信仰」の成立
16．期末試験

テキスト

テキストは使用せず、毎回の授業で配布するプリントをもとに進めます。

参考書・参考資料等

高木訷元『空海　生涯とその周辺 』（歴史文化セレクション、吉川弘文館、2009 年）
高木訷元・岡村圭真編『密教の聖者　空海』（日本の名僧 4、吉川弘文館、2003 年）
武内孝善『弘法大師空海の研究』（吉川弘文館、2006 年）
武内孝善『空海伝の研究　後半生の軌跡と思想』（吉川弘文館、2015 年）
その他、毎回の授業において適宜紹介します。

学生に対する評価

期末試験（60％）・毎回の授業中に行う課題（40％）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）弘法大師空海のご生涯について理解する。
（良）弘法大師空海のご生涯が日本仏教の歴史の中でどのような歴史的意義があるのかを説明できる。
（優）弘法大師空海のご生涯から、本学で学ぶことの意義と将来への指針を見いだすことができる。

その他

授業では、日本各地の弘法大師ゆかりの地を紹介します。積極的にその地を訪ね、弘法大師のご生涯について、さらに理解を深めることを望みます。希望があれば、高野山内などの見学会を行います。

科目名
釈尊伝 釈尊の生涯（別）
学期
後期
単位数
2
担当者
前谷　彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：釈尊の思想とその生涯についての基礎知識の養成
テ ー マ：釈尊の思想とその生涯を概観することによって、初期仏教の思想と歴史についての知識を深める。

授業の概要

仏教の開祖であるゴータマブッダ（釈尊）の生涯を基本的仏伝資料によって概観し、その後は釈尊のことばが集成された最古層に属する経典とされる『スッタニパータ』から、幾つかの偈頌を抽出することによって、釈尊のことばの世界を通してその実像へ迫って行く。

授業計画

1．オリエンテーション
2．仏伝資料による釈尊の生涯概観。
3．　　　同上
4．　　　同上
5．　　　同上
6．　　　同上
7．『スッタニパータ』「蛇の章・慈しみ」を読み、同じ作業を行う。
8．『スッタニパータ』「小なる章・宝」を読み、同じ作業を行う。
9．『スッタニパータ』「小なる章・ダンミカ」を読み､同じ作業を行う。
10．『スッタニパータ』「大いなる章・つとめはげむこと」を読み、同じ作業を行う。
11．『スッタニパータ』「大いなる章・矢」を読み、同じ作業を行う。
12．『スッタニパータ』「大いなる章・二種の観察」を読み、同じ作業を行う。
13．いくつかの仏伝記事を紹介・解説することによって、釈尊神格化のプロセスについて解説する。
14．　　　同上
15．学習した内容に対する質問や意見を聞き、総まとめをする。

テキスト

前谷　彰（恵紹）著『ブッダのおしえ　～真訳スッタニパータ』講談社

参考書・参考資料等

必要に応じて紹介する。

学生に対する評価

授業への参加度と学期末試験とで総合的に評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）「釈尊伝概要」に関する基本的知識を習得していること。
（良）「釈尊伝概要」をもとに、講義内容と関連付けて釈尊像を理解していること。
（優）（可）・（良）を踏まえて、個々の疑問を整理し、自分自身の見解で釈尊像を語れる能力を持っていること。

その他

科目名
現代思想 哲学１（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：人間観の基礎を構築する
テ ー マ：人の間の哲学

授業の概要

「人の間」と書いて「人間」と読むことは、私たち人間にとって他の人とのかかわりが本質的であることをよく示していると思われます。この授業では、人間関係に関する哲学的問題を中心に、現代に生きていくために必要な思想は何かを考えます。

授業計画

1．赤ちゃんの人間認識
2．対人関係と言葉
3．自他の境界
4．いじめ
5．「自分」の定義
6．「愛」の諸相
7．聴くことの力
8．理解と誤解
9．自己犠牲は可能か？
10．待つことの意味
11．人間関係と時間
12．死者との共存
13．切れ字の存在論
14．実存
15．住まうこと
16．まとめ

テキスト

鷲田清一『聴くことの力』（ちくま文庫）

参考書・参考資料等

授業中に指示

学生に対する評価

期末テスト 65 点、小テスト 20 点、授業参加への積極性 15 点

ルーブリック（目標に準拠した評価）

	論理的思考力	問題発見力	作文力
可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	自分の考えを正確な日本語で表現できる。
良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	自分の考えを正確かつ論理的な日本語で表現できる。
優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる。	自分の考えを正確かつ論理的で、説得力を持った日本語で表現できる。

その他

科目名
人間と宗教 哲学２（別）
学期
後期
単位数
2
担当者
山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：本学で密教を学ぶために、宗教学の基礎知識を習得する。
テ ー マ：宗教学入門

授業の概要

世界のさまざまな宗教を参照しながら、宗教学の基礎を学びます。

授業計画

1．宗教学の成立
2．宗教の定義
3．宗教の原初形態
4．アニミズム、マナイズム
5．自然崇拝、
6．宗教の類型
7．宗教の四大要素
8．教義の諸相①
9．教義の諸相②
10．宗教儀礼①
11．宗教儀礼②
12．葬制の諸類型
13．宗教体験①
14．宗教体験②
15．現代社会における宗教
16．テスト

テキスト

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）

参考書・参考資料等

学生に対する評価

定期試験（70％）、授業中の小テストおよび小作文（30％）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）宗教学の基本的概念を理解している。
（良）宗教学の基礎的概念を説明できる。
（優）宗教学の知識に基づいて、現代社会における宗教の意味について自分の考えを構築している。

その他

科目名
漢文ⅠA
学期
前期
単位数
2
担当者
南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：訓点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付ける。
テ ー マ：漢文訓読の基礎（入門）

授業の概要

返り点のとおりに読む練習、返り点を打つ練習から始める。テキストの問題は毎回の宿題とし、提出を義務とする。また、漢文を読みつつテキストを参照し、文法解説をする。密教の基礎用語も解説する。

授業計画

1．送りがな・返り点
2．書き下し文（1）
3．書き下し文（2）
4．熟語の構造
5．漢文の構造
6．再読文字（1）
7．再読文字（2）
8．否定の形（1）
9．否定の形（2）
10．否定の形（3）
11．否定の形（4）
12．疑問・反語の形（1）
13．疑問・反語の形（2）
14．疑問・反語の形（3）
15．使役・受身の形
16．期末試験

テキスト

佐藤雅一『発展30日完成（33）　漢文　高校初級用』（日栄社）
書店等で購入。

参考書・参考資料等

加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。

学生に対する評価

授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。合格点に満たない者には、宿題1回を1点として加算する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）訓点を機械的に扱うことができる。
（良）訓点を機械的に扱い、基本的な文法を修得している。
（優）訓点を自在に扱い、高校程度の漢文を十分に理解できる。

その他

科目名
漢文ⅠB（再履修）
学期
後期
単位数
2
担当者
高柳健太郎

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：訓点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付ける。
テ ー マ：漢文訓読の基礎（入門）

授業の概要

返り点のとおりに読む練習、返り点を打つ練習から始める。テキストの問題は毎回の宿題とし、提出を義務とする。また、仏教寓話集『百喩経』を読み、テキストを参照しながら、文法解説をする。

授業計画

1．送りがな・返り点
2．書き下し文（1）
3．書き下し文（2）
4．熟語の構造
5．漢文の構造
6．総合演習（1）
7．再読文字（1）
8．再読文字（2）
9．総合演習（2）
10．否定の形（1）
11．否定の形（2）
12．否定の形（3）
13．否定の形（4）
14．総合演習（3）
15．疑問・反語の形（1）
16．期末試験

テキスト

佐藤雅一『発展30日完成（33）　漢文　高校初級用』（日栄社）
書店等で購入。

参考書・参考資料等

加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。

学生に対する評価

授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。合格点に満たない者には、宿題1回を1点として加算する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）訓点を機械的に扱うことができる。
（良）訓点を機械的に扱い、基本的な文法を修得している。
（優）訓点を自在に扱い、高校程度の漢文を十分に理解できる。

その他

Bは再履修用。

科目名
漢文ⅡA
学期
後期
単位数
2
担当者
南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：訓点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付ける
テ ー マ：漢文訓読の基礎（初級）

授業の概要

Ⅰの続き。テキストの問題は毎回の宿題とし、提出を義務とする。また、漢文を読みつつテキストを参照し、文法解説をする。密教の基礎用語も解説する。

授業計画

1．比較選択・願望の形
2．仮定・抑揚の形
3．限定・累加の形
4．文字の整理（1）
5．文字の整理（2）
6．文字の整理（3）
7．文字の整理（4）
8．文字の整理（5）
9．文字の整理（6）
10．漢詩
11．復習（1）
12．復習（2）
13．復習（3）
14．復習（4）
15．復習（5）
16．期末試験

テキスト

佐藤雅一『発展30日完成（33）　漢文　高校初級用』（日栄社）
書店等で購入。

参考書・参考資料等

加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。

学生に対する評価

授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。合格点に満たない者には、宿題1回を1点として加算する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）訓点を機械的に扱うことができる。
（良）訓点を機械的に扱い、基本的な文法を修得している。
（優）訓点を自在に扱い、高校程度の漢文を十分に理解できる。

その他

1～3年次生は、漢文Ⅰに合格した者のみ、受講を許可する。

科目名
漢文ⅡB（再履修）
学期
後期
単位数
2
担当者
高柳健太郎

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：訓点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付ける。
テ ー マ：漢文訓読の基礎（初級）

授業の概要

Ⅰの続き。テキストの問題は毎回の宿題とし、提出を義務とする。仏教寓話集『百喩経』を読み、テキストを参照しながら、文法解説をする。

授業計画

1．疑問・反語の形（2）
2．疑問・反語の形（3）
3．総合演習（4）
4．使役・受身の形
5．比較選択・願望の形
6．仮定・抑揚の形
7．限定・累加の形
8．総合演習（5）
9．文字の整理（1）
10．文字の整理（2）
11．文字の整理（3）
12．文字の整理（4）
13．文字の整理（5）
14．文字の整理（6）
15．漢詩
16．期末試験

テキスト

佐藤雅一『発展30日完成（33）　漢文　高校初級用』（日栄社）
書店等で購入。

参考書・参考資料等

加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。

学生に対する評価

授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。合格点に満たない者には、宿題1回を1点として加算する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）訓点を機械的に扱うことができる。
（良）訓点を機械的に扱い、基本的な文法を修得している。
（優）訓点を自在に扱い、高校程度の漢文を十分に理解できる。

その他

漢文Ⅰに合格した者のみ、受講を許可する。ただし、4年次生は、その限りではない。Bは再履修用。

科目名：英語ⅡA
学期：通年
単位数：2
担当者：高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：基礎的な英文法の理解。
テ ー マ：基礎的な英文理解を養う。

授業の概要
基本的な英文法を再確認するとともに、英文の理解を養う。

授業計画
【前期】
1．予習、復習、授業の進め方、成績の出し方について説明する。
2．Chapter 7 Hikikomori
3．同上
4．Exercise
5．Chapter 8 Cults
6．同上
7．Exercise
8．Chapter 9 Baby Boomers Retire
9．同上
10．Exercise
11．Chapter 10 Immigration
12．同上
13．Exercise
14．Chapter 11 Telecommuting
15．同上
16．総括

【後期】
1．Chapter 12 Buying Organs
2．同上
3．Exercise
4．Chapter 13 Surrogate Mothers
5．同上
6．Exercise
7．Chapter 14 Baby Hatch
8．同上
9．Exercise
10．Chapter 15 Eating Disorder
11．同上
12．Exercise
13．同上
14．総括
試験

テキスト
Keywords for Japan Today（センゲージ ラーニング）
ISBN 978-4-86312-043-3

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）基本的な英文法が理解できること
（良）英文章の構造が理解できること
（優）パラグラフ単位で文章の内容を把握できること

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名：英語ⅡB
学期：通年
単位数：2
担当者：静春樹

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
【前期】「文法」つまり基本的な「文のしくみ」に焦点を合わせる。
【後期】英語に限らずすべての言語は「音声」「文法」「語彙（単語力）」の三つのアプリケーションから成ると言っても過言ではない。授業では「文のしくみ」に焦点を合わせる。
テ ー マ：
【前期】高校までに習った英語を活性化する。
【後期】英文法の初歩習得。

授業の概要
授業計画が成立するのは受講生の習得水準が一定の幅に揃っている場合である。本授業の場合、プレイスメントテストがなく、およそ「不揃いな受講生」を相手にしなければならない。従って、授業はあくまで各受講生の力に合わせた個別的な指導となる。
勉学の基礎は自学自習である。教師は各受講生の力量・つまずきの箇所・壁を判断し個別に指導する。

授業計画
テキストをユニット０から各自が徹底的に勉強し、教師に理解したと判断された場合に次のユニットへ進む。

テキスト
南雲堂 First Voyage（大学基本英文法＆リーディング）。
＊テキストを持たない学生の受講は認めません。

参考書・参考資料等
＊和英辞書

学生に対する評価
前期授業課題提出評価（25%）前期テスト（25%）、後期授業課題提出評価（25%）期末テスト（25%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）授業中に辞書を引く姿勢が見られること。
（良）中学・高校での自己習得到達点から一歩でも踏み出す姿勢が見られること。
（優）英語の四能力の何れかに向かって大学生として努力する姿勢が見られること。

その他
「文の仕組み」は人体に喩えると、骨格に相当します。習得言語の場合（母語でないこと）、これをインストールしないと自力で歩くことが出来ません。

科目名：英語Ⅱ（再履修）
学期：通年
単位数：2
担当者：高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中級程度の英文法の理解。
テ ー マ：英文の基本的構文の習得。

授業の概要
英文の基本構造を学びつつ、練習問題を行います。

授業計画
【前期】
1．不定詞（1）
2．不定詞（2）
3．分詞
4．動名詞
5．動名詞と不定詞
6．時制
7．未来時を表す表現
8．進行形
9．完了形
10．態
11．仮定法（1）
12．仮定法（2）
13．比較構文
14．否定
15．名詞
16．総括

【後期】
1．代名詞（1）
2．代名詞（2）
3．形容詞
4．冠詞
5．数量詞
6．副詞
7．動詞
8．法助動詞（1）
9．法助動詞（2）
10．前置詞（1）
11．前置詞（2）
12．前置詞（3）
13．接続詞
14．関係詞（1）
15．関係詞（2）
16．総括

テキスト
最初の授業で説明します。
＊テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。

参考書・参考資料等

学生に対する評価
予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）文の構造が理解できること。
（良）五文型が理解できること。
（優）文章のつながりが理解できること。

その他
必ず予習を行って授業に臨むこと。
授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名：
学期：
単位数：
担当者：

科目名
密教学概論Ⅰ 真言宗の教え1A（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テ ー マ：密教の基礎知識を養成する。

授業の概要

インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。

授業計画

1．講義内容の説明
2．密教とは；①密教・真言宗の意味、密教の分類
3．密教経典の成立と特色；①密教の源流
4．密教経典の成立と特色；②仏教のなかでの密教の発展過程
5．密教経典の成立と特色；③密教経典の分類
6．密教経典の成立と特色；④密教経典の特色
7．中国密教の成立；①密教経典の訳出
8．中国密教の成立；②唐代密教の展開
9．奈良時代の密教と空海請来の密教
10．密教思想の教判；①真言密教の教判・顕密二教の教判
11．密教思想の教判；③顕密二教の教判
12．十住心の思想；①十住心思想の構成
13．十住心の思想；②十住心思想の特徴
14．十住心の思想；③②十住心思想の特徴
15．試験
16．試験問題の解答と確認

テキスト

勝又俊教著『密教入門』春秋社

参考書・参考資料等

松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
佐和隆研編『密教辞典』法藏館
中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店　他

学生に対する評価

試験（80%）、授業参加への積極性（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）密教の基本的な用語を理解している。
（良）配布した資料の説明ができる。
（優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。

その他

講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。
授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。

科目名
密教学概論Ⅱ 真言宗の教え2A（別）
学期
後期
単位数
2
担当者
佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テ ー マ：密教の基礎知識を養成する。

授業の概要

インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。

授業計画

1．講義内容の説明
2．真言密教の仏陀観；①釈迦如来から大日如来へ
3．真言密教の仏陀観；②大日如来と四仏（五仏）・密教の仏身観
4．真言密教の仏陀観；③様々な信仰の対象、密教の祖師
5．曼荼羅；①両部曼荼羅の成立
6．曼荼羅；②四種曼荼羅とは
7．真言密教の人間観；①空海と心の本性の探求
8．真言密教の人間観；②心性本浄思想の源流
9．即身成仏への道；①密教の三昧耶戒、②四重禁戒と十善戒
10．即身成仏への道；③浄菩提心と観法
11．即身成仏思想：①六大・四曼・三密１
12．即身成仏思想：①六大・四曼・三密２
13．即身成仏思想：②即身の意味と三種即身成仏
14．密教の特性
15．試験
16．試験の解答と確認

テキスト

勝又俊教著『密教入門』春秋社

参考書・参考資料等

松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
佐和隆研編『密教辞典』法藏館
中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店

学生に対する評価

試験（80%）、授業参加への積極性（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）密教の基本的な用語を理解している。
（良）配布した資料の説明ができる。
（優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。

その他

講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。
授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。

科目名
密教史概説ⅠA
学期
前期
単位数
2
担当者
徳重弘志

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：インド文化圏における密教史に関する基礎知識を理解すること。
テ ー マ：インド文化圏の密教史

授業の概要

密教は、インドにおいて成立した後、チベット、ネパール、東南アジアといったインド文化圏に伝播した。本講義では、インドにおける密教の形成と展開や、周辺地域における密教の特色について概説する。

授業計画

1．イントロダクション
2．インドにおける仏教の歴史
3．インド初期密教：①密教の萌芽
4．インド初期密教：②密教の形成期
5．インド中期密教：①『大日経』
6．インド中期密教：②『金剛頂経』
7．インド中期密教：③『理趣経』
8．インド後期密教：①父タントラ
9．インド後期密教：②母タントラ・不二タントラ
10．チベットの密教：①前伝仏教期
11．チベットの密教：②後伝仏教期
12．チベットの密教：③宗派の概説
13．チベットの密教：④現代の仏教
14．ネパールの密教
15．インドネシアの密教

テキスト

松長有慶『密教の歴史』（平楽寺書店）
※ 入手が困難な場合、担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等

高橋尚夫他編『初期密教―思想・信仰・文化』（春秋社）
高橋尚夫他編『空海とインド中期密教』（春秋社）
松長有慶編『インド後期密教（上・下）』（春秋社）

学生に対する評価

授業参加の積極性（40%）、テスト（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）上座部仏教、大乗仏教、密教の関係を説明できる。
（良）密教経典の分類について、歴史の流れに沿って説明できる。
（優）インド文化圏を形成する諸国における密教の特徴を説明できる。

その他

指定したテキストの流れに沿って講義を進めるので、予習を欠かさないこと。

科目名
密教史概説ⅡA
学期
後期
単位数
2
担当者
櫻木潤

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：インドに生まれた密教が、唐代の中国で隆盛し、弘法大師空海によって日本に伝えられた後、日本仏教の中でどのように根付き、展開を遂げるのかについて、その歴史的変遷を理解する。
テ ー マ：中国密教・日本密教の歴史的変遷を知るとともに、真言宗の歴史を知る。

授業の概要

中国・日本の密教と真言宗の歴史をテキストにもとづきながら、最新の研究成果をふまえて概説する。

授業計画

1．授業ガイダンス
2．西域から中国への伝来
3．唐代の密教
4．古密教の世界
5．弘法大師空海による密教の請来
6．真言宗の成立
7．空海の後継者たち
8．天台宗の密教化
9．密教修法の隆盛
10．覚鑁の改革と挫折
11．密教と「鎌倉新仏教」
12．密教と戒律復興運動
13．根来教団の成立
14．江戸時代の戒律復興運動と密教
15．近代社会と密教
16．期末試験

テキスト

松長有慶『密教の歴史〈サーラ叢書 19〉』
（平楽寺書店、2007 年。初版は 1969 年）

参考書・参考資料等

立川武蔵・頼富本宏編『中国密教〈シリーズ密教３〉』
（春秋社、2005 年。初版は 1999 年）
立川武蔵・頼富本宏編『日本密教〈シリーズ密教４〉』
（春秋社、2005 年。初版は 2000 年）
その他、授業中に適宜紹介します。

学生に対する評価

期末試験（60%）、毎回の授業で行う課題（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）中国密教と日本密教、真言宗の歴史を理解する。
（良）密教が日本仏教の歴史の中でどのような役割を担ってきたのかを説明できる。
（優）日本密教と真言宗の歴史をふまえて、これからの密教や真言宗のあり方を展望することができる。

その他

授業では、中国密教や日本密教、真言宗にゆかりの深い寺院なども紹介します。積極的にその地を訪ね、日本密教や真言宗の歴史について、さらに理解を深めることを望みます。

科目名	学期	単位数	担当者
仏教史概説Ⅰ	前期	2	前谷　彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏教がインドのいかなる思想を背景に誕生し、いかなる歴史的変容を被りながら展開して行ったかについての基本的知識を身につける。
テ ー マ：インドにおける仏教誕生とその後の展開

授業の概要

仏教が興起する以前に存在したインドの思想体系の概説を行った上で、仏教がインドにおいてどのような歴史的変容を被りながら展開して行ったかについて概説する。

授業計画

1．導入：仏教が興起する以前のインド
2．バラモン教の思想：ヴェーダの思想的特徴
3．ヴェーダの思想的特徴
4．古ウパニシャッドの思想
5．古ウパニシャッドの思想
6．反ヴェーダ思想（六師外道）
7．ジャイナ教の思想
8．釈尊の誕生から成道までの歴史概観
9．初期仏教思想の特徴
10．初期仏教思想の特徴
11．初期仏教思想の特徴
12．大乗諸派の思想的特徴
13．中国仏教の特徴
14．大乗非仏説論
15．初期仏教と大乗の思想的相違点
16．

テキスト

担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。

参考書・参考資料等

前谷　彰（恵紹）著『ブッダのおしえ～真訳スッタニパータ』講談社

学生に対する評価

期末試験（100％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）ヴェーダの基本的思想を理解し、ウパニシャッドにおける梵我一如の思想を理解していること。
（良）（可）の理解を踏まえ、初期仏教における「縁起」の思想を理解していること。
（優）（可）・（良）の理解に加え、初期仏教と大乗の思想の違いについて、自身の見解を明らかにし得る能力を有していること。

その他

科目名	学期	単位数	担当者
仏教史概説Ⅱ	後期	2	前谷　彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：日本仏教の時代的特徴についての基本的知識を身につける。
テ ー マ：日本仏教思想の特徴

授業の概要

日本仏教を時代を追って概観し、その思想的かつ歴史的特徴について解説する。

授業計画

1．仏教伝来
2．奈良仏教の特徴
3．奈良仏教の特徴
4．平安仏教の特徴概観
5．最澄の思想的特徴
6．弘法大師の思想
7．弘法大師の思想
8．弘法大師の思想
9．鎌倉仏教の特徴概観
10．法然の生涯概観
11．親鸞の生涯概観
12．浄土思想と真言密教
13．道元・日蓮・栄西の思想
14．仏教における救済論
15．総まとめ
16．

テキスト

担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。

参考書・参考資料等

前谷　彰（恵紹）著『ブッダのおしえ～真訳スッタニパータ』講談社

学生に対する評価

期末試験（100％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）奈良・平安・鎌倉仏教の特徴を理解していること。
（良）弘法大師と最澄の思想的相違点について理解していること。
（優）浄土教と真言宗の基本的思想の相違点について、自身の見解を明確にできること。

その他

科目名	学期	単位数	担当者
祖典講読ⅠA・B 真言宗典講読1－1（別）	前期	2	A 松長恵史 B 土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。
テ ー マ：『即身成仏義』を読む

授業の概要

密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問いを追求する古典的名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典（漢文）の流麗な文章表現を音読しながら味わい、ゆっくりと読み進めてゆく。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．成仏思想とは？－三劫成仏と即身成仏－
3．『即身義』の撰述時期と異本『即身義』
4．『即身成仏義』を読む（1）発端問答
5．　〃　（2）二経一論八箇の証文①
6．　〃　（3）二経一論八箇の証文②
7．　〃　（4）二経一論八箇の証文③
8．　〃　（5）二頌八句①
9．　〃　（6）二頌八句②
10．　〃　（7）二頌八句③
11．　〃　（8）「六大無碍にして常に瑜伽なり」①
12．　〃　（9）「六大無碍にして常に瑜伽なり」②
13．　〃　（10）「六大無碍にして常に瑜伽なり」③
14．　〃　（11）「六大無碍にして常に瑜伽なり」④
15．前期まとめとテスト①
16．前期まとめとテスト②

テキスト

高野山大学編『十巻章』、高野山大学出版部

参考書・参考資料等

その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業中の素読・発表など（40％）、テスト（60％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）発端問答と二頌八句を暗誦できる。
（良）即身成仏思想の特徴を、自分の言葉で説明できる。
（優）即身成仏思想の特徴を、資料に基づいて説明できる。

その他

毎回受講者に素読してもらいますので、必ず予習をしてきてください。

科目名	学期	単位数	担当者
祖典講読ⅡA・B 真言宗典講読1－2（別）	後期	2	A 松長恵史 B 土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。
テ ー マ：『即身成仏義』を読む

授業の概要

『即身成仏義』についての概論と前期の復習をはじめに行い、前期で扱った範囲をカヴァーして、テクストの続きをさらに読みすすめる。『即身成仏義』を読了した後には、弘法大師空海の即身成仏思想の体系を再確認し、要点の把握に努める。

授業計画

1．概論と前期の復習
2．『即身成仏義』を読む（12）「六大能生」①
3．　〃　（13）「六大能生」②
4．　〃　（14）「六大の顕密／無碍自在の身」
5．　〃　（15）「四種曼荼各不離」①
6．　〃　（16）「四種曼荼各不離」②
7．　〃　（17）「三密加持速疾顕」①
8．　〃　（18）「三密加持速疾顕」②
9．　〃　（20）「三密加持速疾顕」③
10．　〃　（21）「三密加持速疾顕」④
11．　〃　（22）「法然具足薩般若」①
12．　〃　（23）「法然具足薩般若」②
13．　〃　（24）「心数心王過刹塵／各具五智無際智」
14．　〃　（25）「円鏡力故実覚智」
15．後期まとめとテスト①
16．後期まとめとテスト②

テキスト

高野山大学編『十巻章』、高野山大学出版部

参考書・参考資料等

授業において指示します。

学生に対する評価

授業中の素読・発表など（40％）、テスト（60％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）『即身成仏義』全体を素読できる。
（良）六大・四曼・三密の関係を、自分の言葉で説明できる。
（優）即身の頌と成仏の頌の関連を、資料に基づいて説明できる。

その他

毎回受講者に素読してもらいますので、必ず予習をしてきてください。

科目名	学期	単位数	担当者
祖典講読ⅢA	前期	2	土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみつつ、真言密教の教理と実践との関連を理解する。
テ ー マ：『吽字義』を読む（1）

授業の概要

この講義では、『即身成仏義』『声字実相義』とともに三部書に数えられる『吽字義』を原典から読み進め、真言密教の教学における真言の意味と教理が、実践行とどのように関連しているのかについて、受講生とともに考えていきたいと思います。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．仏教の言語観と真言
3．『吽字義』概要①
4．『吽字義』概要②
5．『吽字義』を読む（1）吽字の字相①
6．〃（2）吽字の字相②
7．〃（3）訶字の字義①
8．〃（4）訶字の字義②
9．〃（5）阿字の字義①
10．〃（6）阿字の字義②
11．〃（7）阿字の字義③
12．〃（8）汙字の字義①
13．〃（9）汙字の字義②
14．〃（10）汙字の字義③
15．前期テスト
16．前期のまとめ

テキスト

高野山大学編 『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社、1977 年
小田慈舟『十巻章講説』上巻、高野山出版社、1985 年
宮坂宥勝監修『空海コレクション』2、ちくま学芸文庫、2004 年
※その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業内での素読（40%）、期末試験（60%）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）『吽字義』の素読ができる。
（良）字相と字義の違いを理解している。
（優）密教の因果論を理解している。

その他

・素読や基礎用語の解説など、授業内で指名しますので、必ず予習をしてきてください。
・わからない単語に出会ったら、辞書などを引くこと。
・毎回資料を配布します。万が一欠席した場合は、次回までに土居研究室に取りに来てください。

科目名	学期	単位数	担当者
祖典講読ⅢB	前期	2	松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する
テ ー マ：『声字実相義』を読む

授業の概要

『声字実相義』は、弘法大師空海が著した三部書の一つである。『声字実相義』に説かれる言語観は、密教の教理が、顕教に対していかなる独自性を持つのかを知る上できわめて重要である。
密教の有する言語観を確認しつつ、『声字実相義』の原典を読み進めていく。

授業計画

1．概論(講義の進め方問等)
2．『声字実相義』の特色①
3．『声字実相義』の特色②
4．『声字実相義』の基礎知識
5．『声字実相義』の歴史的背景と内容構成
6．叙意①
7．叙意②
8．叙意③
9．釈名体義①
10．釈名体義②
11．釈名体義③
12．釈名体義④
13．釈名体義⑤
14．釈名体義⑥
15．前期講義のまとめ
16．記述試験

テキスト

高野山大学編『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

宮坂宥勝監修 『空海コレクション２』 筑摩書房

学生に対する評価

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習で判断する
試験（50%）授業中の演習（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）原典の音読ができる
（良）原典の内容を部分的に理解できる
（優）『声字実相義』を体系的に理解できる

その他

科目名	学期	単位数	担当者
祖典講読ⅣA	後期	2	土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみつつ、真言密教の教理と実践との関連を理解する。
テ ー マ：『吽字義』を読む（2）

授業の概要

この講義では、前期に続いて『吽字義』を原典から読み進めます。真言密教の教学における真言の意味と教理が、実践行とどのように関連しているのかについて、受講生とともに考えていきたいと思います。

授業計画

1．前期のまとめと概論（講義の進め方等）
2．『吽字義』を読む（11）汙字の字義④
3．〃（12）汙字の字義⑤
4．〃（13）汙字の字義⑥
5．〃（14）摩字の字義①
6．〃（15）摩字の字義②
7．〃（16）摩字の字義②
8．〃（17）吽字の合説① 要略・別相・通相
9．〃（18）吽字の合説② 字相・字義
10．〃（19）吽字の合説③ 諸乗
11．〃（20）吽字の合説④ 諸経論
12．〃（21）吽字の合説⑤ 余義
13．〃（22）吽字の合説⑥ 余義
14．〃（23）吽字の合説⑦ 余義
15．後期テスト
16．後期のまとめ

テキスト

高野山大学編 『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社、1977 年
小田慈舟『十巻章講説』上巻、高野山出版社、1985 年
宮坂宥勝監修『空海コレクション』2、ちくま学芸文庫、2004 年
※その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業内での素読（40%）、期末試験（60%）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）『吽字義』の素読ができる。
（良）字相と字義の違いを理解している。
（優）密教における「心」・「我」について理解している。

その他

・素読や基礎用語の解説など、授業内で指名しますので、必ず予習をしてきてください。
・わからない単語に出会ったら、辞書などを引くこと。
・毎回資料を配布します。万が一欠席した場合は、次回までに土居研究室に取りに来てください。

科目名	学期	単位数	担当者
祖典講読ⅣB	後期	2	松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する
テ ー マ：『声字実相義』を読む

授業の概要

『声字実相義』についての概論と、前期の授業で扱った内容の復習から始め、前期に引き続いて『声字実相義』を講読する。前期に引き続き授業を行うので、「祖典講読ⅢB」を受講することが好ましい。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．『声字実相義』の特色
3．『声字実相義』の基礎知識
4．『声字実相義』の歴史的背景と内容構成
5．釈名体義⑦
6．釈名体義⑧
7．釈名体義⑨
8．釈名体義⑩
9．釈名体義⑪
10．釈名体義⑫
11．『声字実相義』のまとめ①
12．『声字実相義』のまとめ②
13．『声字実相義』のまとめ③
14．弘法大師空海の『声字実相義』理解の独自性①
15．弘法大師空海の『声字実相義』理解の独自性②
16．記述試験

テキスト

高野山大学編『十巻章』高野山出版

参考書・参考資料等

宮坂宥勝監修 『空海コレクション２』 筑摩書房

学生に対する評価

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習および試験で判断する
試験（50%）授業内演習（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）原典の音読ができる
（良）原典の内容を部分的に理解できる
（優）『声字実相義』を体系的に理解できる

その他

科目名	密教学講読演習A 真言宗典講読2－1（別）
学期	前期
単位数	2
担当者	松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教尊像の基本的な智識を身につけ、漢訳図像資料を研究資料として扱えるようになることを目的とする。
テ ー マ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。

授業の概要

インドに興り、東南アジア･中国を経由し、日本に流布した密教は、その発展過程において様々な尊格を生み出した。当授業では密教図像に基づいて、大乗仏教の尊格をも含め、それぞれの密教尊格の形成と発展について、主として漢訳資料の像造表現を中心に考察を加える。インドの図像資料としては、『サーダナマーラー』や『ニシュパンナヨーガーヴァリー』等が基本的な資料であるが、まず、漢訳密教経典・儀軌、ならびに我が国に現存する図像資料を講読し、それぞれの図像的特徴からその尊格の展開をたどる。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．漢訳資料の基本的な扱い方
3．漢文資料の基本的な講読練習①
4．漢文資料の基本的な講読練習②
5．尊格表現方法の基本知識①
6．尊格表現方法の基本知識②
7．尊格表現方法の基本知識③
8．尊格表現方法の基本知識④
9．漢訳図像資料講読①
10．漢訳図像資料講読②
11．密教尊像の基本的な知識を深めるための密教経典・儀軌の考察
12．図像資料講読演習①
13．図像資料講読演習②
14．図像資料講読演習③
15．図像資料講読演習④
16. レポート試験

テキスト

大正新脩大蔵経　図像部

参考書・参考資料等

松長有慶編 『密教を知るためのガイドブック』 法蔵館　1995 年
頼富本宏・下泉全暁 『密教仏像図典』 人文書院　1994 年
佐和隆研 『仏像図典』 吉川弘文館　1962 年

学生に対する評価

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する。
レポート 60%　授業内演習 30%　ノート作成 10%

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）漢訳資料を扱える
（良）密教尊像に関する知識を得る
（優）密教図像に関する資料を扱える

その他

科目名	密教学講読演習B
学期	後期
単位数	2
担当者	松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：各種曼荼羅における密教尊像の基本構成を学習し、図像学の立場から密教の流伝を学ぶことを目的とする。
テ ー マ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。

授業の概要

密教学講読演習　真言宗典講読 2-1(別) で学んだ知識を基本とし、図像学的見地から各種曼荼羅の尊像の成立に関して様々な角度から比較研究を行う。
本授業では、前期で行った図像資料講読演習を基礎とし、曼荼羅に登場する尊格についての譜系を総合的に学習する。そのため、基礎知識として前期の授業での講読演習が不可欠となるので通期で受講することが望ましい。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．曼荼羅尊像に関する基礎知識①
3．曼荼羅尊像に関する基礎知識②
4．曼荼羅尊像に関する基礎知識③
5．曼荼羅尊像に関する基礎知識④
6．曼荼羅尊像に関する基礎知識⑤
7．曼荼羅尊像に関する基礎知識⑥
8．密教の流伝に関する基礎知識①
9．密教の流伝に関する基礎知識②
10．密教の流伝に関する基礎知識③
11．密教の流伝に関する基礎知識④
12．密教の流伝に関する基礎知識⑤
13．密教の流伝に関する基礎知識⑥
14．密教の流伝に関する基礎知識⑦
15．密教の流伝に関する基礎知識⑧
16．レポート試験

テキスト

大正新脩大蔵経　図像部

参考書・参考資料等

松長有慶編 『密教を知るためのガイドブック』 法蔵館　1995 年
頼富本宏・下泉全暁 『密教仏像図典』 人文書院　1994 年
佐和隆研 『仏像図典』 吉川弘文館　1962 年

学生に対する評価

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する
レポート 60% 授業中の演習 30% ノート作成 10%

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）曼荼羅に関する基礎知識を習得する
（良）密教尊像に関する基礎知識を習得する
（優）尊像の流伝に関して理解する

その他

科目名	密教学講読演習C
学期	前期
単位数	2
担当者	川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢文読解力と密教経典や註釈書等に対する知識を培う
テ ー マ：『大日経』を読む

授業の概要

真言密教において『金剛頂経』とともに「両部の大経」として重要視される『大日経』の漢訳テキストを、注釈書である『大日経疏』を参照しながら読み、その内容を学習します。受講者が分担してテキストを読解し、講師がそれに解説を加える形式で講義を進めます。なお本年度は、「住心品」、「具縁品」の主要な箇所を取り上げます。

授業計画

1．オリエンテーション
2．『大日経』とはどのような経典か　1
3．『大日経』とはどのような経典か　2
4．「住心品」を読む　序
5．「住心品」を読む　三句段　1
6．「住心品」を読む　三句段　2
7．「住心品」を読む　三句段　3
8．「住心品」を読む　三劫段　1
9．「住心品」を読む　三劫段　2
10．「具縁品」を読む　作壇法　1
11．「具縁品」を読む　作壇法　2
12．「具縁品」を読む　作壇法　3
13．「具縁品」を読む　灌頂作法　1
14．「具縁品」を読む　灌頂作法　2
15．試験

テキスト

プリントを配布します

参考書・参考資料等

福田亮成『新国訳大蔵経・密教部１　大日経』大蔵出版
頼富本宏『『大日経』入門　慈悲のマンダラ世界』大法輪閣
松長有慶『大日経住心品講讃』大法輪閣
高橋尚夫他『空海とインド中期密教』春秋社　など

学生に対する評価

試験（30%）、発表（40%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）密教経典に出る専門用語を理解し、説明することができる。
（良）『大日経』の漢訳テキストを読み、その内容をある程度に理解することができる。
（優）『大日経』の漢訳テキストを読み、その内容を注釈書や先行研究を用いて分析することができる。

その他

必ず予習して講義に臨んで下さい。

科目名	密教学講読演習D
学期	後期
単位数	2
担当者	川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢文読解力と密教経典や註釈書等に対する知識を培う
テ ー マ：『金剛頂経』を読む

授業の概要

真言密教において『金剛頂経』とともに「両部の大経」として重要視される『金剛頂経』の漢訳テキスト（不空訳・三巻本『教王経』）を読み、その内容を学習します。受講者が分担してテキストを読解し、講師がそれに解説を加える形式で講義を進めます。本年度は特に、序文と五相成身観、灌頂作法の部分を取り上げます。

授業計画

1．オリエンテーション
2．『金剛頂経』とはどのような経典か　1
3．『金剛頂経』とはどのような経典か　2
4．通序
5．別序
6．五相成身観　1
7．五相成身観　2
8．十六大菩薩の出生（金剛薩埵）1
9．十六大菩薩の出生（金剛薩埵）2
10．一切如来の集会（最勝羯磨王三摩地）
11．灌頂作法　1
12．灌頂作法　2
13．灌頂作法　3
14．灌頂作法　4
15．試験

テキスト

プリントを配布します

参考書・参考資料等

松長有慶他『新国訳大蔵経・密教部４　金剛頂経・理趣経他』大蔵出版
頼富本宏『『金剛頂経』入門　即身成仏への道』大法輪閣
高橋尚夫他『空海とインド中期密教』春秋社
津田真一『梵文和訳　金剛頂経』春秋社　など

学生に対する評価

試験（30%）、発表（40%）、授業参加の積極性（3,%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）密教経典に出る専門用語を理解し、説明することができる。
（良）『金剛頂経』の漢訳テキストを読み、その内容をある程度に理解することができる。
（優）『金剛頂経』の漢訳テキストを読み、その内容を注釈書や先行研究を用いて分析することができる。

その他

必ず予習して講義に臨んで下さい。

科目名　仏教学講読演習A

学期　前期
単位数　2
担当者　櫻木 潤

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の登場前夜といえる奈良時代の歴史書の講読を通じて、歴史学の研究手法を身につける。
テーマ：『続日本紀』を読み、国分寺・国分尼寺の建立、大仏造立などを通じて仏教が日本社会に根付いていく時代や社会の背景を知る。

授業の概要

歴史学は､史料にもとづいて歴史的事実を解明する学問です。本授業では、奈良時代研究の基本史料である『続日本紀』を輪読しながら、歴史学の研究手法と、史料としての歴史書の読み方を身につけることを目指します。

授業計画

1．授業ガイダンス－歴史学とはどのような学問か？－
2．歴史学研究における史料とは？
3．史料を読むための工具類の紹介
4．六国史のなかの『続日本紀』
5．奈良時代とはどのような時代か？
6．史料を読むための漢文訓読（1）
7．史料を読むための漢文訓読（2）
8．『続日本紀』を読む（1）
9．『続日本紀』を読む（2）
10．『続日本紀』を読む（3）
11．『続日本紀』を読む（4）
12．『続日本紀』を読む（5）
13．『続日本紀』を読む（6）
14．『続日本紀』を読む（7）
15．『続日本紀』を読む（8）
16．まとめ

テキスト

テキストとして、黒板勝美編『新訂増補国史大系　続日本紀』（吉川弘文館、1981年）を用いますが、プリントとして配布します。

参考書・参考資料等

小山田和夫『入門　史料を読む　古代・中世』（吉川弘文館、1995年）
吉川真司『天皇の歴史02　聖武天皇と仏都平城京』（講談社、2011年）
その他、授業中に適宜紹介します。

学生に対する評価

輪読担当部分の発表（40%）・予習・復習などの授業への参加度（60%）によって評価する。
全授業の3分の2以上（10回以上）に出席した者のみを成績評価の対象とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）歴史学の研究手法と史料としての歴史書の読み方について理解する。
（良）辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を読むことができる。
（優）辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を解釈することができる。

その他

卒業論文で歴史に関わるテーマに取り組もうと考えている場合は、必ず受講すること。各自に担当箇所を割り当てて史料を読み進めていきます。仏教学講読演習Bとあわせて受講することを勧めます。

科目名　仏教学講読演習B

学期　後期
単位数　2
担当者　櫻木 潤

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の時代に成立した仏教説話の講読を通じて、説話や寺社縁起を歴史学の史料ととらえて研究する手法を身につける。
テーマ：『日本霊異記』を読み。弘法大師空海の活躍した時代の人びとの信仰世界を知る。

授業の概要

歴史学は、史料にもとづいて歴史的事実を解明する学問です。本授業では､『日本霊異記』を読みながら、歴史学の研究手法と、史料としての説話や縁起の読み方を身につけることを目指します。

授業計画

1．授業ガイダンス
2．史料としての説話・縁起の読み方
3．『日本霊異記』とはどのような史料か？
4．史料を読むための漢文訓読の復習
5．『日本霊異記』を読む（1）
6．『日本霊異記』を読む（2）
7．『日本霊異記』を読む（3）
8．『日本霊異記』を読む（4）
9．『日本霊異記』を読む（5）
10．『日本霊異記』を読む（6）
11．寺社の縁起を読む（1）
12．寺社の縁起を読む（2）
13．寺社の縁起を読む（3）
14．寺社の縁起を読む（4）
15．寺社の縁起を読む（5）
16．まとめ

テキスト

テキストとして、『新日本古典文学大系30　日本霊異記』（岩波書店、1996年）などを用いますが、プリントとして配布します。

参考書・参考資料等

大隅和雄『〈日本の中世2〉信心の世界、遁世者の心』（中央公論新社、2002年）
その他、授業中に適宜紹介します。

学生に対する評価

担当の説話についての発表（40%）・予習・復習などの授業への参加度（60%）によって評価する。
全授業の3分の2以上（10回以上）に出席した者のみを成績評価の対象とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）歴史学の研究手法と、史料としての説話や縁起の読み方について理解する。
（良）辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を読むことができる。
（優）辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を解釈することができる。

その他

卒業論文で歴史に関わるテーマに取り組もうと考えている場合は、必ず受講すること。各自に担当する説話を割り当てて史料を読み進めていきます。仏教学講読演習Aとあわせて受講することを勧めます。

科目名　真言密教講読演習A　真言宗典講読2—2（別）

学期　前期
単位数　2
担当者　土居 夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山の伝統教学を通して、弘法大師の思想が後世どのように解釈され、真言行者の心得とされているのかについて理解し、事相と教相との関係を意識的に捉えることができるようになる。
テーマ：道範『初心頓覚鈔』を読む

授業の概要

弘法大師空海がもたらした真言密教は、事相と教相の二部門からなる。本演習で取り上げる『初心頓覚鈔』は、初心の真言行者の用心すなわち心得として正智院道範が著わした真言教学の入門書とも言える文献である。この講読演習では、この『初心頓覚鈔』で論じられる真言教学における仏陀・衆生・教義・行者の心得を読み進めながら、教相と事相との関係について考察する。受講生には担当を決め、書き下し・語注などを課す。

授業計画

1．概論（講義の進め方等）
2．高野山の教学①—大師以後の教学史—
3．　〃　　②—覚海と法性・道範—
4．『初心頓覚鈔』を読む ①
5．　〃　②
6．　〃　③
7．　〃　④
8．　〃　⑤
9．　〃　⑥
10．　〃　⑦
11．　〃　⑧
12．　〃　⑨
13．　〃　⑩
14．　〃　⑪
15．　〃　⑫
16．まとめ

テキスト

『初心頓覚鈔』、『真言宗全集』巻22、高野山大学続真言主全書刊行会
※授業中にコピーを配布します

参考書・参考資料等

『密教大辞典』、『仏教語大辞典』、『岩波仏教辞典』など。
※その他、授業において指示します。

学生に対する評価

期末レポート（50%）、授業内での質疑応答（30%）、発表（20%）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストの内容を大筋で理解できる。
（良）テキストの論義の内容を正確に理解できる。
（優）テキストの内容を正確に理解し、その内容についての自分の考えを論じることができる。

その他

・担当者を決めて、該当箇所についての書き下し・語注を発表してもらいます。
・発表担当回に、無断で欠席した者は、即時、失格とします。
・質問は必ずすること。授業中に質問をしなかった者は減点しますので、そのつもりで予習をすること。
・授業実数の3分の1を超えて欠席した者は失格とします。
・遅刻／早退については2分の1欠席と見なします。

科目名　真言密教講読演習B

学期　前期
単位数　2
担当者　T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：中院流の金剛界の伝授次第の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。
テーマ：中院流の金剛界の伝授次第の伝授と講義

授業の概要

中院流の一流伝授の最初に学習するのは両界の伝授次第である。金剛界の伝授次第は淳祐の『金剛界念誦次第　石山中院』（石山二巻次第）という中院流の本次第とそれを修法しやすくした宥快の『金剛界念誦頸次第　中院』（宥快和会次第）である。この授業では、石山二巻次第を参考しながら宥快和会次第を伝授し、四度加行の『金剛界念誦次第』（大門寺次第）と比較して､真言密教における深い意味を講義する。已潅頂者のみが受講できる。

授業計画

1．金剛界次第の種類と概略
2．金剛界伝授次第1
3．同上2
4．同上3
5．同上4
6．同上5
7．同上6
8．同上7
9．同上8
10．同上9
11．同上10
12．同上11
13．同上12
14．同上13
15．同上14
16．試験

テキスト

高岡隆心編『金剛界念誦次第　石山中院』と『金剛界念誦頸次第　中院』

参考書・参考資料等

『中院流聖教』3・4、『真言宗全書』24、『中院流四度宥快口傳』、『中院流四度長淳口訣』、『中院流四度宥勢口説』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、大山公淳『中院流の研究』、他

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）中院流の各種の金剛界次第の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。
（良）中院流の各種の金剛界次第の漢文を読み上げ、意味を解説できる。
（優）中院流の各種の金剛界次第の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。

その他

受講者は伝法潅頂入壇者（已潅頂者）のみとする。
授業は伝授形式なので、受講者は黒衣に如法依で受講する。
受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。

科目名	学期	単位数	担当者
真言密教講読演習C	後期	2	T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中院流の胎蔵界の伝授次第の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。
テ ー マ：中院流の胎蔵界の伝授次第の伝授と講義

授業の概要
中院流の一流伝授の最初に学習するのは両界の伝授次第である。胎蔵界の伝授次第は淳祐の『胎蔵界念誦次第　石山中院』（石山次第）という中院流の本次第とそれを修法しやすくした宥快の『胎蔵界念誦頸次第　中院』（宥快和会次第）である。この授業では、石山二巻次第を参考しながら宥快和会次第を伝授し、四度加行の『胎蔵界念誦次第』（大門寺次第）と比較して、真言密教における深い意味を講義する。已灌頂者のみが受講できる。

授業計画
1．胎蔵界次第の種類と概略
2．胎蔵界伝授次第１
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．同上７
9．同上８
10. 同上９
11. 同上 10
12. 同上 11
13. 同上 12
14. 同上 13
15. 同上 14
16. 試験

テキスト
高岡隆心編『胎蔵界念誦次第　石山中院』と『胎蔵界念誦頸次第　中院』

参考書・参考資料等
『中院流聖教』３・５、『真言宗全書』２５、『中院流四度宥快口傳』、『中院流四度長淳口訣』、『中院流四度宥勢口説』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、大山公淳『中院流の研究』、他

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）中院流の各種の胎蔵界次第の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。
（良）中院流の各種の胎蔵界次第の漢文を読み上げ、意味を解説できる。
（優）中院流の各種の胎蔵界次第の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。

その他
受講者は伝法灌頂入壇者（已灌頂者）のみとする。
授業は伝授形式なので、受講者は黒衣に如法依で受講する。
受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する

科目名	学期	単位数	担当者
真言密教講読演習D	前期	2	T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：『秘蔵記』の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。
テ ー マ：『秘蔵記』の研究１

授業の概要
『秘蔵記』は事相教相の主要な問題について約百か条にわたって口決が説かれているもので、真言密教にとって極めて大切な書物である。前期の講義では杲宝の『秘蔵記私鈔』を始め漢文注釈書を参考しながら『秘蔵記』の前半を読んでいく。伝統的な講伝形式で行うので、已灌頂者のみが受講できる。

授業計画
1．『秘蔵記』の概略と作者
2．『秘蔵記』の前半の講伝１
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．同上７
9．同上８
10. 同上９
11. 同上 10
12. 同上 11
13. 同上 12
14. 同上 13
15. 同上 14
16. 試験

テキスト
『秘蔵記』（『弘法大師全集』）、杲宝記『秘蔵記私鈔』の原文をコピーで配布

参考書・参考資料等
上田霊城著『秘蔵記講要』、小田慈舟著『秘蔵記講伝紀要』、『真言宗全書』９、『続真言宗全書』１５、１６の各注釈書、その他

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）『秘蔵記』の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。
（良）『秘蔵記』の漢文を読み上げ、意味を解説できる。
（優）『秘蔵記』の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。

その他
已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。
授業は講伝形式なので、受講者は一回目の授業から黒衣に如法依で受講する。
内容は後期に続くため、「真言密教講読演習Ｃ」を続けて受講することを推薦する。
受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。

科目名	学期	単位数	担当者
真言密教講読演習E	後期	2	T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：『秘蔵記』の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。
テ ー マ：『秘蔵記』の研究２

授業の概要
『秘蔵記』は事相教相の主要な問題について約百か条にわたって口決が説かれているもので、真言密教にとって極めて大切な書物である。後期の講義では杲宝の『秘蔵記私鈔』を始め漢文注釈書を参考にしながら『秘蔵記』の後半を読んでいく。伝統的な講伝形式で行うので、已灌頂者のみが受講できる。

授業計画
1．『秘蔵記』の後半の講伝１
2．同上２
3．同上３
4．同上４
5．同上５
6．同上６
7．同上７
8．同上８
9．同上９
10. 同上 10
11. 同上 11
12. 同上 12
13. 同上 13
14. 同上 14
15. 同上 15
16. 試験

テキスト
『秘蔵記』（『弘法大師全集』）、杲宝記『秘蔵記私鈔』の原文をコピーで配布

参考書・参考資料等
上田霊城著『秘蔵記講要』、小田慈舟著『秘蔵記講伝紀要』、『真言宗全書』９、『続真言宗全書』１５、１６の各注釈書、その他

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）『秘蔵記』の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。
（良）『秘蔵記』の漢文を読み上げ、意味を解説できる。
（優）『秘蔵記』の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。

その他
已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。
授業は講伝形式なので、受講者は一回目の授業から黒衣に如法依で受講する。
後期から受講はできるが、前期の「真言密教講読演習Ｄ」から続く内容のため、その受講を推薦する。
受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。

科目名	学期	単位数	担当者
密教学特殊講義A	前期	2	和田圭子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：代表的な仏教美術を中心に、飛鳥時代から鎌倉時代までの仏教美術の歴史を概観し、また、実際に仏像や仏画を見学することによって、仏教美術の基礎的理解と習得を目指す。
テ ー マ：日本仏教美術史

授業の概要
寺院に祀られる仏像や仏画は崇高な礼拝対象である一方、歴史的文化遺産としても重要な意義を持つ。授業では、飛鳥時代から鎌倉時代までの仏教美術について、彫像や仏画の代表的な作品を画像で示しつつ、その歴史について概観する。また、高野山霊宝館等、学外での実地見学をおこなう。

授業計画
1．仏教美術の基礎知識
2．飛鳥時代の仏教美術１
3．高野山霊宝館等学外での実地見学１
4．飛鳥時代の仏教美術２
5．奈良時代の仏教美術１
6．奈良時代の仏教美術２
7．高野山霊宝館等学外での実地見学２
8．平安時代前期の仏教美術１
9．平安時代前期の仏教美術２
10. 平安時代後期の仏教美術１
11. 高野山霊宝館等学外での実地見学３
12. 平安時代後期の仏教美術２
13. 鎌倉時代の仏教美術１
14. 鎌倉時代の仏教美術２
15. 高野山霊宝館等学外での実地見学４
16. レポートの課題に関する解説と講評

テキスト
授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等
水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』美術出版社
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価
授業、実地見学参加への積極性（50%）、期末レポート（50%）の比率で評価する。
前期授業終了までに各自テーマを設定し、それについて 4000 字程度のレポートを提出する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）仏教美術についての基礎知識を理解している。
（良）各時代の歴史的背景や仏教美術の特徴を理解している。
（優）各時代に代表的な作品を見ながらその特徴について説明できる。

その他
密教学特殊講義Ｂ（後期）を履修・聴講することが望ましい。
日本史に関する基礎知識を確認しておくこと。また、授業中に提示する仏教美術作品に興味を持ち、展覧会等を利用して実際に見学する機会を持ってほしい。

科目名
密教学特殊講義B
学期
後期
単位数
2
担当者
和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山内に伝わる仏教美術について学び、さらに実地に仏像、仏画等に接することによって、より深い仏教美術の知識を学び、培うことを到達目標とする。
テ ー マ：高野山における仏教美術研究

授業の概要

高野山における仏教美術について作品の特徴や歴史的意義について学ぶ。また、高野山霊宝館を主にその他学外において実地に仏像、仏画等を鑑賞しつつ知識を深める機会を設ける。

授業計画

1．はじめに：仏教美術作品鑑賞に関する基礎知識
2．高野山の仏教美術の歴史
3．高野山霊宝館等学外での実地見学（1）
4．高野山の仏教美術1
5．高野山の仏教美術2
6．高野山の仏教美術3
7．高野山霊宝館等学外での実地見学（2）
8．高野山の仏教美術4
9．高野山の仏教美術5
10．高野山の仏教美術6
11．高野山霊宝館等学外での実地見学（3）
12．高野山の仏教美術7
13．高野山の仏教美術8
14．高野山の仏教美術9
15. 高野山霊宝館等学外での実地見学（4）
16. レポートの課題に関する解説と講評

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

『日本古寺美術全集』集英社、『高野山秘宝大観』フジタ

学生に対する評価

期末レポート（50％）、授業、実地見学参加への積極性（50％）の比率で評価する。
霊宝館等において見学した作品を1点選び、それに関する4000字程度のレポートを提出する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）仏教美術鑑賞に関する基礎知識を理解している。
（良）高野山の仏教美術作品について概略を簡単に説明できる。
（優）高野山の仏教美術作品を見ながら自分の言葉で説明することができる。

その他

実際に仏像や仏画を見学する機会を増やし、様々な角度から研究してほしい。

科目名
仏教学特殊講義A
学期
前期
単位数
2
担当者
和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。
テ ー マ：仏像のかたち－その姿と意味　如来・菩薩編

授業の概要

仏尊は如来·菩薩·明王·天などに分類され、その姿は多種多様である。
授業では、仏画、仏像等、現存遺品の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印·持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画

1．はじめに：仏教美術の基礎知識
2．釈迦如来
3．薬師如来
4．阿弥陀如来
5．毘盧遮那仏と大日如来
6．弥勒仏と弥勒菩薩
7．十一面観音
8．千手観音
9．不空羂索観音等
10．如意輪観音等
11．文殊菩薩
12．普賢菩薩
13．地蔵菩薩
14．虚空蔵菩薩
15．妙見菩薩等
16．レポートの課題に関する解説と講評

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
関根俊一編『仏尊の事典』学習研究社
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業参加の積極度（40％）、期末レポート（60％）の比率で評価する。
後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する4000字程度のレポートを提出する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）仏教美術に関する基礎的な知識がある。
（良）各尊像の基本的な姿や形について特徴を理解している。
（優）各尊像の代表的な作例を挙げ、その特徴について自分の言葉で説明できる。

その他

仏教学特殊講義B（後期）を履修・聴講することが望ましい。
霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像の特徴について、研究してください。

科目名
仏教学特殊講義B
学期
後期
単位数
2
担当者
和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。
テ ー マ：仏像のかたち－その姿と意味　明王・天・その他編

授業の概要

仏尊は如来·菩薩·明王·天などに分類され、その姿は多種多様である。
授業では、仏画、仏像等、現存遺品の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印·持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画

1．不動明王
2．五大明王
3．愛染明王
4．孔雀明王
5．梵天・帝釈天
6．吉祥天・弁才天
7．四天王
8．毘沙門天
9．十二天
10．十二神将
11．八部衆等
12．閻魔・十王
13．仏弟子・祖師等
14．垂迹神等
15．その他
16．レポートの課題に関する解説と講評

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』
至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業参加への積極度（40％）、期末レポート（60％）の比率で評価する。
後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する4000字程度のレポートを提出する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）仏教美術に関する基礎的な知識がある。
（良）各尊像の基本的な姿や形について特徴を理解している。
（優）各尊像の代表的な作例を挙げ、その特徴について自分の言葉で説明できる。

その他

仏教学特殊講義A（前期）を履修・聴講することが望ましい。
霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像の特徴について研究してください。

科目名
仏教学特殊講義C
学期
前期
単位数
2
担当者
前谷　彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏教の基礎知識を徹底的に習得する。
テ ー マ：信心について

授業の概要

信心とは何か。

授業計画

1．オリエンテーション
2．信心と信仰の意味概念について考える。
3～7．親鸞の『歎異抄』に見る信心の意味について考える。
8～12．空海の著作に見られる信心の意味について考える。
13．浄土思想における信心と真言におけるそれを比較する。
14．総まとめ
15．総まとめ

テキスト

『歎異抄』金子大栄校注（岩波文庫）、『現代語の十巻章』※必要部分をコピーして配布

参考書・参考資料等

必要に応じて担当者が紹介する。

学生に対する評価

学期末のレポート（100％）によって評価する。

養成をめざす力

仏教思想の基礎知識を養う。日本語を読む力・聴く力

その他

科目名	仏教学特殊講義D
学期	後期
単位数	2
担当者	井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スピリチュアルケアを展開するために必要な諸理論を学び、支援技法の基本について理解を育む。
テ ー マ：理論と実践をつなぐための学び

授業の概要

スピリチュアルケアの歴史的背景とその本質を概観し、仏教理論と瞑想実践が内包しているケアの可能性を検討する。人間発達の諸段階を知り、理論と実践とのつながりを実感するためのディスカッションやエクササイズを交えながら授業を展開する。

授業計画

1．ホスピス運動の歴史的背景
2．スピリチュアルケアとは何か
3．仏教における相互看病の実践
4．解脱と悟りとスピリチュアリティ
5．愛着理論
6．発達理論：エリクソン、マーラー、スターン
7．自己実現と欲求の５段階説
8．人生で大切な５つの仕事
9．四摂法
10．移行対象と祈りの力
11．アンビバレンスを受けとめる器
12．見守る息づかいとしてのスピリチュアリティ
13．ケアが循環する社会へ
14．マインドフルネスの可能性
15．まとめと質疑応答

テキスト

『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウィマラ　青海社　（書店で購入）
『看護と生老病死』井上ウィマラ　三輪書店　（書店で購入）

参考書・参考資料等

『仏教心理学キーワード事典』春秋社

学生に対する評価

授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）スピリチュアルケアについて基本的な理解ができている。
（良）自分の言葉でスピリチュアルケアについて説明できる。
（優）臨床現場で実践できるであろうことが感じられる程度に理解が深められている。

その他

科目名	真言密教特殊講義A
学期	前期
単位数	2
担当者	中西雄泰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山真言宗の教師（住職）として必要な作法の習得
テ ー マ：事作法の伝授を通して教師（住職）の役割を理解する

授業の概要

高野山真言宗の教師（住職）として必要な別行次第、引導作法等の日用小作法の伝授

授業計画

1．授業の概要説明
2．中院流の成り立ちについて（1）
3．中院流の成り立ちについて（2）
4．中院流の成り立ちについて（3）
5．別行次第（理趣法）伝授説明（1）
6．別行次第（理趣法）伝授説明（2）
7．別行次第（理趣法）伝授説明（3）
8．別行次第（理趣法）伝授説明（4）
9．別行次第（理趣法）伝授説明（5）
10．開眼作法等日用小作法伝授説明（1）
11．開眼作法等日用小作法伝授説明（2）
12．開眼作法等日用小作法伝授説明（3）
13．開眼作法等日用小作法伝授説明（4）
14．開眼作法等日用小作法伝授説明（5）
15．
16．

テキスト

中川善教師編『理趣経法』
岩原諦信師編『真言宗壇用経典』　入手方法は授業で説明します。

参考書・参考資料等

必要に応じてコピーを配布

学生に対する評価

授業態度出席率（100%）　伝授の為試験は行いません。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）出席60%以上
（良）出席80%以上
（優）出席90%以上

その他

・受講者は伝法灌頂受了者に限る。
・衣体は黒衣、如法衣着用。改良服、作務服は不可。
・前期・後期を通して受講すること。

科目名	真言密教特殊講義B
学期	後期
単位数	2
担当者	中西雄泰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山真言宗の教師（住職）として必要な作法の習得
テ ー マ：事作法の伝授を通して教師（住職）の役割を理解する

授業の概要

高野山真言宗の教師（住職）として必要な別行次第、引導作法等の日用小作法の伝授

授業計画

1．真言宗の葬儀について（1）
2．真言宗の葬儀について（2）
3．引導作法伝授説明（1）
4．引導作法伝授説明（2）
5．引導作法伝授説明（3）
6．引導作法伝授説明（4）
7．引導作法伝授説明（5）
8．無常導師作法伝授説明（1）
9．無常導師作法伝授説明（2）
10．無常導師作法伝授説明（3）
11．無常導師作法伝授説明（4）
12．日用作法伝授説明（1）
13．日用作法伝授説明（2）
14．日用作法伝授説明（3）
15．日用作法伝授説明（4）
16．

テキスト

中川善教師編『理趣経法』
岩原諦信師編『真言宗壇用経典』　入手方法は授業で説明します。

参考書・参考資料等

必要に応じてコピーを配布

学生に対する評価

授業態度出席率（100%）　伝授の為試験は行いません。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）出席60%以上
（良）出席80%以上
（優）出席90%以上

その他

・受講者は伝法灌頂受了者に限る。
・衣体は黒衣、如法衣着用。改良服、作務服は不可。
・前期・後期を通して受講すること。

科目名	真言密教特殊講義C　密教儀礼の理論と実習1（別）
学期	前期
単位数	2
担当者	齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要

葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。

授業計画

1．葬送儀礼の歴史
2．真言宗の葬儀
3．～16．
導師と職衆の心得
高野山の寺家の葬儀（1）～（9）
戒名について
葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等）
葬儀に関する質疑応答

テキスト

宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂

参考書・参考資料等

自習は不要、予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。

学生に対する評価

レポート提出により採点（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）「高野山の寺家と在家の葬儀」について理解している。
（良）「高野山の寺家と在家の葬儀」について大まかに説明できる。
（優）「高野山の寺家と在家の葬儀」についてよく理解し、詳しい説明が出来る。

その他

【受講資格について】
原則として伝法潅頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名	真言密教特殊講義D 密教儀礼の理論と実習2（別）
学期	後期
単位数	2
担当者	齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要

『引導畧作法（二巻疏）』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。

授業計画

1.～16. 『引導畧作法（二巻疏）』の伝授と解説（1）～（15）

テキスト

宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂

参考書・参考資料等

自習は不要・予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。

学生に対する評価

レポート提出により採点（100％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）「二巻疏」と「葬儀の構成」を理解している。
（良）「二巻疏」について説明が出来る。
（優）「二巻疏」の詳しい説明を後進の者に伝えられる。

その他

【受講資格について】
原則として伝法潅頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已灌頂者と未潅頂者は、区別して講義します。（詳細は開講時に）

科目名	密教学演習A
学期	通年
単位数	4
担当者	野田悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：唐代の中国書論の重要性を理解し、読解を通じて議論し合い、書学における論文執筆のための研究ノウハウの習得。卒業制作の指導。
テ ー マ：中国書論を読み、討論し合う。

授業の概要

長安へ留学した空海が、中国式仏教ではなくインド仏教を学んだのは、それが原点だからである。書においても、中国最古の書体、篆書を学び、正鋒と呼ばれる筆法を日本に伝えた事を念頭に、当時空海が読んだとされる中国書論を輪読し、書の各分野における本質を分析する。その他、随時受講者の卒論進度状況をうかがう。

授業計画

1．オリエンテーション
2．中国の書論について①
3．中国の書論について②
4．中国の書論について③
5．孫過庭『書譜』①
6．孫過庭『書譜』②
7．孫過庭『書譜』③
8．孫過庭『書譜』④
9．孫過庭『書譜』⑤
10．孫過庭『書譜』⑥
11．孫過庭『書譜』⑦
12．孫過庭『書譜』⑧
13．孫過庭『書譜』⑨
14．孫過庭『書譜』⑩
15．研究発表
16．総括

1．卒業論文の中間報告①
2．卒業論文の中間報告②
3．空海の書論①
4．空海の書論②
5．空海の書論③
6．空海の書論④
7．空海の書論⑤
8．空海の書論⑥
9．空海の書論⑦
10．空海の書論⑧
11．空海の書論⑨
12．空海の書論⑩
13．空海の書論⑪
14．空海の書論⑫
15．研究発表
16．総括

テキスト

『精萃図説書法論』（西東書房）、『中国書画全書』（上海書画出版社）、（宋）陳思『書苑菁華』（北京図書館出版社）、『歴代書法論文選』（上海書画出版社）等からコピーを配布する。

参考書・参考資料等

『書譜序注疏』（上海古籍出版社）、中国書法ガイド38『書譜』（二玄社）、『中国書論大系』〔第二巻、第三巻〕（二玄社）

学生に対する評価

・定期試験（60％）＋それぞれの発表及び提出物（40％）での評価。
・それぞれの発表を10点満点とする。
・授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする。
・欠席（各－３点）、遅刻・欠席（－１点）を素点から引く計算で成績をつける。
・上記は前期・後期でそれぞれ計算し、最終的にその平均点の成績となる。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）書論の原文を自分自身の解釈で発表できる。
（良）自分自身の研究課題を提示し、先人研究者のそれぞれの見解の違いを細かく分析することができる。
（優）研究執筆において、目新しい独自の観点を見出すことができる。

その他

・書または篆刻に関する研究を希望する受講生が望ましく、書道史を受講していることが相応しい。
・随時、書道作品に関する課題を課す。同じく研究の進捗状況を授業の中で確認する。
・人数や能力よっては相談により、テキスト等を変更する場合もある。

科目名	密教学演習B
学期	通年
単位数	4
担当者	奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを歴史的文脈に当てはめて解釈できるようになること。
テ ー マ：釈雲照の研究

授業の概要

釈雲照（しゃく・うんしょう、1854 － 1923）は日本近代の代表的な真言僧の一人である。彼は律師として知られ、目白僧園、十善会を主宰するなどして、日本仏教の復興・改革運動の一翼を担った。その弟子にはセイロンに留学した釈興然などがいる。本授業は、雲照の思想と行動を草繋全宜編の『釈雲照』に収められた書簡類や彼の著作の読解を通じて探ってゆく。基本的には、当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。

授業計画

前期
1．ガイダンス
2．釈雲照の生涯（1）
3．釈雲照の生涯（2）
4．釈雲照の生涯（3）
5．釈雲照の書簡を読む（1）
6．釈雲照の書簡を読む（2）
7．釈雲照の書簡を読む（3）
8．釈雲照の書簡を読む（4）
9．釈雲照の書簡を読む（5）
10．釈雲照の書簡を読む（6）
11．釈雲照の書簡を読む（7）
12．釈雲照の書簡を読む（8）
13．釈雲照の書簡を読む（9）
14．釈雲照の書簡を読む（10）
15．まとめ

後期
1．ガイダンス
2．釈雲照と近代真言宗史（1）
3．釈雲照と近代真言宗史（2）
4．釈雲照と近代真言宗史（3）
5．釈雲照の著作を読む（1）
6．釈雲照の著作を読む（2）
7．釈雲照の著作を読む（3）
8．釈雲照の著作を読む（4）
9．釈雲照の著作を読む（5）
10．釈雲照の著作を読む（6）
11．釈雲照の著作を読む（7）
12．釈雲照の著作を読む（8）
13．釈雲照の著作を読む（9）
14．釈雲照の著作を読む（10）
15．総まとめ

テキスト

草繋全宜編『釈雲照』全３巻

参考書・参考資料等

授業中に指示する。

学生に対する評価

予習・発表準備状況（60％）、授業参加状況（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）釈雲照の文章を声に出して正確に読むことができる。
（良）釈雲照の文章の内容を理解し、まとめることができる。
（優）釈雲照の文章の内容を分析し、そこに込められた思想のアウトラインを描くことができる。

その他

科目名	密教学演習C
学期	通年
単位数	4
担当者	前谷彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏教の基礎知識を養う。
テ ー マ：仏教要語の意味を徹底的に探究する。

授業の概要

前期は仏教要語の基礎知識を養い、後期は学術論文の書き方や個々の論文指導卒論指導を行う。

授業計画

1．オリエンテーション
2～15回（前期）は、仏教要語を原語から掘り出し、その意味を解説する。
後期15回分は論文指導を行う。

テキスト

担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等

必要に応じて担当者が紹介する。

学生に対する評価

学期末のレポート（100％）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）講義で指示する課題をこなすこと。
（良）仏教要語に関して、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を持っていること。
（優）講義を通して、学術論文の書き方を習得すること。

その他

科目名：密教学演習D
学期：通年
単位数：4
担当者：櫻木 潤

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教や真言宗・高野山などのテーマについて、歴史学的な視点から各自の研究課題を見出し、歴史学の手法によって考察する力を養う。
テ ー マ：歴史学の研究手法を身につけ、先行研究を批判し、歴史資料の読解を通じて研究テーマを定める。

授業の概要

密教学科の学生の中で、主として歴史学を学びたい者を対象に演習を行う。歴史学的な研究手法を指導しながら、受講生が各自の研究課題を定めて、基礎的な考察を開始し、卒業論文につなげることを目指す。
授業は各自の調査・研究発表が中心となる。各自が調査成果を報告するとともに、受講生同士で積極的に質疑応答を行うなど、活発にコミュニケーションをはかってほしい。

授業計画

【前期】	【後期】
1．演習の内容・方針の説明、自己紹介	1．夏休みの成果の確認
2．参考文献や研究論文の探し方	2．前期の学習成果の再確認
3．研究課題への構想（各自の発表）	3．後期の課題を考える（史料の探索）
4．研究論文の読み方	4．史料を通じた研究テーマの模索①（発表）
5．歴史研究のための工具類の紹介	5．史料を通じた研究テーマの模索②（発表）
6．先行研究の要約①（レジュメ作成･発表）	6．史料を通じた研究テーマの模索③（発表）
7．先行研究の要約②（レジュメ作成･発表）	7．史料を通じた研究テーマの模索④（発表）
8．先行研究の要約③（レジュメ作成･発表）	8．史料を通じた研究テーマの模索⑤（発表）
9．先行研究の要約④（レジュメ作成･発表）	9．史料を通じた研究テーマの模索⑥（発表）
10．先行研究の要約⑤（レジュメ作成･発表）	10．史料を通じた研究テーマの模索⑦（発表）
11．先行研究の要約⑥（レジュメ作成･発表）	11．史料を通じた研究テーマの模索⑧（発表）
12．先行研究の要約⑦（レジュメ作成･発表）	12．史料を通じた研究テーマの模索⑨（発表）
13．先行研究の要約⑧（レジュメ作成･発表）	13．史料を通じた研究テーマの模索⑩（発表）
14．先行研究の要約⑨（レジュメ作成･発表）	14．史料を通じた研究テーマの模索⑪（発表）
15．レポートの書き方	15．レポートの書き方
16．まとめと総括	16．まとめと総括

テキスト

受講生全体へのテキストは用いず、各自の研究課題に応じてテキストを指定する。

参考書・参考資料等

各自の研究課題にしたがって、随時紹介する。

学生に対する評価

授業への参加度（40％）・発表内容（40％）・レポート（20％）によって評価する。
全授業の3分の2以上（10回以上）に出席した者のみを成績評価の対象とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）研究論文の内容を批判的に把握することができる。
（良）関係史料の語るところを正確に読み解くことができる。
（優）研究の現状と問題点を把握し、研究テーマを選定することができる。

その他

・史料読解の訓練のため、仏教学講読演習Ａ・Ｂを必ず履修すること。
・各自が意欲的に研究課題に向き合うこと。発表ではじっくりと時間をかけて下調べを行い、詳しいレジュメを作成すること。
・高野山内をはじめとするフィールドワークや資料調査などの現地踏査にも積極的に参加してほしい。

科目名：密教学演習E
学期：通年
単位数：4
担当者：土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：真言教学の研究で必要となる用語や解釈の基礎知識を養うとともに、文献研究における調査・読解・批判の手法を実践し、論文執筆時に求められる技能の修得を目指す。
テ ー マ：『宗義決択集』の研究

授業の概要

今日の高野山に伝わる宝門・壽門という２大学派の内、宝門の論義書である『宗義決択集』には、真言宗の教義を学ぶ上での重要問題が問答形式で多く収められている。この『宗義決択集』所収の論義には、心・生命・存在などといった今日に通じる問題も数多く含まれている。これらの論義から今年度は、機根関係のもの（前期）と六大関係のもの（後期）を取り上げ、受講生とともに語注・現代語訳を施しつつ読み進める。

授業計画

1．概要（講義の進め方）	1．概要（講義の進め方）
2．高野山の教学史と『宗義決択集』①	2．「凡聖六大」①
3．〃 ②	3．〃 ②
4．〃 ③	4．〃 ③
5．〃 ④	5．〃 ④
6．「宿善有無」①	6．〃 ⑤
7．〃 ②	7．〃 ⑥
8．〃 ③	8．〃 ⑦
9．〃 ④	9．「六大仏形」①
10．〃 ⑤	10．〃 ②
11．「上根上智」①	11．〃 ③
12．〃 ②	12．〃 ④
13．〃 ③	13．〃 ⑤
14．〃 ④	14．〃 ⑥
15．〃 ⑤	15．後期のまとめ
16．前期のまとめ	16．総括

テキスト

『宗義決択集』、『真言宗全集』巻 19、高野山大学続真言主全書刊行会
※ 授業中にコピーを配布します

参考書・参考資料等

・小田慈舟訳『宗義決択集』、『国訳一切経』和漢撰述部、「諸宗部」21、大東出版社。
・『密教大辞典』、『仏教語大辞典』、『岩波仏教辞典』 など。
※ その他、授業において指示します。

学生に対する評価

・授業内での発表（50％）、授業内での質疑応答（30％）、各期末レポート（20％）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）論義の内容を正確に理解できる。
（良）論義の内容を正確に理解し、現代語に翻訳することができる。
（優）論義の内容を正確に理解し、その内容についての自分の考えを論理的な文章で論じることができる。

その他

・取り上げる論義については、受講生と話し合い、希望等によって変更する場合もあります。
・担当者を決めて、該当論義についての語注・現代語訳を発表してもらいます。
・発表担当回に、無断で欠席した者は、即時、失格とします。
・質問は必ずすること。授業中に質問をしなかった者は減点しますので、そのつもりで予習をすること。
・授業実数の３分の１を超えて欠席した者は失格とします。
・遅刻／早退については２分の１欠席と見なします。

科目名：密教学演習F
学期：通年
単位数：4
担当者：松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏教・密教尊格の整理と典拠となる文献について学ぶ。
テ ー マ：密教図像学における尊格の変遷について文献通じて考察する。

授業の概要

仏教では大乗仏教の拡がりに相応して多種多様な尊格が登場する。大乗仏教の延長線上に位置する密教では、大乗仏教で生み出された尊格のみならず、密教独自の尊格を生み出し、密教の世界観を顕わす曼荼羅に配置した。これらの密教尊格の成立と発展に関して考察する。

授業計画

1．授業の進め方	1．研究内容の中間報告①
2．仏教尊格の基礎知識①	2．研究内容の中間報告②
3．仏教尊格の基礎知識②	3．図像資料の講読⑥
4．密教尊格の基礎知識①	4．図像資料の講読⑦
5．密教尊格の基礎知識②	5．図像資料の講読⑧
6．曼荼羅の基礎知識①	6．図像資料の講読⑨
7．曼荼羅の基礎知識②	7．図像資料の講読⑩
8．曼荼羅の基礎知識③	8．各研究テーマの演習発表①
9．図像資料の講読①	9．各研究テーマの演習発表②
10．図像資料の講読①	10．各研究テーマの演習発表③
11．図像資料の講読②	11．各研究テーマの演習発表④
12．図像資料の講読③	12．各研究テーマの演習発表⑤
13．図像資料の講読④	13．各研究テーマの演習発表⑥
14．図像資料の講読⑤	14．各研究テーマの演習発表⑦
15．研究課題の設定	15．各研究テーマの演習発表⑧
16．総括	16．総括

テキスト

授業で随時配布する

参考書・参考資料等

『大正新脩大蔵経』「密教部、図像部」、
『The Indian Buddhist Iconography』

学生に対する評価

・それぞれの発表及び提出物で評価。
・それぞれの発表を10点満点とする。
・授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする。
・欠席（各－３点）、遅刻・欠席（－１点）を素点から引く計算で成績をつける。
・上記は前期・後期でそれぞれ計算し、最終的にその平均点の成績となる。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）原文を自分自身の解釈で発表できる。
（良）自分自身の研究課題を提示し、先人研究者のそれぞれの見解の違いを細かく分析することができる。
（優）研究において、目新しい独自の観点を見出すことができる。

その他

科目名：密教学演習G
学期：通年
単位数：4
担当者：南 昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な読解力・調査手法を養い、論文執筆に際しての形式などを修得し、文献を批判的に読む訓練をする。
テ ー マ：外典（仏教書以外の漢文）を読む。

授業の概要

外典（仏教書以外の漢文）を読んで、漢文の読解力を高める。受講生には、毎回の予習・発表を求める。

授業計画

1．ガイダンス	17.『老子』の読解（１）
2．『論語』の読解（１）	18.『老子』の読解（２）
3．『論語』の読解（２）	19.『老子』の読解（３）
4．『論語』の読解（３）	20.『老子』の読解（４）
5．『論語』の読解（４）	21.『老子』の読解（５）
6．『論語』の読解（５）	22.『老子』の読解（６）
7．『論語』の読解（６）	23.『老子』の読解（７）
8．『論語』の読解（７）	24.『老子』の読解（８）
9．『論語』の読解（８）	25.『老子』の読解（９）
10.『論語』の読解（９）	26.『老子』の読解（10）
11.『論語』の読解（10）	27.『老子』の読解（11）
12.『論語』の読解（11）	28.『老子』の読解（12）
13.『論語』の読解（12）	29.『老子』の読解（13）
14.『論語』の読解（13）	30.『老子』の読解（14）
15.『論語』の読解（14）	31.『老子』の読解（15）
16. 期末試験	32. 期末試験

テキスト

授業計画で『論語』『老子』としたのは例に過ぎない。受講生が希望するものを読む。

参考書・参考資料等

『大漢和辞典』など。

学生に対する評価

発表 50％。発表回数最多の者を 50 点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験 50％。授業中に発言しなかった者は欠席とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）著者の意図を正確に理解できる。
（良）著者の意図を正確に理解し、自分の考えを文章化できる。
（優）著者の意図を正確に理解し、自分の考えを説得力ある文章にできる。

その他

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。

科目名：密教学演習H
学期：通年
単位数：4
担当者：南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な読解力・調査手法を養い、論文執筆に際しての形式などを修得し、文献を批判的に読む訓練をする。
テ　ー　マ：卒業論文の執筆。

授業の概要
４年次生のみを対象とする、再履修クラス。各自の卒業論文に関係する文献を読んでまとめる。疑問点・問題点などを調査し、文章にする。文章は相互に読み合い、意見を交換し、作文能力・技術を養う。

授業計画
1．ガイダンス
2．『卒業論文に関する調査･報告（1）
3．『卒業論文に関する調査･報告（2）
4．『卒業論文に関する調査･報告（3）
5．『卒業論文に関する調査･報告（4）
6．『卒業論文に関する調査･報告（5）
7．『卒業論文に関する調査･報告（6）
8．『卒業論文に関する調査･報告（7）
9．『卒業論文に関する調査･報告（8）
10．『卒業論文に関する調査･報告（9）
11．『卒業論文に関する調査･報告（10）
12．『卒業論文に関する調査･報告（11）
13．『卒業論文に関する調査･報告（12）
14．『卒業論文に関する調査･報告（13）
15．『卒業論文に関する調査･報告（14）
16．期末試験
17．卒業論文執筆の中間報告（1）
18．卒業論文執筆の中間報告（2）
19．卒業論文執筆の中間報告（3）
20．卒業論文執筆の中間報告（4）
21．卒業論文執筆の中間報告（5）
22．卒業論文執筆の中間報告（6）
23．卒業論文執筆の中間報告（7）
24．卒業論文執筆の中間報告（8）
25．卒業論文執筆の中間報告（9）
26．卒業論文執筆の中間報告（10）
27．卒業論文執筆の中間報告（11）
28．卒業論文執筆の中間報告（12）
29．卒業論文執筆の中間報告（13）
30．卒業論文執筆の中間報告（14）
31．卒業論文執筆の中間報告（15）
32．期末試験

テキスト
各自の興味・関心に即して、それぞれに決める。

参考書・参考資料等
『密教大辞典』『仏教語大辞典』『大漢和辞典』『国史大辞典』など。

学生に対する評価
発表50%。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50%。授業中に発言しなかった者は欠席とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）著者の意図を正確に理解できる。
（良）著者の意図を正確に理解し、自分の考えを文章化できる。
（優）著者の意図を正確に理解し、自分の考えを説得力ある文章にできる。

その他
授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。

科目名：密教学演習I
学期：通年
単位数：4
担当者：T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。
テ　ー　マ：秘密儀軌を読み、内容を理解する。

授業の概要
前期は十八道次第の元となった請来された漢文の秘密儀軌を読みながら、十八道次第の理解を深める。『如意輪儀軌』、『無量寿儀軌』、『甘露軍荼利儀軌』、『烏芻澁麼儀軌』、『阿閦法』等を平行して解読しながら比較研究を行う。後期は胎蔵次第・金剛界次第と関連する秘密儀軌の内容について考察する。『大日経』関連の成就法として『聖観自在儀軌』、『七支念誦法』、『立印儀軌』などを読む。『金剛頂経』系の儀軌については『蓮華部心軌』、『如意輪瑜伽』、『文殊菩薩供養法』、『五秘密儀軌』などを読む。已潅頂者のみが受講できる。

授業計画
（前期）
1．秘密儀軌、十八契印、十八道次第について
2．十八道系の儀軌を読む１
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．同上７
9．同上８
10．同上９
11．同上10
12．同上11
13．同上12
14．同上13
15．同上14
16．試験

（後期）
1．『大日経』関連の儀軌を読む１
2．同上２
3．同上３
4．同上４
5．同上５
6．同上６
7．『金剛頂経』系の儀軌を読む１
8．同上２
9．同上３
10．同上４
11．同上５
12．同上６
13．同上７
14．同上８
15．同上９
16．試験

テキスト
浄厳の江戸期の木版本『秘密儀軌』からコピーを配布

参考書・参考資料等
『真言宗全書』、『続真言宗全書』、『大正新脩大蔵経』、『大日本校訂大蔵経』、『定本国訳秘密儀軌』、など

学生に対する評価
レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）秘密儀軌の漢文を読み上げることができ、密教の基本用語を覚えている。
（良）秘密儀軌の漢文を読み上げ、テキストを見ながら説明できる
（優）秘密儀軌の漢文を読み上げ、複数の参考書を見ながら真言密教におけるその意義について自分の言葉で説明できる。

その他
受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習する。
別に課題を与えて受講生による発表を行う。
プログラムは改訂される場合がある。
受講者は伝法潅頂入壇者（已潅頂者）のみとする。

科目名：総合科目（古文書入門）
学期：後期
単位数：2
担当者：坂口太郎

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本の古文書に関する基礎知識や読解能力を身につける。
テ　ー　マ：「日本の古文書を読む」

授業の概要
この授業では、中世・近世の古文書を教材として、「変体漢文」やくずし字を理解する基礎を養う。

授業計画
1．古文書序説（古文書とは何か、辞典の使い方、史資料の調査方法など）
2．古文書の形状と種類
3．古文書の日付
4．古文書の差出書と署判
5．古代・中世文書を読む①
6．古代・中世文書を読む②
7．古代・中世文書を読む③
8．近世文書を読む①
9．近世文書を読む②
10．近世文書を読む③
11．古文書の「かたち」①
12．古文書の「かたち」②
13．古文書の原本を熟覧する①
14．古文書の原本を熟覧する②
15．期末試験
16．試験解説
※ 内容は、進度や受講生の関心に応じて変わる場合がある。

テキスト
児玉幸多編『くずし字用例辞典　普及版』（東京堂 出版、1993年）
書店で購入
また、古文書の図版プリントを配布する

参考書・参考資料等
佐藤進一『［新版］古文書学入門』（法政大学出版局、1997年）
田中稔『中世史料論考』（吉川弘文館、1993年）第１部「日本の古文書」
日本歴史学会編『演習古文書選　古代・中世編』（吉川弘文館、1971年）
『演習古文書選　近世編』（吉川弘文館、1976年）
青木和夫ほか編『文献史料を読む―古代から近代―』
（朝日新聞社、2000年）

学生に対する評価
授業中の参加態度（予習および発言、50%）　期末試験（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）基礎的なくずし字を理解している。
（良）くずし字で書かれた古文書の内容を理解できる。
（優）古文書の解読能力を習得するとともに、古文書の形態に関する専門的な知識を習得している。

その他
講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。
毎回、宿題としてプリントを配付するので、必ず答案を作成して次回の授業に臨むこと。また、『くずし字用例辞典　普及版』を必ず購入して、授業に持参すること。（類似の『くずし字解読辞典』と間違えやすいので、購入の際には要注意）。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名：総合科目（書誌学）
学期：前期
単位数：2
担当者：坂口太郎

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：古典籍をめぐる諸問題を通して、古典籍を調査・研究する上での学問的素地をつちかう。
テ　ー　マ：「古典籍と書誌学・文献学」

授業の概要
古典籍の伝来過程、巻子装・折本装などの諸形態を学ぶとともに、著名な蒐書家とその蔵書、古典籍の収蔵機関とその調査方法についての専門的知識を習得する。また、文献学に必要な本文批判の技法についても学ぶ。

授業計画
1．書誌学と古典籍
2．古典籍の諸形態
3．古典籍の保存と伝来の原因
4．古典籍と紙・筆
5．近世の蒐書家たち①
6．近世の蒐書家たち②
7．近現代における古典籍①
8．近現代における古典籍②
9．巻子装と冊子装
10．古典籍の書き方と種類
11．古典籍の取り扱い方
12．文献学と本文批判①
13．文献学と本文批判②
14．文献学と本文批判③
15．高野山霊宝館の見学
16．まとめ
※ 内容は進度によって変わる場合がある。

テキスト
プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める。

参考書・参考資料等
橋本不美男『原典をめざして』（笠間書院、1974年）
山岸徳平『書誌学序説』（岩波書店、1977年）
川瀬一馬『日本における書籍蒐蔵の歴史』（ぺりかん社、1999年）
藤本孝一『日本の美術　古写本の姿』（至文堂、2002年）
藤本孝一『日本の美術　文書・写本の作り方』（至文堂、2008年）
藤本孝一『本を千年伝える』（朝日新聞出版、2012年）

学生に対する評価
レポート（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）古典籍について基礎的な知識を習得している。
（良）古典籍の諸形態について理解し、系統的に説明できる。
（優）古典籍について幅広い専門的知識を持ち、原本調査や文献研究に必要な見識を習得している。

その他
講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。
必要に応じて、参考書や講義で紹介する論著を読むこと。なお、書誌学はすぐれて専門性が高いので、内容は高度である。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名 企画科目（寺院経営講座）
学期 前期
単位数 2
担当者 加賀　博

授業の到達目標及びテーマ
21世紀に期待される寺院の経営マネジメントの基本知識を学び、今後の寺院経営に必要な経営戦略の立て方とマネジメントの方法を修得する。

授業の概要
現在の寺院の経営課題の分析方法を学び、解決方法として期待される寺院の経営理念設計および経営戦略の具体的立案方法と寺院経営マネジメントの方法を講義とグループワーク方式で実践的に学ぶ。

授業計画
1．21世紀寺院のかかえる問題と課題
2．今日まで日本及び日本人を支えてきた寺院の役割
3．21世紀寺院の重要性と再生復活テーマ
4．寺院組織管理重要ポイント
5．宗教法人の経営（会計）管理
6．宗教法人の税務管理
7．僧侶キャリアデザイン
8．僧侶プレゼンテーション基本スキル
9．僧侶ホスピタリティコミュニケーション基本スキル
10. 僧侶ホスピタリティコミュニケーション1
11. 僧侶ホスピタリティコミュニケーション2
12. 僧侶ホスピタリティコミュニケーション3
13. 僧侶ホスピタリティコミュニケーション4
14. 僧侶としてのストレスケアアドバイス基本スキル
15. 寺院、僧侶のリスクマネジメント（パワハラ、セクハラ、トラブル、SNS書き込み対策など）
16. 期末試験

テキスト
日本及び日本人のセイフティネット　未来社会を変える寺院基本経営学
著書：加賀　博　㈱カナリアコミュニケーションズ発行

参考書・参考資料等
「せとぎわの仏教」－僧侶と寺院の未来－
財団法人　全国青少年教化協議会　編（鎌倉新書　発行）
他は講師が授業内で紹介する。

学生に対する評価
授業態度・自己チェックレポート（毎回提出）（40％）
期末試験（60％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）講義内容を理解でき、積極的意見発表、質問ができる。（60～69点）
（良）講義テーマについてセルフワークが十分でき、グループワークで議論ができる。（70～79点）
（優）講義テーマについてプレゼンテーションやマネジメントができる。（80点以上）

その他
将来寺院を継承したり、就業したりするためのモチベーションを高め、21世紀寺院に求められる社会的役割を自覚し、積極的に将来ビジョンを考え、学生相互に刺激し合い、啓発し合うことを望みます。

科目名 企画科目（社会調査入門）
学期 前期
単位数 2
担当者 森本　一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：社会調査の基礎・概要を理解する。
テ ー マ：社会調査士科目Ａ

授業の概要
社会調査の基礎・概要について学ぶとともに、社会調査がなぜ必要であり、なぜ基礎的な技法を学ばなければならないのかを考える。

授業計画
1．社会調査の目的と意義
2．社会調査の歴史
3．調査倫理
4．量的調査と質的調査
5．既存統計データ（1）
6．既存統計データ（2）
7．量的調査（1）質問紙調査の概要
8．量的調査（2）統計処理の方法
9．量的調査（3）質問紙調査の事例
10. 量的調査（4）質問紙調査の事例
11. 質的調査（1）質的調査の概要
12. 質的調査（2）インタビュー調査の事例
13. 質的調査（3）質観察法の事例
14. 質的調査（4）ドキュメント分析の事例
15. 社会調査の可能性―実際の調査事例
16.

テキスト
特になし

参考書・参考資料等
プリントを配布する。

学生に対する評価
レポート（70％）、小レポートと授業参加の積極性（30％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）社会調査の基礎的な用語について説明ができる。
（良）社会調査の各方法について説明ができる。
（優）社会調査の設計ができる。

その他

科目名 企画科目（質的調査論）
学期 後期
単位数 2
担当者 森本　一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：質的調査法の概要を知る。
テ ー マ：社会調査士科目F

授業の概要
質的調査を概説することを通して、データの収集能力を涵養することをめざす。状況によっては質的調査を実体験し、それを報告してもらうこともある。

授業計画
1．質的調査法とは何か
2．報告書を読む（1）
3．報告書を読む（2）
4．面接法（1）
5．面接法（2）
6．参与観察（1）
7．参与観察（2）
8．ライフヒストリー（1）
9．ライフヒストリー（2）
10. ドキュメント分析（1）
11. ドキュメント分析（2）
12. 会話分析法
13. フィールドワーク（1）
14. フィールドワーク（2）
15. 質的分析と量的分析の交流
16.

テキスト
特になし

参考書・参考資料等
プリントを配布する。

学生に対する評価
レポート（70％）、小レポートと授業参加の積極性（30％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）質的調査の基礎的な用語について説明ができる。
（良）質的調査の各方法について説明ができる。
（優）質的社会調査の設計ができる。

その他

科目名 企画科目（舞踊）
学期 通年
単位数 2
担当者 高祖彩恵子　辻佐智子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教舞踊の基礎を身につけ、練習を積み重ねることにより、心、技、体を磨く。
テ ー マ：御詠歌に合わせて舞い、宗教舞踊の楽しさを感得する。

授業の概要
宗教舞踊の基本的な身体の動かし方・理念・法具の扱い方・教典の譜の見方等基本を学ぶ。
御詠歌の歌詞の意味、舞踊で表現されている意味を学び、心の表現の仕方について学ぶ。

授業計画
1．宗教舞踊を見てみる。基本的理念・法具（持ち物）の扱い方の解説。「孝道和讃」
2．「宗歌」により身体の動かし方の基本を学ぶ。
3．「宗歌」（1）
4．「宗歌」（2）
5．「宗歌」（3）
6．「宗歌」の歌詞を学ぶ
7．「宗歌」の仕上げ
8．「玉藻」（1）
9．「玉藻」（2）
10. 「玉藻」（3）
11. 「玉藻」（4）
12. 「玉藻」の歌詞を学ぶ
13. 「玉藻」（5）
14. 「玉藻」の仕上げ
15. 教典の譜の見方を学ぶ。
16. 「密厳浄土誓願和讃」（1）
17. 「密厳浄土誓願和讃」（2）
18. 「密厳浄土誓願和讃」（3）
19. 「密厳浄土誓願和讃」（4）
20. 「密厳浄土誓願和讃」（5）
21. 「密厳浄土誓願和讃」（6）
22. 「密厳浄土誓願和讃」（7）
23. 「密厳浄土誓願和讃」（8）
24. 「密厳浄土誓願和讃」（9）
25. 「密厳浄土誓願和讃」（10）
26. 「密厳浄土誓願和讃」歌詞を学ぶ
27. 「密厳浄土誓願和讃」仕上げ（1）
28. 「密厳浄土誓願和讃」仕上げ（2）
29. 登壇の仕方を学ぶ
30. 実技試験

テキスト
高野山宗教舞踊会師範会監修教典（1曲ずつの教典）を大師教会で購入

参考書・参考資料等
高野山金剛流宗教舞踊基本教典
『はじめての「高野山宗教舞踊」入門』セルバ出版

学生に対する評価
授業中の技術の習熟度（30％）　努力度（30％）　実技試験（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）基本的動作（合掌の形・立座の仕方・法具の扱い方）が出来る
（良）御詠歌に合わせて舞う事が出来る
（優）歌詞を理解し、心を表現しながら舞う事が出来る

その他
単位取得者は希望により『高野山金剛流宗教舞踊会』の〔入門〕と〔初伝〕が取得出来る

科目名：企画科目（おもしろ数学思考力）
学期：前期
単位数：2
担当者：木地茂典

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：数学がこんなところにもという感性づくり、何よりも数学的判断により事がすすんだという実践感をもてることであり、志向性が感じられることを目標に考えています。
テ ー マ：人間学部のなかで自然科学の基礎となる教養をこの大学で哲学・宗教の枠を超えた森羅万象すべてに通じる数学の概念を解いていく。

授業の概要
人間が生きていく上で知っておきたい概念のひとつに数学の考え方がある。それが大学でも必要としてほしい概念のひとつでもあります。日常の生活の中でも【こんなところにも数学が！】を感じながら自然と使われている考え方をこの講座を通して知っていき楽しさを得られる感性づくりを学び理解していくことを目標として計画していく。そのうえで【人生になぜ数学が必要か】をまとめていきたいと考えている。

授業計画
1．高野山大学における数学の必要性（序章）
2．代数的思考編（1）
3．代数的思考編（2）
4．幾何的思考編（1）
5．幾何的思考編（2）
6．実用的確率思考編（1）
7．実用的確率思考編（2）
8．日常的なものとの対比編（1）
9．日常的なものとの対比編（2）
10. 論理編（1）
11. 論理編（2）
12. 哲学的論理編（1）
13. 哲学的論理編（2）
14. 総括まとめ（1）
15. 総括まとめ（終章）
16.

テキスト
秋山仁著【こんなところにも数学が！】扶桑社文庫

参考書・参考資料等
秋山仁著【数学ワンダーランド一日冒険旅行】近代科学社

学生に対する評価
数学的思考力という堅いイメージですが，日常【こんなところにも数学が！】を認識していくと意外なことに気づくはずです。そこから数学がスウガクに変換されて興味関心がわいてきます。それを期待して講座を展開していきます。その理解度が評価に繋がっていきますが，それに対する関心度も重要と考えます。積極的な意見を期待します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）日常【こんなところにも数学が！】を授業を通じて認識・理解できること。
（良）積極的に日常【こんなところにも数学が！】を認識・理解し探究できること。
（優）日常【こんなところにも数学が！】をより一層調査研究し求める姿勢が感じられること。

その他
数学的な活動を含めた内容を提示していきます。思考力ということを認識していく中で【こんなところにも数学が！】を日常のなかで感じる必要がある。また，日常という感性から生まれる哲学的な感性を取り上げ数学的な思考との関係を考えてみる。テキストにあげた本は必需必読を心がけること。

科目名：企画科目（地方行政論）
学期：後期
単位数：2
担当者：笛木淳

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：地方自治の在り方について関心を深め、その在り方を考察するの基本的な議論を理解する。
テ ー マ：地方自治とは何か、自治体が私たちの暮らしにおいてどのような働きをしているか。

授業の概要
地方自治は私たちの生活において欠くことのできない働きをしている。この地方自治がどのように機能しているのかについて、地方自治がおかれる様々な文脈に即しつつ、その基本的事項を把握する。

授業計画
第一部　地方自治の制度
1．オリエンテーション、地方自治の意義
2．地方自治の発展（1）
明治の地方自治制度と戦後の地方自治制度
3．地方自治の発展（2）
地方分権改革
4．都道府県と市町村
第二部　地方自治の機構
5．自治体の機関
6．自治体の組織
第三部　管理の在り方
7．公務員制度
8．国による行政統制
9．地方税財政
第四部　自治体の政策プロセス
10. 自治体の政策プロセス（1）
11. 自治体の政策プロセス（2）
12. 自治体の政策プロセス（3）
13. 自治体の政策プロセス（4）
第五部　自治体と住民
14. 「住民」の意義と、市民参加
15. 自治体におけるコミュニティ
16. 期末テスト

礒崎初仁＝金井利之＝伊藤政次『ホーンブック 地方自治』
（北樹出版、第3版、2014年）
＊書店にて購入可能。また、授業ではこのテキストに書かれていない範囲も扱う。足りない部分は毎回配付するレジュメ等でこちらが補う。

参考書・参考資料等
松村岐夫編『テキストブック 地方自治』（東洋経済新報社、第2版、2010年）
稲継裕昭『地方自治入門』（有斐閣、2011年）
＊参考書は、必要に応じ、その内容を配付レジュメに盛り込むか、または必要な箇所のコピーを配付する

小レポート（＝40%）、期末テスト（＝60%）＊テストは持込み不可とする予定。

（可）地方行政の基本的な用語を正確に覚えている。
（良）地方行政の重要な用語（概念）を自分の言葉で短く説明することができる。
（優）自治体の働きについて、具体例に即して自分の言葉で説明できる。

その他
授業の形式は、毎回配付するレジュメに沿って内容を説明する講義形式で行い、原則としてディスカッション等は行わない。授業の最後では毎回小レポートを書くこととする。

科目名：企画科目（地方自治法）
学期：後期
単位数：2
担当者：笛木淳

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：地方自治法制への関心を深め、基礎知識を身につけ、制度の全体像を把握する。
テ ー マ：地方自治にかかわる法制度の基本的な事項。

授業の概要
地方自治体は、ある一部の領域における統治団体である。したがって、これを法によって基礎づけ、法に依って拘束する必要がある。この授業では、そうした役割を担う地方自治法の概要を理解する。

授業計画
1．オリエンテーション、「地方自治」と「法」
2．地方自治に関わる具体的な法令
3．地方公共団体の意義と種類
4．地方公共団体の機関（1）
5．地方公共団体の機関（2）
6．地方公共団体の事務
7．自治立法（1）
8．自治立法（2）
9．住民
10. 住民監査請求と住民訴訟
11. 地方税財政（1）
12. 地方税財政（2）
13. 監査制度
14. 国と地方公共団体の関係（1）
15. 国と地方公共団体の関係（2）
16.

テキスト
指定なし。

参考書・参考資料等
川崎政司『地方自治法基本解説〔第6版〕』（有斐閣、2015年）
＊参考書は、必要に応じ、その内容を配付レジュメに盛り込むか、または必要な箇所のコピーを配付する。

学生に対する評価
レポート（＝40%）、期末テスト（＝60%）
＊テストは持込み不可とする予定。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）地方自治法の基本的な用語を正確に覚えている。
（良）地方自治法の重要な概念を自分の言葉で短く説明することができる。
（優）地方自治法制が実際に機能する場面を、具体例に即して自分の言葉で説明できる。

その他
授業の形式は、毎回配付するレジュメに沿って内容を説明する講義形式で行い、原則としてディスカッション等は行わない。授業の最後では毎回小レポートを書くこととする。

科目名：企画科目（華道）
学期：通年
単位数：2
担当者：五味和樹

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：【前期】日本の伝統文化である華道の歴史の理解と基本的実技の修得。
【後期】高野山の伝統行事（年中行事）に生けられる伝統華・荘厳真華の理解
テ ー マ：【前期】日本の華道史と華道実技の基本
【後期】華道高野山の代表華である真華の修得

授業の概要
【前期】仏様にお花をお供えしたのが始まりとされる日本の華道の歴史を現代まで解説すると共に、華道の基本の解説と実技の実習を行なう。
【後期】高野山の伝統行事が行なわれる会場を荘厳する真華の解説と真華の実技実習。

授業計画
【前期】	【後期】
1．ガイダンス	1．真華の解説
2．華道高野山についての解説	2．五段華の解説
3．供華様式から投入花の解説	3．五段華の実技実習
4．投入花から現代花の解説	4．真華実習（1）
5．盛花の解説	5．真華実習（2）
6．盛花の実技実習	6．二つ真の解説
7．盛花の変化態の解説と実習	7．仏生会の華の解説
8．投入花の解説と実習	8．白羽の矢竹の解説
9．投入花の変化態の解説と実習	9．小品真華の解説と実習
10. 格花の解説と実習	10. 法印転衣式の華の解説
11. 格花の変化態の解説と実習	11. 合真の解説
12. 自由化の解説と実習	12. 元三の花の開解説
13. 自由化のテーマのもとめ方と実習	13. 万年青の解説と実技
14. 実技テスト	14. 実技テスト
15. 格花 寸胴での実習	15. 水仙の葉組
16. 前期全体の補足	16. 後期全体の補足

テキスト
華道高野山教本

参考書・参考資料等
特に無し

学生に対する評価
実技定期試験（60%）、小試験（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）盛花・自由花・格花の基本を理解し、生けられる。
（良）作品に創意・工夫が見られる。
（優）高野山の伝統華である真華を理解し、生けられる。

その他
実技実習時に花材費800円～1,000円必要です。

科目名 企画科目（仏画）仏教芸術（別）

学期 通年

単位数 2

担当者 有松孝雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：筆をとり図像を描くという身体による経験をとおして、広く美術・宗教への理解を深ること

テ ー マ：仏を描く・宇宙を描く

授業の概要

墨をすり筆をとって線を引くことから始める。制作と併行して、描かれる尊像の儀軌・背景を学ぶ。多様な尊像を知ることで、仏教で展開される宇宙観についての理解を深める。

経験の有無を問わず、受講者の個性に応じた指導をする。

授業計画

【前期】	【後期】
1．授業の概要、講義の進め方についての説明	1．授業の概要、講義の進め方についての説明
2．基礎1　手の形、顔の線の練習Ⅰ	2．用具の説明
3．基礎2　手の形、顔の線の練習Ⅱ	3．膠の使い方
4．基礎3　直線・円を描く	4．日本画絵具の使い方
5．基礎4　仏・菩薩の全体を描くⅠ	5．彩色の方法
6．基礎5　仏・菩薩の全体を描くⅡ	6．表現法1　線描
7．基礎6　仏・菩薩の全体を描くⅢ	7．表現法2　平塗り
8．基礎7　仏・菩薩の全体を描くⅣ	8．表現法3　ぼかし
9．基礎8　仏・菩薩の全体を描くⅤ	9．表現法4　ぼかし
10．作品制作　白描の作品を描くⅠ	10．表現法5　繧繝彩色（1）
11．作品制作　白描の作品を描くⅡ	11．表現法6　繧繝彩色（2）
12．作品制作　紺地金泥の作品を描くⅠ	12．作品制作　彩色仏画（1）
13．作品制作　紺地金泥の作品を描くⅡ	13．作品制作　彩色仏画（2）
14．高野山霊宝館の見学	14．作品制作　彩色仏画（3）
15．総括	15．鑑賞　国宝仏画・絵画

テキスト

以下の教材は担当者が用意する。

書写手本及び関係資料はコピー配布。薄美濃紙。面相筆。墨。硯。色紙。念紙。金銀泥。筆洗。雑巾。

参考書・参考資料等

「仏画の鑑賞基礎知識」（有賀祥隆著　至文堂）、他は授業中に紹介する。

学生に対する評価

書写作品・毎回の授業時に提出する課題（70％）

授業参加への積極性（30％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）仏画の基本事項を理解している。

（良）仏画の基本事項が理解された上でその描写ができる。

（優）資料を広く読み解くことができ、尊像の理解と描写の表現が優れている。

その他

基本的に授業で必要になる資料は担当者が支給する。希望者には実費で授与する。または販売店を紹介する。

科目名 企画科目（高野文化圏論）

学期 前期

単位数 2

担当者 森本一彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山およびその周辺地域も含んだ高野文化圏の生活文化について理解し、説明できる。

テ ー マ：高野文化圏論

授業の概要

高野山およびその周辺地域によって形成された高野文化圏の実態について生活文化を中心に検討する。

授業計画

1．高野文化圏研究の意義
2．高野文化圏をめぐる環境（1）
3．高野文化圏をめぐる環境（2）
4．景観の諸問題（1）
5．景観の諸問題（2）
6．生業（1）
7．生業（2）
8．生業（3）
9．交通・交易（1）
10．交通・交易（2）
11．交通・交易（3）
12．社会生活（1）
13．社会生活（2）
14．社会生活（3）
15．高野文化圏の生活文化の特徴
16．

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

高野町史編纂委員会編『高野町史』民俗編　高野町　2012.3

その他授業中に紹介する。

学生に対する評価

定期試験（70％）、授業時の小テストおよびコミュニケーションカード（30％）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）高野文化圏の生活文化について基本的事項を説明できる。

（良）授業内容を理解した上で、高野文化圏の生活文化について説明できる。

（優）高野文化圏の生活文化について自己の意見を述べることができる。

その他

授業の最初に小テストを行い、前回の授業内容の復習の程度を確認する。授業の終わりに、コミュニケーションカードを記入することによって、授業内容の理解度および授業への参加度を確認する。

科目名 企画科目（マインドフルネス）

学期 前期

単位数 2

担当者 井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：マインドフルネスの基盤となっている仏教のヴィパッサナー（観）瞑想による意識の保ち方を学ぶことによって、自分を知る能力（自己覚知）を養う。

テ ー マ：自分を知ることについて

授業の概要

最初にみんなの息を合わせるために「三宝帰依の歌」を歌い、Ānāpānasati-sutta の「16 の観察法」を読誦し、15 分ほど呼吸瞑想をする。その後で瞑想的エクササイズを行い、ふりかえりをしながら体験学習を深めてゆく。

授業計画

1．自己紹介と授業の進め方について（仏教瞑想について）
2．如実知見と自分を知ることの大切さ
3．Ānāpānasati-sutta（出入息念経）から学ぶ
4．身体感覚に心を開く：Vedanā（受）を理解する
5．呼吸に触れる
6．呼び名の息遣い
7．瞑想中の雑念への対処法：気づきの作法
8．自尊心について
9．食べる瞑想：Āhāra（四つの栄養素）の教えについて
10．マインドフルネス瞑想の射程
11．三業の心理学
12．思いやりの育み方：慈悲喜捨の教えについて
13．神秘体験について
14．悟りと解脱
15．ふりかえりとまとめ

テキスト

井上ウィマラ『呼吸による気づきの教え』佼成出版社（書店で購入）

参考書・参考資料等

『仏教心理学キーワード事典』　春秋社

井上ウィマラ『人生で大切な 5 の仕事』春秋社（書店で購入）

学生に対する評価

授業への参加態度（30％）と期末レポート（70％）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）授業の内容が理解できている。

（良）授業内容をよく理解し、自分を見つめることにつなげることができている。

（優）授業内容に基づき、自己覚知を育て、日常生活に応用する術がわかっている。

その他

動きやすい服装で参加すること。

仏教瞑想を学びたいという明確な動機を持ち、体験学習に積極的に参加する心構えを持っていることが望ましい。

科目名 企画科目（社会調査方法論）

学期 前期

単位数 2

担当者 栃澤健史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：調査設計と実施方法に関する具体的な知識の習得

テ ー マ：社会調査士B科目

授業の概要

社会調査による資料やデータの収集、整理していく具体的な方法について解説を行う。調査目的と調査方法、調査企画と設計、仮説構成、対象者の選定の諸方法、サンプリング法、アンケート用紙の作成、調査の実施方法、調査データの整理について説明を行う。

授業計画

1．調査目的
2．調査方法と調査方法の決め方
3．調査企画
4．調査の設計と仮説構成
5．全数調査と標本調査
6．無作為抽出
7．標本数と標本誤差
8．サンプリングの諸方法
9．質問文・調査票の作り方 (1)
10．質問文・調査票の作り方 (2)
11．調査票の配布・回収
12．エディティング、コーディング、データクリーニング
13．インタビューの仕方
14．フィールドノートの作成
15．具体的な調査計画を立てる
16．

テキスト

なし。

参考書・参考資料等

篠原清夫 / 清水強志 / 榎本環 / 大矢根淳編 ,2010,『社会調査の基礎知識』弘文堂 .

そのほかは授業のなかで適宜紹介する。

学生に対する評価

授業内の課題（毎回のテスト）（70％）、発表（10％）、授業参加の積極性（20％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）調査設計と実施方法に関する具体的な知識について覚えている。

（良）調査設計と実施方法に関する具体的な知識について資料を使って説明できる。

（優）調査設計と実施方法に関する具体的な知識を適切な資料を選び自分の言葉で説明できる。

その他

科目名	企画科目（法式上級）法式上級（別）
学期	通年
単位数	2
担当者	渕田雲渓

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：修法における次第の組み立てを理解し、その行法をより深めることを目的とし、重ねて代表的な密教法会である理趣三昧法会を実修し、職衆及び導師の心得を身につける。
テ ー マ：行法や荘厳の理解と理趣三昧法会の実修

授業の概要

四度の加行において自らが実践した所の十八道や金剛・胎蔵の両部の次第、護摩の次第における行法の展開や内容を考察し、行法をより深く実践できるように試みる。

また、理趣三昧法会について実際の法要の流れを理解し、導師や職衆としての作法を習熟する。

授業計画

【前期】
道場や壇上の荘厳の解説・実践をし、加えて趣三昧を解説する。
また、法会における作法等を解説し、職衆として法会を務められるようになる。

【後期】
理趣三昧を解説する。
また、伝法灌頂に入壇後、理趣経法の伝授を受け、導師の作法が務められるようになる。
併せて、十八道次第等の解説をする。

【その他】
報恩日の法会に職衆としての積極的な参加（出仕）を求める

【その他】
追悼法会、また報恩日の法会に職衆としての積極的な参加（出仕）を求める。

テキスト

『真言宗常用経典』、『四度加行　次第』、中川善教編『理趣経法』

参考書・参考資料等

『声明類聚』等　他は授業中で紹介し、適宜コピー等を配布する

学生に対する評価

期末の課題レポートと法要作法の習熟度

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）加行等をとおして実習した、密教における道場や壇上の荘厳を理解できる。
（良）加行等において実習する行法の組み立てを理解できる。
（優）行法や法会における荘厳や所作の意味付けを理解できる。

その他

・空衣（尼僧は褊衫でも可）・白袈裟（または如法衣）を着しての受講となる。
・ 以下の事項を受講の条件とする。
①法式A またはB の単位を取得しておくこと。
②伝法灌頂を終えていること。少なくとも前期加行（十八道・金剛界）を受けた上で受講し、今年度内に伝法灌頂に入壇すること。
・ 学内での追悼法会や報恩日など、積極的な出仕をお願いする。

科目名	企画科目（情報リテラシー論）
学期	前期
単位数	2
担当者	栃澤健史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：基本的な資料とデータの分析に関する基礎知識の習得
テ ー マ：社会調査士C科目

授業の概要

この授業は、官庁統計、調査報告書などの統計資料を理解するために必要な基礎的知識の習得を目的とする。単純集計、度数分布、記述統計量、クロス集計などの記述統計データやグラフの正確な理解と、そうしたデータ分析を行なうための基礎的知識と技術を身につけていく。

授業計画

1．ガイダンス：講義説明
2．統計資料の種類と特性
3．統計資料の収集と読み方
4．質的変数と量的変数
5．記述統計 (1) 単純集計
6．記述統計 (2) 度数分布、代表値、分散（1）
7．記述統計 (3) 度数分布、代表値、分散（2）
8．記述統計 (4) 平均、中央値、最頻値など
9．記述統計 (5) 分散・標準偏差など
10. クロス集計（1）
11. クロス集計（2）
12. 相関
13. 因果関係
14. 調査データを用いた統計と分析（1）
15. 調査データを用いた統計と分析（2）
16.

テキスト

なし。

参考書・参考資料等

篠原清夫 / 清水強志 / 榎本環 / 大矢根淳編 ,2010,『社会調査の基礎知識』弘文堂 .
そのほかは授業のなかで適宜紹介する。

学生に対する評価

授業内の課題（毎回のテスト）（70％）、発表（10％）、授業参加の積極性（20％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）基本的な資料とデータの分析に関する基礎知識について覚えている。
（良）基本的な資料とデータの分析に関する基礎知識について資料を使って説明できる。
（優）基本的な資料とデータの分析に関する基礎知識を適切な資料を選び自分の言葉で説明できる。

その他

科目名	企画科目（基礎統計学）
学期	後期
単位数	2
担当者	栃澤健史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：社会調査に必要な統計学に関する基礎知識の習得
テ ー マ：社会調査士D科目

授業の概要

この授業は、統計的データを理解し、利用するために必要な統計学的基礎知識と基礎的能力との習得を目的とする。代表値、散布度、相関関係、標本抽出法、統計的仮説の検定などの社会調査データを理解し、分析するための基本的知識を身につけていく。授業は実習形式でおこない、具体的なデータをあつかいながら、統計学への理解を深めていく。

授業計画

1．イントロダクション：統計学の基礎
2．度数分布
3．代表値
4．分散
5．相関係数
6．確率変数
7．正規分布
8．二項分布
9．母集団と標本
10. 区間推定
11. 統計的検定
12. χ2 検定
13. t 検定
14. 相関係数と偏相関係数
15. まとめ
16.

テキスト

なし。

参考書・参考資料等

篠原清夫 / 清水強志 / 榎本環 / 大矢根淳編 ,2010,『社会調査の基礎知識』弘文堂 .
そのほかは授業のなかで適宜紹介する。

学生に対する評価

授業内の課題（毎回のワークシート）（70％）、発表（10％）、授業参加の積極性（20％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）社会調査に必要な統計学に関する基礎知識について覚えている。
（良）社会調査に必要な統計学に関する基礎知識について資料を使って説明できる。
（優）社会調査に必要な統計学に関する基礎知識を適切な資料を選び自分の言葉で説明できる。

その他

科目名	企画科目（芸能）
学期	通年
単位数	2
担当者	糀谷有桜

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：初年度は基本的な奏法の習得・初歩的な曲の合奏と、邦楽の歴史・日本音楽の特徴理解。
二年目履修の際は、「六段の調べ」を習得し、初伝免許取得相当の技術を身に着ける事。
テ ー マ：地歌箏曲入門－箏（琴）を弾いてみよう。日本音楽の素晴らしさに触れてみよう。

授業の概要

音楽楽理と、邦楽の歴史に関する講義を交えながら、箏の演奏実習を中心に進めていく。箏に触れ、演奏することで、伝統文化に共通する精神性へと、学生諸氏の思考深化を促したい。

授業計画

【前期】
1．爪をつけて、箏をならしてみよう。
2．柱の立て方、はずし方。
3．楽譜の見方、楽器の扱い方を学ぼう。
4．箏とは、楽器の部位の名称等を学ぼう。
5．ビデオ鑑賞。
6．「さくら」・「荒城の月」・「夕やけこやけ」を弾こう。（1）
7．「さくら」・「荒城の月」・「夕やけこやけ」を弾こう。（2）
8．「さくら」・「荒城の月」・「夕やけこやけ」を弾こう。（3）
9．邦楽の歴史を学ぼう （講義）。
10. 「三段の調べ」を弾こう。（１）
11. 「三段の調べ」を弾こう。（２）
12. 「三段の調べ」を弾こう。（３）
13. 「三段の調べ」を弾こう。（４）
14. 邦楽の歴史を学ぼう （講義）。
15. 筆記・実技試験
16. 前期の復習

【後期】
1．「三段の調べ」の復習をしよう。
2．「三段の調べ」の他パートと合奏しよう。（1）
3．「三段の調べ」の他パートと合奏しよう。（2）
4．邦楽の歴史を学ぼう（講義）。
5．「さくら変奏曲」を弾こう。（１）
6．「さくら変奏曲」を弾こう。（２）
7 「さくら変奏曲」の他パートと合奏しよう。
8． 邦楽の楽理を学ぼう （講義）。
9．「笛の音」を弾こう。（１）
10. 「笛の音」を弾こう。（２）
11. 「笛の音」を三味線と合奏しよう。
12. 試験に向けての復習。（１）
13. 試験に向けての復習。（２）
14. 試験に向けての復習。（３）
15. 実技試験
16. 後期の復習

２年目の受講生は、全回「六段の調べ」の実習。

テキスト

楽譜は講師を通じて随時一括購入する。爪は初回授業で各自の指の号数を確認して注文する。

参考書・参考資料等

吉川英史『日本音楽の歴史』創元社。他は授業で紹介する。

学生に対する評価

音楽を真剣に楽しむ授業態度（70％） 演奏技術（10％） 筆記・実技試験（20％）
但し、上記％に関係なく、欠席１回マイナス５点とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）音楽を楽しみ、楽器の特徴や扱い方を習得している。
（良）箏（琴）の基本的な奏法を習得し、楽譜を見ながら演奏することができる。
（優）他パートの音を聞きながら、自分の奏でる音楽を表現することができる。

その他

「箏は女性が弾くもの」という誤った通念があるようだが、実態は全く異なる。偏見を捨てて、音楽好きな学生は、男女を問わず、積極的に受講してほしい。

二年目の単位を取得した場合、本人が希望し、かつ技能が相当と認められる者には、有料で、紘楽教育奨励会認定の「初伝」免許を認免する。

科目名
企画科目（阿息観）観法の理論と実習1（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：阿息観の修得
テ ー マ：阿息観の理論と実習

授業の概要

阿字観の前行と位置づけられている阿息観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。
テキストにしたがって講義を進める。

授業計画

1．オリエンテーション
2．阿息観と悟り
3．真言密教と釈迦
4．瞑想の目的と種類
5．修行の基本
6．弘法大師空海の宗教体験
7．阿息観について
8．阿息観について
9．阿息観の実習
10．阿息観の実習
11．討論
12．阿息観の実習
13．阿息観の現代的意義
14．阿息観の現代的意義
15．レポート作成
16．講評

テキスト

山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）

参考書・参考資料等

『密教福祉Ⅰ』『密教福祉Ⅱ』（密教福祉研究会編）

学生に対する評価

期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）瞑想の三要素について説明できる。
（良）阿息観の特徴について説明できる。
（優）阿息観の現代的意義について理解し説明できる。

その他

科目名
企画科目（月輪観と阿字観）観法の理論と実習2（別）
学期
後期
単位数
2
担当者
佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：阿字観の修得
テ ー マ：阿字観の理論と実習

授業の概要

阿息観を踏まえて、月輪観と阿字観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。

授業計画

1．オリエンテーション
2．阿息観について
3．阿息観の実習
4．月輪観について
5．月輪観について
6．月輪観実習
7．『大日経』と阿字
8．阿字観について
9．阿字観について
10．阿字観実習
11．自由討論
12．阿字観の口訣
13．阿字観の口訣
14．阿字観実習
15．レポート作成
16．講評

テキスト

山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）

参考書・参考資料等

学生に対する評価

期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）月輪の意味について説明できる。
（良）実習を通して月輪の意味をより深く説明できる。
（優）密教瞑想法の思想的背景について説明できる。

その他

科目名
企画科目（詠歌）
学期
通年
単位数
2
担当者
上山雄慈 辻秀道 村上公教

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：将来の御詠歌指導者の養成を目指す。
テ ー マ：高野山が伝承する心の宗教音楽「御詠歌」を学ぶ。

授業の概要

【前期】プロジェクター等で譜の見方、楽理等解りやすく解説する。
詠歌と和讃の歌詞・旋律から作者の意図を汲み取り自分なりに表現しその方法を研鑽させる。
【後期】前期の目標、テーマの完成を目指す。決して急がずに一曲を時間を掛けて指導し習得させる。
そして一曲は得意な曲を持たせて詠歌、和讃を積極的に唱えられる様に研鑽を深めさせる。

授業計画

【前期】
1．詠歌、和讃の概要（譜の見方、歴史など）いろは歌（解説・曲）
2．いろは歌－1（曲）
3．いろは歌－2（曲・所作）
4．追弔和讃－1（解説・曲）
5．追弔和讃－2（曲・所作）
6．遍照尊－1（解説・曲）
7．遍照尊－2（曲・所作）
8．遍照尊－3
（中間試験・いろは歌・追弔和讃の復習）
9．梵音－1（解説・曲）
10．梵音－2（曲・所作）
11．梵音－3（曲・所作）
12．観音大慈－1（解説・曲）
13．観音大慈－2（曲・所作）
14．観音大慈－3（曲・所作）
15．実技及び筆記試験
16．実技及び筆記試験講評

【後期】
1．前期総括
2．相互供養和讃－1（解説・曲）
3．相互供養和讃－2（曲）
4．相互供養和讃－3（曲・所作）
5．光明－1（解説・曲）
6．光明－2（曲）
7．光明－3（所作・曲）
8．中間試験
（前期・後期履修曲復習）
9．蓮華の功徳－1（解説・曲）
10．蓮華の功徳－2（曲）
11．蓮華の功徳－3（曲・所作）
12．妙遍－1（解説・曲）
13．妙遍－2（曲）
14．妙遍－3（曲・所作）
15．実技及び筆記試験（曲・所作）
16．実技及び筆記試験講評

テキスト

高野山金剛流御詠歌教典　同和讃集、楽理教典、法具（鈴鉦）
（鈴鉦は教務課にて貸出し有り）

参考書・参考資料等

金剛講必携、鈴鉦のひびき　高野山金剛流和讃の解説　楽理入門
金剛和讃と曼荼羅Ｑ＆Ａ

学生に対する評価

実技、筆記試験（70%）　技術の習熟度（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）曲の最後までお唱え出来る。
（良）お唱え・所作が少し出来る。
（優）身・口・意（所作・お唱え・気持ち）が合致している。

その他

1．後期履修希望者は前期履修の後、受講すること
2．詠階は一年間履修し合格点に達すれば准教師、二年間履修し合格点に達すれば詠校、三年間履修し合格点に達すれば詠教、四年間履修し合格点に達すれば詠範の申請資格を与える。

科目名
企画科目（地域連携）地域福祉B（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
森本一彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山大学が立地する地域に関する理解を深める。
テ ー マ：地域社会を知ろう

授業の概要

高野山や周辺地域に関わりのある方をゲストスピーカーとして招き、話題提供をしていただき、その後質疑応答、ディスカッションを行う。

授業計画

1．地域社会から考える
2．地方行政－高野町の事例
3．高野山と産業（1）
4．高野山と産業（2）
5．高野山と産業（3）
6．高野山と産業（4）
7．高野山を支える（1）
8．高野山を支える（2）
9．高野山を支える（3）
10．高野山を支える（4）
11．参拝と観光
12．地域と教育
13．高野町の町並み（建築）
14．地方自治
15．地域社会の課題
16．

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

授業中に紹介する。

学生に対する評価

最終レポート（70%）、小レポートと授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）地域社会に関する基本用語を説明できる。
（良）地域社会がどのような状況にあるかを説明できる。
（優）地域社会に対して自分の考えを提案できる。

その他

・高野山周辺を中心として就職したいという強い希望を持ち、真面目に受講することが必要である。
・インターンシップを希望する者は、必ず受講すること。
・授業内容・日程・ゲストスピーカーなど詳細については、第1回目の授業に指示する。

科目名

企画科目（歴史学Ⅰ）

学期：前期

単位数：2

担当者：坂口太郎

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：鎌倉時代の政治構造や鎌倉前期の政治史の流れを学習し、その歴史的特徴を理解する。
テ ー マ：「鎌倉前期の政治過程」

授業の概要

本講義では、朝廷と幕府の関係（公武関係）を通して、鎌倉時代の政治史の流れを考える。前期では、建久元年（1190）の源頼朝上洛に始まり、文永３年（1266）の宗尊親王追放までの政治過程について、研究史の成果を踏まえつつ具体的に論じていきたい。あわせて歴史学の研究方法についても、随所で触れていく予定である。

授業計画

1．鎌倉時代の政治構造
2．源頼朝の上洛
3．建久七年政変
4．後鳥羽院政
5．執権政治の成立
6．後鳥羽院と源実朝
7．『愚管抄』の成立と承久の乱
8．承久の乱後の公武関係
9．九条道家とその政権
10．九条道家の宗教政策
11．後嵯峨天皇の登場と鎌倉幕府
12．得宗専制政治の成立
13．後嵯峨院政期の宮廷
14．宗尊親王の追放
15．期末試験
16．試験解説
※ 内容は進度によって変わる場合がある。

テキスト

プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める。

参考書・参考資料等

上横手雅敬『鎌倉時代』（吉川弘文館、1994 年）
上横手雅敬ほか『日本の中世８ 院政と平氏、鎌倉政権』第２部（中央公論新社、2002 年）
村井章介『北条時宗と蒙古襲来』（日本放送出版協会、2001 年）
川添昭二『日蓮と鎌倉文化』（平楽寺書店、2002 年）

学生に対する評価

期末試験（100％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）鎌倉時代に関する基礎的事項を理解している。
（良）鎌倉前期の政治過程について、講義の内容を踏まえて説明できる。
（優）鎌倉時代の政治構造の特質、鎌倉前期の政治過程について、講義の内容や参考文献を踏まえ、総合的かつ論理的に説明できる。

その他

講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。また、参考書や講義で紹介する論著を読むこと。歴史学の研究方法を自覚的に学ぶ意欲を持ってほしい。

科目名

企画科目（歴史学Ⅱ）

学期：後期

単位数：2

担当者：坂口太郎

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：鎌倉後期の政治史の流れを学習し、公武権力の歴史的特質について理解する。
テ ー マ：「鎌倉後期の政治過程」

授業の概要

本講義では、朝廷と幕府の関係（公武関係）を通して、鎌倉時代の政治史の流れを考える。後期では、鎌倉中期の蒙古襲来に始まり、元弘３年（1333）の幕府滅亡に至る政治過程について、研究史の成果を踏まえつつ具体的に論じていきたい。とくに、これまで実態が不明であった公家政権の動向に焦点を当てるほか、鎌倉後期の真言密教と政治権力の関係について最新の研究成果を示したい。

授業計画

1．二月騒動と文永の役
2．後嵯峨院の死とその波紋
3．弘安の役と北条時宗の死
4．安達泰盛と高野山町石道
5．亀山院と弘安徳政
6．霜月騒動
7．伏見親政と浅原為頼の変
8．平頼綱政権とその没落
9．正安の政変
10．後宇多院政と密教興隆
11．花園天皇とその日記
12．後醍醐天皇の登場
13．進行する討幕計画
14．鎌倉幕府滅亡
15．期末試験
16．試験解説
※ 内容は進度によって変わる場合がある。

テキスト

プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める。

参考書・参考資料等

村井章介『北条時宗と蒙古襲来』（日本放送出版協会、2001 年）
福島金治『北条時宗と安達泰盛』（山川出版社、2010 年）
川添昭二『日蓮と鎌倉文化』（平楽寺書店、2002 年）
村井章介『日本の中世 10 分裂する王権と社会』（中央公論新社、2003 年）
森茂暁『後醍醐天皇』（中央公論新社、2000 年）

学生に対する評価

期末試験（100％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）鎌倉時代に関する基礎的事項を理解している。
（良）鎌倉後期の政治過程について、講義の内容を踏まえて説明できる。
（優）鎌倉後期の政治過程について、講義の内容や参考文献を踏まえ、総合的かつ論理的に説明できる。

その他

講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。また、参考書や講義で紹介する論著を読むこと。歴史学の研究方法を自覚的に学ぶ意欲を持ってほしい。

科目名

企画科目（声明上級）
声明上級（別）

学期：通年

単位数：2

担当者：辻 秀道

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：常楽会法則に使われる声明 及び理趣法表白・神分
テ ー マ：常楽会法則及び理趣法に使われる声明を通じて種々の声明を研鑽する

授業の概要

1．常楽会の法要を通じて、初級で学べなかった種々の声明及び法要を研鑽して声明の視野を広める。
2．導師作法で必要な理趣法の表白・神分を研鑽する。

授業計画

【前期】	【後期】
1．オリエンテーション（テキスト解説）	1．讃歎（伽陀）４段目・５段目
2．勧請	2．涅槃講和讃（１）
3．総礼（伽陀）（１）	3．涅槃講和讃（２）
4．総礼（伽陀）（２）	4．涅槃講和讃（３）
5．称名礼・金剛業	5．涅槃講式（１）
6．涅槃講祭文（１）	6．涅槃講式（２）
7．涅槃講祭文（２）	7．涅槃講式（３）
8．涅槃講祭文（３）	8．御影供表白・神分（１）
9．別礼（伽陀）	9．御影供表白・神分（２）
10．梵音（１）	10．御影供表白・神分（３）
11．梵音（２）三條錫杖（１）	11．大般若表白・神分（１）
12．三條錫杖（２）	12．大般若表白・神分（２）
13．佛名	13．理趣法表白・神分（１）
14．讃歎（伽陀）１段目	14．理趣法表白・神分（２）
15．前期テスト	15．後期テスト
16．讃歎（伽陀）２段目・３段目	16．理趣法表白・神分（３）

テキスト

・「常楽会法則」－高野山住職会発行＝各自高野山出版社で購入すること。（オリエンテーションで説明）
・「祭文集」－高野山出版社発行＝各自高野山出版社で購入すること。（オリエンテーションで説明）
・「理趣法」は講義中に伝達する

参考書・参考資料等

宮野宥智編「南山進流声明類聚」

学生に対する評価

前期末テスト（50％）後期末テスト（50％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）南山進流声明上級として、理解は十分ではないが、複数の人と一緒に唱える事が出来る。
（良）南山進流各種声明を概ね理解し、複数の人と合わせて唱える事が出来る。
（優）南山進流声明上級として理論・唱え方を十分理解し、一人で唱える事が出来る。

その他

受講資格を下記の通り設ける
1．本学「声明」初級を習得した者
2．高野山専修学院及び尼僧学院を終了した者
3．高野山高等学校宗教科を終了した者
4．その他同等以上の研鑽を終了した者

科目名

企画科目（チベット語会話）

学期：通年

単位数：2

担当者：テンジン・ウセル

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】文字（ウチェン）と発音、あいさつの習得、チベット語会話の基礎的学習
【後期】文字（ウメー）の修得とチベット語会話の応用的学習
テ ー マ：【前後期】チベット語会話

授業の概要

チベット仏教の最高学位（ゲシェーハランパ）を持つチベット僧が、やさしく丁寧にチベット語の会話とチベット文字を教えます。だれでも参加できる入門クラスです。「チベット語」の授業といっしょに受けることが望ましい。

授業計画

【前期】	【後期】
1．オリエンテーション、チベット語のあいさつ（１）	1．オリエンテーション
2．文字（ウチェン）と発音（１）、あいさつ（２）	2．文字（ウメー）（１）
3．文字と発音（２）、あいさつ（３）	3．文字（２）
4．文字と発音（３）、１から 20 まで	4．文字（３）
5．「私は日本人です」	5．「これは何ですか」
6．「あなたはチベット人ですか」	6．「あなたはいついらっしゃるでしょうか」
7．「私たちは先生ではありません」	7．「あなたはどこの方ですか」
8．「彼はよい犬を一匹飼っています」	8．「この本はだれが書きましたか」
9．「彼女は多分今授業中でしょう」	9．「私は見ます」「彼には見えています」
10．「私は遊びに行きます」	10．数の数え方
11．「このカメラはあそこの女の子のものです」	11．会話練習（１）
12．「あなたはお食事を召し上がりますか」	12．会話練習（２）
13．「あの新しい家の屋根」	13．会話練習（３）
14．「私はチベットのチャンも好きです」	14．会話練習（４）
15．復習	15．会話練習（５）
16．復習	16．会話練習（６）

テキスト

ロサン・トンデン著、石濱裕美子、
ケルサン・タウワ訳『現代チベット語会話』Vol.1（世界聖典刊行協会）
その他。

参考書・参考資料等

松本栄一・奥山直司『チベット［マンダラの国］』（小学館）
※ その他、必要に応じて講義の中で指示する。

学生に対する評価

授業参加状況（80％）、試験（20％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）チベット語であいさつができる。
（良）チベット語であいさつでき、チベット文字が読み書きできる。
（優）チベット語で日常会話ができ、チベット語の短い文章を読むことができる。

その他

科目名：企画科目（地域産業論）

学期：前期　単位数：2　担当者：鈴木裕範

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：和歌山県の産業界を中心に地域産業に興隆と消長を学びながら、地域産業と街（地域）との関係、日本経済における地域経済の状況、地域コミュニティの変容を考察し、持続可能な地域社会を構想する。

テーマ：地方再生と地域産業の復権。地域における産業の存在意味と経済的・文化的価値を捉え直し、地域主体の地方再生のあり方を探求する。キイワードは地域・ひと・暮らし。

授業の概要

魅力がある街の条件の一つは、地域をつくる産業にある。その地域産業が地域を特色付け、町の価値を創造する。人口減少・少子高齢化、社会が縮小に向かい、経験したことのない「国難」に立ち向かわざるを得ない時代に、和歌山県をモデルに、地域産業の特色と存在意味、地域の価値と魅力あるまちづくりについて考える。

授業計画

1．地域産業論とは？
2．地域産業と地域の盛衰
3．海南市黒江と漆器産業
4．家具業界と和歌山市の桐箪笥
5．湯浅町と醤油産業
6．食品産業と地域経済
7．橋本市・伊都地方の織物産業
8．新宮市の製材業界から日本が見える
9．田辺・みなべの梅産業と地域産業複合体
10．高野山のモノづくりから考える産業論
11．No.1 企業島精機を生んだ風土とニット産業
12．地域内循環型経済　漁業と観光産業の連結
13．知られていない地域産業の技術
14．金沢市に学ぶ。文化創造都市の地域産業
15．地域再生と地域産業
16．試験

テキスト

参考書・参考資料等

『地域再生の経済学』（中公新書　神野直彦著　中央公論新社）
『企業勃興と地域経済 和歌山県域の検証』（高島雅明著　清文堂出版）

学生に対する評価

成績評価は期末レポート、授業中任意の時期に実施する課題レポート、授業中の発表など授業参加の積極性で行なう。レポート（70%）、発表・課題レポート（20%）、授業参加の積極性（10%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）60～69点　和歌山県の代表的な地域産業の特色と概要を覚えている
（良）70～79点　地域産業の活力と地域の発展について具体的なモデルを説明できる
（優）80点以上　　地域産業がもたらす地域の活力と価値の創出について説明できる

その他

授業は担当教員の研究調査を踏まえた資料に基づきパワーポイントで進行します。資料は随時印刷配布します。

科目名：企画科目（導入研修）

学期：集中　単位数：2　担当者：土居夏樹、森本一彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：各自が高野山大学における学ぶ目的意識を持つとともに、学習の仕方を習得する。

テーマ：高野山大学の学び方

授業の概要

合宿による集中講義により、大学での学びを体験するとともに、グループによって活動することで、協調性を身に付ける。また、宗教体験を経験することで、自己を見つめる。

授業計画

1．ガイダンス
2．宗教体験①金剛峯寺参拝
3．高野山、高野山大学について
4．グループ活動
5．宗教体験②奥之院参拝
6．キャリア形成
7．学内フィールドワーク
8．宗教体験③礼拝行
9．ワークショップ①
10．宗教体験④瞑想
11．宗教体験⑤勤行
12．山内フィールドワーク
13．ワークショップ②
14．宗教体験⑥写経
15．報恩日の行事（法会・御廟参拝）2回参加
16．

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

田中共子編『よくわかる学びの技法　第2版』
ミネルヴァ書房、2009年

学生に対する評価

レポート（40%）、発表など授業参加の積極性（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）指示されたことが理解できる。
（良）授業内容を理解した上で、積極的に行動する。
（優）グループをまとめ、リーダーシップを発揮することができる。

その他

1年生全員が履修すること。
本講義は、入学式後のオリエンテーション期間中を中心に開講されるが、後日にある報恩日の行事（法会・御廟参拝）2回に参加するともに、レポートを提出することによって単位を認定する。

科目名：企画科目（キャリアカウンセリングⅣ）

学期：後期　単位数：2　担当者：高田綾子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：自己理解を深め、働くことの本質を理解し、就労への関心を高める。職業社会を理解する上で必要な基礎知識を習得する。

テーマ：キャリアデザインのための基礎的自己理解

授業の概要

①自分自身を見つめ、キャリアデザインのための自己理解を深める。
②アセスメントを活用しながら自分の興味関心、能力を認識するとともに、さらに自分の置かれた環境を分析し、職業選択を含めた自分の生き方を考える。
③グループワークを通して、人間関係形成・社会形成能力やコミュニケーション能力を高めるとともに課題対応能力や将来に向けたキャリアプランニング能力も身につける。

授業計画

1．自分らしさについて考える①（自己概念）
2．自分らしさについて考える②（性格）
3．自分らしさについて考える③（興味）
4．職業レディネス・テスト①（テストの実施）
5．職業レディネス・テスト②（テスト結果、グループワーク）
6．ＶＲＴカードを使った自己理解①
7．ＶＲＴカードを使った自己理解②
8．自分らしさについて考える（価値観）
9．自分らしさを整理する
10．社会人意識と経済①（「社会人」と「働くこと」）
11．社会人意識と経済②（会社や仕事を研究する）
12．「働き方」と「お金」について考える
13．「社会」と「仕事」の繋がりについて考える
14．キャリアプランを作り実行する①
15．キャリアプランを作り実行する②

テキスト

教員作成の資料
齊藤博・上本裕子『大学１年からのキャリアデザイン実践』（八千代出版）
「書店で購入」

参考書・参考資料等

中沢孝夫「就活のまえに」（ちくまプリマー新書）　他は授業中で紹介する

学生に対する評価

レポート（40%）、発表（30%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストの内容を理解できる。
（良）テキストを見ながら内容を説明できる。
（優）テキストの内容を自分の言葉で説明できる表現力・行動力がある。

その他

実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。
受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきましょう。
各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名：企画科目（キャリアカウンセリングⅤ）

学期：後期　単位数：2　担当者：高田綾子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：産業（業種）・職種・企業についての理解を促進し、仕事の世界を拡げるとともに、現代社会における多様な働き方の現状を理解する。

テーマ：キャリアデザインのための職業理解。

授業の概要

①産業・業種・職業の定義を理解し、産業と職業の両面から就職先を考える必要性を学ぶ。
②アセツメントツールを用いて自分の興味ある分野を考え自己理解を深める。
③職業情報収集を通じて、職業の世界を知り、職業への関心の幅を拡げる。

授業計画

1．現代社会の多様な働き方を知る
2．企業のしくみを知る①
3．企業のしくみを知る②
4．産業・業種と業界研究①
5．産業・業種と業界研究②
6．職業（職種）を知る
7．資格・免許について学ぶ
8．職業理解と自己理解①
9．職業理解と自己理解②
10．職業調べ①
11．職業調べ②
12．社会人インタビュー①
13．社会人インタビュー②
14．社会人インタビュー③
15．社会人インタビュー④

テキスト

教員作成の資料

参考書・参考資料等

齊藤博・上本裕子『大学１年からのキャリアデザイン実践』（八千代出版）
池上彰『会社のことをよくわからないまま社会人になった人へ』（海竜社）
「会社四季報　業界地図」（東洋経済新報社）

学生に対する評価

レポート（40%）、発表（30%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストの内容を理解できる。
（良）テキストを見ながら内容を説明できる。
（優）テキストの内容を自分の言葉で説明できる表現力・行動力がある。

その他

実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。
受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきましょう。
各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名：企画科目（キャリアカウンセリングⅥ）
学期：後期
単位数：2
担当者：高田綾子

授業の到達目標及びテーマ

【就職スキル講座２】

到達目標：自己の能力を確認し、就職活動に必要なスキルを習得する。大学卒業時点での「就職」をゴールではなく、職業人生のスタートと理解し、生涯にわたるキャリア形成に必要な意欲・態度を身につける。

テ ー マ：就職活動の意識づけと行動化

授業の概要

①学生を含めた若年者を取りまく教育や労働の現状を理解する。
②志望する業界や職種の研究と自己分析を通じて就職に対する意識を高める。社会に対する視野を広げ、就職活動の進め方や必要なスキルを身につける。
③演習、フィードバック等による実践的な授業により、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力を養う。

授業計画

1．就職活動の流れと就職活動計画作成
2．求人情報収集と企業分析①
3．求人情報収集と企業分析②
4．履歴書の作成
5．自己ＰＲ文の作成①
6．自己ＰＲ文の作成②
7．志望動機の作成③
8．エントリーシートの作成①
9．エントリーシートの作成②
10．適性検査の傾向と対策
11．面接対策①（面接の流れと心構え）
12．面接対策②（想定質問演習）
13．面接対策③（グループ面接）
14．面接対策④（個人面接）
15．面接対策⑤（グループディスカッション）

テキスト

教員作成の資料

参考書・参考資料等

『一般常識チェック＆マスター』（実教出版）　他は授業中に紹介する

学生に対する評価

レポート（40%）、発表（30%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）社会人に必要な能力を理解し、書類作成・演習について基本動作ができる。
（良）社会人に必要な能力を説明でき、書類作成・演習について基本動作がスムーズにできる。
（優）社会人に必要な能力を身に着け、書類作成・演習についてアピール性の高い基本動作ができる上に、日々の行動で実践できている。

その他

実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきましょう。
各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名：企画科目（日本語留学生中級Ａ）
学期：通年
単位数：2
担当者：廣田恵美子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：日常生活や大学生活で必要な日本語の基本的なコミュニケーション力をつける。
漢字の基礎となる知識を覚えて、漢字の学習意欲を上げる。

テ ー マ：日本語でのコミュニケーションの楽しさ、漢字の便利さと面白さを感じる。

授業の概要

『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』のテキストを使います。
日本の大学生活でよくあるコミュニケーションの場面の会話練習をします。
生活ですぐに使える日本語を勉強します。
日常生活で使える日本語を勉強して、日本語の勉強が楽しいと思える授業を目指します。
又、毎回、漢字も勉強します。
漢字が便利なことと、漢字の面白さを感じることができることを目指します。

授業計画

【前期】	【後期】
1．1課　実力診断テスト　他	16．12課
2．2課	17．13課
3．3課	18．14課
4．4課	19．15課
5．5課	20．16課
6．6課	21．17課
7．7課	22．18課
8．8課	23．19課
9．9課	24．20課
10．10課	25．21課
11．11課	26．22課
12．まとめ	27．まとめ
13．まとめ	28．まとめ
14．ロールプレイの準備	29．ロールプレイの準備
15．ロールプレイの発表	30．ロールプレイの発表

テキスト

中居順子他『会話に挑戦　中級前期からの　日本語ロールプレイ』　他
（担当者の指示に従って下さい。）

参考書・参考資料等

学生に対する評価

小テスト（40%）　授業の出席、授業での発言（20%）　発表（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

・初級（300時間位）の学習が終わった位の日本語力があるとよく分かりますがどの人でも受けることが出来ます。
・毎回、漢字の小テストがあります。
・授業に直接関係がなくても、日本語学習のことでしたら、何でも相談して下さい。
・受講生のレベルや理解度に依って、スケジュールや授業内容を変更する場合があります。

科目名：企画科目（日本語留学生上級Ａ）
学期：通年
単位数：2
担当者：廣田恵美子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：大学生活で必要な日本語能力をバランス良くに身につける。

テ ー マ：コミュニケーション力のアップを中心として大学生活で必要な「読む・書く・話す・聞く」の技術を身につける。

授業の概要

『中級を学ぼう』のテキストを使って、大学生活や日常生活で使える日本語を学習します。
日本文化なども紹介もしながら、進めます。

授業計画

1．自己紹介・授業の進め方　他	16．3課
2．1課	17．3課
3．1課	18．3課
4．1課	19．4課
5．1課	20．4課
6．1課	21．4課
7．2課	22．4課
8．2課	23．4課
9．2課	24．5課
10．2課	25．5課
11．2課	26．5課
12．3課	27．5課
13．3課	28．5課
14．期末試験	29．期末試験
15．期末試験の解説　他	30．期末試験の解説　他

テキスト

平井悦子　三輪さち子　著『中級を学ぼう中級前期』スリーエーネットワーク
（担当者の指示に従って下さい。）

参考書・参考資料等

グループ・ジャイマン編著　『日本語文型辞典』
（ベトナム語版、英語版、タイ語版、韓国語版、中国語版　有り）

学生に対する評価

宿題（30%）　授業の出席、授業での発言（20%）　期末試験（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

・N3レベルの日本語力があると授業がよく分かりますが、どの日本語レベルの人でも受けることが出来ます。
・学習効果を高めるため宿題をしっかりとして下さい。
・授業に直接関係がなくても、日本語学習のことでしたら、何でも相談して下さい。
・受講生のレベルや理解度に依って、スケジュールや授業内容を変更する場合があります。

科目名：企画科目（日本語留学生中級Ｂ）
学期：通年
単位数：2
担当者：松本貴子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：大学生活に必要な日本語能力を総合的に身に付ける。

テ ー マ：日本語の語彙、文法の基礎知識と、読解力・会話力を総合的に伸ばす。
また、日本語能力試験N3レベルの日本語をほぼ完全に習得し、応用できるようになる。

授業の概要

日本語の「読む、聞く、話す」のスキルをバランスよく身に付けながら、大学生活を送るのに支障のない運用能力の育成を目指す。また、日本語能力試験の N3 合格レベル達成をサブ目標とする。

授業計画

【前期】	【後期】
1．テキスト第１課	1．テキスト第11課
2．テキスト第２課	2．テキスト第12課
3．テキスト第３課	3．テキスト第13課
4．テキスト第４課	4．テキスト第14課
5．テキスト第５課	5．テキスト第15課
6．テキスト第６課	6．日本語能力試験対策（１）
7．テキスト第７課	7．日本語能力試験対策（２）
8．テキスト第８課	8．日本語能力試験対策（３）
9．日本語能力試験対策（１）	9．日本語能力試験対策（４）
10．日本語能力試験対策（２）	10．テキスト第16課
11．日本語能力試験対策（３）	11．テキスト第17課
12．日本語能力試験対策（４）	12．テキスト第18課
13．テキスト第９課	13．テキスト第19課
14．テキスト第10課	14．テキスト第20課
15．期末試験	15．期末試験
16．試験解説	16．試験解説

テキスト

『学ぼう！にほんご』初中級　専門教育出版、その他（担当の指示に従うこと）

参考書・参考資料等

『日本語能力試験対策　日本語総まとめ』シリーズ　アルク
その他、必要に応じて授業中に提示する。

学生に対する評価

毎回の確認テストと期末試験に、授業態度や発言の積極性を加味して行う。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）学習した文型や表現を理解できている。
（良）学習した文型や表現を実際に使用できている。
（優）学習した文型や表現を応用し、自分の言葉としてアウトプットできている。

その他

受験生の日本語力は問いません。日本語を学びたい学生は誰でも歓迎します。ただ、学習効果を高めるために課される課題には誠実に取り組んで欲しいと思います。
日本語学習について要望があれば、いつでもどんなことでも可能な限り対応します。

科目名
企画科目（日本語留学生上級B）
学期
通年
単位数
2
担当者
松本貴子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：卒業論文の執筆を視野に入れて、それに耐え得る文章構成能力を身に付ける。

テ ー マ：論文執筆に必要な様々なパラフレーズを学び、レポートや論文、発表スライド、発表レジュメなどに使用できるようにする。

授業の概要

日本語の使用目的に合わせて使い分けができるように問題演習を多数行い、アカデミック・ライティングに必要な日本語能力の獲得を目指す。学習した内容を毎回使って発表練習をする。

授業計画

【前期】	【後期】
1．日本語の表記法（1）	1．論文執筆の概要
2．日本語の表記法（2）	2．参考文献の検索法
3．日本語の表記法（3）	3．参考文献の引用法
4．第 Ⅰ 部 第1課	4．論文のテーマの決め方（1）
5．第2課	5．論文のテーマの決め方（2）
6．第3課	6．本・論文を批判的に読み取る（1）
7．第4課	7．本・論文を批判的に読み取る（2）
8．第 Ⅱ 部 第1課	8．書評を書く（1）
9．第2課	9．書評を書く（2）
10．第3課	10．卒業論文の発表（1）
11．第4課	11．卒業論文の発表（2）
12．第 Ⅲ 部 実践問題1	12．卒業論文の発表（3）
13．実践問題2	13．卒業論文の発表（4）
14．実践問題3	14．統括
15．前期試験	15．期末試験
16．試験解説	16．試験解説

テキスト

『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』 スリーエーネットワーク

その他は担当者が用意したものを配布。

参考書・参考資料等

アカデミック・ジャパニーズ研究会 『大学・大学院　留学生の日本語』④論文作成編　アルク

その他は授業中に指示。

学生に対する評価

毎回の授業で課される課題、期末試験、授業態度を総合して行う。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）学習した内容を最低限理解できている。

（良）学習した内容に基づいて、おおむね正しく記述できている。

（優）学習した内容を応用・発展させ、自分の言葉として記述できている。

その他

日本語を書くこと、発表することに自信のない学生は是非受講してください。毎回の課題を積み重ねていけばライティング力、発信力を身につけられます。

科目名
サンスクリット語Ⅰ サンスクリット語（別）
学期
通年
単位数
2
担当者
前谷　彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：サンスクリット語の短文読解能力を身につける。

テ ー マ：サンスクリット語音論トレーニング

授業の概要

サンスクリット語における音論を中心にして、サンスクリット語という古典言語のダイナミズムに触れ、ことばの本質的な世界の楽しさを味わい、様々な言語に対する豊かな感性を養う。

授業計画

1．導入：サンスクリット語とは？	16．複合語トレーニング
2．アルファベットとデーヴァナーガリー文字	17．短文読解トレーニング
	18．短文読解トレーニング
3．Guza・V3ddhi法則	19．短文読解トレーニング
4．動詞の現在組織	20．短文読解トレーニング
5．語根類推トレーニング	21．『三摩耶王経』読解トレーニング
6．語根類推トレーニング	22．同
7．語根類推トレーニング	23．同
8．連声（Sandhi）法則	24．同
9．Sandhi法則トレーニング	25．同
10．Sandhi法則トレーニング	26．『十地経』読解トレーニング
11．代名詞、前置詞、副詞	27．同
12．名詞造語法	28．同
13．動詞組織	29．同
14．動詞組織	30．総まとめ
15．複合語トレーニング	

テキスト

担当者作成『サンスクリット語サブグラマー』

辻直四郎『サンスクリット文法』（絶版のため、担当者がコピーして配布する）

参考書・参考資料等

必要に応じて担当者が指示する。

学生に対する評価

課題に対する予習・復習（30%）、期末試験2回（70%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）Guza・V3ddhi法則に基づく語根類推能力を身に着ける。

（良）（可）の能力に加え、Sandhi法則を理解し、複合語を分ける能力を身に着ける。

（優）（可）（良）の基礎知識をもとに、短文読解能力を持つこと。

その他

科目名
チベット語 チベット語（別）
学期
通年
単位数
2
担当者
徳重弘志

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】古典チベット語の基礎的な文法の習得
【後期】古典チベット語の文献の読解力を養う

テ ー マ：【前期】古典チベット語の文法入門
【後期】古典チベット語の文献読解

授業の概要

仏教経典は、インドにおいてサンスクリット語で著された後、その伝播に従って、各地の言語に翻訳されていった。それらの翻訳経典の中でも、漢訳と並んで重要なのが、チベット語訳である。特に、真言宗で重視される中期密教経典（『大日経』、『金剛頂経』など）を理解するためには、チベット語の読解力が不可欠となる。この授業は、チベット語文法の基礎を学び、チベット語文献の読解力を高めることを目的とする。

授業計画

【前期】	【後期】
1．イントロダクション	1．イントロダクション
2．文法（1）：文字概説、発音概説	2．経典読解（1）：『金剛頂経』①
3．文法（2）：結合文字、前置字	3．経典読解（2）：『金剛頂経』②
4．文法（3）：格助詞①	4．経典読解（3）：『金剛頂経』③
5．文法（4）：格助詞②	5．経典読解（4）：『金剛頂経』④
6．文法（5）：副助詞①	6．経典読解（5）：『金剛頂経』の注釈書①
7．文法（6）：副助詞②	
8．文法（7）：その他の助詞①	7．経典読解（6）：『金剛頂経』の注釈書②
9．文法（8）：その他の助詞②	
10．文法（9）：名詞	8．経典読解（7）：『大日経』①
11．文法（10）：数詞、形容詞、指示詞	9．経典読解（8）：『大日経』②
12．文法（11）：疑問詞、接続詞	10．経典読解（9）：『大日経』③
13．文法（12）：動詞	11．経典読解（10）：『大日経』④
14．文法（13）：終助詞	12．経典読解（11）：『秘密集会タントラ』①
15．文法（14）：敬語	13．経典読解（12）：『秘密集会タントラ』②
	14．註釈読解（13）：『秘密集会タントラ』③
	15．註釈読解（14）：『秘密集会タントラ』④

テキスト

授業中にプリントを配布する。

参考書・参考資料等

星泉『古典チベット語文法』（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

学生に対する評価

授業参加の積極性（60%）、テスト（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）チベット文字をローマナイズすることができる。

（良）密教に関する基礎的な単語を理解している。

（優）チベット語の文献を辞書を引きながら読むことができる。

その他

後期までに、授業中で指示した辞書を購入すること。

科目名
英会話
学期
通年
単位数
2
担当者
静　春樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】外国人旅行者と接する状況で簡単な会話ができるようになる。
【後期】高野山で外国語旅行者を案内する際に使える英語を身につける。

テ ー マ：【前期】高野山で外国人旅行者に英語で「おもてなし（合掌）」
【後期】英語で外国人と高野山めぐり

授業の概要

【前期】外国人旅行者が困っているとき何か手助けできるのは嬉しいことです。必要な情報を英語で提供できれば、相手は喜び、自分も世界が広がるチャンスにもなります。練習しましょう。

【後期】高野山を訪れた外国人旅行者に伽藍・奥の院などの案内で使える英語を勉強しましょう。

授業計画

【前期】	【後期】
1．ガイダンス	1．ガイダンス
2．もう一度と聞き返すには	2．英語で日本について話す（1）
3．I would like to～	3．英語で日本について話す（2）
4．Would you～	4．自己紹介（1）
5．～を英語ではどう言いますか。	5．自己紹介（2）
6．高野山はいかがですか。どこが？何が？	6．英語で高野山について話す（1）
	7．英語で高野山について話す（2）
7．どちらからお越しですか？	8．英語で仏教について話す（1）
8．各国・地域名を英語で言えるようにしたい。	9．英語で仏教について話す（2）
	10．英語で空海について話す（1）
9．道を尋ねられたら（1）	11．英語で伽藍を案内する（1）
10．道を尋ねられたら（2）	12．英語で伽藍を案内する（2）
11．これまで日本のどこへ行きましたか？	13．英語で奥の院を案内する（1）
	14．英語で奥の院を案内する（2）
12．これからどこへ行かれますか？	15．まとめの英語スピーチ（2）
13．ロールプレイで練習しよう（1）	16．後期の総括
14．ロールプレイで練習しよう（2）	
15．まとめのフリートーキング	
16．前期の総括	

※プログラムは改訂される場合があります。

テキスト

必要に応じて担当者からプリントを配布します。

参考書・参考資料等

辞書を持参してください。

学生に対する評価

授業課題への評価（30%）、会話練習の積極性（40%）、試験（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）外国人から逃げる気持ちが薄くなる。

（良）外国人に話しかけてみたくなる。

（優）機会を逃さず会話がしたくなる。会話がラリーのようにつづく感じがする。

その他

【前期】恥ずかしがっていては上達しません。教室でたくさん失敗し、覚えた表現は積極的に実地で使ってみましょう。ためらいなく、Can I help you? と言えるようになりましょう。

【後期】普段からインターネットのラジオを利用し、英語音声に耳を慣らしておきましょう。

科目名	中国語（初級）
学期	通年
単位数	2
担当者	土生川正賢

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：「学問のための学問」ではなく、実社会で使える語学の習得。
外国語学習を通して母国語と自国文化をより深く理解した国際的視野を有する人材を育成。
テ ー マ：中国語の基礎学習

授業の概要

視覚的に「漢文」として中国語をとらえるのではなく、「聞く」「話す」に重点をおいた授業を行う。
正確な発音を習得し、日常の挨拶語など平易な文を用いて基本的文型の修得を目指す。

授業計画

【前期】
1．年間授業計画。中国に関する一般常識、中国語の特性、外国語学習の方法と意義。
2．「四声」と呼ばれる声調と、中国語発音記号「ピンイン」の母音の習得。
3．「四声」と「ピンイン」の子音の習得。
4．中国特有の漢字「簡体字」の学習。
5．電子辞書を含む中国語辞書の紹介と使い方の説明。
「簡体字」と「ピンイン」で書いた受講者のネームカードを配布。名前を使った発音練習。以後出欠は中国語でとる。
6．「四声」「ピンイン」「簡体字」を学びつつ、テキストに従って挨拶や基本文型を学習。
7-14．テキストを中心とした授業。
前期はテキスト第１～４課を学習。文法解説は必要最低限とし、「聞く」「話す」に重点をおいた授業。
常用文の暗誦（文章丸暗記こそ語学習得の近道！）を義務付け、実際に使える中国語の習得をめざす。
15．前期試験について。アンケート。
16．前期試験（筆記）。

【後期】
1．前期の復習と前期試験の反省
2-14．テキストを中心とした授業。
後期はテキスト第５～８課を学習予定。
文法解説を加えつつも煩雑にならない程度とし、既習文が実際に通じるかを詳細に検証する。
学生の発言機会を増やし、発音・文法を正しつつ、「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。
常用文の暗誦を義務付け、実際に「聞ける」「話せる」中国語の習得をめざす。
15．後期試験について。アンケート。
16．後期試験（筆記）。

随時、日中関係など国際社会における中国の立場を検証し、現代中国の抱える諸問題についても考えてゆきたい。

テキスト

喜多山幸子・鄭幸枝『はじめまして！中国語』白水社

参考書・参考資料等

辞書（小学館『中日辞典』等）。電子辞書や参考書籍は随時紹介。

学生に対する評価

①試験（評価60%）②受講姿勢（評価20%）③既習項目の習熟度（評価20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）中国語の四声とピンインを見て正しい発音ができ、簡体字を理解している。
（良）挨拶語や基礎的な構文を正しく発音でき、基本的な文法を理解している。
（優）基礎的な文法を理解した上で、自己紹介や教科書程度の内容を聞いて話せる会話力がある。

その他

聞けぬ話せぬ語学では実社会では役に立たない。簡単な挨拶文から始めるので、学生諸君には積極的に取り組む姿勢を要求したい。

科目名	中国語（上級）
学期	通年
単位数	2
担当者	土生川正賢

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：国際的な視野をもち、中国語を使って仕事ができる人材を育成したい。
我が国の歴史・文化・伝統・政治的立場等を中国語で堂々と主張できる国際人の養成。
テ ー マ：実践的中国語　中国語で意思表示！

授業の概要

基本的には初級クラスの延長であり、受講生の語学力にあわせた個別指導を行うので安心して受講して頂きたい。

授業計画

【前期】
1．年間授業計画。初級クラス程度の語学力チェック。
2．初級クラスの基礎復習。発音再チェック。辞書・参考文献の紹介。
3-8．
初級クラス同様「聞く」「話す」に重点を置く。文法の基礎固めをしながら、初級クラスで未習のテキスト単元を学習。
9-14．
受講生の語学力に適した教材を配布する。学生による中国語作文発表やディクテーション強化等、実際に使える中国語の習得をめざす。
常用文の暗誦を活用し、学生個々が中国語で自己の意思表現ができるようにつとめたい。
ヒアリング能力向上のため、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。
15．前期試験について。アンケート。
16．前期試験。

【後期】
1．前期既習単元と試験内容、基本文型の総復習。
2-14
受講生の語学力に適した教材を配布。
学生による中国語作文発表やディクテーション強化等、前期同様実際に使える中国語の習得をめざす。
常用分の暗誦を義務付け、それを基礎に段階的に応用を磨く。
学生個々が中国語で自己の意思表現ができるようにつとめたい。各人がレベルアップを実感できるよう、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。
15．後期試験について。アンケート。
16．後期試験（面接）。

年間を通して、日中関係など国際社会における中国の立場を検証。現代中国の抱える諸問題や時事問題にも言及するので、共に考えてもらいたい。

テキスト

初級クラスで用いた教科書の未修単元
今年度は喜多山幸子・鄭幸枝『はじめまして！中国語』白水社

参考書・参考資料等

上記テキスト修了後は、その都度必要な教材・資料を配布。
辞書は毎回必携（電子辞書可）。電子辞書や参考書籍は随時紹介。

学生に対する評価

筆記試験と中国語による個別面接試験、授業中の発表やリポート、受講態度等を加味して総合的に判定。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）正しい発音ができ、自己紹介など簡単な会話ができる。
（良）中国語の基礎的な文法を理解し、正しい発音で教科書程度の内容について会話ができる。
（優）新聞講読に必要な最低限の語彙力と日常会話能力、「聴・説・読・写」の総合的な力がある。

その他

受講生のレベルにあわせた個別指導を心がけるのでご心配なく！
諸君の先輩の中には北京大・復旦大・中山大など中国の一流の大学院に国費留学し学位取得した者もいる。井の中の蛙で終わらないでほしい。

科目名	体育実技
学期	通年
単位数	2
担当者	加陽生子

授業の到達目標及びテーマ

様々なスポーツを通して基本技能を学習すると同時に仲間とのコミュニケーション能力を高め、生涯スポーツに活かしていく。

授業の概要

【前期】様々なスポーツを楽しみながら仲間作りと基本的技術の習得。
【後期】様々なスポーツを楽しみながら仲間作りと基本的技術の習得。

授業計画

【前期】
バレーボール
1．指導概要についての説明
2．ルール、基本動作の徹底
3．個人的技能の習得（1）
4．個人的技能の習得（2）
5．試験（ラリー）
6．個人的技能の習得（1）
7．個人的技能の習得（2）
8．個人的技能の習得（3）
9．試験（アタック）
10．集団的技能の習得（1）（連携プレー）
11．集団的技能の習得（2）（連携プレー）
12．集団的技能の習得（3）（連携プレー）
13．集団的技能の習得（4）（連携プレー）
14．集団的技能の習得（5）（連携プレー）
15．試験（連携プレー）
16．

【後期】
フットサル
1．フットサルのルールとボール慣れ
2．チーム作り・個人的技能の習得
3．ゲーム、技術の向上（1）
4．ゲーム、技術の向上（2）
5．ゲーム、技術の向上（3）
6．ゲーム、技術の向上（4）
7．ゲーム、技術の向上（5）
8．ゲーム、技術の向上（6）
9．ゲーム、技術の向上（7）
10．ゲーム、技術の向上（8）
11．ゲーム、技術の向上（9）
12．ゲーム、技術の向上（10）
13．ゲーム、技術の向上（11）
14．ゲーム、技術の向上（12）
15．ゲーム、技術の向上（13）
16．

テキスト

なし

参考書・参考資料等

なし

学生に対する評価

実技試験（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）ルールを理解し、意欲的に参加している。
（良）基本的な技術を身に付け、ルールを理解している。
（優）ルールを理解し、仲間と協力し合いながら連携プレーが出来る。

科目名	宗教思想史Ⅰ
学期	前期
単位数	2
担当者	川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：神話に登場する神々の姿と性格を理解することによってヒンドゥー教の歴史を学ぶ
テ ー マ：ヒンドゥー教の神様を知る

授業の概要

ヒンドゥー教ではたくさんの神々が信仰されており、それらの神々はユニークでバラエティーに富んだ個性を有しています。また、ヒンドゥー神は密教にも取り入れられ、天部の尊として日本でも盛んに信仰されています。この講義では、ヒンドゥー神話に語られる神々の図像学的特徴や、出自、性格などを分析しながら、ヒンドゥー教の歴史を学びます。

授業計画

1．オリエンテーション
2．ヒンドゥー教とヒンドゥー神話
3．ヴェーダの神々　1
4．ヴェーダの神々　2
5．ブラフマー
6．ヴィシュヌとその化身
7．シヴァの諸相
8．シヴァの家族
9．ヒンドゥーの女神たち　1
10．ヒンドゥーの女神たち　2
11．天体の神々
12．その他のヒンドゥー神
13．胎蔵曼荼羅のヒンドゥー神と金剛界曼荼羅の五類諸天
14．日本における天部信仰
15．試験
16．試験問題の解説

テキスト

プリントを配布します

参考書・参考資料等

立川武蔵『ヒンドゥー神話の神々』（せりか書房）
立川武蔵・石黒淳・菱田邦男・島岩『ヒンドゥーの神々』（せりか書房）
立川武蔵『女神たちのインド』（せりか書房）　など

学生に対する評価

試験（50%）、授業参加の積極性（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）ヒンドゥー教諸神の図像学的特徴を理解している。
（良）ヒンドゥー教諸神の図像学的特徴と出自や性格を理解している。
（優）ヒンドゥー教諸神の特徴を、インドの文献と照らし合わせながら説明できる。

その他

インドやネパールなど、ヒンドゥー教が信仰されている地域に旅行し、その文化に肌で触れることをお勧めします。

科目名
宗教思想史Ⅱ
学期
後期
単位数
2
担当者
川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：曼荼羅を、図像学のみならず宗教学の立場から考察し、その機能と象徴性を理解する

テ ー マ：曼荼羅の歴史と理論

授業の概要

密教において曼荼羅は、単なる礼拝の対象となる絵画ではなく、宗教的世界観や思想を象徴させた「悟りへ至るための補助装置」と考えることができます。この講義では、近年に出版された曼荼羅の解説書を読みながら、インドにおける曼荼羅の歴史を紹介し、そこに秘められた思想の変遷を読み解きます。延いては、宗教における聖なるものと俗なるものの関係性を考察します。

授業計画

1．オリエンテーション
2．いろいろな曼荼羅を見てみよう
3．曼荼羅の思想的基盤　1
4．曼荼羅の思想的基盤　2
5．曼荼羅の象徴性　1
6．曼荼羅の象徴性　2
7．曼荼羅の象徴性　3
8．曼荼羅の儀礼　1
9．曼荼羅の儀礼　2
10. 身体曼荼羅
11. 胎蔵曼荼羅と『大日経』の思想
12. 金剛界曼荼羅と『金剛頂経』の思想
13. 金剛界曼荼羅を読み解く
14.『理趣経』の思想と曼荼羅
15. 試験
16. 試験問題の解説

テキスト

森雅秀『マンダラ事典　100のキーワードで読み解く』（春秋社）

参考書・参考資料等

マルティン・ブラウエン著・森雅秀訳『曼荼羅大全』（東洋書林）
立川武蔵編『マンダラ宇宙論』（法蔵館）
立川武蔵編『曼荼羅と輪廻』（佼成出版社）
森雅秀『マンダラの密教儀礼』（春秋社）　など

学生に対する評価

試験（50%）、授業参加の積極性（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）曼荼羅とは何か？を説明できる。
（良）曼荼羅の象徴性について、密教経典を参照しながら説明できる。
（優）種々の密教経典を参照しながら、インドにおける曼荼羅の思想的展開を説明できる。

その他

日本全国の密教寺院や博物館、壁画の作例が多く残るチベットなどを訪れて、実際に、曼荼羅を自分の目で見てみることをお勧めします。高野山大学の図書館や高野山霊宝館にも、多くの曼荼羅の資料があります。

科目名
心理学ⅠA 心の科学Ⅰ（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：心理学の基本的な知識を習得する。
テ ー マ：初めて心理学を学ぶ人を対象に心理学全般を広く理解する。

授業の概要

心理学を初歩から理解できるように、心理学の歴史と様々な分野の心理学を紹介する。フロイト以前の心理学、フロイトの心理学、フロイト以降の心理学の順序で、感覚と知覚の問題、感情やパーソナリティの問題、発達の問題を取り上げていく。

授業計画及び授業方法

1．オリエンテーション、授業計画の説明、心理学の歴史を学ぶ。
2．心理学の領域を学ぶ。（自我心理学・社会心理学・実験心理学・臨床心理学等の紹介をする。
3．フロイトの心的構造論について学ぶ。自我、エス、超自我など基本的な用語を紹介する。
4．フロイトの考えた意識・無意識の理論、リビドー、タナトスという概念について学ぶ。
5．心的外傷理論、エディプスコンプレックスなどフロイト由来の様々な概念について学ぶ。
6．ユング心理学を紹介する。ユングの生い立ちやコンプレックスの捉え方などを解説する。
7．ユング心理学の独創性について学ぶ。アニマ・アニムス。ペルソナなどについて解説する。
8．エリクソンのライフサイクル論を学ぶ（その1）
　　エリクソンの人生と研究について概説する。乳児期、幼児期初期、遊戯期の課題について学ぶ。
9．エリクソンのライフサイクルを学ぶ（その2）
　　青年期の課題について学ぶ。
10. エリクソンのライフサイクルを学ぶ。（その3）
　　前成人期、成人期、老年期の課題について学ぶ。
11. ピアジェの子どもの発達理論を紹介する。（その1）
　　シェマや同化と調節の考え方を学ぶ。
12. ピアジェの子どもの発達理論を紹介する。（その2）
　　ピアジェの発達段階を学習する。
13. オールポート人格心理学を紹介する。
14 愛着形成と人間の健常な発達を考える。
15. 知覚・認知機能の発達を学ぶ。授業の後半で試験を行う。
16. 試験の返却と解説。

テキスト

特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。

参考書・参考資料等

岡一廣成、鈴木直人監修、『心理学概論』、ナカニシヤ出版。
星薫、森津太子、『心理学概論』、放送大学教育振興会。

学生に対する評価

授業中のレポートを学期末試験の10%として加算する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）フロイトの心的構造の図の見方を理解している。
（良）エリクソンのライフサイクル論の青年期の課題である「アイデンティティ」を説明できる。
（優）子どもの認知発達を順序立てて説明できる。

その他

毎回、出席をとる。配布した資料や参考文献を必ず読むこと。

科目名
心理学ⅡA 心の科学Ⅱ（別）
学期
後期
単位数
2
担当者
戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：心理学Ⅰを受講していることを前提に、現代の様々な心理学を学ぶ。とりわけ、カウンセリングや人格の問題をよく理解して、日常の人間関係の問題に役立てることができるようになる。

テ ー マ：フロイトを学んだ後継者の作り上げた様々な心理学を学ぶ。

授業の概要

フロイトの後継者が展開した新しい心理学の考え方や、実験心理学の応用としての産業心理学、あるいは犯罪心理学など、現代社会で注目されている様々な心理学を学ぶ。

授業計画及び授業方法

1．オリエンテーション。様々な心理学を紹介する。
2．フロイトの心的構造を解説する。
3．マズローの自己実現の理論を紹介する。
4．ロジャースのカウンセリングの理論を学ぶ。（その1）
　・フロイト由来のカウンセリングとの相違点を理解する。
5．ロジャースのカウンセリング理論を学ぶ（その2）
　・クライエント中心療法について解説する。
6．アドラー心理学の基礎理論を紹介する。（その1）
　・アドラーの考える劣等感について学ぶ。
7．アドラー心理学の基礎理論を紹介する。（その2）
　・アドラーの考える「幸せに生きる」ということを解説する。
8．エリスの論理療法を学ぶ。
9．パーソナリティについての心理学を学ぶ。
10. パーソナリティの障害について学ぶ。（アダルトチャイルド・アルコール依存症・DV等を解説する。）
11. 境界性人格障害について学ぶ。
12. 精神疾患・障害について学ぶ。診断と心理アセスメントの違いを知る。
13. 行動療法について学ぶ。
14. 産業心理学を紹介する。職場のメンタルヘルスについて学ぶ。
15. 犯罪心理学について学ぶ。授業の後半で試験をする。
16. 試験の返却と解説を行う。

テキスト

特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。

参考書・参考資料等

岡一廣成、鈴木直人監修、『心理学概論』、ナカニシヤ出版。
星薫、森津太子、『心理学概論』、放送大学教育振興会。

学生に対する評価

授業中の小レポートを学期末試験の10%として加算する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）ロジャースのカウンセリングの特徴を言える。
（良）アドラー心理学の劣等感の捉え方を説明できる。
（優）パーソナリティの障害を理解し、境界性人格障害の説明ができる。

その他

毎回、出席をとる。理解を深めるために、授業中に配布する資料を必ず読むこと。

科目名
社会学Ⅰ 社会保障A（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
森本一彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：社会学の基礎を学ぶことを通して、大学教育で必要とされる考え方を習得する。

テ ー マ：社会学の基礎

授業の概要

身近な社会現象を取り上げ、社会学によって説明をすることを通して、社会学的な視点を学ぶとともに、それを身に付ける

授業計画

1．社会学とは
2．遊びの社会学（1）
3．遊びの社会学（2）
4．うわさの社会学
5．流行の社会学
6．家族の社会学（1）
7．家族の社会学（2）
8．人口の社会学（1）
9．人口の社会学（2）
10. 自殺の社会学
11. 犯罪の社会学（1）
12. 犯罪の社会学（2）
13. 労働の社会学（1）
14. 労働の社会学（2）
15. 社会学の見方
16.

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

作田啓一・井上俊編『命題コレクション 社会学』ちくま文庫
竹内洋『社会学の名著30』ちくま新書
その他授業中に紹介する。

学生に対する評価

定期試験（70%）、授業中の小テストおよびコミュニケーションカード（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）社会学の基本用語を説明できる。
（良）社会学の理論を自分の言葉で説明できる。
（優）現実の現象を社会学の理論を使いながら説明できる。

その他

・社会学は、人間学科の導入科目となるので、真面目に受講することが必要である。
・日ごろからニュースや新聞などに触れ、時事問題にも興味を持ち、現在何が起こっているのかを確認しておくこと。

科目名
日本文学Ⅰ
学期
前期
単位数
2
担当者
浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：『説話の構造を理解し、『発心集』の面白さを知る。

テ ー マ：説話の魅力

授業の概要

『方丈記』で知られる鴨長明の説話集『発心集』の巻１と巻２を読む。毎回いくつかの説話をとりあげ、その説話の背景や魅力について考える。さらに『発心集』の序文を初回で読み、最終回に再び読むことで、より深い理解を目指す。「発心とは」「出家者はどうあるべきか」といった問題意識を持っていた長明の思想を学ぶ。

授業計画

1．ガイダンス－講義の進め方、『発心集』序文を読む－
2．巻１を読む①（玄敏僧都）
3．巻１を読む②（平等供奉と千観内供）
4．巻１を読む③（僧賀上人と南筑紫上人）
5．巻１を読む④（教懐上人と大江佐国、仏種房）
6．巻１を読む⑤（天王寺の聖と高野の上人）
7．巻１を読む⑥（藤原顕能）
8．巻２を読む①（安居院聖と永観律師）
9．巻２を読む②（寂心と寂照、仙命）
10．巻２を読む③（楽西上人）
11．巻２を読む④（相真と真浄房）
12．巻２を読む⑤（前滝口助重と橘守助）
13．巻２を読む⑥（念仏聖と老翁、善導）
14．『発心集』の時代
15．まとめ－再び『発心集』の序文を読む－

テキスト

教員が用意する。

参考書・参考資料等

小峰和明『中世日本の予言書』（岩波新書）

学生に対する評価

毎回のリアクションペーパー（50％）、レポート（50％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）『発心集』巻１、２の内容を理解している。
（良）『発心集』巻１、２の説話のそれぞれのテーマ、仏教と文学の関わりについて理解している。
（優）『発心集』巻１、２について、他文献を参考にしつつその特徴を説明することができる。

その他

私語厳禁。講義時の疑問等についてはリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を求める。

科目名
日本文学Ⅱ
学期
後期
単位数
2
担当者
浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：児童文学の魅力を知る。この講義をきっかけにして、様々な近現代文学を読んでもらいたい。

テーマ：児童文学の魅力

授業の概要

鈴木三重吉によって発刊された雑誌『赤い鳥』には多くの作家が寄稿している。本講義ではそのうちのいくつかをとりあげ、その魅力について考える。さらに『赤い鳥』の編集姿勢や紙面構成などから、黎明期の近代児童文学についても考えてみる。

授業計画

1．ガイダンス
2．児童文学と『赤い鳥』
3．児童文学を読む①
4．児童文学を読む②
5．児童文学を読む③
6．児童文学を読む④
7．児童文学を読む⑤
8．児童文学を読む⑥
9．児童文学を読む⑦
10．児童文学を読む⑧
11．児童文学を読む⑨
12．児童文学を読む⑩
13．児童文学を読む⑪
14．児童文学を読む⑫
15．まとめ

テキスト

教員が用意する。

参考書・参考資料等

数研出版『クリアカラー国語便覧』

学生に対する評価

毎回のリアクションペーパー（50％）、レポート（50％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）作品のテーマを理解することができる。
（良）作品の魅力について、他文献を参考にしつつ意見を述べることができる。
（優）『赤い鳥』について、独自の意見を述べることができる。

その他

私語厳禁。講義時の疑問等についてはリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を求める。

科目名
国文法Ⅰ
学期
前期
単位数
2
担当者
下西忠

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：古文を正しく解釈できるように、古典（文語）文法の正しい知識を得ること。

テ ー マ：用言の活用

授業の概要

文語文法（古典文法）の知識を習得する。前期はおもに用言、つまり述語になる動詞・形容詞・形容動詞の活用とその種類を中心にそれぞれの品詞の特質を考える。

授業計画

1．古典文法は何のために学ぶのか
2．文語文法と口語文法のちがい
3．文節とはなにか
4．動詞とはどのような品詞か　自動詞と他動詞
5．動詞の活用（1）四段活用
6．動詞の活用（2）上一段活用と上二段活用
7．動詞の活用（3）下一段活用と下二段活用
8．動詞の活用（4）変格活用 ナ変とラ変
9．動詞の活用（5）変格活用 サ変とカ変
10．形容詞とはどのような品詞か
11．形容詞のク活用とシク活用
12．形容動詞とはどのような品詞か
13．ナリ活用とタリ活用
14．用言の総合問題
15．まとめ
16．確認テスト

テキスト

教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等

（1）高校で使用した「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可）
（2）古語辞書（電子辞書でも可）

学生に対する評価

（1）定期試験（50％）
（2）２回の小テスト（50％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）動詞の活用の種類についての基礎的知識
（良）上記に加えて形容詞についての基礎的知識
（優）上記二つに加えて、形容動詞についての基礎的知識

その他

受講者についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。

科目名
国文法Ⅱ
学期
後期
単位数
2
担当者
下西忠

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：助動詞の正しい知識と敬語の基礎、とりわけ敬意の対象を理解すること。

テ ー マ：文語の助動詞と敬語法

授業の概要

古典（漢文もふくめて）を正しく解釈するためには、古典文法の正しい知識は必須条件である。

とくに助動詞の知識は大切である。接続・活用形などの正しい理解に注意しながら、丁寧に講義をすすめていく。途中で理解度を確かめる意味で小テストを３回、また敬語の基礎も１回の小テストを実施する。

授業計画

1．助動詞とはどのようなものか
2．受身・尊敬・自発・可能の助動詞　「る」「らる」、打消「ず」、打消推量の助動詞「じ」
3．使役・尊敬の助動詞　「す」「さす」「しむ」、願望の助動詞「まほし」
4．推量の助動詞（1）「む」「けむ」「らむ」
5．推量の助動詞（2）「らし」「めり」、反実仮想「まし」
6．推量の助動詞（3）「べし」
7．完了の助動詞（1）「つ」「ぬ」
8．完了の助動詞（2）「たり」「り」
9．過去の助動詞「き」「けり」、願望の助動詞「たし」
10．伝聞・推定の助動詞「なり」
11．断定の助動詞「なり」「たり」、比況の助動詞「ごとし」
12．敬語の基礎　尊敬語・謙譲語・丁寧語とはどのようなものか
13．敬意の主体と対象
14．「給ふ」「奉る」「聞こゆ」の識別
15．敬語の課題
16．確認テスト

テキスト

教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等

（1）高校で使用した「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可）
（2）古語辞書（電子辞書でも可）

学生に対する評価

（1）４回の小テスト（80％）
（2）定期試験（20％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）推量の助動詞の基礎的知識
（良）上記に加えて、時制にかかわる助動詞の基礎的知識
（優）上記二つに加えて敬語の基礎的知識

その他

受講生についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。

科目名	学期	単位数	担当者
国語学Ⅰ	前期	2	上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。
テ ー マ：言語としての日本語

授業の概要

テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な講義を行う。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小課題等、受講者に積極的に参加してもらう。

授業計画

1．言語と人間　二重分節性、言語の機能（１）
2．言語と人間　二重分節性、言語の機能（２）
3．日本語の音声・音韻　音声と音韻、単音の分類、母音（１）
4．日本語の音声・音韻　音声と音韻、単音の分類、母音（２）
5．日本語の音声・音韻　音声器官、子音の基本事項（１）
6．日本語の音声・音韻　音声器官、子音の基本事項（２）
7．日本語の音声・音韻　清濁、拗音（１）
8．日本語の音声・音韻　清濁、拗音（２）
9．日本語の音声･音韻　拍と音節､特殊拍､アクセントとその役割（１）
10. 日本語の音声･音韻　拍と音節､特殊拍､アクセントとその役割（２）
11. 日本語の文字表記　日本語の表記の特色、漢字の将来（１）
12. 日本語の文字表記　日本語の表記の特色、漢字の将来（２）
13. 日本語の文字表記　漢字の構造と用法(六書)､音と訓､国字･国訓（１）
14. 日本語の文字表記　漢字の構造と用法(六書)､音と訓､国字･国訓（２）
15. 日本語の文字表記　平仮名・片仮名、ローマ字

テキスト

藤田保幸『緑の日本語』和泉書店、2010 年　書店で購入

参考書・参考資料等

ジョージ･ユール『現代言語学 20 章－言葉の科学－』（大修館書店）
小泉保『教養のための言語学コース』（大修館書店）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価

都度の課題（30%）、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）言語としての日本語の基本的な理解を達成している。
（良）言語としての日本語の知識を用いて日常観察される日本語の言語現象を説明する。
（優）言語としての日本語に関して自身で課題を設定して考察する。

その他

授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。

科目名	学期	単位数	担当者
国語学Ⅱ	後期	2	上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。
テ ー マ：言語としての日本語

授業の概要

テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な講義を行う。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小課題等、受講者に積極的に参加してもらうようにする。

授業計画

1．日本語の語彙　語彙の概念、語彙量、理解語彙等、語彙調査（１）
2．日本語の語彙　語彙の概念、語彙量、理解語彙等、語彙調査（２）
3．日本語の語彙　語種（和語・漢語・外来語）（１）
4．日本語の語彙　語種（和語・漢語・外来語）（２）
5．日本語の語彙　語彙と位相（位相とは、女性語、隠語）（１）
6．日本語の語彙　語彙と位相（位相とは、女性語、隠語）（２）
7．日本語の文法　学校文法とその限界、文法と言語生活（１）
8．日本語の文法　学校文法とその限界、文法と言語生活（２）
9．日本語の文法　現代の文法の考え方､隣接分野としての語用論（１）
10. 日本語の文法　現代の文法の考え方､隣接分野としての語用論（２）
11. 日本語の方言　方言とは、東西差、方言区画、方言周圏論（１）
12. 日本語の方言　方言とは、東西差、方言区画、方言周圏論（２）
13. 日本語の位置　世界の中の日本語の位置、日本語の特質（１）
14. 日本語の位置　世界の中の日本語の位置、日本語の特質（２）
15. まとめ

テキスト

藤田保幸、『緑の日本語学教本』、和泉書店、2010 年　書店で購入

参考書・参考資料等

ジョージ･ユール､『現代言語学 20 章－言葉の科学－』（大修館書店）
小泉保、『教養のための言語学コース』（大修館書店）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価

都度の課題（30%）、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）言語としての日本語の基本的な理解を達成している。
（良）言語としての日本語の知識を用いて日常観察される日本語の言語現象を説明する。
（優）言語としての日本語に関して自身で課題を設定して考察する。

その他

授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。

科目名	学期	単位数	担当者
現代の人権 人権と福祉（別）	後期	2	竹村和也

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：現代において特に論争の焦点となっている法的権利について、その法的背景なども視野に入れた上で理解すること、及び批判的思考ができること。
テ ー マ：現代社会における人権

授業の概要

授業はパワーポイントを利用し講義形式とします。
現代社会においては憲法に規定された従来の伝統的な人権の枠組みでは捉えきれない新たな人権が重要となってきています。本講義は、憲法を中心に、憲法上の権利と権利の現代的展開に焦点を当てながら、法的な側面から現代社会を理解しようとする試みです。
講義形式での授業ですが、授業の中で議論を試みます。

授業計画

社会において現代の人権と関わる新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、参加する学生諸君の関心にもなるべく、応えていこうと思いますので、適宜変更の可能性があります。
1．イントロダクション
2．人権を守る仕組み（統治機構）①
3．人権を守る仕組み（統治機構）②
4．国際的人権保障（紛争と人権）
5．国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）①
6．国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）②
7．憲法総論（幸福追求権・自己決定権）
8．医療における自己決定権（治療選択の権利・死ぬ権利）
9．新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）①
10. 新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）②
11. 臓器移植と臓器の売買？
12. クローン技術規制法
13. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）①
14. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）②
15. 公害問題と環境権（日本の環境保護法制）
16. まとめ

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第５版）2018 年

学生に対する評価

定期試験もしくは最終レポートにより（80%）
授業中のミニッツ・ペーパーや持ち帰りの課題提出、授業への積極的な参加により（20%）
授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。
授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

期末筆記試験の形式やレポート課題により若干異なりますが、
（可）授業で扱ったテーマについて十分な論述がされている、または十分な理解が示されている場合
（良）内容を概ね理解したと思われる場合
（優）それなりの努力が読み取れる場合

その他

受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。

科目名	学期	単位数	担当者
日本国憲法	後期	2	竹村和也

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：憲法の基本的な枠組みと幾つかの権利に関して基本的な理解を得ること、及び批判的な思考ができること。
テ ー マ：憲法と人権

授業の概要

憲法は国の基本的なあり方を定めた法であり、また守るべき理念や価値を定めた法です。本講義では憲法の中の人権規定とそれに関連するほかの法分野について、特に現代社会において問題となっている権利に焦点を当てます。特に、裁判員制度の導入とともに刑事裁判に社会の関心が集まり、またこの数年冤罪問題がクローズアップされているために、捜査・裁判における人権である身体的自由権に焦点を当てる予定です。さらに、財産権との関係で経済的自由権、家族関係における法との関係で平等権も取り扱う予定です

授業計画

社会的に注目される新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、進度により適宜変更の可能性はありますから、あくまで目安として、
1．イントロダクション（法の体系と憲法の特質及び財産権）
2．財産権と私法①（物権）
3．財産権と私法②（契約）
4．財産権と私法③（消費者契約）
5．財産権と私法④（不法行為）
6．平等権と家族①（家族法）
7．平等権と家族②（家族法）
8．刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と憲法上の被疑者の権利）①
9．刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と憲法上の被疑者の権利）②
10. 刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と憲法上の被告人の権利）①
11. 刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と憲法上の被告人の権利）②
12. 国民の司法参加①（陪審制度・参審制度）
13. 国民の司法参加②（裁判員制度）
14. 犯罪被害者の権利と立憲主義
15. 中間評価
16. まとめ

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

竹下賢・沼口智則・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第５版）2018 年

学生に対する評価

定期試験により（80%）
授業中のミニッツ・ペーパーや小テスト、授業への積極的な参加により（20%）
（昨年度は、学期途中で前半の試験、学期末に後半の試験と、２度の試験を実施しています。）
授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。
授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

期末筆記試験の形式により若干異なりますが、
（可）授業で扱ったテーマについて十分な論述がされている、または十分な理解が示されている答案
（良）内容を概ね理解したと思われる答案
（優）それなりの努力が読み取れる答案

その他

受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。

科目名	学期	単位数	担当者
情報処理	通年	2	木地茂典

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：情報ネットワーク社会の中で情報を利用する上での重要な基盤技術をデータを通してそれを習得することを目的とする
【前期】数学的論理を踏まえ基本的なoffice 機能の利用をもってプレゼンテーション化する。
【後期】実践的に表現していくなかで、情報理論の体系化を修得をし、分析力を養う
テ ー マ：入力された情報をPCで加工して、その結果を出力することが情報処理でもある。それをどのように表現していくかを目標とする

授業の概要

情報処理という中でこれから必要とされるであろうデータ処理を含めて進めていく
【前期】基本的なことを踏まえて、データ処理から分析ができるような内容にしていく。それには、数学的な論理思考が必要となっていく。
【後期】前期を踏まえて、データ内容から分析まで表現できるものとしてプレゼンテーションし、また情報一般知識を活用して一つの処理結果を制作していく。

授業計画

【前期】
1．ガイダンス
2．Office 機能の確認
3．Word で文書作成（1）
4．Word で文書作成（2）
5．Excel での作成（1）
6．Excel での作成（2）
7．情報伝達について（1）
8．情報伝達について（2）
9．暗号化と情報管理
10．データベースの理解と活用
11．オペレーティングシステムの理解
12．サーバとネットワークの講造（1）
13．サーバとネットワークの講造（2）
14．プレゼンテーション
15．総括　プレゼンテーション

【後期】
1．問題解決手法一般について
2．問題の表し方と解決策について
3．データの分析から評価・解決手順
4．プログラム言語と論理について
5　構造プログラムの設計；選択・連続性について（1）
6．構造プログラムの設計；選択・連続性について（2）
7．分析論（1）
8．分析論（2）
9．情報活用論（1）
10．情報活用論（2）
11．情報メディアについて
12．情報デザインについて
13．表現メディアの編集と表現について
14．総括情報メディアまとめ
15．総括　プレゼンテーション

テキスト

必要に応じて文献を提示していくなかで、素材データを共有する。

参考書・参考資料等

毎回参考資料を提示してく、数学的な論理・解決が必要でもあるので、随時提示する。

学生に対する評価

通年評価：社会におけるIC活用は、必須でもあるので、意欲性が評価に繋がっていく。
※詳細はガイダンスで説明する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）office 機能を理解するとともに、プレゼン能力
（良）制作に対する取り組み方、作品の完成度、及びプレゼン能力
（優）作品の総合的なデレクション能力とデザイン力、及びプレゼン能力

その他

統計的な観点からのデータ分析を試みてみる。IC活用にみる分析・論理はやはり数学的なものである
それを理解して進めていくとともに、その変化に対応していくことも求める。

科目名	学期	単位数	担当者
梵字悉曇（別）	通年	2	齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】梵字悉曇の基礎知識の修得
【後期】梵字悉曇（応用編）・真言、陀羅尼の書法実践
テ ー マ：【前期】梵字悉曇の基礎知識
【後期】梵字悉曇の応用

授業の概要

【前期】摩多・体文・切継など、書法を実践しながら基礎知識を修得する。
【後期】前期で修得した文字を基本に、常用経典にある真言・陀羅尼を学び、その書法を実践する

授業計画

【前期】
1．年間授業計画の説明
2．梵字悉曇の歴史と筆記用具（1）
3．梵字悉曇の歴史と筆記用具（2）
4．～16．文字の修得（1）～（12）（字母五十一字（摩多・体文））（悉曇十八章（切継について））

【後期】
1．～10．文字の修得（13）～（22）
11．常用経典所載の真言・陀羅尼
12．塔婆の書様
13．葬儀に用いる梵字
14．～16．以上の書法を実践する。

テキスト

児玉義隆著『梵字必携』朱鷺書房　「小堀南岳堂」で購入
中川善教 編『真言宗常用諸経要聚』「中本名玉堂」で購入

参考書・参考資料等

静慈圓著『梵字悉曇』朱鷺書房

学生に対する評価

作品提出 100%　「毎回の授業時に提出する作品」

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）習った「梵字」を書くことが出来る
（良）文字の上達はまだであるが「梵字」の基礎は理解している。
（優）真言・陀羅尼についても「文字」との関連を理解し、きれいな梵字を書くことが出来る。

その他

筆と半紙を準備（授業の最初に説明します）

科目名	学期	単位数	担当者
常用経典（別）	通年	2	宮田永明

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：『理趣経』、『梵網経』、礼懺、三陀羅尼、般若心経、立義分、諸真言等が読誦できる様に務めます。
テ ー マ：真言宗の常用経典の読誦法（お経の読み方）の習得（他）

授業の概要

『理趣経』、『観音経』、『梵網経』を中心に、寺院日常の勤行・法要などに用いる諸経典の読誦法を習得し、順次『般若心経』や『立義分』など短い偈文などを暗誦できるように務めます。
『真言宗常用諸経要聚』等の経典に用いられている仏教用語の基礎的理解を助け、経典が描く仏教・密教的世界観が理解しやすくなるようなるべく簡単に用語の概説をおこないます。
また、僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『観音経』、『梵網経』『金胎礼懺』「三陀羅尼」『梵讃』に務めます。

授業計画

【前期】
☆『 真言宗常用諸経要聚』に収録される経典や偈文の読誦法を順次教授し、稽古します。
☆僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる
1「開経偈」2「懺悔文」3「礼文」4「理趣経」5「金・胎礼懺」6「観音経」7「立義分」8「梵網経」9「般若心経」10「九条錫杖」11「梵讃・三陀羅尼」12「諸真言」の読誦を先に行います。
☆各授業時間の中で、時間が許せば読誦する経典の内容（意味）を簡単に解説します。
☆経典理解の基礎的知識を簡単に概説します。

【後期】
前期同様
☆を中心に、前期に学んだ諸経典の読誦の稽古を引き続き行います。
僧侶志望者の必要性を鑑み、『理趣経』『金胎礼懺』「三陀羅尼」『諸真言』読誦に務めます。
☆受講者の理解、興味等の様子を見て、出来れば『 真言宗常用諸経要聚』所載の弘法大師空海著作『般若心経秘鍵』を読みたく思っています。

テキスト

中川善教編『真言宗常用諸経要聚』を用います。
その他、資料を配布する。

参考書・参考資料等

必要に応じて講義の中で指示します。

学生に対する評価

授業態度（30%）、実技（70%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）『理趣経』が滞りなく読める。
（良）可は当然として、三陀羅尼が読め、梵讃が暗唱できる。
（優）常用経典が全てスラスラ読める。

その他

講義には、念珠と輪袈裟、中川善教編『真言宗常用諸経要聚』を持参してください。他の経本は授業を進める上で(ページの指示・訂正箇所の不一致など)時間のロスが多くなります。
経典の不所持は、出席を認めません。受講拒否とみなします。
IC レコーダー等の用意が有れば使用を許可します。なるべく持って来ることを勧めます。
伽藍の金堂で開壇される「結縁灌頂」に入壇することを原則として義務付けます。
此れは法会の中でどの様に用いられているか、実際上知ってもらう為です。

科目名	学期	単位数	担当者
声明（別）	通年	2	辻秀道

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：法要の基本となる「理趣三昧法会」で使われる声明を研鑽する
テ ー マ：僧侶として必ず必要な声明を基礎から学ぼう

授業の概要

日本音楽の基礎となった仏教音楽の「声明」。我々が法要などで用いる「南山進流」声明を基礎（楽理を含む）の導入部分から学ぶ。

授業計画

【前期】
1．声明の楽譜、音階、唱え方（旋律型）の解説及びオリエンテーション
2．三　礼・
3．四智梵語（1）
4．四智梵語（2）
5．大日讃（1）
6．大日讃（2）
7．不動讃
8．四智漢語（1）
9．四智漢語（2）
10．心略漢語（1）
11．心略漢語（2）
12．仏　讃（1）
13．仏　讃（2）
14．散華（初段目）（1）
15．前期　試験
16．散華（初段目）（2）

【後期】
1．散華（二段目）（1）
2．散華（二段目）（2）
3．散華（二段目）（3）
4．散華（三段目）（1）
5．散華（三段目）（2）
6．対　揚（1）
7．対　揚（2）
8．対　揚（3）
9．対　揚（4）
10．唱　礼　（金剛界）（1）
11．唱　礼（2）
12．唱　礼（3）
13．唱　礼（4）
14．理趣経（中曲）（1）
15．後期テスト
16．理趣経（中曲）（2）

テキスト

宮野宥智編 『南山進流声明類聚・附伽陀』を松本日進堂にて事前に購入しておくこと。
（注、必ず同一内容の声明類聚で、できるだけ新しく購入した本を準備する事）

参考書・参考資料等

小山公淳著 『真言宗法儀解説』

学生に対する評価

前期・後期の小テスト（50%） 期末試験（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）南山進流声明の習熟度は不十分だが、複数の人と一緒に唱える事が出来る。
（良）南山進流声明を概ね理解し、複数の人と一緒に唱える事が出来る。
（優）南山進流声明の理論・唱え方を理解し、一人でも唱える事が出来る。

その他

筆記用具は鉛筆（シャープペンシル）等、後で修正出来る筆記用具を必ず持参すること。
声明は毎週の積み重ねとなるので、できる限り欠席しない様にする事。

科目名

法式（別）

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：僧侶としての基礎を学ぶ
テ ー マ：道場荘厳・壇荘厳の基礎

授業の概要
真言宗の僧侶として必要な道場荘厳・壇荘厳の基礎知識と意識を解説する。

授業計画

【前期】
1．講義内容の説明
2．道場荘厳の解説について（1）
3．道場荘厳の解説について（2）
4．道場荘厳の解説について（3）
5．道場荘厳の解説について（4）
6．道場荘厳の解説について（5）
7．道場荘厳の解説について（6）
8．道場荘厳の解説について（7）
9．道場荘厳の解説について（8）
10．道場荘厳の解説について（9）
11．道場荘厳の解説について（10）
12．六種供養について（1）
13．六種供養について（2）
14．六種供養について（3）
15．道場荘厳見学
16．

【後期】
1．講義内容の説明
2．壇荘厳の解説（1）
3．壇荘厳の解説（2）
4．壇荘厳の解説（3）
5．壇荘厳の解説（4）
6．壇荘厳の解説（5）
7．壇荘厳の解説（6）
8．壇荘厳の解説（7）
9．壇荘厳の解説（8）
10．壇荘厳の解説（9）
11．壇荘厳の解説（10）
12．壇荘厳の解説（11）
13．壇荘厳の解説（12）
14．壇荘厳の解説（13）
15. 壇荘厳見学
16.

学期：通年
単位数：2
担当者：内海周浩

テキスト
前期：『真言宗の事作法』 教務課にて購入の事
後期：大山公淳著『真言宗法儀解説』書店にて購入の事

参考書・参考資料等
参考資料をコピーして配布致します

学生に対する評価
定期試験（80%） 授業参加の積極性（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）道場荘厳・壇荘厳に関する基本用語の理解が出来ている。
（良）道場荘厳・壇荘厳の様式について理解が出来ている。
（優）道場荘厳・壇荘厳の基礎を理解した上で、説明することが出来る。

その他

科目名

布教（別）

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：布教原理の学習と実習を通して伝道の重要性を認識し、真言法話を語れるようにする。
テ ー マ：空海の名言を語る

授業の概要
本講義は布教初心者の科目である。布教の知識と方法を学び、空海名言に基づいた法話づくりの授業である。

授業計画

【前期】
1．世界の宗教
2．宗教と科学
3．布教の原理
4．釈尊成道と初転法輪
5．説法の方法
6．弘法大師胎動
7．弘法大師入唐の準備
8．入唐の風景
9．師資相承
10．密教伝来
11．真言密教の宣布
12．供養と信仰
13．遍路・巡礼
14．原稿の書き方①
15．原稿の書き方②

【後期】
1．駐在布教の見学
2．提出レポートの感想
3．三分法話（実習）
4．布教の心得
5．発表布教①
6．発表布教②
7．発表布教③
8．発表布教④
9．発表布教⑤と再発表
10．発表の所感
11．般若心経の法話①
12．般若心経の法話②
13．観音経の法話①
14．観音経の法話②
15．総括

学期：通年
単位数：2
担当者：近藤堯寛

テキスト
近藤堯寛著『空海名言辞典 付・現代語訳』高野山出版社／配布プリント

参考書・参考資料等
白象の会著・近藤堯寛監修『空海散歩』筑摩書房／寺河俊海著『現代布教の理論と実際』高野山出版社／川喜田二郎著『続・発想法』中公新書 210

学生に対する評価
授業中の質疑応答 20%・文書レポート 30%・発表布教 50%で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）密教の基本用語が読み書きできて、意味も理解できる。
（良）空海名言一句について、資料を見ながら説明できる。
（優）空海名言の法話を創作して、それを人々に語って共感させることができる。

この授業の特徴
現代布教とは、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどの情報を利用することである。集めた資料は、推敲とヒラメキと直感によって個性的な内容になる。書き方と話し方にはコツがある。

科目名

宗教学Ⅰ 世界の宗教1（別）

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教学について基礎的な知識を身につけると共に、さまざまな社会・文化現象を宗教の観点から読み解き、自分なりの見方ができるようになる。
テ ー マ：宗教学の基礎を学ぶ

授業の概要
当番がレジュメを用意し、テキストを一緒に読む形で授業を進める。適宜映像資料等を用いて、宗教現象を立体的に理解できるようにする。また「宗教とは何か、宗教はどうあるべきか」をテーマに意見交換の時間（第 10 回）を設ける。

授業計画
1．オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の方法等を説明する）の後、テキスト第1章「宗教学の立場と分野」を読む
2．テキスト第1章「宗教学の立場と分野」を読む（続）
3．テキスト第2章「宗教の原初形態」を読む
4．テキスト第3章「科学・呪術・宗教」を読む
5．テキスト第4章「宗教の諸類型」を読む
6．テキスト第5章「宗教の構成要素」を読む
7．テキスト第6章「宗教的実在観」を読む
8．テキスト第7章「宗教的人間観」を読む
9．テキスト第8章「宗教的世界観」を読む
10．討論「宗教とは何か、宗教はどうあるべきか」
11．テキスト第9章「宗教儀礼」を読む
12．テキスト第10章「教団と社会」を読む
13．テキスト第11章「宗教体験と人格」を読む
14．テキスト第12章「宗教の機能」を読む
15．まとめ

学期：前期
単位数：2
担当者：奥山直司

テキスト
『宗教学入門』（脇本平也著、講談社）

参考書・参考資料等
授業中に適宜指示、配布する。

学生に対する評価
定期試験（80%）、毎回の授業の最後に提出する小レポート（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）テキストを読み、要約することができる。
（良）宗教学の代表的理論を説明することができる。
（優）社会・文化現象を宗教学の観点から読み解き、自分なりの見方ができる。

その他

科目名

宗教学Ⅱ 世界の宗教2（別）

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：各種の宗教思想について基礎的な知識を身につけると共に宗教とその文化に関心を広げる。
テ ー マ：諸宗教の聖典と宗教学の名著を読む

授業の概要
諸宗教の聖典と宗教学の名著（いずれも教員が用意する抄出本）を読むことを通して、様々な宗教のあり方をより深く学んでゆく。映画等を資料にして、宗教現象を立体的に理解できるようにする。

授業計画
1．オリエンテーション、仏典を読む（1）初期経典
2．仏典を読む（2）初期経典（続）
3．仏典を読む（3）大乗経典
4．仏典を読む（4）大乗論書
5．仏典を読む（5）密教経典
6．聖書を読む（2）旧約聖書
7．聖書を読む（2）新約聖書
8．コーランを読む（1）
9．コーランを読む（2）
10．宗教学の名著を読む（1）フレイザー『金枝篇』
11．宗教学の名著を読む（2）ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
12．宗教学の名著を読む（3）デュルケム『宗教生活の原初形態』
13．宗教学の名著を読む（4）ジェイムズ『宗教的経験の諸相』
14．宗教学の名著を読む（5）南方熊楠書簡
15．まとめ

学期：後期
単位数：2
担当者：奥山直司

テキスト
授業中に適宜配布する。

参考書・参考資料等
授業中に指示する。

学生に対する評価
定期試験（80%）、毎回の授業の最後に提出する小レポート（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）各宗教の聖典を読み、内容をまとめることができる。
（良）諸宗教を比較しながら、それぞれの特徴を説明できる。
（優）宗教とその文化に関心を持ち、その角度から社会・文化現象を分析できる。

その他

科目名

宗教史Ⅰ 宗教の歴史1（別）

学期：前期

単位数：2

担当者：大柴清圓

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：中国における三教（儒道仏）の基本的な歴史を学習する。
テ ー マ：中国の儒教史・道教史・仏教史

授業の概要

中国における隋唐時代までの儒教・道教・仏教それぞれに関係する人物・典籍・思想・文学・作品・建築・像容・歴史的事象などを概観する。

授業計画

1．はじめに（オリエンテーション）
2．儒教史① 先秦：孔子とその弟子たち
3．儒教史② 両漢魏晋：讖緯説とその周辺
4．儒教史③ 南北朝隋唐：三教の交渉・『五経正義』
5．道教史① 先秦：老子と荘子
6．道教史② 両漢魏晋：陰陽五行説・神仙思想
7．道教史③ 南北朝隋唐：仏教弾圧の歴史
8．中国仏教史① 後漢：仏教の伝来と初期の翻訳
9．中国仏教史② 魏晋五胡十六国：格義仏教・鳩摩羅什・慧遠
10. 中国仏教史③ 南北朝：梁武帝・真諦・菩提流志
11. 中国仏教史④ 隋唐：翻訳経典と中国撰述書
12. 中国仏教史⑤ 隋唐：法相宗・三論宗・三階教
13. 中国仏教史⑥ 隋唐：天台宗・華厳宗・律宗
14. 中国仏教史⑦ 隋唐：密教・禅宗・浄土教
15. テスト
16. 予備

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

戸川芳郎・蜂屋邦夫・溝口雄三著 1987『世界宗教史叢書 10 儒教史』山川出版社
窪徳忠著 1977『世界宗教史叢書 9 道教史』山川出版社
鎌田茂雄著 2001『新中国仏教史』大東出版社

学生に対する評価

出席（30%）と授業中の発言（20%）と学期末のペーパーテスト（50%）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）出席点と発言点と期末テストの合計が60点以上
（良）出席点と発言点と期末テストの合計が70点以上
（優）出席点と発言点と期末テストの合計が80点以上

その他

配布するプリントをよく復習してください。学期末試験は太字の部分を設問に出します。普段から少しずつ記憶するように心がけてください。

科目名

宗教史Ⅱ 宗教の歴史2（別）

学期：後期

単位数：2

担当者：大柴清圓

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：日本における神道と古代の仏教に関する基本的な知識の習得を目指す。
テ ー マ：日本の神道史・仏教史

授業の概要

神道史は、『古事記』の神話をひもとき、天つ神と国つ神の系統とそのゆかりの神社について概説する。仏教史は、伝来から平安時代以前の人物・文物・寺院・仏像・歴史的事象などについて概論する。

授業計画

1．はじめに（オリエンテーション）
2．神道史①『古事記』の神話と神々
3．神道史② 天皇家と神宮
4．神道史③ 国つ神と神社
5．神道史④ 神仏習合
6．神道史⑤ 神となった人たち
7．日本仏教史① 仏教の伝来とその周辺
8．日本仏教史② 聖徳太子
9．日本仏教史③ 飛鳥時代の寺院と仏像
10. 日本仏教史④ 留学僧と将来本
11. 日本仏教史⑤ 南都六宗
12. 日本仏教史⑥ 東大寺と国分寺
13. 日本仏教史⑦ 最澄と天台宗
14. 日本仏教史⑧ 修験道
15. テスト
16. 予備

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

岡田莊司編 2010『日本神道史』吉川弘文館
辻善之助著 1944『日本仏教史　上世編』岩波書店
家永三郎監修 1967『日本仏教史Ⅰ　古代編』法藏館
水野敬三郎監修 2001『日本仏像史』美術出版社

学生に対する評価

出席（30%）と授業中の発言（20%）と学期末のペーパーテスト（50%）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）出席点と発言点と期末テストの合計が60点以上
（良）出席点と発言点と期末テストの合計が60点以上
（優）出席点と発言点と期末テストの合計が60点以上

その他

配布するプリントをよく復習してください。学期末試験は太字の部分を設問に出します。普段から少しずつ記憶するように心がけてください。

科目名

哲学方法論

学期：後期

単位数：2

担当者：山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：合理的思考法を学ぶ
テ ー マ：哲学入門

授業の概要

哲学の原点をギリシャに探り、いくつかの基本テーマを学びます。

授業計画

1．哲学の語源的意味
2．ソクラテスとギリシャ世界
3．ソクラテス裁判
4．無知の知について
5．ギリシャの四元徳
6．知と徳
7．魂の世話としての哲学
8．プラトンとイデア論
9．場の記述としてのイデア論
10. アリストテレスの論理学
11. アリストテレスの存在論
12. アリストテレスの倫理学
13. 新プラトンの「一者」の思想
14. キリスト教の哲学
15. 否定神学と哲学
16. テストと総括

テキスト

田中美知太郎『ソクラテス』(岩波新書)

参考書・参考資料等

学生に対する評価

期末テスト 65 点、小テスト 20 点、授業参加への積極性 15 点

ルーブリック（目標に準拠した評価）

	論理的思考力	問題発見力	作文力
可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	自分の考えを正確な日本語で表現できる。
良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	自分の考えを正確かつ論理的な日本語で表現できる。
優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	自分の考えを正確かつ論理的で、説得力を持った日本語で表現できる。

その他

提供された資料を読み解くことで、論理的思考力を高めてください。

科目名

宗教学方法論

学期：後期

単位数：2

担当者：森本一彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山およびその周辺地域も含んだ高野文化圏の民俗宗教を中心として、宗教学の方法を理解する。
テ ー マ：宗教学研究法を学ぶ

授業の概要

高野山およびその周辺地域によって形成された高野文化圏の実態について信仰生活を中心に検討することを通して宗教学の方法を理解する。

授業計画

1．高野文化圏の信仰生活について
2．年中行事（1）
3．年中行事（2）
4．年中行事（3）
5．年中行事（4）
6．社寺の行事（1）
7．社寺の行事（2）
8．社寺の行事（3）
9．人の一生（1）
10. 人の一生（2）
11. 人の一生（3）
12. 高野山をめぐる信仰（1）
13. 高野山をめぐる信仰（2）
14. 高野山をめぐる信仰（3）
15. 高野文化圏の信仰生活の特徴
16.

テキスト

プリントを配付する。

参考書・参考資料等

高野町史編纂委員会編『高野町史』民俗編　高野町　2012.3
その他授業中に紹介する。

学生に対する評価

定期試験（70%）、授業中の小テストおよびコミュニケーションカード（30%）評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）民俗宗教の基本用語を説明できる。
（良）民俗宗教の理論を自分の言葉で説明できる。
（優）現実の現象を民俗宗教の理論を使いながら説明できる。

その他

・日ごろからニュースや新聞などに触れ、時事問題にも興味を持ち、現在何が起こっているのかを確認しておくこと。

科目名: 日本文学概論Ⅰ
学期: 前期
単位数: 2
担当者: 浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本文学（上代・中古文学）の生成基盤と特徴を理解する。
テ ー マ：日本文学の魅力

授業の概要
日本文学とはどのようなものか。具体的な作品に触れながらその生成基盤を理解し、その特徴について考えてみる。前期は上代・中古文学を取り上げる。

授業計画
1．ガイダンス
2．文学のかたち
3．文学と思想
4．文学と四季
5．文学と地理
6．万葉集の世界
7．王朝和歌の世界
8．紀貫之
9．清少納言と紫式部
10．源氏物語の誕生
11．「あはれ」と「をかし」
12．日記文学の誕生
13．後宮記録と女房たち
14．平安後期物語の世界
15．歴史物語と説話集
16．まとめ、院政期の文学

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
数研出版『クリアカラー国語便覧』
學燈社『古典文学基礎知識必携』

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）上代・中古文学の作品を覚えている。
（良）他文献を参考にしながら上代・中古文学の特徴を述べることができる。
（優）上代・中古文学の生成基盤と特徴を理解している。

その他
私語厳禁。わからならないことがあればリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を望む。

科目名: 日本文学概論Ⅱ
学期: 後期
単位数: 2
担当者: 浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本文学（中世・近世文学）の生成基盤と特徴を理解する。
テ ー マ：日本文学の魅力

授業の概要
日本文学とはどのようなものか。具体的な作品に触れながらその生成基盤を理解し、その特徴について考えてみる。後期は中世・近世文学を取り上げる。

授業計画
1．中世の歌壇と歌論
2．中世和歌の世界
3．「幽玄」
4．史論と歴史物語
5．軍記物語と説話
6．「無常」
7．兼好と頓阿
8．文学の継承
9．中世の芸能
10．キリシタン文学と宣教師
11．町人の文学
12．江戸の詩歌
13．松尾芭蕉
14．近世の芸能
15．国学
16．まとめ

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
数研出版『クリアカラー国語便覧』
學燈社『古典文学基礎知識必携』

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）中世・近世文学の作品を覚えている。
（良）他文献を参考にしながら中世・近世文学の特徴を述べることができる。
（優）中世・近世文学の生成基盤と特徴を理解している。

その他
私語厳禁。わからならないことがあればリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を望む。

科目名: 日本文学史概説Ⅰ
学期: 前期
単位数: 2
担当者: 下西忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本の文学のなかで、古代から中世までの文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特質を理解する。
テ ー マ：日本文学史概観

授業の概要
上代（奈良時代）から中古（平安時代）、さらに中世（鎌倉時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみたい。

授業計画
1．この講義の目的・目標について
2．上代文学の概観、古事記と日本書紀
3．万葉集について
4．中古文学の概観、勅撰集について、古今集について
5．竹取物語、伊勢物語など
6．枕草子、源氏物語前後
7．日記文学について　土佐日記・蜻蛉日記など
8．説話文学　日本霊異記・今昔物語集など
9．歴史物語、中世文学の概観
10．新古今集とそれ以後の和歌集
11．連歌の発生とその展開
12．日記・紀行・能狂言について
13．随筆文学について
14．軍記物語について　平家物語など
15．説話文学について
16．確認テスト

テキスト
教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
1、日本文学全史（至文堂）
2、日本古典文学史（双文社）

学生に対する評価
定期試験（50%）と小テスト（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）日本文学史の基礎的な知識だけのもの
（良）その時代の背景にまで言及しているもの
（優）日本文学史全体の中での位置づけにまで言及しているもの

その他
とくに受講生の制限はしないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。

科目名: 日本文学史概説Ⅱ
学期: 後期
単位数: 2
担当者: 下西忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本の文学のなかで、中世後期文学（室町時代）ら明治時代まで文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特質を理解する
テ ー マ：

授業の概要
中世後期文学（室町時代）と近代文学（明治時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみたい。

授業計画
1．勅撰集の終焉とその時代の和歌
2．御伽草子の世界
3．近世（江戸時代）文学の概観、江戸時代の和歌
4．貞門俳諧と談林俳諧
5．芭蕉の世界
6．与謝蕪村・小林一茶、狂歌と川柳
7．仮名草子、浮世草子など
8．近松門左衛門の世界
9．読本（上田秋成の世界）、洒落本・人情本など
10．明治初期の文学と文学改良運動
11．浪漫古典主義文学
12．自然主義文学の位置づけと前期自然主義文学
13．後期自然主義文学
14．与謝野晶子の世界
15．総括　文学史の意義
16．確認テスト

テキスト
教員が作成した教材を配布する。

参考書・参考資料等
1、日本文学入門（小峰書店）
2、日本文学全史（至文堂）

学生に対する評価
定期試験（50%）と小テスト（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）日本文学史の基礎的な知識だけのもの
（良）その時代の背景にまで言及しているもの
（優）日本文学史全体の中での位置づけにまで言及しているもの

その他
前期と同様、受講生についての制限はないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。

科目名
漢文学概論Ⅰ
学期
前期
単位数
2
担当者
南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：漢文で書かれた散文作品を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。
テ ー マ：漢文の散文を読む。

授業の概要
志怪・伝奇小説の流れを汲む『聊斎志異』を読む。和訳を参照しながら、漢文を訓読する訓練をする。小テストを毎回実施する。

授業計画
1．ガイダンス
2．「濰水狐」（1）
3．「濰水狐」（2）
4．「濰水狐」（3）
5．「濰水狐」（4）
6．「濰水狐」（5）
7．「濰水狐」（6）
8．「濰水狐」（7）
9．「紅玉」（1）
10．「紅玉」（2）
11．「紅玉」（3）
12．「紅玉」（4）
13．「紅玉」（5）
14．「紅玉」（6）
15．「紅玉」（7）
16．期末試験

テキスト
コピーを配布する。

参考書・参考資料等
携帯用の漢和辞典として『新字源』（角川書店）、あるいは『漢語林』（大修館書店）を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。

学生に対する評価
毎回の小テストは、回数に応じて1：2：3……と、徐々に配分を高くする。小テストの合計を100点満点に換算したものと、期末試験とで、得点の高い方を評点とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）訓点を的確に扱うことができる。
（良）国語教員として必要最低限の漢文法・国文法を修得している。
（優）漢文法・国文法の用法を、文章に即して説明できる。

その他
授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。

科目名
漢文学概論Ⅱ
学期
後期
単位数
2
担当者
南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：漢詩を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。
テ ー マ：『唐詩選』を読む。

授業の概要
『唐詩選』の作品から、近体詩の特徴を知る。注釈を読むことにより、訓読・読解・鑑賞の訓練をする。小テストを毎回実施する。

授業計画
1．ガイダンス
2．「奉和聖製従蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（1）
3．「奉和聖製従蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（2）
4．「奉和聖製従蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（3）
5．「奉和聖製従蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（4）
6．「奉和聖製従蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（5）
7．「奉和聖製従蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（6）
8．「奉和聖製従蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（7）
9．「送魏萬之京」（1）
10．「送魏萬之京」（2）
11．「送魏萬之京」（3）
12．「送魏萬之京」（4）
13．「送魏萬之京」（5）
14．「送魏萬之京」（6）
15．「送魏萬之京」（7）
16．期末試験

テキスト
コピーを配布する。

参考書・参考資料等
携帯用の漢和辞典として『新字源』（角川書店）、あるいは『漢語林』（大修館書店）を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。

学生に対する評価
毎回の小テストは、回数に応じて1：2：3……と、徐々に配分を高くする。小テストの合計を100点満点に換算したものと、期末試験とで、得点の高い方を評点とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）漢詩の基本事項を修得している。
（良）国語教員として必要最低限の漢文法・国文法を修得している。
（優）漢文法・国文法の用法を、文章に即して説明できる。

その他
授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。

科目名
国語学講義Ⅰ
学期
前期
単位数
2
担当者
上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：物語（小説）テクストの生成の機構について理解を深める
テ ー マ：物語（小説）構造と物語（小説）テクスト

授業の概要
これまでの物語構造の研究を踏まえて世界構造としての物語構造を設定し、それに基づいて語りとしての小説テクスト生成機構を導き出す。そして、その機構に沿って物語（小説）テクストを分類、また、いくつかの作品を分析、そこから日本語小説テクストに見られる特性を抽出する。

授業計画
1．物語テクストと日常会話テクスト
2．これまでの物語構造モデル研究
3．複数の世界構造としての小説構造
4．志賀直哉、『小僧の神様』／芥川龍之介、『羅生門』の構造分析
5．村上春樹、『風の歌を聴け』／ドラマ『古畑任三郎』の構造分析
6．『和泉式部日記』の構造と物語性
7．語りとしての物語（小説）テクストの生成機構
8．物語（小説）テクストの分類（1）
9．物語（小説）テクストの分類（2）
10．藤沢周平作品テクストに見られる日本語小説の特性
11．北原亞以子作品テクストに見られる日本語小説の特性
12．宮部みゆき作品テクストに見られる日本語小説の特性
13．連接構文とは
14．日本語小説における時制
15．まとめ

テキスト
なし。都度、プリントを配布する。

参考書・参考資料等
ジェラルド・プリンス『物語論辞典』（松柏社）、石原千秋他『読むための理論』（世織書房）、山岡實『「語り」の記号論』（松柏社）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価
期中でのテクスト分析課題（40%）、および、期末のレポート（60%）による。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）従来の語り論の理解。
（良）小説における世界構造と小説テクストの産出機構の理解。
（優）小説テクストの産出機構を用いた小説作品のテクスト分析。

その他
授業の都合により、一部の変更があり得る。

科目名
国語学講義Ⅱ
学期
後期
単位数
2
担当者
上田恭寿

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：日本語小説テクストの特質、およびその背景としての日本文化について理解を深める
テ ー マ：日本語小説の特質

授業の概要
日本語の物語（小説）テクストに見られる特質と日本語や他の文学ジャンル、建築や絵画等、日本文化に見られる特質との共通点を抽出、そこから日本語の小説、日本文化の特質について考察する。

授業計画
1．日本語の物語（小説）テクストの特質
2．日本語の特質
3．日本文学の他のジャンルに見られる特質
4．日本の建築、庭園、都市つくりに見られる特質
5．日本の身体表現、音楽、絵画に見られる文化的特質
6．「共通感覚」（中村雄二郎）
7．俳句における共通感覚の表現
8．藤沢周平作品における共通感覚の表現
9．「共通感覚」と「純粋体験」（西田幾多郎）
10．「こと」と「もの」と「ことば」
11．日本文化における自己中心的志向性と時間、空間認識様式
12..　声の文化と文字の文化
13．日本文学、日本文化における声の文化の特質
14．明治期以後の日本語の言文一致体
15．まとめ

テキスト
なし。都度、プリントを配布。

参考書・参考資料等
藤井貞和『物語論講義』（東京大学出版会）、加藤周一『日本文化における時間と空間』（岩波出版）、木村敏『時間と自己』（中公新書）、オング『声の文化と文字の文化』（藤原書店）
他は授業中に紹介。

学生に対する評価
期中でのテクスト制作の課題（40%）、および、期末のレポート（60%）による。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）日本文化の特質に関する議論の理解と批判。
（良）自身で選んだ分野に見られる日本の文化の現象を通しての日本文化の特質の考察。
（優）日本文化の特質の背景について考察。

その他
授業の進行の都合により一部の変更があり得る。

科目名 日本文化特殊講義A

学期 後期

単位数 2

担当者 浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：地蔵説話の構成や表現を理解する
テ ー マ：地蔵説話の世界

授業の概要

地蔵菩薩は私たちに身近な存在である。辻や墓地でその姿を見るだけでなく、「かさじぞう」などの童話でも親しまれている。そうした地蔵菩薩が古典文学作品の中でどのように描かれているのか、いくつかの作品をとりあげて考えてみたい。

授業計画

1. ガイダンス
2. 地蔵信仰概観
3. 宇治拾遺物語①
4. 宇治拾遺物語②
5. 沙石集①
6. 沙石集②
7. 沙石集③
8. 沙石集④
9. 太平記
10. 壬生寺縁起とその周辺
11. 聖財集
12. 『源平盛衰記』①
13. 『源平盛衰記』②
14. 『源平盛衰記』③
15. 近世地誌類と六地蔵信仰
16. まとめ

テキスト

教員が用意する。

参考書・参考資料等

速水侑『地蔵信仰』（はなわ新書 49）
その他は講義中に適宜紹介する。

学生に対する評価

レポート（50%）、リアクションペーパーと受講態度（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）地蔵信仰の基本的な事柄を理解している
（良）地蔵説話の構成や表現を理解している
（優）それぞれの地蔵説話の特徴を述べることができる

その他

講義時の疑問等についてはリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を求める。

科目名 日本文化特殊講義B

学期 後期

単位数 2

担当者 坂口太郎

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：鎌倉後期の政治史を、真言密教との関係から捉え直す。
中世における院・天皇の宗教的側面を通して、天皇制の歴史的展開を考える。
テ ー マ：「鎌倉後期の王権と真言密教」

授業の概要

本講義では、鎌倉後期の王権について政治史と仏教史の両面から考察する。とくに、近年の研究成果を踏まえつつ、後宇多院・後醍醐天皇について担当者の最新の知見を紹介していきたい。

授業計画

1. 網野善彦「異形の王権」をめぐって（1）
2. 網野善彦「異形の王権」をめぐって（2）
3. 鎌倉後期の政局（1）－両統分立と鎌倉幕府―
4. 鎌倉後期の政局（2）－両統の対立と「一代の主」－
5. 鎌倉後期の政局（3）－後醍醐天皇の登場と鎌倉幕府滅亡－
6. 鎌倉後期・建武政権期の大覚寺統と大覚寺門跡（1）
7. 鎌倉後期・建武政権期の大覚寺統と大覚寺門跡（2）
8. 鎌倉後期・建武政権期の大覚寺統と大覚寺門跡（3）
9. 後醍醐天皇の寺社重宝蒐集（1）
10. 後醍醐天皇の寺社重宝蒐集（2）
11. 後醍醐天皇の如意宝珠造作（1）
12. 後醍醐天皇の如意宝珠造作（2）
13. 鎌倉後期宮廷の密教儀礼と王家重宝（1）
14. 鎌倉後期宮廷の密教儀礼と王家重宝（2）
15. 期末試験
16. 試験解説

※ 内容は進度によって変わる場合がある。

テキスト

プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める

参考書・参考資料等

網野善彦「異形の王権」
（『網野善彦著作集 6 転換期としての鎌倉末・南北朝期』岩波書店、2007 年）
『網野善彦著作集 5 蒙古襲来』(岩波書店、2008 年)
村井章介編『日本の時代史 10 南北朝の動乱』(吉川弘文館、2003 年)
阿部泰郎「宝珠と王権」
（長尾雅人ほか編『岩波講座 東洋思想 16　日本思想 2』岩波書店、1989 年）

学生に対する評価

期末試験（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）鎌倉後期に関する基礎的事項を理解している。
（良）鎌倉後期の王権と真言密教について、講義の内容を踏まえて説明できる。
（優）鎌倉後期の王権と真言密教について、講義の内容や自分の調査成果を踏まえて論ずることができる。

その他

講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。
本講義は、日本史に関する基礎的知識を習得していることを前提として進めるので、受講者は注意すること（できれば、企画科目の「歴史学Ⅰ・Ⅱ」などを履修していることが望ましい）。また、参考書や講義で紹介する論著を読むこと。
熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名 中国文化特殊講義A

学期 前期

単位数 2

担当者 野田悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
1、古代文字の基礎知識を修得し、その内容（漢文）の講読力を向上させる。
2、東洋文化の根幹である漢字に興味を持ち、中国文化へ目を向ける第一歩とすることを到達目標とする。
3、『説文』の研究を基に、漢字の正・俗を理解する。
テ ー マ： 許慎『説文解字』とその背景及びその講読と篆書体の基礎的知識の修得。

授業の概要

〔漢〕許慎『説文解字』は文字を系統的に分析し、字源の考察をした最古の文字学の専門書である。特に許慎『説文解字』とその背景、またその部首の基礎的知識の修得。

授業計画

1. オリエンテーション・漢字の変遷と『説文解字』前世
2. 『説文解字』の背景とその関連書①
3. 『説文解字』の背景とその関連書②
4. 部首と重文について
5. 「六書」について①
6. 「六書」について② f
7. 説文部首 第一巻の部目を読む①
8. 説文部首 第一巻の部目を読む②
9. 説文部首 第一巻の部目を読む③
10. 説文部首 第一巻の部目を読む④
11. 説文部首 第一巻の部目を読む⑤
12. 説文部首 第二巻の部目を読む①
13. 説文部首 第二巻の部目を読む②
14. 説文部首 第二巻の部目を読む③
15. 研究発表
16. テスト

テキスト

・〔漢〕許慎『説文解字』中華書局または江蘇古籍出版社
（希望者がいれば、まとめて購入する。）

参考書・参考資料等

・『字通』（平凡社）　・『説文新義』（平凡社）
・『漢字学』（東海大学出版会）　・『訓読説文解字注』（東海大学出版会）
・『王福庵説文部首目』（西泠印社）
・その他必要に応じてプリントを配る。

学生に対する評価

・基本的に期末テスト（60%）＋それぞれの発表及び提出物（40%）での評価をする。（素点）
・毎回の発表を10点満点で計算する。
・授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格とする。
・欠席（各－３点）及び遅刻、早退（各－１点）を素点から引く計算で成績をつける。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）『説文解字』により、古代文字で表現することができる。
（良）『説文』資料をもって調査し、原文の内容を解釈し、発表できる。
（優）『説文』資料をもって調査し、自分の研究とこれまでの見識の違いを発表できる。

その他

・「六書」及び本文の内容に入ったら、毎回個々に課題が課され、次週に発表をして頂く形式をとる。
・受講者の人数等により、進度が大きく変わることが予想される。
・『新字源』（角川書店）、『新撰漢和辞典』（小学館）、『全訳漢辞海』（三省堂）、『漢字源』（学研）、『漢語林』、『漢語新辞典』（大修館）のうち、どれか一冊を必ず持参すること。版は問わないが、できるだけ新しいものがよい。　（電子辞典を持してもかまわないが、必ず紙媒体の辞典も持参すること）。
・二度目の受講生がいる場合、第二巻以降から始める場合有り。

科目名 中国文化特殊講義B

学期 後期

単位数 2

担当者 南昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢籍を読むために必要な語彙・知識を修得し、専門的な論文や研究書などを読むための基礎力を養うことを到達目標とする。
テ ー マ：『新釈漢文大系』を読む。

授業の概要

『新釈漢文大系』の中から、受講生個々の興味に応じてテキストを決める。授業に際しては、語釈の解説を中心とした資料を作成し、受講生相互の質疑に応じてもらう。

授業計画

1. ガイダンス
2. 『論語』の読解
3. 『大学』の読解
4. 『中庸』の読解
5. 『小学』の読解
6. 『孟子』の読解
7. 『荀子』の読解
8. 『老子』の読解
9. 『荘子』の読解
10. 『古文真宝』の読解
11. 『韓非子』の読解
12. 『伝習録』の読解
13. 『文選』の読解
14. 『文章軌範』の読解
15. 『孫子』の読解
16. 期末試験

テキスト

『新釈漢文大系』のコピーを配布する。授業計画は例であり、受講生の希望するものを読む。

参考書・参考資料等

『大漢和辞典』『アジア歴史事典』『中国学芸大事典』など。

学生に対する評価

発表 50%。発表回数最多の者を 50 点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験 50%。授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は２分の１欠席と計算。授業中に発言しなかった者は欠席とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）難解な言葉を調べ、理解できる。
（良）特殊な用語を調べつつ、専門書を読める。
（優）専門的な注釈書を読みこなすことができる。

その他

授業計画に挙げた文献は一例である。

科目名	日本文化講読演習A
学期	前期
単位数	2
担当者	浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：『建礼門院右京大夫集』を読み、その魅力について考える。
また、和歌の基礎知識なども身につける。
テ ー マ：『建礼門院右京大夫集』の魅力

授業の概要
建礼門院に仕えた右京大夫がその晩年編纂した『建礼門院右京大夫集』を読む。詞書と和歌の繋がり、和歌の配列などから、同集の魅力について考える。また、右京大夫を通して平家文化圏を考える。

授業計画
1．ガイダンス
2．建礼門院右京大夫を取り巻く環境
3．『建礼門院右京大夫集』読解①
4．『建礼門院右京大夫集』読解②
5．『建礼門院右京大夫集』読解③
6．『建礼門院右京大夫集』読解④
7．『建礼門院右京大夫集』読解⑤
8．『建礼門院右京大夫集』読解⑥
9．『建礼門院右京大夫集』読解⑦
10.『建礼門院右京大夫集』読解⑧
11.『建礼門院右京大夫集』読解⑨
12.『建礼門院右京大夫集』読解⑩
13.『建礼門院右京大夫集』読解⑪
14.『建礼門院右京大夫集』読解⑫
15.『建礼門院右京大夫集』読解⑬
16. まとめ

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
松本寧次『追憶に生きる　建礼門院右京大夫』（新典社）

学生に対する評価
毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）和歌の基礎的な知識を習得している。
（良）右京大夫の和歌の魅力について、意見を述べることができる。
（優）『建礼門院右京大夫集』の魅力について、意見を述べることができる。

その他
私語厳禁。講義の疑問等についてはリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を求める。

科目名	日本文化講読演習B
学期	前期
単位数	2
担当者	坂口太郎

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：慈円の歴史思想・宗教思想に触れるとともに、中世前期の政治史を学ぶ。
テ ー マ：「慈円『愚管抄』とその周辺」

授業の概要
天台座主慈円の『愚管抄』は、日本中世を代表する歴史書である。この演習では、『愚管抄』巻第5や「慈円願文」の読解を通して、慈円の歴史思想・宗教思想について探求するとともに、院政期から鎌倉期に至る政治史についても学ぶ。
また、従来の『愚管抄』のテキストには問題点が少なくないことから、新たな本文校訂を行なう。学生諸君には、校訂作業を通して古典籍の文献学的な研究法を修得してもらう。

授業計画
1．慈円の生涯①
2．慈円の生涯②
3．『愚管抄』の歴史思想
4．『愚管抄』巻第5を読む①
5．『愚管抄』巻第5を読む②
6．『愚管抄』巻第5を読む③
7．『愚管抄』巻第5を読む④
8．『愚管抄』巻第5を読む⑤
9．『愚管抄』巻第5を読む⑥
10.「慈円願文」を読む①
11.「慈円願文」を読む②
12.「慈円願文」を読む③
13.「慈円願文」を読む④
14.「慈円願文」を読む⑤
15.「慈円願文」を読む⑥
16. まとめ
※ 内容は進度によって変わる場合がある。

テキスト
プリントを配布する。

参考書・参考資料等
岡見正雄・赤松俊秀校注『日本古典文学大系 86 愚管抄』（岩波書店、1967 年）
中島悦次『愚管抄全注解』（有精堂出版、1969 年）
大隅和雄『愚管抄を読む』（講談社学術文庫、1999 年）
大隅和雄『愚管抄 全現代語訳』（講談社学術文庫、2012 年）
多賀宗隼『慈円』（吉川弘文館、1959 年）
坂口太郎「『愚管抄』校訂私考」（『古代文化』第 68 巻第 2 号、2016 年

学生に対する評価
演習時に課す発表（50%）　レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）『愚管抄』や慈円に関する基礎的事項を理解している。
（良）『愚管抄』の原文について、講義の内容を踏まえて正確に読解できる。
（優）『愚管抄』を正確に読解するとともに、自分の調査成果を踏まえて新たな解釈を示すことができる。

その他
本演習は、中世史料の読解能力を養うことや文献学的研究法の習熟に重点を置く。受講生には発表を求めるので、毎回丹念な予習が必要である（図書館の蔵書を最大限に活用してほしい）。くれぐれも生半可な態度で受講しないこと。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名	中国文化講読演習
学期	前期
単位数	2
担当者	南　昌宏

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中国学の諸分野（哲学・歴史・文学など）を研究するために必要な基礎的知識・語彙・方法を修得することを到達目標とする。
テ ー マ：『漢文大系』を読む。

授業の概要
『漢文大系』の中から、受講生個々の興味に応じてテキストを決める。授業に際しては、文献の書き下し文、語彙の解説、文章の解釈などを作成し、受講生相互の質疑に応じてもらう。

授業計画
1．ガイダンス
2．『大学説』の読解
3．『中庸説』の読解
4．『論語集説』の読解
5．『孟子定本』の読解
6．『箋解古文真宝』の読解
7．『増註三体詩』の読解
8．『箋解唐詩選』の読解
9．『唐宋八家文』の読解
10.『十八史略』の読解
11.『小学箋註』の読解
12.『御註孝経』の読解
13.『弟子職』の読解
14.『史記列伝』の読解
15.『毛詩』の読解
16. 期末試験

テキスト
『漢文大系』のコピーを配布する。授業計画は例であり、受講生の希望するものを読む。

参考書・参考資料等
『大漢和辞典』『アジア歴史事典』『中国学芸大事典』など。

学生に対する評価
発表 50%。発表回数最多の者を 50 点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験 50%。授業実数の 3 分の 1 を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は 2 分の 1 欠席と計算。授業中に発言しなかった者は欠席とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）漢文を書き下し文にできる。
（良）専門用語を除けば、漢文を読解できる。
（優）専門用語を十分に理解し、漢文を読解できる。

その他
授業計画に挙げた文献は一例である。

科目名	漢字Ⅰ
学期	通年
単位数	2
担当者	野田　悟

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：
テ ー マ：【前期】1 回生……唐代楷書：顔真卿「多寶塔碑」、褚遂良「雁塔聖教序」。
2 回生以上……北魏系楷書「張猛龍碑」、「張玄墓誌」。
【後期】1 回生……（篆書）秦代『嶧山刻石』、清代鄧石如『白氏草堂記』、呉譲之「崔子玉座右銘」
2 回生以上……（隷書）漢代『禮器碑』（必須）、『曹全碑』、『張遷碑』、『石門頌』（三点の中から 2 つを選ぶ）

授業の概要
本講座は基本的に古典臨書を根底とし、形臨、背臨を経て、学生同士で切磋琢磨し、最後は個々に作品制作を行う。方法としては、国内の他大学にはない中国の伝統的書道教育を根底にした指導を行う。

授業計画
1．オリエンテーション
2．顔真卿「多寶塔碑」
（2 回生以上は「張猛龍碑」）①
3．顔真卿「多寶塔碑」（ 〃 ）②
4．顔真卿「多寶塔碑」（ 〃 ）③
5．褚遂良「雁塔聖教序」
（2 回生以上は「張玄墓誌」）①
6．褚遂良「雁塔聖教序」（ 〃 ）②
7．褚遂良「雁塔聖教序」（ 〃 ）③
8．前半半紙臨書作品の提出。
9．二つの法帖を比較臨書①
10. 二つの法帖を比較臨書②
11. 自分で法帖を 1 つに絞り再度臨書する。
12. 写経創作①
13. 写経創作②
14. 写経創作③
15. 予備
16. 写経作品提出

1．『嶧山刻石』（2 回生以上は『禮器碑』）①
2．『嶧山刻石』（ 〃 ）②
3．『嶧山刻石』（ 〃 ）③
4．鄧石如『白氏草堂記』（2 回生以上は『礼器碑』以外を自分で選択）①
5．鄧石如『白氏草堂記』（ 〃 ）②
6．鄧石如『白氏草堂記』（ 〃 ）③
7．前半半紙臨書作品の提出。
呉譲之『崔子玉座右銘』
（2 回生以上はやっていない隷書を自分で選択）①
8．呉譲之『崔子玉座右銘』（ 〃 ）②
9．呉譲之『崔子玉座右銘』（ 〃 ）③
10. 自分で法帖を 1 つに絞り再度臨書する。①
11. 自分で法帖を 1 つに絞り再度臨書する。②
12. 半切の制作①
13. 半切の制作②
14. 半切の制作③
15. 予備
16. 作品提出

テキスト
・二玄社法書選（二玄社）：
1 回生……40 顔真卿『多寶塔碑』、34 褚遂良『雁塔聖教序』/56『鄧石如集』、58『呉熙載集』
2 回生以上……23『張猛龍碑』、26『墓誌銘集・下』/ 3『石門頌』、5『礼器碑』、8『曹全碑』、9『張遷碑』
※ 写経用紙セット LA26-59

参考書・参考資料等
・字書：『字源』、伏見冲敬編『書道字典』（角川書店）、『清人篆隷字典』（雄山閣）等
・その他必要に応じてプリントを配布する。

学生に対する評価
・基本的に提出作品による評価。（素点）
・欠席各－3 点、遅刻・早退－1 点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）形臨、背臨ができる。
（良）臨書を基に創作ができる。
（優）臨書を基にした高いレベルでの創作できる。

その他
・筆（太筆・細筆）、墨（原則として墨汁は許可しない）、半紙用毛氈、文鎮は個々に準備のこと。また創作用の半切画宣紙の使用については個々に指示をする。
・書道実技の講座として、毎回の課題が課される。
・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。

科目名

漢字Ⅱ

学期：通年
単位数：2
担当者：木本滋久

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
テ ー マ：
【前期】今年は書体を楷書体、行書体に限定し、その中から一つの法帖を自分で選択し、実習する。その法帖の形、線の特徴をつかみ、実際に上手に表現できるように努める。
【後期】上記２書体に草書体を加えた書体から法帖を一冊選び、その法帖の形、線などの特徴が、実際に表現できるように努める。

授業の概要

臨書中心の実技の授業である。臨書作品を授業中に添削し、参考に指導者が目の前で書いて指導する。授業中に筆を執って書くだけでは絶対に上達はしない。自宅でも筆を持つよう心がけて欲しい。個人指導を中心に据えて授業を進める。

授業計画

【前期】
1．授業の方針、法帖の選び方、どんな授業を展開していくのかを説明した後、各自が法帖を選ぶ。
2．
3．
4．
5．法帖の臨書
6．
7．
8．今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
9．
10.
11.
12. 法帖の臨書
13.
14.
15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。

【後期】
1．各自が法帖を選ぶ。指導者はその相談に応じ共に考えながら法帖を選ぶ。
2．
3．
4．
5．法帖の臨書
6．
7．
8．今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
9．
10.
11.
12. 法帖の臨書
13.
14.
15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。

テキスト

各自が二玄社あるいは別の法帖から１冊選ぶ。

参考書・参考資料等

二玄社の法帖類

学生に対する評価

２回のレポート（50%）、出席回数（25%）、授業態度（25%）などで評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）臨書している法帖の基本的な筆使いと形ができているか。
（良）半紙に4文字～6字がうまくまとまっているか。
（優）線の強さや余白がうまくとれているか。

その他

科目名

かなⅠ

学期：通年
単位数：2
担当者：塩野三恵子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】「かな」成立の歴史を知り、実習を通して行書きのかな創作ができることを目標とする。
【後期】「ちらし書き」の創作、及び古典の臨書の力を身につけることを目標とする。
テ ー マ：【前期】細筆の使い方・墨の使い方を身につけ、かなの美を知る。
【後期】「ちらし書き」による白と黒の美の世界を表現する。古筆にそれを見る。

授業の概要

【前期】日本独自の文字「かな」の成立の歴史を知り、その字母を覚える。かなの技術を身につける。
【後期】かな独自の構成法を知り、それを身につけ、その美が「余白」「流麗」「簡素」であることを知るために粘り強く実習する。

授業計画

1．講義目標・概要の説明・アンケート
2．かな成立の歴史を解説・かなの基本線の練習
3．「いろは歌」による単体練習・字母説明
4．いろは歌 清書　字母テスト
5．連綿の解説・実習（二字連綿）
6．連綿の解説・実習（三字連綿）
7．変体がな解説・実習
8．行書きの実習１
9．行書きの実習２
10. 行書きの実習３
11. 行書きの実習４
12. 行書き創作１
13. 行書き創作２
14. 行書き創作３
15. 行書き創作４
16. 「ちらし書き」の解説・実習
17. 「ちらし書き」の練習１
18. 「ちらし書き」の練習２
19. 「ちらし書き」の練習３
20. 「ちらし書き」の練習４
21. 「ちらし書き」の創作１
22. 「ちらし書き」の創作２
23. 「ちらし書き」の創作３
24. 「ちらし書き」の創作４
25. ちらし書きの創作・清書５
26. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）（高野切解説）1
27. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）2
28. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）3
29. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）4
30. 古筆臨書（高野切第1種・第3種））清書5

テキスト

プリント　高野切第１種・高野切第３種

参考書・参考資料等

二玄社の法帖・古筆全般・かな字典・三色紙

学生に対する評価

提出作品の枚数がそろった上で，用筆・墨の変化・字形・構成各20%。誤字・精神性（線質）各10%
１／３以上欠席者は評価しません。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

・小筆・かな墨（固形）・かな半紙・料紙・高野切臨書紙・毛氈・文鎮は個々に準備のこと。
・書道実技講座として、毎回課題が課せられる。

科目名

かなⅡ

学期：通年
単位数：2
担当者：塩野三恵子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】かなⅠの基本の上に個性豊かな古筆の原寸大臨書をし、それをもとに創作すること。
【後期】各自で古筆を選び自己表現の技術を身につけること。
テ ー マ：【前期】三色紙の中から各自一つを選び臨書をくり返し、その特徴をとらえること。
【後期】古筆を基本とした自己表現の方法を見つける。

授業の概要

【前期】かなⅠおよびそれと同程度のかな経験者を対象にかなの技術知識のより上達を目指す。ちらし書きの名品としての古筆を知り、各自よりひかれるものを一つ選び練習する。臨書から創作へと進む。
【後期】決定した古筆を形式を変えて創作へ、そしてより大きな料紙へと移っていき、自己表現出来るように努める。

授業計画

1．講義目標、概要の解説・アンケート
2．三色紙の解説、各自の古典の決定
3．選んだ古筆を原寸大臨書１
4．選んだ古筆を原寸大臨書２
5．選んだ古筆を原寸大臨書３
料紙解説
6．選んだ古筆を原寸大臨書４
古筆名由来の解説
7．選んだ古筆を原寸大臨書５
8．選んだ古筆を原寸大臨書６
9．選んだ古筆を原寸大臨書７
10. 選んだ古筆を原寸大臨書 清書８
11. 古筆をもとに創作１
12. 古筆をもとに創作２
13. 古筆をもとに創作３
14. 古筆をもとに創作４
15. 古筆をもとに創作 清書５
16. 大色紙に拡大臨書１
17. 大色紙に拡大臨書２
18. 大色紙に拡大臨書３
19. 大色紙に拡大臨書　清書４
20. 半懐紙に拡大臨書１
21. 半懐紙に拡大臨書２
22. 半懐紙に拡大臨書３
23. 半懐紙に拡大臨書　清書４
24. 半懐紙に創作１
25. 半懐紙に創作２
26. 半懐紙に創作３
27. 半懐紙に創作　清書４
28. 全懐紙または半切に拡大臨書１
29. 全懐紙または半切に拡大臨書２
30. 全懐紙または半切に拡大臨書　清書３

テキスト

三色紙

参考書・参考資料等

古筆全般

学生に対する評価

臨書 50%（形・連綿 20%、構成 20%、墨の扱い 10%）、創作 50%。（構成 20%、古筆の雰囲気 20%、墨の扱い 10%）
１／３以上欠席者は評価しません。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

・粘り強く地道にくり返し練習することが大切である。自宅での錬成を求む。
・書道実技講座として、毎回課題が課せられる。

科目名

篆刻Ⅰ

学期：前期
単位数：2
担当者：野田悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
1、古代文字（小篆および摹印篆）の基本的認識。
2、東洋文化における印章の重要性及び毛筆との関連性の理解。
3、各時代に沿った印章の違いの理解をもっての刻印技術の修得。
テ ー マ：篆刻の理論と実践

授業の概要

・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の摸刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。
・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。

授業計画

1．ガイダンス・印材、工具等の紹介
2．古代印章の起源と歴代璽印の変遷
3．毛筆にて篆書の練習①
4．毛筆にて篆書の練習②
5．毛筆にて篆書の練習③
6．双稿填墨・印稿の練習
7．刀法と側款の練習
8．漢印①
9．漢印②
10. 漢印③
11. 秦印
12. 漢印または秦印による創作
13. 将軍印①
14. 将軍印②
15. 篆刻作品の批評会
16. これまでの摸刻をもとに創作・作品提出

テキスト

・書道講座第６巻　篆刻（二玄社刊）＊各自で購入。

参考書・参考資料等

・『説文解字』（中華書局）　・『印学史』（西泠印社）
・『故宮博物院蔵古璽印選』（文物出版社）
・『上海博物館蔵印選』（上海書画出版社）
・蓑毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版）
・『書の基本資料 14・篆刻』（中教出版）
・『図解　篆刻入門』（木耳社）
・その他必要に応じてプリントを配布

学生に対する評価

・基本的に提出作品による評価。（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）篆刻ができる。
（良）篆刻を基に自分で創作できる。
（優）高いレベルでの創作ができる。

その他

・漢字Ⅰを履修した者が好ましい。
・用具、用材は、大阪の書道用品店にて各自で購入のこと。（最初の授業で説明する。）
・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。
・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。
・複数回の受講者は、秦代以前の古璽、明清以降の流派印や肖形印等を個別に指導する。
・進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。

科目名	学期	単位数	担当者
篆刻Ⅱ	後期	2	野田 悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：
1、古代文字（小篆および摹印篆）の基本的認識。
2、東洋文化における印章の重要性及び関連性の理解。
3、各時代に沿った印章の違いの理解をもっての刻印技術の修得。
テ ー マ：篆刻の理論と実践

授業の概要

・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の摸刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。
・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。

授業計画

1．前期の復習と双稿填墨・印稿の練習
2．将軍印③
3．将軍印④
4．将軍印での創作
5．流派印の出現とその変遷（理論）
6．浙派印①
7．浙派印②
8．浙派印③
9．徽派印①
10．徽派印②
11．徽派印③
12．浙派印または徽派印による創作
13．肖形印①
14．肖形印②
15．予備
16．これまでの摸刻をもとに創作・作品提出

テキスト

・書道講座第６巻　篆刻（二玄社刊）＊各自で購入。

参考書・参考資料等

・『説文解字』（中華書局）　・『印学史』（西泠印社）
・『故宮博物院蔵古璽印選』（文物出版社）
・『上海博物館蔵印選』（上海書画出版社）
・嚢毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版）
・『書の基本資料 14・篆刻』（中教出版）
・『図解　篆刻入門』（木耳社）
・その他必要に応じてプリントを配布

学生に対する評価

・基本的に提出作品による評価。（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）自分で篆刻印を作成することができる。
（良）摸刻をもとに創作印を作成することができる。
（優）高いレベルでの創作印を作成することができる。

その他

・篆刻Ⅰを履修した者に限る。
・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。
・進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。
・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。
・二度目の受講者は、秦代以前の古璽や肖形印等を個別に指導する。
・２月に学外書道展に作品出品を課す（表装等の諸経費は、個人負担とする）。

科目名	学期	単位数	担当者
条幅制作Ａ	通年	2	木本 滋久

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：臨書でつちかった基礎の上に立って、個性豊かでフレッシュな作品を創作する。
テ ー マ：【前期】中国や日本の古典の臨書を通して得た技術で、漢字、近代詩文などの条幅作品を制作する。
【後期】金剛峯寺・高野山大学書道師範取得や、卒業制作にふさわしい作品の制作をめざす。近代詩文などの条幅作品を制作する。

授業の概要

【前期】○半切に漢字４～14文字の言葉を楷書体、行書体で創作する。（倣書も可）
○半切（正方形）に漢詩、漢語を篆書体、隷書体、又は行書体で創作する。（倣書も可）
○半切に漢字・仮名まじり文を創作する。課題は授業前に提示。
【後期】２尺×８尺（52cm×約228cm）の画仙紙に自分で詩や文章を選び創作する。漢詩を選んだ人は、まず字書ですべての文字を調べ一覧表を作成する。それを参考にして字のくづし方を覚える。漢字仮名まじり文を書こうとする人は、全体の構成や空間のとり方など工夫し、漢字と仮名の調和も考えて製作をすすめる。
提出後、全体で互評会を実施。

授業計画

【前期】
1．この授業の内容、授業の進め方、必要な書道用材の説明
2．～8．半切の大きさで、課題を楷書行書体で創作する。提出後、全体で互評会を実施する。
9．～16．篆書体、隷書体、行書体で課題を半切（正方形）で創作。又は漢字仮名まじり文の創作。どれかひとつを選び実習する。

【後期】
1～16
２尺×８尺（たて228cm×よこ52cm）の紙面に、書体、題材も自由で受講生が個性と創作意欲にあふれた作品を制作。
・題材、書体は途中変更も可能であるから、試行錯誤をくりかえしながら少しずつ作品が向上する。書き込むより他に道はないと思い、時間外でもしっかり取り組んで欲しい。
・早く仕上がった人は、書体を変えたり、題材を変えたり（漢字仮名まじり文でも可）して小品を制作したらいい。
押印して提出後、互評会を実施する。

テキスト

特に無し。

参考書・参考資料等

字書や二玄社の法帖類、各展覧会の作品集など。

学生に対する評価

提出作品（50%）、出席回数（25%）、授業の取組（25%）を総合的に評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）規定の大きさにそれぞれの書体で誤字なく書けている。
（良）文字の大小や墨の潤滑にも変化があるかどうか。
（優）工夫のあとがみられ、練度の高い作品に仕上がっているか。

その他

２尺×８尺の作品は評価の後、２月の高野山大学学外書道展に出品していただきます。表装代は各自の負担とします。
各自で事前に『字書』を購入しておくこと
画仙紙は事前に大阪の書道用品店で買っておくこと。
この授業は高野山書道師範を取得を希望する者、書道で卒業論文を書こうとする学生は必修です。かなり習熟した技能を持っていることが要求されます。

科目名	学期	単位数	担当者
条幅制作Ｂ	通年	2	塩野 三恵子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】古来より机上作品であった「かな」を条幅作品として表現する方法を知る。
【後期】数種の大きさの紙にその大きさにあった筆を用い 、自分のうけた感動を表現する。
テ ー マ：【前期】机上作品と条幅作品の相違点を知る。
【後期】条幅作品に自分なりのかなの美を表現すると共に感動も加えていく。

授業の概要

【前期】　かなⅠで履修したことを発展させ、かな条幅のあった用具用材について理解し半切作品に仕上げる。
【後期】　２尺 × ６尺以上のかな画仙紙に自分で歌や文章を選び創作する、全体の構成、空間のとり方、墨の扱いなど工夫し、書き込んで、作品に仕上げる。

授業計画

1．条幅「かな」の内容解説・授業の進め方・必要な用具用材等の説明。
2．条幅の基本的用筆１
3．条幅の基本的用筆２
4．条幅の基本的用筆３
5．条幅の基本的用筆４
6．古筆を活かし臨書１
7．古筆を活かし臨書２
8．古筆を活かし臨書３
9．半切に拡大臨書　清書
10．半切以上に創作（草稿制作）１
11．半切以上に創作２
12．半切以上に創作３
13．半切以上に創作４
14．半切以上に創作５
15．半切以上に創作　清書６
16．２尺×６尺（55×175cm）以上の紙面に創作１　各自のテーマ・内容等決定　集字
17．２尺×６尺以上の紙面に創作２　題材・デッサンを考える。
18．２尺×６尺以上の紙面に創作３　土台とする古典を臨書しつつ、試行錯誤を繰り返し書き込む。
19．２尺×６尺以上の紙面に創作４　土台とする古典を臨書しつつ、試行錯誤を繰り返し書き込む。
20．２尺×６尺以上の紙面に創作５　土台とする古典を臨書しつつ、試行錯誤を繰り返し書き込む。
21．２尺×６尺以上の紙面に創作６　各自のテーマに沿って創作を行う。
22．２尺×６尺以上の紙面に創作７　各自のテーマに沿って創作を行う。
23．２尺×６尺以上の紙面に創作８　各自のテーマに沿って創作を行う。
24．２尺×６尺以上の紙面に創作９　互評会
25．２尺×６尺以上の紙面に創作10　互評会を受けて修正を加え、各自のテーマに沿って計画的に創作を行う。
26．２尺×６尺以上の紙面に創作11　互評会を受けて修正を加え、各自のテーマに沿って計画的に創作を行う。
27．２尺×６尺以上の紙面に創作12　互評会を受けて修正を加え、各自のテーマに沿って計画的に創作を行う。
28．２尺×６尺以上の紙面に創作13　互評会を受けて修正を加え、各自のテーマに沿って計画的に創作を行う。
29．２尺×６尺以上の紙面に創作14　互評会を受けて修正を加え、各自のテーマに沿って計画的に創作を行う。
30．２尺×６尺以上の紙面に創作15　押印して提出後、互評会を実施する。

テキスト

特に無し。

参考書・参考資料等

字書や二玄社の法帖類、芸術新聞社の書道関連本、各展覧会の作品集など。

学生に対する評価

提出作品 50%、出席回数 25%、授業の主体的な取組 25%を総合的に評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

かなⅠ・漢字Ⅰを受講済みであること。２尺×６尺以上の作品は評価の後、２月の高野山大学学外書道展に出品していただきます。表装代は各自の負担とします。展覧会などに行き、様々な、かな条幅作品を鑑賞すること。

科目名	学期	単位数	担当者
書道史（中国）	通年	4	野田 悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】中国文化に興味を持ち、文字の起源から芸術としての書の確立までの歴史の流れを理解することを到達目標とする。
【後期】中国文化に興味を持ち、時代別書風の変化をはじめとする書道理論の形成、発展を理解することを目標とする。
テ ー マ：【前期】中国書道及び文化史基礎知識の養成。
【後期】さまざまな書体、書風の変遷及び金石学・印学等書道理論の芽生えと発展。

授業の概要

【前期】アジア文化の根幹は漢字であることを念頭に、BC2000年前の刻符を文字の起源とし、それがどういう経緯を経て発展して行ったかを中国の書道史を時代的に学びながら解明する。またそれが今日の我々の生活における影響を与えたかもあわせて考えてみたい。ビデオ・資料も積極的に活用し、単なる知識として理解するだけではなく、視覚的又実用的にも書道史をとらえるように促したい。その他、日中の中国書道史のとらえ方の違いなども述べてみたい。
【後期】日本の奈良時代の書道史に大きな影響を与えた、唐代の書道概観を詳細に述べ、宋・明・清代への多彩な書風及び理論が発展していく様を多く取り入れ解説する。また書は、文学、哲学そしてその他の芸術をはじめ諸々の文化と密接に関わるものであるので、可能な限りそうした周辺の文化的事柄とも絡めて眺めていくこととしたい。

授業計画

【前期】
1．ガイダンス
2．漢字の起源　漢字の創生　六義
3．先秦　甲骨文・金文・石鼓文
4．秦　秦代書道概観　篆書の制定
5．秦の刻石　権量　詔版　瓦当　磚
6．漢　漢代書道概観　隷書の盛期　古隷と八分
7．代表的漢碑と章草　紙の発明と発展　『説文解字』
8．三国　三国時代書道概観
9．六朝　六朝時代書道概観　南朝の刻帖と能書家
10．王羲之と王献之
11．北朝の書道概観　六朝楷書　北朝能書家と代表碑刻
12．隋　隋代書道概観と代表的碑刻
13．唐　初唐の書道概観
14．初唐の四大家とその代表的作品
15．試験
16．復習

【後期】
1．中唐　中唐の書道
2．顔真卿の書　孫過庭『書譜』と張懐瓘『書議』・『書断』
3．晩唐　晩唐の書道
4．五代　五代の書道概観
5．宋　宋の書道概観
6．北宋の四大家
7．金石学の芽生え　淳化閣帖と集帖
8．南宋の能書家
9．元　元代の書道概観　趙孟頫と吾丘衍
10．明　明代の書道概観
11．明代古典派
12．明末清初のロマン派　長条幅のはじまり
13．清　清代の書道概観
14．碑学の勃興
15．試験
16．復習
※進度に応じて予定の変更有。

テキスト

『［決定版］中国書道史』　角井博監修　芸術新聞社　定価 2800 円

参考書・参考資料等

・『中国美術全集』（書法篆刻編）中国美術全集編輯委員会
・『書道全集』平凡社・『中国書法史』江蘇教育出版社
・『墨スペシャル９　図説中国書道史』芸術新聞社
その他、必要に応じてプリント配布。

学生に対する評価

・基本的に各学期末の試験による評価。（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）書道用語、関連人物を理解できる。
（良）書道史に関する時代変遷を自分で発言できる。
（優）自分で調査した書道史に関する研究を、これまでの研究との違いも含めて発表できる。

その他

試験はよく復習をして臨んでほしい。

科目名
社会福祉各論（地域福祉Ⅰ）地域福祉A（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
福本幹雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：地域福祉の概念や地域組織化とその活動の理解を深め、地域住民の一員として自らが主体的に地域福祉活動に参加できるように学びを深める。

テ ー マ：地域福祉の概念とその展開方法

授業の概要

講義を中心にしながらグループワークによる演習を取り入れる。対象者別の縦割りの福祉ではなく、身近な地域の事例を紹介しながら、横断的に地域福祉を捉えたい。事例解説にパワーポイントを積極的に活用する。

授業計画

1．地域福祉の考え方
2．地域福祉の源流
3．地域福祉の発展過程
4．地域福祉の定義
5．コミュニティケアの移入と地域福祉の展開
6．コミュニティの定義
7．地域福祉の主体と対象
8．地域福祉における地方自治体の役割
（社会福祉計画、地域福祉計画、自治体職員の専門性）
9．地域福祉における民間の役割
（民生委員・児童委員、ボランティア、住民、営利企業）
10．地域福祉における専門職の役割（１）
（社会福祉協議会、地域包括支援センター、社会福祉施設等）
11．地域福祉における専門職の役割（２）（保健、医療等）
12．地域福祉における専門職の役割（３）（保育所、児童館等、その他）
13．もう一つの福祉ネットワーキング
14．地域における社会資源の活用・調整・改善・開発
15．地域福祉における人的資源の育成
16．グループワーク（演習）で事例検討を行う

テキスト

社会福祉士シリーズ９ 『地域福祉の理論と方法』、弘文堂

参考書・参考資料等

新・社会福祉士養成講座９ 『地域福祉の理論と方法』 中央法規出版
『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅱ』、中央法規出版
『福祉への道標』－教職のための社会福祉－、サンライズ出版

学生に対する評価

レポート、発表、授業参加の積極性、筆記試験で評価する

ルーブリック（目標に準拠した評価）

レポートの課題や期末の筆記試験の評価形式で若干異なるが、
（可）地域福祉の基礎的な概念を理解している。
（良）地域福祉の基礎的な概念と基礎的な内容を理解している。
（優）地域福祉の基礎的な概念と内容及び枠組みを理解している。

その他

グループワークや演習には積極的に参加し、発言・発表すること。

科目名
社会保障総論Ⅰ 社会保障B（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
福本幹雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：我が国の社会保障の基本的な考え方、歴史と変遷、特に選別的・救貧的福祉から一般的・普遍的福祉へ、応能負担から応益負担という社会保障の動向を理解する。社会保障の意義、社会保障とは何かに関して学びを深める。

テ ー マ：社会保障の仕組み及び歴史と現状

授業の概要

社会保障が我々の生活にどのように関連してくるかなど、身近な生活の場で社会生活の問題や介護問題の解決に実践・活用できるような知識として社会保障の学びを深める。事例解説にパワーポイントを積極的に活用する。

授業計画

1．社会保障の基本的な考え方とその範囲
2．社会保障の理念と機能
3．欧米における社会保障の歴史的展開
4．日本における社会保障の歴史的展開
5．社会保障制度の体系
6．社会保険の構造
7．社会扶助の構造
8．社会保障の費用と財源
9．年金保険制度の沿革と概要
10．国民年金
11．厚生年金保険と共済年金
12．年金保険制度をめぐる最近の動向
13．医療保険制度の沿革と概要
14．国民健康保険制度と後期高齢者医療制度
15．介護保険制度と成年後見制度の概要
16．介護保険制度をめぐる最近の動向

テキスト

新・社会福祉士養成講座12『社会保障』第５版、中央法規出版

参考書・参考資料等

『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅱ』、中央法規出版
『福祉への道標』－教職のための社会福祉－、サンライズ出版
『社会福祉小六法 2016（平成 28 年版）』、ミネルヴァ書房

学生に対する評価

レポート、授業参加の積極性、筆記試験で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

レポートの課題や期末の筆記試験の評価形式で若干異なるが、
（可）社会保障の基礎的な概念を理解している。
（良）社会保障の基礎的な概念と体系を理解している。
（優）社会保障の基礎的な概念と体系及び枠組みを理解している。

その他

科目名
キャリアカウンセリングⅠ
学期
前期
単位数
2
担当者
高田綾子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：大学生活と社会の接点、職業観を養うとともに、キャリア形成の基本となる自己表現や自己形成の考え方を習得する。

テ ー マ：キャリアデザインのためのスタートアップ

授業の概要

①これまでの自分の目的意識、価値観、経験などを振り返りながら、将来のキャリアを見据え大学で学ぶことの意味を考え、現時点でできること、これから学習していくことは何かを、学生同士が議論しながら進める。
②主体性、コミュニケーション能力など、社会人になる前段階として必要な基本スキルを、体感ワークを通じて身につけていく。

授業計画

1．オリエンテーション（授業目的と内容、受講の心構えなど）
2．大学生活を考える①（高野山大学を知る）
3．大学生活を考える②（大学生と高校生の違い・役割）
4．大学生活を考える③（これまでの歩みを整理する）
5．大学生活を考える④（学びの意味を考え目標を立てる）
6．コミュニケーション力をつける①（他者理解）
7．コミュニケーション力をつける②（共感）
8．コミュニケーション力をつける③（きく）
9．コミュニケーション力をつける④（伝える）
10．コミュニケーション力をつける⑤（アサーション）
11．コミュニケーション力をつける⑥（ホスピタリティ）
12．コミュニケーション力をつける⑦（ディスカッション）
13．リーダーシップを学ぶ
14．チーム・ビルディングを学ぶ
15．入学してから半年間の振り返りと夏休みをどう過ごすか

テキスト

教員作成の資料

参考書・参考資料等

中沢孝夫「就活のまえに」（ちくまプリマー新書） 他は授業中で紹介する

学生に対する評価

レポート（40％）、発表（30％）、授業参加の積極性（30％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）傾聴力、表現力、相互理解の基本を理解している。
（良）傾聴力、表現力、相互理解の基本を理解した上で、他人の意見を尊重して聞き、正しく理解し、自分の意見を分かりやすく表現できる。
（優）グループでの討論や議論において適切な手順・手段を用いて、グループの中での意見を自分なりにまとめ、分かりやすくメンバーに伝えることができる。

その他

実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。
受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきましょう。
各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名
キャリアカウンセリングⅡ
学期
前期
単位数
2
担当者
高田綾子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：職場や地域社会で多様な人々と仕事・社会生活をしていくために社会人として必要な基礎的な力について、知識の習得だけにとどまらず、行動に繋げる。

テ ー マ：社会人基礎力

授業の概要

グループディスカッション等を通じて実践しながら社会人基礎力である「３つの能力・12 の能力要素」を学び、その能力要素について現在の自分を振り返り、その能力要素を強化するために今日から実践することを考える。また、近年の働き方や生き方の変化に伴い提唱されている新たな社会人基礎力について学ぶことにより、より中長期的な視点に立った必要な能力について考える。

授業計画

1．人生設計とキャリアデザイン
2．社会人の心構えと求められる能力
3．社会人基礎力（前に踏み出す力①―主体性）
4．社会人基礎力（前に踏み出す力②―実行力）
5．社会人基礎力（前に踏み出す力③―働きかけ力）
6．社会人基礎力（考え抜く力①―課題発見力）
7．社会人基礎力（考え抜く力②―計画力）
8．社会人基礎力（考え抜く力③―創造力）
9．社会人基礎力（チームで働く力①―発信力）
10．社会人基礎力（チームで働く力②―傾聴力）
11．社会人基礎力（チームで働く力③―柔軟性）
12．社会人基礎力（チームで働く力④―状況把握力）
13．社会人基礎力（チームで働く力⑤―規律性）
14．社会人基礎力（チームで働く力⑥―ストレスコントロール力）
15．新たな社会人基礎力（健康や幸福を追及・維持する能力等）

テキスト

山﨑 紅『社会人基礎力講座』（日経ＢＰ社）「書店で購入」

参考書・参考資料等

齊藤博・上本裕子『大学１年からのキャリアデザイン実践』
（八千代出版）
リンダ グラットン他『ＬＩＦＥ ＳＨＩＦＴ―1000 年時代の人生戦略』
（東洋経済新報社）

学生に対する評価

レポート（40％）、発表（30％）、授業参加の積極性（30％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）社会基礎力について理解でき、積極的な意見の発表、質問ができる。
（良）社会人基礎力について理解でき、テーマについてセルフワークができ、グループワークで議論できる。
（優）社会人基礎力について理解でき、テーマについてプレゼンテーションやマネジメントができる。

その他

実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。
受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきましょう。
各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名：キャリアカウンセリングⅢ 就職スキル講座
学期：前期
単位数：2
担当者：高田 綾子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：自己の能力を確認し、就職活動に必要なスキルを習得する。大学卒業時点での「就職」をゴールではなく、職業人生のスタートと理解し、生涯にわたるキャリア形成に必要な意欲・態度を身につける。
テ ー マ：就職活動の意識づけと行動化

授業の概要
①学生を含めた若年者を取りまく教育や労働の現状を理解する。
②志望する業界や職種の研究と自己分析を通じて就職に対する意識を高める。社会に対する視野を広げ、就職活動の進め方や必要なスキルを身につける。
③演習、フィードバック等による実践的な授業により、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力を養う。

授業計画
1．離職率・就職率や労働市場について学ぶ
2．労働法・ワークルールについて学ぶ
3．企業内福祉・社会保障制度に関する知識
4．職業生活での様々な問題を考える
5．やりたいことの棚卸
6．職業に関する情報の収集
7．ハローワークインターネットサービスの活用①
8．ハローワークインターネットサービスの活用②
9．志望する業界研究①
10．志望する業界研究②
11．インターンシップ事前講座①（心構え、目標）
12．インターンシップ事前講座②
　（身だしなみ、第一印象、訪問時のマナー）
13．インターンシップ事前講座③（挨拶、会話、敬語の基本）
14．インターンシップ事前講座④（電話応対の基本）
15．インターンシップ事前講座⑤（人間関係のマナー）

テキスト
教員作成の資料

参考書・参考資料等
「働くときのA・B・C」(全国労働基準関係団体連合会)　他は授業中で紹介する

学生に対する評価
レポート（40%）、発表（30%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）社会人に必要な能力を理解し、演習について基本動作ができる。
（良）社会人に必要な能力を説明でき、演習について基本動作がスムーズにできる。
（優）社会人に必要な能力を身に着け、演習について基本動作ができる上に、日々の行動で実践できている。

その他
実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきましょう。
各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名：伝統文化実習（民俗調査）
学期：通年
単位数：2
担当者：森本 一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：地域調査法の基礎を習得するとともに、実社会を理解するために、受講生自らが調査計画を立てた上で、地域調査を行い、報告書を作成する。
テ ー マ：高野山および周辺集落における課題（社会調査士G科目）

授業の概要
高野山および周辺集落の地域について調査を実施する。まず地域調査の概要ついて説明するとともに、調査地域を実見し、地域の課題を知る。高野町役場などで既存資料を収集した上で、調査計画を立案する。行政や地域住民に対してインタビュー調査を実施する。受講生の報告をもとに、最終的に調査報告書を作成する。

授業計画
1．地域調査の概要
2．テーマを設定する（1）
3．テーマの設定する（2）
4．調査法の確認（1）
　質的調査法
5．調査法の確認（2）
　量的調査法
6．調査計画書の作成（1）
7．調査計画書の作成（2）
8．既存資料の収集（1）
9．既存資料の収集（2）
10．既存資料の収集（3）
11．既存資料の整理・分析
12．観察調査の実施（1）
13．観察調査の実施（2）
14．観察調査の実施（3）
15．観察調査の整理
16．インタビュー調査の実施（1）
17．インタビュー調査の実施（2）
18．インタビュー調査の実施（3）
19．インタビュー調査のデータ
　整理・分析
20．中間報告（1）
21．追加調査の実施（1）
22．追加調査の実施（2）
23．追加調査の実施（3）
24．中間報告（2）
25．調査報告書の作成（1）
26．調査報告書の作成（2）
27．調査報告書の作成（3）
28．調査報告書の作成（4）
29．受講生の報告（1）
30．調査報告書の修正

テキスト
プリントを配布する。

参考書・参考資料等
上野和男他編『新版民俗調査ハンドブック』吉川弘文館
その他授業中に紹介する。

学生に対する評価
報告書（50%）、授業中の発言やコミュニケーションカードなど積極的な授業態度（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）テーマを選び、調査計画を立てることができる。
（良）調査計画に基づいて、調査ができる。
（優）自調査に基づき、報告書を作成できる。

その他
本授業は、受講生の積極的な授業参加とともに、授業外における課題の作成、調査が必要であることを了解した上で履修すること。
本授業は、社会調査士G科目に当たる。社会調査士資格については担当者に確認すること。

科目名：伝統文化実習（茶道）
学期：通年
単位数：2
担当者：岡本 文音

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：茶の湯の基本的な所作や点前を修得し、歴史・思想・精神・美意識の理解と考察へと繋げる。
テ ー マ：茶の湯における亭主と客との心の感応

授業の概要
日本の伝統的な文化のひとつである茶の湯の理解を深めるために、初風炉・開炉・初釜などの茶会を経験し、また実際に基本的な所作や点前を修得する。そのうえで受講生自らが茶会を企画し実践し、亭主側と客側の体験をする。それらをとおして、茶の湯の精神や美意識について考える。

授業計画
【前期】
1．ガイダンス
2．講義　茶事のながれ
3．客の所作と心得1
　お茶のいただき方（薄茶）
4．客の所作と心得2
　席入りの仕方
5．初風炉の茶会
6．講義　茶道史1
7．盆略点前1　割稽古
8．盆略点前2　割稽古
9．盆略点前3　割稽古の復習
10．講義　茶道の道具について
11．盆略点前4　通し稽古
12．盆略点前5　通し稽古
13．盆略点前6　通し稽古
14．講義　茶の湯の文化1
15．まとめ

【後期】
1．講義　茶道史2
2．盆略点前の復習1
3．盆略点前の復習2
4．盆略点前の復習3
5．茶の湯の文化2
6．客の所作と心得3
　お茶のいただき方（濃茶）
7．炉開きの茶会
8．講義　茶道史3
9．講義　茶の湯の文化3
10．茶会の企画と実践1
11．茶会の企画と実践2
12．茶会の企画と実践3
13．初釜の茶会
14．七事式
15．まとめ

テキスト
『学校茶道（初級編）』財団法人茶道文化振興財団発行
授業時に一括購入

参考書・参考資料等
谷端昭夫著『よくわかる茶道の歴史』淡交社
谷晃著『わかりやすい茶の湯の文化』淡交社

学生に対する評価
授業時に随時課す提出物30%　茶会の企画と実践35%　期末試験35%

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）基本的な客の所作と盆略点前ができる
（良）基本的な茶の湯の歴史・文化についての理解がある
（優）茶の湯の歴史・文化をふまえて、茶会の企画・実践ができる

その他
実習の費用（茶・菓子・炭）として、前期・後期、それぞれ3000円必要です。

科目名：教職入門
学期：前期
単位数：2
担当者：嶋田 博

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：教員には教育への情熱と専門的力量、総合的人間力が求められることを理解し、教職への使命感や責任感等を培い、教員としての資質・能力を身に付ける。個性・適性を生かした教員に成長するための進路設計の機会とする。
テ ー マ：教職の意義と役割、公教育、教員の職務・服務、チーム学校

授業の概要
教職の意義と役割、教員養成と教育課程の変遷、学校のチーム力と学校組織、職階と校務分掌、教員の職務と様々な指導、学級担任の役割、職務と研修、服務と身分保障、保護者対応と連携、リスクマネジメントと危機管理等について、事例を取り入れ解説する。

授業計画
1．講義の目的と概要を説明する。
2．教職の意義と教員の役割について説明する。
3．教員養成・教職課程の変遷についてチーム及び学校への対応を中心にして説明する。
4．教員の種類と職階、職務、役割、社会的使命について説明する。
5．校務分掌と教員の役割、教職員の連携について説明する。
6．学習指導と教員の職務、PDCAサイクルでの業務について説明する。
7．生徒指導と教員の職務、PDCAサイクルでの業務について説明する。
8．キャリア教育と教員の役割、学校改善、教育資源の活用について説明する。
9．学級担任教員の役割について説明し、目指す学級担任像について考察する。
10．教員研修の種類と目的、課題研修と職務研修、自己変容等について説明する。
11．教職関連の法令と教員の服務、根本規準、身分保障について説明する。
12．教員の職務上の服務と身分上の服務について説明し、事例の考察をする。
13．いじめ等の子どもをめぐる諸問題と教員の使命、学校の実践的課題について考察する。
14．保護者との連携・対応、地域社会との協力・協働について説明し、事例の考察をする。
15．教員のリスクマネジメントと危機管理、学校評価とチーム学校について説明し、事例の考察をする。
16．定期試験とまとめ

テキスト
伊藤一雄著『教職基礎論』サンライズ出版　2019.3発行　書店で購入

参考書・参考資料等
教職問題研究会著『教師論』（改訂版）　2012.4発行

学生に対する評価
定期試験（60%）、小テスト（20%）、提出すべきレポート及び小作文（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）教育の基本用語を知り、学校教育の現状と教員の仕事についてわかる。
（良）教員の職務及び服務内容を理解し、期待される教員の在り方について説明できる。
（優）学校教育の改善と教員の役割を理解し、課題解決に向けたチーム学校づくりについて説明できる。

その他
学校教育や教育行政等に関する新聞、雑誌などの記事を収集し、教職への問題意識や意欲を高めるよう努めて欲しい。

科目名：教育原論
学期：前期
単位数：2
担当者：山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：教育とは何か？教育に関する思想、教育の歴史の中に現れてきた教育の理念を辿り、教育の本質に対する理解を深めるとともに、これまでの実際の教育の営みの変遷をたどり、教員として教育にかかわるための基本的知識を身につける。

授業の概要
1、教育の基本的概念、2、教育思想の歴史、3、教育の営みの歴史を学び、教育の本質に関する理解を深め、教員として教育にかかわっていくための基礎となる知識を身につけます。

授業計画
第 1 回：教育の基本的意味
第 2 回：人間特有の現象としての教育
第 3 回：学ぶことと教えること
第 4 回：こころとからだを育てる
第 5 回：道徳性の発達
第 6 回：教育思想の原点 1 (ソクラテス)
第 7 回：教育思想の原点 2 (プラトン)
第 8 回：近代の教育思想 1 (ロック)
第 9 回：近代の教育思想 2 (ルソー)
第10回：現代の教育思想 (デューイ)
第11回：家庭・地域・学校
第12回：近代学校の性格
第13回：日本における学校の歴史
第14回：子どもの権利と教育への権利
第15回：現代教育の課題
定期試験

テキスト
田嶋一著『やさしい教育原理』有斐閣

参考書・参考資料等
授業中に適宜資料を配布する。

学生に対する評価
定期試験（80%）、毎回の授業の最後に提出する小レポート（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
	論理的思考力	問題発見力	教育学の基礎知識
可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	教科書に基づいて、教育学の基礎知識を理解できる
良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる	教科書に基づいて教育学の基礎知識を理解し、参考資料を調査できる
優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	教育学についての基礎知識に基づき、特定のテーマについての参考資料を自分なりに調査・検討できる

その他

科目名：教育心理学
学期：後期
単位数：2
担当者：戸來知子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：①学習のメカニズムと過程を理解し、教育活動において一層効果的に指導し、良い結果を得るための心理学的知見を知る。
②人間の発達を理解し、生徒の心身の発達と認知機能や言語の発達とを関連づけて理解する。
③学習と評価の問題について理解を深める。
④発達障害を持つ生徒や特別支援教育との関連からの生徒理解を深める。
テーマ：学習指導と生徒指導に心理学を援用して効果をあげる。

授業の概要
学校現場における生徒の課題や問題解決に必要な知識を習得すると共に、より有効な教授・学習方法について理解を深めていく。学習をより効果的に習得できるように、言語の発達、記憶のメカニズム、学習のプロセスについて学ぶ。さらに学習の評価についても学ぶ。
生徒の成長・発達を理解することで、より効果的な学習ができるように、人間の発達段階について学ぶ。特別な配慮や支援を必要とする生徒についての理解を深める。

授業計画
第１回　オリエンテーション。授業の概要と授業計画の説明。教育心理学とは何かについて概観する。
第２回　発達過程と教育の関連について学ぶ。現代の子どもの心理学的特性を理解する。
第３回　様々なライフサイクル論を紹介する。エリクソンのライフサイクル論の乳児期から遊戯期について解説する。
第４回　エリクソンのライフサイクル論の児童期・青年期の課題と特徴および学習との関連性を解説する。
第５回　エリクソンのライフサイクル論の前成人期・成人期・老年期の課題と若い世代への関わりあいについて解説する。
第６回　学習のメカニズムについて学ぶ。（動機づけ、記憶のメカニズム等。）
第７回　学習効果と自尊感情の関連性について学ぶ。無気力のメカニズムを解説する。
第８回　知的能力の発達について学ぶ（表象的思考の発達と創造性の発達を解説する。）
第９回　学習指導の心理学的理論を学ぶ。プログラム学習と協同学習について紹介する。
第10回　教育評価について学ぶ。
第11回　発達障害（LD、ADHGなど）について学ぶ。
第12回　生徒の問題行動とその対応法について学ぶ。（いじめ、不登校、引きこもり等）。
第13回　生徒の不適応とストレス対処法について学ぶ。スクールカウンセラーの役割を考える。
第14回　特別な支援を必要とする生徒への理解と配慮を学習する。
第15回　学級集団の心理を学ぶ。授業の後半で試験を行う。
第16回　試験の返却と解説を行う。

テキスト
桜井茂男編、『教育心理学』、図書文化、2013 年

参考書・参考資料等
伊藤良高・永野典詞・大津尚志・中谷彪編
『子ども・若者政策のフロンティア』晃洋書房、2012 年。

学生に対する評価
小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）動機づけ・愛着などの基本的な用語の説明ができる。
（良）テキストを見て「発達段階と発達課題」を説明できる。
（優）テキストを見て、「子どもの思考の発達」について説明できる。

その他
生徒が「やる気」を持って学習するようになるには何が大切なのか、学校生活が楽しいと思える学級の雰囲気はどうしたらつくれるのか等、自分のこれまでの学校生活と重ねて考えてみて下さい。

科目名：教育社会学
学期：後期
単位数：2
担当者：森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：教育の中心に置かれてきた学校を社会学的な視点から理解し、どのような課題があるのかを説明できるようになる。
テーマ：学校の社会学

授業の概要
学校をめぐる諸問題について説明し、どのような問題があるのかを検討する。授業を通して、社会学的な視点を養う。

授業計画
第１回：教育社会学とはどのような学問かについて説明する。
第２回：学校をめぐる状況の変化(1)子どもの生活の変化について説明する。
第３回：学校をめぐる状況の変化(2)少年犯罪・児童虐待について説明する。
第４回：学校をめぐる状況の変化(3)いじめ、校内暴力について説明する。
第５回：学校をめぐる状況の変化(4)不登校について説明する。
第６回：学校をめぐる状況の変化(5)学歴社会、格差社会、子供の貧困について説明する。
第７回：学校をめぐる状況の変化(6)少子化・未婚化・晩婚化について説明する。
第８回：社会の変化と学習指導要領の改訂について説明する。
第９回：教育基本法改正問題について説明する。
第10回：諸外国の教育事情・教育改革の動向を説明する。
第11回：地域と学校の連携と協働について説明する。
第12回：開かれた学校づくりについて説明する。
第13回：学校安全の必要性について説明する。
第14回：生活安全、交通安全、災害安全における課題について説明する。
第15回：持続可能な社会における教育について説明する。
定期試験は実施しない。

テキスト
特に定めない。

参考書・参考資料等
授業中に資料を配布する。

学生に対する評価
レポート（80%）、毎回の授業の最後に提出する小レポート（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）基本的用語が説明できる。
（良）講義内容を理解し、教育の現状を説明できる。
（優）現在の学校教育の問題について自分の意見を述べることができる。

その他
真剣に教師を目指すことを受講条件とする。

科目名：教育課程論
学期：後期
単位数：2
担当者：嶋田博

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：教育課程の意義や役割、学習指導要領の変遷と位置付け・内容・背景等を知り、教育課程の社会的役割について理解する。また、カリキュラム・マネジメントの意義と重要性を理解し、新学習指導要領の理念を実現できる教育課程の編成・実施・評価ができる力を身に付ける。
テーマ：「学びの地図」として改訂された学習指導要領を基準として各学校で編成される教育課程について、その意義と役割・機能、改訂の方向性と育むべき資質・能力、教育課程の編成原理と方法、教科・領域・学年間をつなぐ教育課程、カリキュラム・マネジメントの意義と指導計画の作成、アクティブラーニング、教育課程の評価と改善について理解する。

授業の概要
教育課程の意義と今日的課題、カリキュラムの変遷と教育課程の類型・特徴、学習指導要領の改訂の歴史と内容及び社会的背景、教育課程改革と新学習指導要領、社会に開かれた教育課程の役割と機能、カリキュラム・マネジメントとアクティブラーニング、教科等横断的なカリキュラム編成と方法及び指導計画の作成、キャリア教育と学校改善、教育課程の評価と改善等について、学校現場での事例を紹介しながら解説する。

授業計画
第１回：学校における今日的課題と教育課程の意義と役割・機能について説明する。
第２回：カリキュラムの歴史的変遷と教育課程の類型・特徴について説明する。
第３回：我が国の教育課程改訂の歴史とその内容及び社会的背景について説明する。（明治～昭和）
第４回：我が国の教育課程改訂の歴史とその内容及び社会的背景について説明する。（平成～現在）
第５回：学習指導要領の性格及び位置付け、関連する法令について説明する。
第６回：中央教育審議会答申が示す教育課程改革の構造及び特徴について説明する。
第７回：学習指導要領改訂の特徴と改善の方向性について説明する。
第８回：学習指導要領の枠組みと『総則』に示す改訂のポイントについて説明する。
第９回：カリキュラム・マネジメントの意義と重要性及び３つの側面、方法について説明する。
第10回：カリキュラム・マネジメントと教育課程のＰＤＣＡサイクルについて説明する。
第11回：「主体的・対話的で深い学び」のアクティブラーニングについて説明する。
第12回：育成を目指す資質・能力から教科等横断的な教育内容の選択・配列について説明する。
第13回：教科等横断的な視点からのカリキュラム編成と指導計画の作成について説明する。
第14回：保護者及び地域と協働したキャリア教育の推進と学校改善について説明する。
第15回：チェックリストを活用した教育課程の評価と改善について説明する。
定期試験

テキスト
大津実他著『教育課程論のフロンティア』晃陽書房 2019.3 発行　　書店で購入

参考書・参考資料等
『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』（文部科学省）授業中に適宜資料を配布する。

学生に対する評価
定期試験（80%）、毎回の授業の最後に提出する小レポート（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）教育用語や学校教育に係る法令、教育課程の意義・役割について理解できる。
（良）教育課程の変遷と改訂の経緯を知り、新学習指導要領の基本的な方向性について理解できる。
（優）カリキュラム・マネジメントの視点から教育課程の編成・実施・評価ついて理解し、チーム学校としてのカリキュラムづくりを説明することができる。

その他
・日本国憲法や教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則等、学校教育に係る法令等について事前・事後の学習を充実して欲しい。

科目名 宗教科教育法Ⅰ
学期 前期
単位数 2
担当者 松長恵史

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教教育の意義を学び、宗教教育のあり方について考えを深める。

授業の概要
学校教育における宗教教育に必要な理論と実際について学習する。宗教教育の意義について学ぶとともに、宗教科教育法を通して戦前と戦後における宗教教育の実態を探り、宗教教育のあり方について考える。そのうえで、実際の宗教教育の進め方について学習する。

授業計画
第１回：シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞（釈尊の生涯に関するもの）
第２回：宗教教育とは：①宗教と宗教教育
第３回：宗教教育とは：②宗教の定義
第４回：宗教教育とは：③道徳教育と宗教教育
第５回：宗教科教育法について：①戦前の教育と信教の自由
第６回：宗教科教育法について：②戦後の教育と信教の自由
第７回：宗教科教育法について：③憲法、教育基本法と宗教教育
第８回：宗教教育の歴史：①日本における宗教教育
第９回：宗教教育の歴史：②宗教と教育の関連
第10回：宗教教育の歴史：③現代青少年の宗教意識の諸相
第11回：カリキュラム構成の実際と計画
第12回：学習指導案の作成：①祖師の生涯を確認する（釈尊と弘法大師）
第13回：学習指導案の作成：②釈尊伝の授業構成を検討する
第14回：学習指導案の作成：③弘法大師伝の授業構成を検討する
第15回：試験およびレポート提出
定期試験

テキスト
斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会（コピー配布）

参考書・参考資料等
教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林
日本宗教学会「宗教と教育に関する委員会」編『宗教教育の理論と実際』鈴木出版
藤原聖子『教科書の中の宗教』（岩波新書）岩波書店
小口偉一編『宗教学辞典』東京大学出版社、他

学生に対する評価
定期試験（60％）、レポート（釈尊伝の感想文）（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）宗教教育の意義を認識している。
（良）宗教教育の問題点と課題に通じている。
（優）宗教教育および仏教に関する基本知識を備えている。

その他
宗教科教育法は他の一般教科とは少し性格が異なる。その点を受講者は十分に留意し、主体的に学習してほしい。そのためには宗教科の教師になるという意味をよく考えることが必要である。

科目名 宗教科教育法Ⅱ
学期 後期
単位数 2
担当者 松長恵史

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教教育科の授業方法や実際について体験して経験値を上げる。模擬授業を通してみた宗教教育の実際を学ぶ。

授業の概要
受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、高校生を対象とした宗教教育の授業内容や方法などについて学習する。

授業計画
第１回：シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞（弘法大師の生涯に関するもの）
第２回：授業テーマの決定、学外学習としての山内歴史探訪（一心院谷と女人堂）
第３回：教材研究と学習指導案の作成方法について解説する。
第４回：学習指導案の点検、宗教科の授業方法、授業記録の作成方法を解説する。
第５回：模擬授業と授業評価を行う。「釈尊の生涯」①誕生
第６回：模擬授業と授業評価を行う。「釈尊の生涯」①誕生
第７回：模擬授業と授業評価を行う。「釈尊の生涯」③成道
第８回：模擬授業と授業評価を行う。「釈尊の生涯」④初転法輪
第９回：提出された授業記録の評価を行う。次回以降の留意点を解説する。
第10回：模擬授業と授業評価を行う。「弘法大師の生涯」①誕生
第11回：模擬授業と授業評価を行う。「弘法大師の生涯」②青年時代
第12回：模擬授業と授業評価を行う。「弘法大師の生涯」③入唐求法
第13回：模擬授業と授業評価を行う。「弘法大師の生涯」④高野山開創
第14回：授業記録の提出と反省会
第15回：模擬授業全体の反省と提出された授業記録の評価を行う。レポート提出
定期試験は実施しない。

テキスト
中村元・田辺和子共著『ブッダ物語』（岩波ジュニア新書）岩波書店
松長有慶『空海・心の眼をひらく－弘法大師の生涯と密教－』大法輪閣
富田向真『青少年のための仏教読本』高野山真言宗布教研究所

参考書・参考資料等
斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会
教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林

学生に対する評価
模擬授業（学習指導案と教材研究を含む）（80％）、レポート（弘法大師伝の感想文）（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）学習指導案をまとめる授業構成力が確認できる。
（良）授業の実際における自己表現力とともに生徒側からの観察力・批判力をもっている。
（優）仏教・密教に関する基礎知識を十分にもち、教材研究においても能力が確認できる。

その他
宗教科の教師になるということの意味をよく考え、仏教・密教に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。模擬授業における生徒側からの観察力・批判力も重視する。

科目名 宗教科教育法Ⅲ
学期 前期
単位数 2
担当者 岡田英作

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中学校における教科「宗教」の展開
テ ー マ：中学生を対象とした教科「宗教」の授業方法について理解し実践方法を学ぶ。

授業の概要
受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、中学生を対象とした教科「宗教」の授業内容・方法について学習する。

授業計画
第１回：シラバスの説明、講義の進め方等、ビデオ鑑賞（世界の宗教に関するもの）
第２回：授業テーマの決定、学外学習としての山内歴史探訪（奥之院「大秦景教流行中国碑」等）
第３回：新聞等の記事を利用した教科「宗教」の授業方法について解説する。
第４回：映像や音声を利用した教科「宗教」の授業方法について解説する。
第５回：教材研究と学習指導案作成の方法（系統型と経験型授業）について学習する。
第６回：模擬授業「キリスト教の歴史と教え」（系統型授業）
第７回：授業の振り返り、指導方法と評価について解説する。
第８回：模擬授業「イスラームの歴史と教え」（経験型授業）
第９回：授業の振り返り、指導記録の方法を学習する。
第10回：教材研究と学習指導案作成の方法（融合型授業）について学習する。
第11回：模擬授業「キリスト教の歴史と教え」（融合型授業）
第12回：授業の振り返り、指導方法と評価ついて解説する。
第13回：模擬授業「イスラームの歴史と教え」（混合型授業）
第14回：授業の振り返りと、評価の種類と活用について学習する。
第15回：授業全体の反省とレポートの講評
定期試験は実施しない。

テキスト
村上重良『世界の宗教－世界史・日本史の理解に－』（岩波ジュニア新書）岩波書店（書店で購入）

参考書・参考資料等
斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会
教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林
岸本英夫編『世界の宗教』原書房または大明堂
他は授業中に紹介する。

学生に対する評価
模擬授業（学習指導案と教材研究等を含む）（60％）、レポート（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）学習指導案を作成する授業構成力が確認できる。
（良）授業の実際における自己表現力とともに生徒側からの観察力・批判力を有している。
（優）宗教に関する基礎知識を十分に有し、教材研究においてもその知識を活かすことができる。

その他
新聞等の記事にも普段から目を向け、宗教に関する知識を養うこと。

科目名 国語科教育法Ⅰ
学期 前期
単位数 2
担当者 下西忠

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：国語への関心を高め、表現力を伸長し、日本文化と伝統についての理解を深める。学習指導要領を通して、国語科教育の目的・目標を理解させる。

授業の概要
教材研究の方法を各単元ごとに具体的に指導する。学習指導案の作成の意義・手順などを具体的に指導する。また、指導案の書き方を学ぶ。

授業計画
第１回：国語科教育の目的・目標（中学校と高等学校）について解説する。
第２回：中学校学習指導要領（国語編）の要点を解説し、指導法の円滑化を図る。
第３回：高等学校学習指導要領（国語編）の要点を解説し、指導法の円滑化を図る。
第４回：高等学校における古典の授業の方法を具体的に考える。
第５回：学習指導案とは何か。その意義と目的について解説する。
第６回：教材研究の方法と指導案の作成方法（１）外山滋比古『知的創造のヒント（１）』
第７回：教材研究の方法と指導案の作成方法（２）外山滋比古『知的創造のヒント（２）』
第８回：教材研究の方法と指導案の作成方法（３）古文『十訓抄』－顕宗といふ笛吹き－』
第９回：材研究の方法と指導案の作成方法（４）古文『竹取物語』かぐや姫のおひたち
第10回：教材研究の方法と指導案の作成方法　漢文「返り点のつけかた」
第11回：国文法の授業の問題点と課題（口語の場合）
第12回：国文法の授業の問題点と課題（文語の場合）
第13回：教員による実践授業（１）現代文
第14回：教員による実践授業（２）古文
第15回：総括講義　国語科の授業の必要性など
定期試験

テキスト
国語総合（第一学習社 平成 28 年）
『中学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・東洋館出版）
『高等学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・教育出版）

参考書・参考資料等
国語科教育研究（学芸図書）

学生に対する評価
定期試験（50%）とレポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）国語科の授業の目的を正しく理解できていること。また適切な指導案をかけること
（良）上記に加えて、現代国語の教授能力を身につけていること
（優）上記二つに加えて、古典の教授能力を身につけていること

その他
単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る

科目名：国語科教育法Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：下西　忠

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：実際の模擬授業を通して、多くの実践体験をつむとともに、教師に必要なさまざまな資質を養う。また、引き続き教育法Ⅰにおける各単元における指導案の書き方も研究する。

授業の概要

毎時間１名による模擬授業（50分）とそれに対する他の受講生の意見・批評。また教員の意見・指導（40分）。忌憚のない積極的な意見を出し合うことにより、授業の内容・教材研究・指導案の書き方などを学ぶ。

授業計画

第１回：ガイダンス（模擬授業の意義、指導案の目的と意義）
第２回：現代文〈評論〉「独創をうむ条件」の教材研究と指導案作成を解説する。
第３回：現代文〈評論〉「独創をうむ条件」の模擬授業を行う。
第４回：古文〈物語〉「伊勢物語」の教材研究と指導案作成を解説する。
第５回：古文〈物語〉「伊勢物語」の模擬授業を行う。
第６回：古典文法「動詞の活用」の教材研究と指導案作成を解説する。
第７回：古典文法「動詞の活用」の模擬授業を行う。
第８回：高校現場で国語の授業を見学し授業記録の作成と指導法を学ぶ。
第９回：高校現場で国語担当教員及び教育実習生の体験談を聞く。
第10回：高校現場での体験交流を行い、円滑な模擬授業の参考にする。
第11回：漢文「漁夫の利」の模擬授業と相互評価を行う。
第12回：古文〈物語〉「竹取物語」の模擬授業と相互評価を行う。
第13回：国語表現「報告文と手紙を書く」の模擬授業と相互評価を行う。
第14回：現代文〈詩歌〉「一つのメルヘン」の模擬授業と相互評価を行う。
第15回：古文〈詩歌〉「新古今集」の模擬授業と相互評価を行う。
第16回：優れた授業とはどのような授業なのか模擬授業の振返りを行う。
定期試験

テキスト

国語総合（第一学習社）

参考書・参考資料等

国語科教育研究（学芸図書）
『中学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・東洋館出版）
『高等学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・教育出版）

学生に対する評価

定期試験（50%）とレポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）模擬授業の出来具合
（良）上記に付け加えて、適切な指導案の作成
（優）上記二つに加えて、十分な教材研究ができていること

その他

単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る

科目名：国語科教育法Ⅲ
学期：前期
単位数：2
担当者：浜畑　圭吾　下西　忠

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：現代文と古文の教材の指導法を習得する。

授業の概要

教壇に立って授業を展開するためには、授業者に明確な授業計画とそれを支える知識がなければならない。そこで本講義はまず、『中学校学習指導要領』及び『高等学校学習指導要領』に記された国語科教育の理念や内容を理解し、理想とする国語科教員のイメージについて考える。次に、現代文、古文からそれぞれ題材を選び、教材研究と指導案の作成、模擬授業を通して、国語科教員としての実践力を養っていく。また、不定期に小テストを行い、基礎学力の向上をめざす。

授業計画

第１回：ガイダンス（講義の進め方、成績評価の方法）
第２回：『中学校学習指導要領　国語』の研究① - 国語を学ぶ意味 -
第３回：『中学校学習指導要領　国語』の研究② - 現代文と古文から何を学ぶのか -
第４回：『高等学校学習指導要領　国語総合』の研究① - 中学校「国語」との共通点 -
第５回：『高等学校学習指導要領　国語総合』の研究② - 中学校「国語」との違い -
第６回：高等学校「国語総合」について教材研究の方法を解説する。
第７回：高等学校「国語総合」について学習指導案の作成方法を解説する。
第８回：高等学校「国語総合」の模擬授業を教材研究の視点から考察する。
第９回：高等学校「国語総合」の模擬授業を学習指導案作成の視点から分析する。
第10回：高等学校「古典」について教材研究の方法を解説する。
第11回：高等学校「古典」について学習指導案の作成方法を解説する。
第12回：高等学校古典の模擬授業を教材研究の視点から考察する。
第13回：高等学校古典の模擬授業を学習指導案作成の視点から分析する。
第14回：文学史の知識とその活用法について解説する。
第15回：国語科授業の展開について学習指導案及び模擬授業の総括を行う。
定期試験は実施しない。

テキスト

『中学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・東洋館出版）
『高等学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・教育出版）

参考書・参考資料等

授業中に適宜資料を配布する。

学生に対する評価

模擬授業（60%）、不定期に実施する小テストならびに小レポート（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）理想とする国語科教員像を提示できる
（良）基礎学力があり、学習指導案に沿って授業ができる
（優）上記二つに加えて、教え方にわかりやすさが認められたもの

その他

受講は国語の教育職員免許状を取得しようとする者にかぎる。

科目名：国語科教育法Ⅳ
学期：後期
単位数：2
担当者：浜畑　圭吾　下西　忠

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：基礎学力の向上と指導法の練成
テ ー マ：教壇に立つための基盤をつくる

授業の概要

基礎的な国語力の養成するため、評論・小説・古文・漢文の読解を通じて、その教材を学ぶ意味、教員としての知識と思考力などを養う。教材研究・指導案作成・模擬授業などを実体験する。

授業計画

第１回：ガイダンス（講義の進め方、成績評価の基準）
第２回：評論文の教材研究の方法について解説する。
第３回：評論文の指導案作成の方法について講義する。
第４回：評論文の模擬授業と授業評価を行う。
第５回：小説を教材研究の視点から考察する。
第６回：小説を学習指導案作成の視点から考察する。
第７回：小説の模擬授業と授業評価行う。
第８回：古文を教材研究の視点から考察する。
第９回：古文を学習指導案作成の視点から考察する。
第10回：古文の模擬授業と授業評価を行う。
第11回：漢文を教材研究の視点から考察する。
第12回：漢文を学習指導案作成の視点から考察する。
第13回：漢文の模擬授業と授業評価を行う。
第14回：現代文を学ぶ意味について考える。
第15回：古典を学ぶ意味について考える。
定期試験

テキスト

なし　中学・高校の国語科教科書が採用している作品を用意して配布する。

参考書・参考資料等

『中学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・東洋館出版）
『高等学校学習指導要領解説　国語編』（文部科学省・教育出版）

学生に対する評価

教材研究（25%）、指導案作成（25%）、模擬授業（25%）、定期試験（25%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）現代文・古文の基礎学力がある
（良）基礎学力があり、学習指導案に沿って授業ができる
（優）上記二つに加えて、教え方にわかりやすさが認められたもの

その他

受講は国語の教育職員免許状を取得しようとする者にかぎる。

科目名：教育方法論
学期：集中
単位数：2
担当者：伊藤　博美

授業の到達目標及びテーマ

この授業では、教育の方法・技術を背景となる思想から理解し、最終的には学校教育に留まらず人間形成・人材育成の観点からも検討できるようにすることを目標とする。
・知識・理解の領域
教育の方法・技術にはどのようなものがあるかを説明することができる
それらの背景となる思想を説明することができる
指導案について基礎的な理解をすることができる
・思考判断の領域
教育の方法・技術を、目標やねらいを観点として、どのようなものが適切か判断し、選択することができる
教育の方法・技術を、思想から理論的に分類できる
・関心意欲の領域
教育の方法・技術について、学校教育の現状などから、どのようなものが望ましいか意見を述べることができる
自らの用いてみたい教育の方法・技術に基づき、どのような指導案が作成可能か考えることができる
・態度・志向性の領域
興味深い教育の方法・技術について、自ら進んで調べるようになる。
・技能の領域
人を育て指導する方法について理論的に検討することができる
指導案について素案を作成することができる
・体験探究の領域
授業の映像資料によって、複数の教育の方法・技術について間接体験することができる。

授業の概要

「教育」を、何かが「できる人」にするのではなく、「自らできるようにすることのできる人」にすることを育てることと捉えた場合、生まれてから死ぬまで教育はつきまとう営みと考えられる。その方法・技術を背景となる思想から理論的に考えることで、自らの成長や周囲の人の成長を援助する力を育成する契機とする。理論的に考えるには、先人の教育に関する理論を思想から理解することが必要である。参考書等を基に事例から理論の理解を深め、受講生の教育の方法・技術に関する考えを、経験や感覚に支えられた「理念」から「理論」へ再構築し、実践への一歩とする。

授業計画

第１回：導入　教育方法の理論とは　育成されるべき資質・能力の理解
第２回：「学び合い」や「教えない授業」の検討　（主体的・対話的で深い学び）
第３回：「教えてから考えさせる授業」の検討　（主体性の意味）
第４回：学習のメカニズム　講義、協調学習　（対話の意味）
第５回：学習モデル（１）　学習転移モデル、経験学習モデル
第６回：学習モデル（２）　批判的学習モデル　（深い学びの意味）
第７回：「正統的周辺参加モデル」
第８回：動機づけの理論（１）　外発的動機づけ、内発的動機づけ
第９回：動機づけの理論（２）　やる気のなさ、やる気を高める方法、フロー理論
第10回：指導案（１）　指導案の各項目
第11回：指導案（２）　指導案の作成　話法・板書等の基礎的技術
第12回：指導案（３）　指導案の修正　授業展開と評価規準
第13回：ICTを活用した授業方法と情報モラル
第14回：「インストラクショナルデザイン」　目標・教材・評価
第15回：「学習環境」のデザイン　学習する組織　場の理論
定期試験

テキスト

中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領

参考書・参考資料等

佐伯胖『「学ぶ」ということの意味』岩波書店
市川伸一『「教えて考えさせる」授業を創る』図書文化社
ジーン・レイヴ、エティエンヌ・ウェンガー（著）、佐伯胖（訳）『状況に埋め込まれた学習　正統的周辺参加』産業図書
中原淳(編著)『企業内人材育成入門』ダイヤモンド社

学生に対する評価

授業中の課題への取組（50%）、レポート（20%）、授業内での小テスト（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

	論理的思考力	問題発見力	教育方法についての知識
可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	さまざまな教育方法を理解する。
良	講義の内容を理解し，それを自分の言葉で表現できる	異なったテーマ間の違いや関連性を理解できる。	さまざまな教育方法について，意義と問題点を理解する。
優	講義の内容を，自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマについて，自分なりに展開できる	さまざまな教育方法を，自らの授業設計に応用できる。

その他

科目名

情報技術論

学期：後期

単位数：2

担当者：戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：①　コンピュータの構成と情報処理の基本知識を学ぶ。
②　教師の仕事をこなすために必要なパソコン技術を習得する。
③　情報社会の抱える問題点を理解し、情報モラルおよびマナーを身につける。

テ ー マ：①　情報活用の実践力を習得すると共に、情報の技術が社会や環境に果たす役割を理解する。
②　教科教育に情報機器を取り入れる方法を学ぶ。
③　総合的な学習の時間や特別な教科「道徳」との関連で、情報モラルや社会のあり方を考える。

授業の概要

パソコンの使い方を習得しながら、情報処理の基本知識や情報社会のモラルを学ぶ。教科指導、特別な教科「道徳」特別活動、総合的な学習の時間、との関連において、それぞれの課題や目的に応じて、情報を収集・処理・表現・創造する力を育成する。

授業計画

1．オリエンテーション。授業の概要を説明する。情報化社会の現状を認識する。
2．インターネットの匿名性の持つ危険と情報社会でのマナーについて学ぶ。
3．個人情報の取り扱いとプライバシーの保護について学ぶ。ネット被害の事例を紹介する。
4．HR運営・特別な教科「道徳」における情報機器の活用を考える。
5．HRの課題として、Wordを使って「学級通信」を作成する。
6．教科指導・総合的な学習の時間における情報機器の活用を考える。Excelを使用して分布図やグラフを描いてみる。
7．情報検索を体験する。情報通信ネットワークの仕組みを知る。
8．SNSの利便性と危険について解説する。（ブログやフェイスブック等）
9．情報セキュリティとセキュリティ対策について学ぶ。
10．教科指導における情報機器の活用としてパワーポイントの使用を学ぶ。
11．アニメーションのつけ方、写真の挿入の仕方。情報に関する知的財産権と著作権について学ぶ。
12．パワーポイントを使用してのスライド 作成の作成を学ぶ。
13．特別活動における情報機器の活用として「修学旅行の資料」を作成する。
14．「修学旅行の資料」を用いてのプレゼンテーションを行う。
15．学校教育においてのITの活用を学ぶ。授業の後半で試験を行う。
16．試験の返却。および、授業を振り返っての反省会。

テキスト

『インターネット社会を生きるための情報倫理』
（情報教育学研究会　情報倫理教育グループ）

参考書・参考資料等

『エクセル & ワード・パワーポイント便利技ぜんぶ！』TJMook

学生に対する評価

課題の提出（50%）、試験（30%）、平常点（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）パソコンの基本的な操作ができる。情報社会のマナーについて言える。
（良）Excelを使ってグラフが描ける。個人情報保護の取り組みが言える
（優）パワーポイントを使って、教科や総合的な学習の時間に発表することができる。

その他

授業時間以外に作業する時間（宿題として）が必要である。

科目名

道徳教育の研究

学期：後期

単位数：2

担当者：戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：道徳教育における実践的指導力を身につけることを目標とする。そのために、道徳の意義や原理を理解する。また、学校教育全体における道徳教育の意義と、その中核となる道徳科目標、内容を理解する。

授業の概要

1、道徳の意義と本質、 2、学校教育における道徳教育、 3、道徳科指導法を学びます。

授業計画

第１回：道徳とは何か１、その本質（担当：山脇）
第２回：道徳とは何か２、主要な道徳理論（担当：山脇）
第３回：道徳教育の歴史１、西洋編（担当：山脇）
第４回：道徳教育の歴史２、東洋編（担当：山脇）
第５回：現代社会における道徳（担当：山脇）
第６回：学習指導要領における道徳教育の目標１、――徳目を中心に（担当：山脇）
第７回：学習指導要領における道徳教育の目標２、――
第８回：子どもの道徳性の発達（担当：戸来）
第９回：道徳科指導法（担当：戸来）
第10回：道徳科の教材と授業計画（担当：戸来）
第11回：道徳科指導案作成（担当：戸来）
第12回：学生による模擬授業（担当：戸来、山脇）
第13回：学生による模擬授業（担当：戸来、山脇）
第14回：模擬授業の振り返りと授業改善の方法（担当：戸来、山脇）
第15回：道徳化の学数評価（担当：戸来）
定期試験

テキスト

小学校学習指導要領（文部科学省）、中学校学習指導要領（文部科学省）

参考書・参考資料等

授業中に適宜資料を配布する。

学生に対する評価

定期試験（80%）、毎回の授業の最後に提出する小レポート（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

	指導要領の理解	問題発見力	実践教育力
可	指導要領の内容を理解する	それぞれのテーマを理解できる。	「道徳の時間」について理解する。
良	指導要領の内容をその背景を含めて理解する。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	「道徳の時間」のさまざまな指導法を理解する。
優	指導要領の内容を、その背景から理解し、道徳教育の本質を理解する。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる。	道徳の時間とは何かを理解し、その指導法を学ぶ、それを実践できる。

その他

科目名

特別教育活動指導

学期：前期

単位数：2

担当者：戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：①特別教育活動の内容と必要性を理解する。
②学習指導要領の内容を理解し、特別活動を構成している教育活動の指導方法を学ぶ。
③人間の成長・発達の理論や教育学の基礎理論を学ぶ。

テ ー マ：特別活動の意義、目標を学習指導要領の内容に沿って理解する。

授業の概要

学習指導要領において、特別活動の目標は「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築く」実践的な態度を養うと定義されている。具体的な指導案作成や教材研究、模擬授業を行うことで特別活動の理解を深め実践力をつける。

授業計画

1．オリエンテーション。特別活動の意義と役割について学ぶ。
2．学習指導要領から特別活動の意義や内容について学ぶ。
3．ホームルーム活動について学ぶ。役割の取得と人間関係構築について考察・教育指導の理論と実践える。
4．ホームルーム活動においての教師の指導力を考える。ホームルーム活動の指導案を作成する。（公共の精神や生き方・在り方を考える。）
5．ホームルーム活動の模擬授業を行う。
6．学校行事の意義や内容について学ぶ。
7．学校行事の具体的実践研究とプレゼンテーションを行う。
8．生徒会活動とクラブ活動の意義を学ぶ。
9．総合的な学習の時間について学ぶ。（背景・目的・経緯）
10．総合的な学習の時間の指導案作成と教材研究を行う。（食育や国際理解等。）
11．総合的な学習の時間の模擬授業を行う。
12．J.デューイの教育理論の基礎を学ぶ。
13．人間の成長・発達の理論を学ぶ。青年期の課題について学ぶ。
14．特別活動の評価を考える。評価の現状と課題についてのディスカッションを行う。
15．これからの時代に求められる特別活動の内容を考える。特別活動のまとめと今後の課題を整理する。授業の後半で試験をする。
16．試験の返却と解説。

テキスト

文部科学省『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』
（特別活動編）

参考書・参考資料等

『よくわかる授業論』、田中耕治編著、ミネルヴァ書房。

学生に対する評価

小レポート（10%）・試験（80%）・授業内の課題（10%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）特別教育活動は学校生活のどのような部分であるかを答えられる。
（良）特別教育活動の意義・目標を理解している。
（優）テキストを見ればデューイの教育理論の基礎を説明できる。

その他

受講者の積極的な発言を求める、双方向の授業を目標にしている。

科目名

生徒指導・進路指導

学期：後期

単位数：2

担当者：戸来知子

授業の到達目標及びテーマ

①　学校教育における生徒指導の目的と原則（ガイダンス）を理解する。
②　教育課程における生徒指導および進路指導・キャリア教育の役割を理解する。
③　問題行動の社会的背景と集団指導・個別指導の原理を理解する。
④　ガイダンスの特性を生かした進路指導・キャリア教育を考える。

授業の概要

生徒指導は、一人ひとりの生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われるものである。他の教書金や関係機関と連携して、組織的に生徒指導を行うために必要な知識を学ぶ。

進路指導とキャリア教育は共に、生徒が自ら将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的な展望からの人間形成を目指す教育活動である。これらのことを念頭に置いて学校の教育課程の中での位置づけを理解し、生徒指導および進路指導・キャリア教育の指導の原理を学び、指導の実際の在り方を考えていく。

授業計画

1．オリエンテーション。授業の概要と授業計画を説明する。
2．日本の生徒指導の歴史的系譜について学ぶ。
3．現代の生徒指導、進路指導・キャリア教育の意義と課題を学ぶ。
4．問題行動と生徒指導の在り方について考察する。（問題行動の事例研究と指導について、ディスカッションを行う。）（不登校問題）
5．いじめ問題について検討する。（文科省によるいじめの定義と類型化の紹介。いじめ防止と解決方法を話し合う。）
6．生徒指導で直面する現代の問題を考察する。（ブラックバイト、若者の貧困等）DVD鑑。
7．非行の問題を概説する。新しい荒れと言われる少年非行の問題を考える。
8．カウンセリング・スキルの基礎を学ぶ。（事例研究から。）
9．進路指導におけるガイダンスの役割を解説する。
10．進路指導・キャリア教育の視点から体験活動や授業の改善を考える。
11　キャリア教育についての理解。キャリア教育の本質を考える。
12　キャリア教育の基本原理を学ぶ。（ブルデュー、スーパー、パーソンズの理論から。）
13　「キャリアの時間軸」、ライフキャリアを考える。キャリアイベント、キャリアリスク等。
14．生徒指導および進路指導・キャリア教育に関しての地域との連携について学ぶ。
15．教職員の連携および地域の連携について学ぶ。後半の時間で試験を行う。
16．試験の返却と解説を行う。

テキスト

伊藤一雄著「新・教育指導の理論と実践」 サンライズ出版　2007.4

参考書・参考資料等

伊藤一雄著 「キャリア開発と職業指導」 法律文化社　2011.4

学生に対する評価

定期試験（60%）、小試験（20%）、授業参加（単なる出席でなく質疑、発表などどれだけ主体的に授業に取組んだか）（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）生徒指導の目標を言える。
（良）キャリアエデュケーションの説明ができる。
（優）問題行動の対処の基本を説明できる。

その他

科目名
教育相談
学期：前期
単位数：2
担当者：戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：① 学校教育相談の意義と課題を理解する。
② 教育相談の背景にある問題を理解する。
③ 教育相談に関わる心理学の基礎的な理論や概念を理解する。
④ 発達障害を理解する。

テーマ：児童・生徒が学校や家庭の生活で抱える様々な問題とその対処方法を理解する。生徒の発達段階の理解や、自尊感情の育成についての理論を理解する。学習障害や、ADHDなどの広汎性発達障害についても学習する。

授業の概要

生徒が直面する様々な問題、とりわけ、いじめ、不登校、非行、発達障害などを中心に、生徒の「こころ」の問題と行動を理解し、支援していく方法について学んでいく。また、思春期に発症しやすい神経症的な問題や精神的な疾患について、さらには教師のメンタルヘルスの問題についても知識を持てるようにする。その上で、生徒の相談に応じ、援助していくためのスキルとしてカウンセリングマインドを身につける。加えて、教育相談の経過報告書の作成、校内体制の整備など組織的な取り組みの必要性と、地域の医療・福祉・心理の専門機関との連携の意義と必要性を理解する。

授業計画

第１回 オリエンテーション。教育相談を学ぶにあたっての授業の概要と授業計画を説明する。
第２回 学校教育相談の概念と生徒指導との関連について説明する。
第３回 児童・生徒の抱える問題の理解と対応の基本姿勢について解説する。
第４回 教師のカウンセリングマインドとカウンセラーの役割の違いを学ぶ。
第５回 カウンセリングの基礎的知識を学ぶ。
第６回 学校における不適応と問題行動について学習する。不登校について考える。
第７回 学校でのいじめ問題を検討する。
第８回 非行（反社会的問題と非社会的問題）への対処方法を学ぶ。模擬教育相談の実施。
第９回 発達障害について理解する。
第10回 摂食障害や不安神経症、境界性人格障害などの精神・神経疾患の基礎知識を学ぶ。
第11回 同一性の問題について解説する。（自己同一性の問題、並びに性同一性の問題など。）
第12回 国際化に伴う教育相談の事例を紹介する。（外国人未就学児童の問題など。）」
第13回 教育相談の学校内体制の整備について学ぶ。（事例の紹介。）
第14回 学校教育相談と地域での連携について学習する。
第15回 教師のメンタルヘルスについて学ぶ。授業の後半で試験を行う。
第16回 まとめ。試験の返却と解説を行う。

テキスト

『教職基礎論』サンライズ出版

参考書・参考資料等

滝口俊子『スクールカウンセリング』 放送大学
春日井敏之、伊藤美奈子編『よくわかる教育相談』 ミネルヴァ書房

学生に対する評価

授業内の課題（20%）・試験（80%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）教育相談をどこで受けることができるかを答えられる。
（良）自尊感情について説明できる。
（優）カウンセリングの基本的な知識を説明できる。

その他

理解しやすいように映像資料を数回見る。自分の意見を積極的に発言することを求める。

科目名
教職実践演習
学期：後期
単位数：2
担当者：戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：４年間の教職科目の学習及び教育実習の経験などを通じて、教職に対する理解がどれだけ深まったか。教職に対する意欲がどれだけ高揚したかを確認し、具体的な指導方法の向上を図る。
テーマ：教職に対する理解の深化と意欲の伸長をはかる。

授業の概要

４年間の教職科目の学習及び教育実習を通じて、教育指導の技術の一層の進化と定着を図ることを目標とする。

授業計画

1．本演習の目指す目標・内容について解説する。各自の教職実践演習カルテの記入。
2．各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅰ
3．各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅱ
4．生徒指導（反社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。
5．生徒指導（非社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。
6．教育実習で体験した生徒指導上の問題について意見交換。
7．自分自身の学校生活を振り返っての生徒指導についての意見交換。
8．キャリアガイダンス・カウンセリングの実際Ⅰ
　－進学希望生徒の場合－
9．キャリアガイダンス・カウンセリングの実際Ⅱ
　－就職希望生徒の場合－
10．キャリアガイダンス・カウンセリングの実際Ⅲ
　－進路未決定生徒の場合－
11．ミニ模擬授業Ⅰ－授業方法と技術－
12．ミニ模擬授業Ⅰ－授業構成と評価－
13．授業方法、授業順序、内容構成、生徒指導のかかわりについて考察する。
14．教職実践演習カルテの記入事項の再点検と個人的課題の整理。
15．教職実践演習カルテを記入した個々の学生に対してカウンセリングを行う。
16．総括講義

テキスト

なし。必要に応じプリントを配布する。

参考書・参考資料等

原田恵理子、森山賢一編著、『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』北樹出版
伊藤一雄 他著 『新・教育指導の理論と実践』サンライズ出版 2006.4

学生に対する評価

発表レジメの内容（20%）、発表方法・技術（20%）、ガイダンス・カウンセリングの技術（20%）、ミニ模擬授業（20%）、総括レポート（20%）を総合する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）教員として必要な最低の実務能力が身についているか。
（良）教員として必要な最低の実務能力を身につけ、教職に対する理解が深まったか。
（優）教員として必要な最低の実務能力を身につけ、教職に対する理解と意欲が深まったか。

その他

教育実習とこれまでの教職科目の総括でもあるので、積極的な発言を求める。

科目名
教育実習の研究
学期：前期
単位数：1
担当者：山脇雅夫、戸來知子

授業の到達目標及びテーマ

教育実習を通して、学校教育の全体を体験的・総合的に理解する問い目標を達成するため、事前学習並びに事後振り返りを行う。教員としての能力や適性を確認するとともに、将来教員として行う教育実践と教育実践研究に必要な知識・技能が何かを理解する。

授業の概要

①、教育実習の事前に、実習の構造、実習の意義、実習における学びのポイントを確認し、実習に臨む心構えを整える。②教育実習の事後、実習内容のまとめと発表を通じて、実習を振り返り、他の実習生の体験を共有化することで、実習での学びを定着させる。

授業計画

第１回：教育実習の構造と意義（担当：山脇）
第２回：実習生の心得（担当：山脇）
第３回：授業観察のポイント（担当：山脇）
第４回：実習日誌の作成のポイント（担当：山脇）
第５回： 実習日誌作成演習（担当：山脇）
第６回～
第10回：教育実習
第11回：実習内容の振り返り（実習生発表）１（担当：戸来）
第12回：実習内容の振り返り（実習生発表）２（担当：戸来）
第13回：実習生ディスカッション（担当：戸来）
第14回：教員免許取得までに必要な知識・技能（担当：戸来）
第15回：教育実習での学びを踏まえた教員像（担当：戸来）

テキスト

教育実習を考える会編『教育実習の常識』蒼丘書林

参考書・参考資料等

授業中に適宜資料を配布する。

学生に対する評価

定期試験（40%）、授業における発表（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

	授業実践力	学校における人間関係力	専門職としての教師の理解
可	授業参加において、授業技術を観察できる。	生徒、同僚教員と円満に接することができる。	専門職としての教師の業務の特性を理解できる。
良	授業参観において、授業技術をポイントごとに整理して観察できる。	生徒、同僚教員と積極的に関わることができる。	専門職としての教師の業務の特性を深く理解できる。
優	授業参観において、授業技術をポイントごとに観察できるとともに、その教育的意義を理解できる。	生徒、同僚教員と積極的に関わり、その教育的意義を理解できる。	専門職としての教師の業務の特性を深く理解し、教師としての使命を自覚している。

その他

今年度の教育実習Ⅰに行く学生は、必ず「教育実習の研究」を受講すること。

科目名
人間学基礎ゼミⅠ
学期：前期
単位数：2
担当者：森本一彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：大学での学び方を理解し、授業を受けられるようになる。
テーマ：学び方の技法

授業の概要

高校とは違う大学での学び方を説明するとともに、実際にそれを体験することで習慣化する。

授業計画

1．大学の学び方
2．授業の受け方：ノートの取り方（1）
3．授業の受け方：ノートの取り方（2）
4．授業の受け方：配布資料の整理と使い方
5．予習・復習の必要性
6．本の読み方（1）
7．本の読み方（2）
8．試験の傾向と対策：知識問題と論述問題
9．レポートの作成（1）
10．レポートの作成（2）
11．レポートの作成（3）
12．資料の検索（1）図書館の利用
13．資料の検索（2）インターネットの利用
14．レポート作成の実践（1）
15．レポート作成の実践（2）
16．

テキスト

プリントを配布する

参考書・参考資料等

田中共子編『よくわかる学びの技法 第２版』ミネルバ書房、2009年

学生に対する評価

最終レポート（50%）、授業内および授業外での課題（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）授業で説明したことが理解できている。
（良）授業で説明したことが実際にできる。
（優）授業で説明したことを活かして、レポートが作成できる。

その他

授業に出席することは当然であるが、大学４年間の生活を有意義に過ごすために、積極的に取り組むこと。

科目名：人間学基礎ゼミⅡ
学期：後期
単位数：2
担当者：森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：大学での学び方を理解し、授業を受けられるようになる。
テ ー マ：学び方の技法

授業の概要
人間学基礎ゼミⅠに続いて、大学での学び方を説明するとともに、実際にそれを体験することで習慣化する。

授業計画
1．発表するには
2．データの収集（1）
3．データの収集（2）
4．データの記録（1）メモ
5．データの記録（2）写真
6．データの記録（3）動画
7．データと思考の整理
8．レジュメの作成（1）
9．レジュメの作成（2）
10．パワーポイントの作成（1）
11．パワーポイントの作成（2）
12．発表の実践（1）
13．発表の実践（2）
14．討論（1）
15．討論（2）
16．

テキスト
プリントを配布する

参考書・参考資料等
田中共子編『よくわかる学びの技法　第２版』ミネルバ書房、2009年

学生に対する評価
最終レポート（50%）、授業内および授業外での課題（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）授業で説明したことが理解できている。
（良）授業で説明したことが実際にできる。
（優）授業で説明したことを活かして、レポートが作成できる。

その他
授業に出席することは当然であるが、大学４年間の生活を有意義に過ごすために、積極的に取り組むこと。

科目名：人間学概論Ⅰ
学期：前期
単位数：2
担当者：浜畑圭吾、坂口太郎

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：文学作品や記録を通して人間の諸相を理解する。
テ ー マ：文学と歴史学から人間について考える。

授業の概要
人間を理解する上で、宗教はひとつの窓口である。前半では高野山に関わる文学作品を取り上げ、人間の諸相について考える。また、後半では中世社会と宗教との関係について、さまざまな切り口から考えていく。

授業計画
1．ガイダンス
2．聖地を目指す人々
3．信仰の源
4．弘法大師空海の出定
5．聖地に籠もる人々
6　聖地をつなぐ人々
7．高野聖の姿
8．高野山と聖遺物
9．中世仏教をめぐる呪術性と合理性
10．中世の出生をめぐる信仰
11．中世の死と信仰と葬送
12．中世仏教と女人①
13．中世仏教と女人②
14．中世仏教と戦争
15．高野山町石道をめぐる宗教文化
16．高野山町石道の見学（校外授業）

テキスト
テキストを指定せず、プリントを配布する。

参考書・参考資料等
授業中に紹介する。

学生に対する評価
最終レポート（60%）、受講態度及びリアクションペーパー（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）講義で取り上げた作品や記録の内容を理解している。
（良）各回のテーマを理解している。
（優）各回のテーマを理解した上で、文学や歴史学の成果に基づいて、新知見を述べることが出来る。

その他
（浜畑）私語厳禁。概論ではあるが意見を求めていくので、積極的な姿勢を望む。リアクションペーパーを有効に活用して欲しい。
（坂口）講義中の私語やスマートフォンの使用は、絶対に慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。必要に応じて、図書館に赴き、講義で紹介する参考文献を読むこと。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名：人間学概論Ⅱ
学期：後期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ、森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：心理ケア、地域デザインの基礎を理解する。
テ ー マ：心理ケア、地域デザインの基礎

授業の概要
心理ケアと地域デザインの担当者が、３年からのコースの基礎について解説を行う。

授業計画
1．ケアと人になること（心理ケア）
2．悲しむ力と育む力（心理ケア）
3．悟ったら何が変わるの？（心理ケア）
4．沈黙に耐える力（心理ケア）
5．無我とは何か、空とは何か（心理ケア）
6．思いやりの諸形態（心理ケア）
7．なぜ自分を大切にすることが必要なのか（心理ケア）
8．現代日本の課題（地域デザイン）
9．データから見る課題：超少子高齢社会（地域デザイン）
10．身近な地域の課題（地域デザイン）
11．高野町の課題（地域デザイン）
12．課題解決する（地域デザイン）
13．課題を調査する（地域デザイン）
14．データ分析
15．心理ケアと地域デザインによる問題解決
16．

テキスト
テキストを指定せず、プリントを配布する。

参考書・参考資料等
山崎亮『ミュニティデザイン―人がつながるしくみをつくる』学芸出版社、2011年
井上ウィマラ『看護と生老病死』三輪書店　2010年

学生に対する評価
最終レポート（70%）、小レポートなどの課題（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）心理ケア、地域デザインに関する基本用語が説明できる。
（良）心理ケア、地域デザインに関する各分野の考え方が説明できる。
（優）心理ケア、地域デザインについて自分の考え方が説明できる。

その他
最終レポートは、心理ケア、地域デザインごとに作成し、評価は総合して行う。

科目名：人間学基礎ゼミⅢ
学期：前期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：人間について学ぶための基礎力をつける。
テ ー マ：自分を知ることと他者を知ることのつながり

授業の概要
体験学習を通して、自分を表現することを学び、他者の自己表現に心を向けて寄り添うことを学び、お互いに表現し合い、受けとめ合い、交流し合うことで自己像と他者像がどのように変わってゆくのかについて学んでゆきます。授業の随所にマインドフルネスの実践を埋め込みながら、楽しみながら学ぶことを学んでゆきます。

授業計画
1．オリエンテーション　自己紹介と人間学について
2．私の好きな歌
3．私の好きな本
4．私の好きな景色
5．私はいつから「私」になったのか？
6．インタビューゲームと他己紹介　Ⅰ
7．インタビューゲームと他己紹介　Ⅱ
8．食べることについて学ぶ　Ⅰ
9．食べることについて学ぶ　Ⅱ
10．マインドフルネスとはなにか
11．マインドフルネスとスピリチュアリティ
12．認知症について考える
13．死について考える
14．ケアの循環について考える
15．まとめ

テキスト
井上ウィマラ『人生で大切な５つの仕事』春秋社
井上ウィマラ『スピリチュアルケアへのガイド』青海社

参考書・参考資料等
J. カバットジン『マインドフルネスストレス低減法』北大路書房
M. エプスタイン『ブッダのサイコセラピー』春秋社
『仏教心理学キーワード事典』春秋社

学生に対する評価
授業への参加（40%）　レポート（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）自分を知ることと人間学とのつながりが理解できている。
（良）コミュニケーションを通して自他を知ることの大切さが理解できている。
（優）人間学とは何かについて、自分の言葉で説明できる。

その他
体験学習が主になりますので、積極的な参加を期待しています。

科目名：人間学基礎ゼミⅣ
学期：後期
単位数：2
担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：文章を書くことと読むことの楽しみを学ぶ。レポートと論文との違いを理解して、テーマを見つけて情報収集し、集めた情報を吟味することを学ぶ。
テ ー マ：文章を書くこと、読むこと、創造する喜び。

授業の概要
書くこと、読むこと、歌うこと、身体を動かすことを通して身体感覚を育み、自他への思いやりの大切さが理解できるようなエクササイズを中心とした体験学習になります。

授業計画
1．授業の進め方について
2．あの世があったら、そこで何をしたいか？
3．「お迎え現象」について情報収集してみよう
4．家系図を描いてみよう：　なぜ人間学科を選んだのか？
5．「幽霊」っているの？：　東日本大震災からの学び
6．音読と黙読
7．５分間スピーチ
8．会話録の取り方
9．会話録の分析
10. レポートから論文へ
11. ブレインストーミングと KJ 法によるマッピング作業
12. 聴くことの大切さと難しさ
13. スピリチュアリティとは何か：人生の俯瞰的な視点について
14. 仏教と密教について：　Rose の歌詞から学ぶ
15. まとめの質疑応答

テキスト
なし。適宜コピー資料を使います。

参考書・参考資料等
井上ウィマラ　『人生で大切な５つの仕事』春秋社
窪寺俊之・井上ウィマラ　『スピリチュアルケアへのガイド』青海社

学生に対する評価
授業への参加（50%）　レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）授業で行ったエクササイズについてレポートが書ける。
（良）授業で行った体験学習について、文献を引用しながら検討できる。
（優）自分のテーマを見つけて情報収集し、創造的な視点から論述できる。

その他
動きやすい姿勢で参加してください。

科目名：英語Ⅲ
学期：通年
単位数：2
担当者：高倉正行

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：中級程度の英字新聞の理解。
テ ー マ：必要な英語の情報を素早く読み取る。

授業の概要
ネット上の英字新聞を読む。

授業計画
学生諸君の英語読解能力に応じ、夏期のアドレスの英字新聞を読む。

NHK World English:
http://www.nhk.or.jp/english/index.html

Daily Yomiuri Online:
http://www.yomiuri.co.jp/dy/

The Asahi Shimbun
http://www.asahi.com/english/

Japan Times:
http://www.japantimes.co.jp/

テキスト
テキストはありませんが、USB メモリーを用意すること。

参考書・参考資料等

学生に対する評価
授業態度と提出物で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）基本的な英文法が理解できること
（良）英文章の構造が理解できること
（優）パラグラフ単位で文章の内容を把握できること

その他

科目名：人間学演習ⅠA
学期：通年
単位数：4
担当者：森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：卒業論文に作成を通して、企画力や表現力を身につける。
テ ー マ：卒業論文の作成

授業の概要
卒業論文作成に向けた準備を行う。他受講生の報告についてのディスカッションも行う。

授業計画
1．卒業論文までの工程
2．論題の設定・確認（１）
3．論題の設定・確認（２）
4．目次の作成 . 確認（１）
5．目次の作成・確認（２）
6．データの整理・確認（１）
7．データの整理・確認（２）
8．中間報告（１）
9．中間報告（２）
10. 中間報告（３）
11. 要旨・構成の検討（１）
12. 要旨・構成の検討（２）
13. データの検討（１）
14. データの検討（２）
15. 草稿の検討（１）
16. 中間報告（４）
17. 中間報告（５）
18. 中間報告（６）
19. 要旨・構成の検討（３）
20. 要旨・構成の検討（４）
21. 草稿の検討（２）
22. 草稿の検討（３）
23. 草稿の検討（４）
24. 最終報告（１）
25. 最終報告（２）
26. 最終報告（３）
27. 口頭試問の検討（１）
28. 口頭試問の検討（２）
29. 口頭試問の検討（３）
30. 総括

テキスト
プリントを配布する。

参考書・参考資料等
白井利明・高橋一郎『よくわかる卒論の書き方　第２版』
ミネルヴァ書房、2013 年

学生に対する評価
レポート・課題（50%）、発表など授業参加の積極性（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）卒業論文の作成方法が理解できている。
（良）作成方法に従って卒業論文を作成することができる。
（優）論理的で説得力のある卒業論文を作成することができる。

その他
3、4 年生合同授業のために、学年により進度の違いが生じるが、できるだけ同じペースで授業を進める。

科目名：人間学演習ⅠB
学期：通年
単位数：4
担当者：廣田恵美子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：卒業論文を書くために必要な日本語の力を付ける。
テ ー マ：書き言葉の日本語力アップ

授業の概要
『留学生のためのここが大切文章表現のルール』を使って、色々な方向からレポートや卒業論文を書くための書き言葉の日本語、レポートや論文の書き方を学習する。
毎回、宿題があります。

授業計画
1．自己紹介と授業の説明　他
2．作文の基本
3．助詞の使い方
4．言葉の形の使い分け
5．自動詞・他動詞・受身
6．呼応
7．文末表現の調整
8．ひらがなと漢字のバランス
9．漢字の選択と誤変換
10. カタカナの使い方
11. 読点の打ち方
12. 書き言葉らしさ
13. 辞書の危険性
14. 専門用語の選び方
15. 文の長さと読みやすさ
16. 指示詞による文の接続
17. 接続詞と文章の構成
18. 読み手への配慮
19. レポートの基本的な書き方（意味と事実）
20. 〃（複雑な内容の整理）
21. 立場のある文章の書き方
22. 先生宛のＥメールの書き方
23. 要約文を書く
24. 参考文献の書き方
25. 図表の提示
26. 対比と比較
27. 目次作成
28. まとめ１
29. まとめ２
30. まとめ３

テキスト
石黒圭・筒井千絵　著『留学生のためのここが大切文章表現のルール』
スリーエーネットワーク
（担当者の指示に従うこと）

参考書・参考資料等

学生に対する評価
宿題（30%）　授業の発言・出席（20%）　レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他
・どの日本語レベルの人でも受けることが出来ます。
・学習効果を高めるため宿題をしっかりとして下さい。
・授業に直接関係がなくても、日本語学習のことでしたら、何でも相談して下さい。
・受講生のレベルや理解度に依って、スケジュールや授業内容を変更する場合があります。

科目名	学期	単位数	担当者
人間学特殊ゼミⅠA	前期	2	森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：社会調査を計画して、実施する。
テ ー マ：社会調査の実施（Ⅰ）

授業の概要
受講生が、社会調査を企画・実施し、卒業論文の作成のためのデータ収集を行う。

授業計画
1．社会調査について
2．テーマ設定（1）
3．テーマ設定（2）
4．仮説の設定（1）
5．仮説の設定（1）
6．調査法の選定
7．調査の設計（1）
8．調査の設計（2）
9．調査の設計（3）
10．予備調査実施（1）
11．予備調査実施（2）
12．予備調査のデータ整理（1）
13．予備調査のデータ整理（2）
14．本調査に向けた検討（1）
15．本調査に向けた検討（2）

テキスト
プリントを配布する。

参考書・参考資料等
篠原清夫・清水強志・榎本環・大矢根淳『社会調査の基礎』弘文堂、2010年
その他講義中に適宜紹介する。

学生に対する評価
報告書（50%）、授業中の発言やコミュニケーションカードなど積極的な授業態度（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）テーマを選び、調査計画を立てることができる。
（良）調査計画に基づいて、調査ができる。
（優）調査に基づき、報告書を作成できる。

その他
本授業は、受講生の積極的な授業参加とともに、授業外における課題の作成、調査が必要であることを了解した上で履修すること。

科目名	学期	単位数	担当者
人間学特殊ゼミⅡA	後期	2	森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：社会調査を計画して、実施する。
テ ー マ：社会調査の実施（Ⅱ）

授業の概要
受講生が、社会調査を企画・実施し、卒業論文の作成のためのデータ収集を行う。

授業計画
1．本調査に向けての準備（1）
2．本調査に向けての準備（2）
3．本調査（1）
4．本調査（2）
5．本調査のデータ整理（1）
6．本調査のデータ整理（2）
7．本調査のデータ検討
8．追加調査（1）
9．追加調査（2）
10．追加調査のデータ整理（1）
11．追加調査のデータ整理（2）
12．追加調査のデータ検討
13．発表準備
14．発表
15．レポート作成

テキスト
プリントを配布する。

参考書・参考資料等
篠原清夫・清水強志・榎本環・大矢根淳『社会調査の基礎』弘文堂、2010年
その他講義中に適宜紹介する。

学生に対する評価
報告書（50%）、授業中の発言やコミュニケーションカードなど積極的な授業態度（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）テーマを選び、調査計画を立てることができる。
（良）調査計画に基づいて、調査ができる。
（優）調査に基づき、報告書を作成できる。

その他
本授業は、受講生の積極的な授業参加とともに、授業外における課題の作成、調査が必要であることを了解した上で履修すること。

科目名	学期	単位数	担当者
人間学特殊ゼミⅠB	前期	2	松本貴子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：様々な日本事情を学ぶことを通して、各国の文化と比較する思考力を深める。
テ ー マ：「日本とはどのような国なのか」を多角的な角度から学び、考える。

授業の概要
多角的に文化を研究するために必要な方法を学ぶ。日本文化についてのとらえ方を参考に、それぞれの学生が自国の文化についても言及できる事を目指す。

授業計画

1．ガイダンス		
2．Unit 1	日本ってどんな国？	Section 1
3．		Section 2
4．Unit 2	都市の暮らし・地方の暮らし	Section 1
5．		Section 2
6．Unit 3	日本の旅を楽しもう	Section 1
7．		Section 2
8．Unit 4	いただきます！	Section 1
9．		Section 2
10．Unit 5	季節を楽しむ年中行事	Section 1
11．		Section 2
12．Unit 6	知っておきたい日本の歴史	Section 1
13．		Section 2
14．Unit 7	伝統文化体験	Section 1
15．		Section 2
16．まとめ		

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』くろしお出版

学生に対する評価
レポート（30%）、発表（30%）、授業参加の積極性（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）文化研究の基礎的な方法を理解している。
（良）日本文化について研究し、一定の解釈をすることができる。
（優）日本文化について研究し、独自の見解を提示することができる。

その他
文化を分析する為には多くの日本語の語彙が必要なので、授業前後の予習復習は当然だと考えてください。

科目名	学期	単位数	担当者
人間学特殊ゼミⅡB	後期	2	松本貴子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：様々な日本事情を学ぶことを通して、各国の文化と比較する思考力を深める。
テ ー マ：「日本とはどのような国なのか」を多角的な角度から学び、考える。

授業の概要
多角的に文化を研究するために必要な方法を学ぶ。日本文化についてのとらえ方を参考に、それぞれの学生が自国の文化についても言及できる事を目指す。

授業計画

1．ガイダンス		
2．Unit 8	現代文化とポップカルチャー	Section 1
3．		Section 2
4．Unit 9	スポーツの楽しみ方	Section 1
5．		Section 2
6．Unit 10	全身を続ける科学技術	Section 1
7．		Section 2
8．Unit 11	地球のためにできること	Section 1
9．		Section 2
10．Unit 12	教育と子供たち	Section 1
11．		Section 2
12．Unit 13	産業構造と経済	Section 1
13．		Section 2
14．Unit 14	政治と憲法	Section 1
15．		Section 2
16．まとめ		

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』くろしお出版

学生に対する評価
レポート（30%）、発表（30%）、授業参加の積極性（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）文化研究の基礎的な方法を理解している。
（良）日本文化について研究し、一定の解釈をすることができる。
（優）日本文化について研究し、独自の見解を提示することができる。

その他
文化を分析する為には多くの日本語の語彙が必要なので、授業前後の予習復習は当然だと考えてください。

科目名
人間学演習ⅡA

学期：通年

単位数：4

担当者：森本一彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：卒業論文に作成を通して、企画力や表現力を身につける。
テ ー マ：卒業論文の作成

授業の概要
卒業論文作成に向けた準備を行う。他受講生の報告についてのディスカッションも行う。

授業計画
1．卒業論文までの工程
2．論題の設定・確認（1）
3．論題の設定・確認（2）
4．目次の作成 . 確認（1）
5．目次の作成・確認（2）
6．データの整理・確認（1）
7．データの整理・確認（2）
8．中間報告（1）
9．中間報告（2）
10．中間報告（3）
11．要旨・構成の検討（1）
12．要旨・構成の検討（2）
13．データの検討（1）
14．データの検討（2）
15．草稿の検討（1）
16．中間報告（4）
17．中間報告（5）
18．中間報告（6）
19．要旨・構成の検討（3）
20．要旨・構成の検討（4）
21．草稿の検討（2）
22．草稿の検討（3）
23．草稿の検討（4）
24．最終報告（1）
25．最終報告（2）
26．最終報告（3）
27．口頭試問の検討（1）
28．口頭試問の検討（2）
29．口頭試問の検討（3）
30．総括

テキスト
プリントを配布する。

参考書・参考資料等
白井利明・高橋一郎『よくわかる卒論の書き方　第２版』
ミネルヴァ書房、2013 年

学生に対する評価
レポート・課題（50%）、発表など授業参加の積極性（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）卒業論文の作成方法が理解できている。
（良）作成方法に従って卒業論文を作成することができる。
（優）論理的で説得力のある卒業論文を作成することができる。

その他
３、４年生合同授業のために、学年により進度の違いが生じるが、できるだけ同じペースで授業を進める。

科目名
人間学演習ⅡB（にんげんがくえんしゅう）

学期：通年（つうねん）

単位数：4

担当者：廣田恵美子（ひろた えみこ）

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：卒業論文を書くために必要な日本語の力を付ける。
テ ー マ：書き言葉の日本語力アップ

授業の概要
『留学生のためのここが大切文章表現のルール』を使って、色々な方向からレポートや卒業論文を書くための書き言葉の日本語、レポートや論文の書き方を学習する。
毎回、宿題があります。

授業計画
1．自己紹介と授業の説明　他
2．作文の基本
3．助詞の使い方
4．言葉の形の使い分け
5．自動詞・他動詞・受身
6．呼応
7．文末表現の調整
8．ひらがなと漢字のバランス
9．漢字の選択と誤変換
10．カタカナの使い方
11．読点の打ち方
12．書き言葉らしさ
13．辞書の危険性
14．専門用語の選び方
15．文の長さと読みやすさ
16．指示詞による文の接続
17．接続詞と文章の構成
18．読み手への配慮
19．レポートの基本的な書き方（意味と事実）
20．〃（複雑な内容の整理）
21．立場のある文章の書き方
22．先生宛のＥメールの書き方
23．要約文を書く
24．参考文献の書き方
25．図表の提示
26．対比と比較
27．目次作成
28．まとめ１
29．まとめ２
30．まとめ３

テキスト
石黒圭・筒井千絵　著『留学生のためのここが大切文章表現のルール』
スリーエーネットワーク
（担当者の指示に従うこと）

参考書・参考資料等

学生に対する評価
宿題（30%）　授業の発言・出席（20%）　レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他
・どの日本語レベルの人でも受けることが出来ます。
・学習効果を高めるため宿題をしっかりとして下さい。
・授業に直接関係がなくても、日本語学習のことでしたら、何でも相談して下さい。
・受講生のレベルや理解度に依って、スケジュールや授業内容を変更する場合があります。

科目名
人間学演習ⅠC（卒論指導）

学期：通年

単位数：4

担当者：井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：【前期】：卒業論文を書くために必要なアイディアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。
【後期】：テーマにしたがって先行研究を整理し、分析し、論文として自らの考えを構成し表現していく力を身につける。
テ ー マ：【前期】：卒業論文作成のための準備トレーニング
【後期】：卒業論文作成の実際

授業の概要
前期は、各自の研究テーマについて情報を集めるためのブレイン・ストーミングや KJ 法によるマッピングなどを紹介する。その後で、図書館やインターネットを利用して情報を収集し、整理して、ショートプレゼンテーションを行い、ディスカッションすることで知識が有機的につながってゆくように工夫する。
後期は、毎回授業のはじめに各自の進行状況を報告しあう。実際に論文を作成するプロセスにしたがって、個人指導をしながら進めてゆく。

授業計画
1．自己紹介と授業の流れについて
2．書いてみたいテーマについて
3．ブレイン・ストーミング
4．KJ 法によるマッピング
5．アイディアを膨らませるために
6．図書館の利用法
7．インターネットの利用法
8．先行研究を知る
9．資料の読み込み方
10．分析と構成
11．プレゼンテーションとディスカッション１
12．プレゼンテーションとディスカッション２
13．プレゼンテーションとディスカッション３
14．目次作成
15．レポート作成のためのふりかえり
16．レポート講評

1．授業の流れと各自の進行状況の確認：前期レポートのふりかえり
2．タイトルについて
3．章立てについて
4．序章の意味について
5．論文の格闘技的側面について
6．資料の活かし方
7．引用法
8．論旨の浮かび上がらせ方
9．書きながら修正していくこと
10．読み合わせ１
11．読み合わせ２
12．個人指導１
13．個人指導２
14．個人指導３
15．ふりかえりとまとめ（諮問に向けて）
16．レポート講評

テキスト
『仏教心理学キーワード事典』春秋社　(書店で購入)

参考書・参考資料等
『災害時のこころのケア』医学書院、その他適宜コピーを配布する。

学生に対する評価
授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）テーマを選び、論理的な展開でレポートが書ける。
（良）自分の主張を浮かび上がらせるために、先行研究を使いこなせている。
（優）論考のオリジナリティと未解決の課題を含めた将来への展望が明確になっている。

その他

科目名
人間学演習ⅠD（臨床心理学演習）

学期：通年

単位数：4

担当者：森崎雅好

授業のテーマ
テ ー マ：心理学領域に関する諸問題を科学的に検証する姿勢を学ぶ

授業の目的及び概要
３回生を対象とし、心理学領域に関して、理論や実験、演習等で学習した内容を深めるために、各自が興味・関心をいだいたテーマに関する文献を収集・要約し、発表をする。この講義は４年次の卒業論文作成のための準備段階として位置付けられる。

授業計画
1．自身が興味･関心をいだいた心理学領域に関する文献を収集する。
2．文献の要約を行い、受講生が順番に発表を行う。
3．テーマに関する議論を行い、問題点・課題点を明らかにする。
4．新たに見出された問題点･課題点について文献を収集しまとめる。
5．以上の手順で、自身が焦点をあてる研究課題を明らかにする。

テキスト
特に指定しない。

参考書・参考資料等
受講生のテーマにあわせて、個別に適時、紹介する。

学生に対する評価
１年間の発表内容をまとめたものをレポートとして提出する。評価は、講義中の態度、レポート内容によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名	人間学演習ⅠE（臨床心理学演習）
学期	通年
単位数	4
担当者	大河内大博

授業のテーマ
テ ー マ：個人スーパービジョン

授業の目的及び概要
３回生を対象とし、研究課題、臨床実習課題等に関する個人スーパービジョンを行う

授業計画
1．研究に関するアドバイス
2．臨床実習に関するスーパービジョン
3.　近々課題に関するスーパービジョン

テキスト
特に指定しない。

参考書・参考資料等
受講生のテーマにあわせて、個別に適時、紹介する。

学生に対する評価
１年間の発表内容をまとめたものをレポートとして提出する。評価は、講義中の態度、レポート内容によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名	人間学特殊ゼミⅠC（仏教心理学と事例検討）
学期	前期
単位数	2
担当者	井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：事例検討をするために必要な知識を身につける。マインドフルネスをはじめとする仏教の瞑想実践が生み出した心理学的智見を、現代社会における心理や医療などの臨床現場における出来事を深く理解するために使いこなすことを学ぶ。
テ ー マ：生老病死を見守る力を養成する。

授業の概要
前半では、仏教心理学の基礎知識を学び、事例検討やスーパービジョンの意味について考える。後半では、テキストの事例を読み、各自が考える時間を取ったうえでディスカッションをする。

授業計画
1．仏教心理学とは何か
2．苦しみ (dukkha) について
3．無明と反復強迫
4．中道と実践の８要素
5．看護しにくい人の５条件
6．事例検討とスピリチュアリティ
7．第４章　人間の「生」への視点と関わり　を読む
8．周産期について考える
9．第５章　人間の「老」への視点と関わり　を読む
10．老いについて考える
11．第６章　人間の「病」への視点と関わり　を読む
12．病について考える
13．第７章　人間の「死」への視点と関わり　を読む
14．死について考える
15．まとめとふりかえり

テキスト
『看護と生老病死：　仏教心理で困難な事例を読み解く』
井上ウィマラ　三輪書店

参考書・参考資料等
『赤ちゃんの死を前にして』 竹内正人　中央法規
『ＮＩＣＵとこころのケア』 橋本洋子　ＭＣメディカ出版
『ともにある：神田橋條治　湯布院・緩和ケアの集い』 木星社
『仏教心理学キーワード事典』 春秋社

学生に対する評価
レポート（60％）、授業参加の積極性（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）事例検討の大切さについて説明できる。
（良）事例検討と生育歴の関係について語れる。
（優）仏教用語をわかりやすく説明しながら、事例について解説できる。

その他

科目名	人間学特殊ゼミⅡC（マインドフルネス）
学期	後期
単位数	2
担当者	井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：関係性の中に浮かび上がってくる自分のパターンに気づく
テ ー マ：関係性における気づきとコミュニケーション基礎力の養成

授業の概要
最初に「慈しみの歌」を歌い、「気づきの確立に関する教え」を読誦し、15分ほど坐禅による呼吸のマインドフルネス瞑想を行う。そのあとで、テーマに従ってショートレクチャーやエクササイズをしながら体験学習を進めてゆく。

授業計画
1．マインドフルネスとスピリチュアリティ
2．人間存在とケア
3．ミラーニューロンと鏡像段階
4．ミラーリング
5．他己紹介
6．５分間トーク
7．呼吸のモニタリング
8．息づかいのメッセージ
9．呼吸のキャッチボール
10．レーズンの祈り
11．マインドフルネスとコミュニティ
12．嬉しかったこと・悲しかったこと
13．怒りの活かし方
14．最後の一息
15．ふりかえりとまとめ

テキスト
『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウィマラ
青海社

参考書・参考資料等
『呼吸による気づきの教え』井上ウィマラ　佼成出版社
『仏教心理学キーワード事典』春秋社

学生に対する評価
レポート（60％）、授業参加の積極性（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）マインドフルネスについて自分の言葉で説明できる。
（良）仏教用語と心理学用語をつないで説明できる。
（優）気づきと思いやりを日常生活の中の祈りに統合できる。

その他
動きやすい服装でご参加ください。受講生の構成や様子によって、シラバスの順番やテーマなどが変わることがありますので、ご了承ください。

科目名	人間学特殊ゼミⅠD（宗教学入門）
学期	前期
単位数	2
担当者	山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：宗教学の基本的知識を習得します
テ ー マ：宗教学入門

授業の概要
テキストを中心に宗教学の基本的な知識、考え方を学びます。

授業計画
1．宗教学の立場
2．宗教の原初形態
3．科学・呪術・宗教
4．宗教の諸類型（有神論と無神論）
5．宗教の諸類型（神秘主義と預言者宗教）
6．宗教の諸類型（救い型・悟り型・つながり型）
7．宗教の構成要素
8．宗教の実在観
9．宗教的人間観・世界観
10．宗教儀礼
11．おまつり
12．宗教と社会
13．宗教体験
14．宗教の機能
15．まとめ
16．

テキスト
脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）

参考書・参考資料等

学生に対する評価
レポート（60％）、授業参加の積極性（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）宗教学の基礎的知識を理解している。
（良）宗教学の基礎的知識をより専門的に理解している。
（優）宗教学の基礎的知識を理解し、自分なりの宗教理解に活かしている。

その他

科目名	人間学特殊ゼミⅡD（現代日本と宗教）
学期	後期
単位数	2
担当者	山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の考え方の基本を理解します。

テーマ：一神教の世界

授業の概要

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教のそれぞれの経典を読みながら、これらの一神教の考え方を学んでいきます。

授業計画

1．セム語族の宗教
2．ユダヤ教の基本
3．旧約聖書の神
4．旧約聖書の世界創造神話
5．旧約聖書の人間創造神話
6．旧約聖書における信仰
7．十戒の意味
8．キリスト教の基本
9．イエスの生涯
10．イエスという体験
11．三位一体の神
12．キリストとは何か？
13．イスラム教の基本
14．コーランを読む
15．イスラム法
16．

テキスト

参考書・参考資料等

中村圭志『聖書、コーラン、仏典』（中公新書）
授業中に読む経典は、授業中に配布します。

学生に対する評価

レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）一神教の本質について、テキストの主張を理解している。
（良）一神教の本質について、テキストの主張を理解し、自分のことばで表現できる。
（優）一神教の本質についての理解し、現代社会におけるその意味を考察できる。

その他

科目名	人間学特殊ゼミⅠE（悲嘆学）
学期	前期
単位数	2
担当者	森崎雅好

授業のテーマ

テーマ：悲嘆に関する心理的支援の在り方について学ぶ

授業の目的及び概要

グリーフ（grief）とは悲嘆を意味し、悲嘆は喪失から生じる。この悲嘆を受け入れる作業をグリーフワークと言い、グリーフケアとはその作業を支援することにある。本講義では、様々な領域におけるグリーフケアの姿勢の在り方を学ぶ。

授業計画

1回目：悲嘆の定義・理論
2回目：悲嘆の理論（PTSDと複雑性悲嘆について）
3回目：犯罪被害者支援①（被害者・加害者の声）
4回目：犯罪被害者支援②（被害者・加害者の心理的ケア）
5回目：虐めと虐待①（虐め体験について）
6回目：虐めと虐待②（被虐体験への心理的ケア）
7回目：難病支援①（難病とは・我が国の現状）
8回目：難病支援②（生きることの苦悩と受容の心理的ケア）
9回目：ホスピス・緩和ケアにおける支援①（病と自己）
10回目：ホスピス・緩和ケアにおける支援②（死を見つめる心理とそのケア）
11回目：自死遺族支援①（遺族の心理）
12回目：自死遺族支援②（サポートグループについて）
13回目：災害時支援①（災害による喪失体験）
14回目：災害時支援②（復興期に求められる支援について）
15回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する

参考書・参考資料等

各講義に関する内容に即したテキストを適時紹介する。

学生に対する評価

レポートにて評価する

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）悲嘆の心理を理解するための基本的な心構えができている。
（良）悲嘆の心理に関する基本的な知識を身につけている。
（優）悲嘆の心理に関する知識を持った上で支援時に必要な態度を理解している。

その他

科目名	人間学特殊ゼミⅡE（自殺学）
学期	後期
単位数	2
担当者	森崎雅好

授業のテーマ

テーマ：自殺に関する諸理論を学び、防止のためにできることを考える

授業の目的及び概要

日本は、国連加盟国の中でも自殺率が高い国であり、依然として自殺者数が高水準で推移している。近年、自殺に関する認識が高まり、自殺対策基本法が制定され様々な対策が講じられるようになった。この授業では、自殺に関する基本的な知識を身につけ、自殺防止のためにできることについて考える。

授業計画

1回目：日本における自殺の現状
2回目：世界における自殺の現状
3回目：自殺についての理論①
4回目：自殺についての理論②
5回目：自殺についての理論③
6回目：自殺と精神障害
7回目：自殺と自傷
8回目：自殺対策①：危機介入
9回目：自殺対策②：予防的介入
10回目：自殺対策③：事後の対応
11回目：自殺とメディア
12回目：自殺とインターネット
13回目：自殺と文化
14回目：自殺と社会
15回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する

参考書・参考資料等

各講義に関する内容に即したテキストを適時紹介する。

学生に対する評価

レポートによる評価

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）自殺に関する基本的な知識を身につけている。
（良）自殺を志向する心理について理解している。
（優）自殺に関する知識を持った上で自殺を志向する心理を理解し共感しようとする姿勢を身につけている。

その他

科目名	人間学特殊ゼミⅠF（悲嘆学）
学期	前期
単位数	2
担当者	大河内大博

授業のテーマ

到達目標：悲嘆に関する学術的知識を正しく身につける

テーマ：悲嘆反応とグリーフケアに関する理論と実践方法について学ぶ

授業の目的及び概要

喪失による痛みである「悲嘆」について、特に「死別による悲嘆」を中心にして、その理論と実践方法について講義形式で学ぶ。

授業計画

1．グリーフケアの基礎1（わが国の現状と課題）
2．グリーフケアの基礎2（概説）
3．グリーフケアの理論1（フロイト、リンデマン）
4．グリーフケアの理論2（パークス、「継続する絆」理論）
5．グリーフケアの理論3（「アタッチメント」理論、「二重過程」理論）
6．グリーフケアの理論4（「課題モデル」）
7．グリーフケアの理論5（「意味の再構築」理論）
8．ワーク（死別対象・死因による違い）
9．死別対象・死因の違いとそのケア1
10．死別対象・死因の違いとそのケア2
11．グリーフケアの応用1（予期悲嘆、公認されない悲嘆、複雑性悲嘆、リジリエンス）
12．グリーフケアの応用2（周産期・救急救命・在宅医療）
13．グリーフケアの応用3（死別以外のグリーフ）
14．グリーフケアと死生観
15．グリーフケアと芸術（文学・映画・音楽の表現）

テキスト

特になし

参考書・参考資料等

坂口幸弘『悲嘆学入門　―死別の悲しみを学ぶ』（昭和堂、2010年）
高木慶子編著『グリーフケア入門　悲嘆のさなかにある人を支える』（勁草書房、2012年）
大河内大博『今、この身で生きる』（ワニブックス、2014年）

学生に対する評価

レポートにて評価する

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）悲嘆の心理を理解するための基本的な心構えができている。
（良）悲嘆の心理に関する基本的な知識を身につけている。
（優）悲嘆の心理に関する知識を持った上で支援時に必要な態度を理解している。

その他

科目名	人間学特殊ゼミⅡF（スピリチュアルケア実践論）
学期	後期
単位数	2
担当者	大河内 大博

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スピリチュアルケアの理論を正しく理解し、グループワークを通して自らの実践を振り返る視点を身につける
テ ー マ：スピリチュアルケアの理論と実践とを結びつける

授業の概要

本授業では、国内のスピリチュアルケアの理論について学習し、加えて、会話記録セッションによるグループワークを通して、自らの実践の振り返り、ケア実践の強みと弱みについての自己理解を深める。

授業計画

1．スピリチュアルケアの基礎
2．スピリチュアルケアの理論１
3．スピリチュアルケアの理論２
4．スピリチュアルケアの理論３
5．スピリチュアルケアの理論４
6～14. 会話記録セッション
15. まとめ

テキスト

参考書・参考資料等

窪寺俊之他編著『スピリチュアルケアを語る〈第３集〉臨床的教育法の試み』（関西学院大学出版会、2010 年）
大河内大博『今、この身で生きる』（ワニブックス、2014 年）

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（25%）、授業参加の積極性（25%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）スピリチュアルケアの基本的対人姿勢が理解できている
（良）自己開示ができ、課題に取り組み姿勢がみえている
（優）自己課題が明確であり、グループダイナミックスを理解できている

その他

グループワークでは自己開示を必要とします。
土３の「スピリチュアルケア演習」（前後期）とセットで受講することが望ましい。

科目名	人間学演習ⅡC（卒論指導）
学期	通年
単位数	4
担当者	井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：【前期】：卒業論文を書くために必要なアイディアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。
【後期】：テーマにしたがって先行研究を整理し、分析し、論文として自らの考えを構成し表現していく力を身につける。
テ ー マ：【前期】：卒業論文作成のための準備トレーニング
【後期】：卒業論文作成の実際

授業の概要

前期は、各自の研究テーマについて情報を集めるためのブレイン・ストーミングや KJ 法によるマッピングなどを紹介する。その後で、図書館やインターネットを利用して情報を収集し、整理して、ショートプレゼンテーションを行い、ディスカッションすることで知識が有機的につながってゆくように工夫する。

後期は、毎回授業のはじめに各自の進行状況を報告しあう。実際に論文を作成するプロセスにしたがって、個人指導をしながら進めてゆく。

授業計画

1．自己紹介と授業の流れについて
2．書いてみたいテーマについて
3．ブレイン・ストーミング
4．KJ 法によるマッピング
5．アイディアを膨らませるために
6．図書館の利用法
7．インターネットの利用法
8．先行研究を知る
9．資料の読み込み方
10. 分析と構成
11. プレゼンテーションとディスカッション１
12. プレゼンテーションとディスカッション２
13. プレゼンテーションとディスカッション３
14. 目次作成
15. レポート作成のためのふりかえり
16. レポート講評

1．授業の流れと各自の進行状況の確認：前期レポートのふりかえり
2．タイトルについて
3．章立てについて
4．序章の意味について
5．論文の格闘技的側面について
6．資料の活かし方
7．引用法
8．論旨の浮かび上がらせ方
9．書きながら修正していくこと
10. 読み合わせ１
11. 読み合わせ２
12. 個人指導１
13. 個人指導２
14. 個人指導３
15. ふりかえりとまとめ（諮問に向けて）
16. レポート講評

テキスト

『仏教心理学キーワード事典』春秋社 (書店で購入)

参考書・参考資料等

『災害時のこころのケア』医学書院、その他適宜コピーを配布する。

学生に対する評価

授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テーマを選び、論理的な展開でレポートが書ける。
（良）自分の主張を浮かび上がらせるために、先行研究を使いこなせている。
（優）論考のオリジナリティと未解決の課題を含めた将来への展望が明確になっている。

その他

科目名	人間学演習ⅡD（臨床心理学演習）
学期	通年
単位数	4
担当者	森 崎 雅 好

授業のテーマ

テ ー マ：心理学領域に関する諸問題を科学的に検証する姿勢を学ぶ

授業の目的及び概要

４回生を対象とし、心理学領域に関して、理論や実験、演習等で学習した内容を深めるために、各自が興味・関心をいだいたテーマに関する文献を収集・要約し、発表をする。この講義は４年次の卒業論文作成のための準備段階として位置付けられる。

授業計画

1．自身が興味･関心をいだいた心理学領域に関する文献を収集する。
2．文献の要約を行い、受講生が順番に発表を行う。
3．テーマに関する議論を行い、問題点・課題点を明らかにする。
4．新たに見出された問題点･課題点について文献を収集しまとめる。
5．以上の手順で、自身が焦点をあてる研究課題を明らかにする。

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

受講生のテーマにあわせて、個別に適時、紹介する。

学生に対する評価

１年間の発表内容をまとめたものをレポートとして提出する。評価は、講義中の態度、レポート内容によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名	人間学演習ⅡE（臨床心理学演習）
学期	通年
単位数	4
担当者	大河内大博

授業のテーマ

テ ー マ：個人スーパービジョン

授業の目的及び概要

４回生を対象とし､研究課題､臨床実習課題等に関する個人スーパービジョンを行う

授業計画

1．研究に関するアドバイス
2．臨床実習に関するスーパービジョン
3．近々課題に関するスーパービジョン

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

受講生のテーマにあわせて、個別に適時、紹介する。

学生に対する評価

課題への取り組み姿勢

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名

総合科目（聖地巡礼Ⅰ）

学期

実習

単位数

2

担当者

井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：自分なりの聖地を見つけ、その体験を深く味わったうえで、自分の中で何が起こったのかについて考察して記述することができる。
テーマ：特定の場における聖なる体験について、身体感覚を中心に理解する。

授業の概要

聖地巡礼計画書を作り、チェックを受けたうえで実際に訪問･巡礼し、その体験について考察してレポートを提出する。

授業計画

第１部：　聖地巡礼計画書の作成とチェック。二つの聖地を選ぶこと。

第２部：　巡礼。

第３部：　二つの聖地の巡礼体験をレポートにまとめる。

テキスト

『聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで』岡本亮輔　中公新書

参考書・参考資料等

『究極日本の聖地』鎌田東二　KADOKAWA/ 中経出版

学生に対する評価

レポート（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）自分なりの聖地を見つけ、そこでの体験について身体感覚を含めて報告できる。
（良）聖地での体験について、客観的に比較分析することができる。
（優）人はなぜ聖地を巡ろうとするかについて、生育歴や死生観につなげて説明できる。

その他

科目名

総合科目（聖地巡礼Ⅱ）

学期

実習

単位数

2

担当者

井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：聖地を訪問したり巡礼したりした体験について、聖地や遍路などに関する先行研究を踏まえながら考察を深めて、論文のスタイルで報告を作成することができる。
テーマ：先行研究を踏まえて、自らの聖地体験を論文化する。

授業の概要

スピリチュアリティ、聖地、遍路巡礼などに関する先行研究の資料を集め、それらを基に自分の聖地体験をどのように分析するかについて計画書を作成する。チェックを受けたうえで、その計画書に基づいて報告書を作成する。

授業計画

第１部：　研究計画書の作成

第２部：　先行研究の資料収集

第３部：　資料を読み込んで考察し、論文のスタイルで報告書を作成する。
字数：　4,000 字以上。

テキスト

『聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで』岡本亮輔　中公新書

参考書・参考資料等

『究極日本の聖地』鎌田東二　KADOKAWA/ 中経出版

学生に対する評価

レポート（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）先行研究を踏まえて、自らの聖地体験を考察できている。
（良）聖地体験について、多角的な視点から議論が展開できている。
（優）生育歴や死生観につなげながら、聖地体験とは何かを論じられる。

その他

科目名

企画科目（臨床心理学面接演習Ⅲ）

学期

前期

単位数

2

担当者

井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：マインドフルネスを身につけて、人間としての器を作る

授業の概要

マインドフルネスとは何かを理解し、実践的に身に着けてゆくことを通して、心理的ケアの場面に臨むための人間としての器を培ってゆく。授業は、講義と演習を織り交ぜて進めてゆく。

授業計画

1 回目：心理学とマインドフルネス
2 回目：自己認知と他者認知について
3 回目：間主観性について
4 回目：呼吸から息遣いへ
5 回目：身体感覚について
6 回目：感情について
7 回目：ナラティブについて
8 回目：アンビバレンスを受けとめることについて
9 回目：思いやりについて
10 回目：雑念と超自我
11 回目：食とマインドフルネス
12 回目：情動調律
13 回目：今ここに生きること
14 回目：日本の伝統文化とマインドフルネス
15 回目：ふりかえり

テキスト

『呼吸による気づきの教え』井上ウィマラ　佼成出版社

参考書・参考資料等

『仏教心理学キーワド事典』春秋社

学生に対する評価

レポートにて評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）マインドフルネスについて理解できている。
（良）マインドフルネスの心理学的な作用について説明できる。
（優）ケアの視点からマインドフルネスの重要性について自分の言葉で説明できる。

その他

動きやすい服装でご参加ください。受講生の構成や様子によって、シラバスの順番やテーマを変更することがありますので、ご了承ください。

科目名

企画科目（臨床心理学面接演習Ⅳ）

学期

後期

単位数

2

担当者

井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：生老病死の臨床に全人的関わることを学ぶ

授業の概要

人生のあらゆる場面での臨床場面を想定し、どのようなクライアントと面接しているときでも、その人の存在を全人的に理解し関わることができるようにするために、臨床心理学的視点とスピリチュアリティの涵養を含めて理解とトレーニングを積み重ねてゆく。授業は講義と演習を交えながら進めてゆく。

授業計画

1 回目：人生と発達
2 回目：世代間伝達
3 回目：発達促進的環境
4 回目：疾病利得
5 回目：終末期を生きること
6 回目：認知症を生きること・家族の支援
7 回目：悲しむ力と育む力
8 回目：トラウマケア、グリーフケア、スピリチュアルケア
9 回目：スーパービジョンとスピリチュアリティ
10 回目：コンステレーション
11 回目：全人的医療と全人的ケア
12 回目：幸せの心理学
13 回目：感情労働と燃えつき防止
14 回目：苦しみと解放
15 回目：ふりかえり

テキスト

その都度プリントを配布する。

参考書・参考資料等

『スピリチュアルケアへのガイド』井上ウィマラ　青海社
『看護と生老病死』井上ウィマラ　三輪書店

学生に対する評価

出席とレポート

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）臨床現場における器の大切さについて理解できている。
（良）発達の視点から人生全体を俯瞰できることの大切さが理解できている。
（優）自分自身のスピリチュアルな強みが理解できて修羅場に対応する見通しが持てている。

その他

受講生が実際に抱えている事例についての質問があれば、ロールプレイや事例の検討をしながら、その場で授業を展開することがありますので、ご理解ください。

科目名
企画科目（心理検査法演習Ⅰ）
学期
前期
単位数
2
担当者
木下忠恭

授業の到達目標及びテーマ
テ ー マ：心理検査・アセスメント法（質問紙法）について学ぶ

授業の概要
本講義は、臨床現場で使用されるテストに触れ，心理的把握の視点を身につける。この講義では、主として、質問紙法によるパーソナリティ把捉や心理的概念を把握するために開発された心理尺度に触れ、その理論的背景、解釈方法を学ぶ。尚、この講義を受講後に、心理検査法演習Ⅱを受講することが望ましい。

授業計画
1 回目：質問紙法の基本的考え方について
2 回目：パーソナリティ論及びその把捉について①
3 回目：パーソナリティ論及びその把捉について②
4 回目：MMPI の歴史と実施方法、及び、解釈①
5 回目：MMPI の歴史と実施方法、及び、解釈②
6 回目：MMPI の歴史と実施方法、及び、解釈③
7 回目：Y-G 性格検査について
8 回目：Big5 について
9 回目：知能検査について（WISC・WAIS・ビネー式検査など）①
10 回目：知能検査について（WISC・WAIS・ビネー式検査など）②
11 回目：領域別心理測定 (対人関係・価値観について) ①
12 回目：領域別心理測定 (対人関係・価値観について) ②
13 回目：領域別心理測定 (ストレスと適応について) ①
14 回目：領域別心理測定 (ストレスと適応について) ②
15 回目：まとめ

テキスト
特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等
適時紹介する。

学生に対する評価
レポートにて評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）投影法や抽画法について基本事項を知っている。
（良）２つ以上の心理検査の目的や留意点を説明できる。
（優）２つ以上の心理検査について、実施方法や解釈を説明できる。

その他

科目名
企画科目（心理検査法演習Ⅱ）
学期
後期
単位数
2
担当者
木下忠恭

授業の到達目標及びテーマ
テ ー マ：心理検査・アセスメント法（投影法）について学ぶ

授業の概要
本講義は、臨床現場で使用されるテストに触れ，心理的把握の視点を身につける。この講義では、投影法によるパーソナリティや心的状態を把握するための理論や方法を学び、人間理解の一助となる視点を身に付ける。尚、この講義を受講する前に、臨床心理学検査法演習Ⅰを受講していることが望ましい。

授業計画
1 回目：投影法検査の考え方について
2 回目：ロール・シャッハテストについて①
3 回目：ロール・シャッハテストについて②
4 回目：ロール・シャッハテストについて③
5 回目：ロール・シャッハテストについて④
6 回目：P-F スタディについて①
7 回目：P-F スタディについて②
8 回目：風景構成法について①
9 回目：風景構成法について②
10 回目：描画法について（HTP・バウム・スクイッグルなど）①
11 回目：描画法について（HTP・バウム・スクイッグルなど）②
12 回目：箱庭療法の体験、及び、解釈について①
13 回目：箱庭療法の体験、及び、解釈について②
14 回目：箱庭療法の体験、及び、解釈について③
15 回目：まとめ

テキスト
特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等
随時、紹介する。

学生に対する評価
レポートにて評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）投影法や描画法についての基本事項をを知っている。
（良）２つ以上の心理検査の目的や留意点を説明できる。
（優）２つ以上の心理検査について、実施方法や解釈を説明できる。

その他

科目名
企画科目（両部曼荼羅を読み解くⅠ）
学期
前期
単位数
2
担当者
川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：両部曼荼羅を中心に、曼荼羅とは何かを理解する
テ ー マ：密教の心髄である曼荼羅について、図像、儀礼、思想などの方面から多角的に学ぶ

授業の概要
はじめに「曼荼羅とは何か？」を密教の歴史とともに解説し、弘法大師・空海が日本に伝えた胎蔵曼荼羅・金剛界曼荼羅の両部曼荼羅のうち、特に『大日経』に説かれる胎蔵曼荼羅を取り上げ、図像の解析をしながら、そこに秘められた思想を読み解きます。

授業計画
1．オリエンテーション―曼荼羅をみてみよう―
2．密教の歴史と曼荼羅
3．曼荼羅とは何か 1
4．曼荼羅とは何か 2
5．『大日経』概説
6．『大日経』と胎蔵曼荼羅
7．胎蔵曼荼羅の図像の発展
8．弘法大師・空海と胎蔵曼荼羅
9．中台八葉院
10. 蓮華部院と金剛手院
11. 遍知院と持明院
12. 釈迦院と文殊院
13. 虚空蔵院、地蔵院、除蓋障院
14. 外金剛部院
15. まとめ

テキスト
毎回プリントを配布します

参考書・参考資料等
田中公明『曼荼羅イコノロジー』（平河出版社）
田中公明『両界曼荼羅の誕生』（春秋社）
田中公明『両界曼荼羅の仏たち』（春秋社）
森雅秀『マンダラ事典 100 のキーワードで読み解く』（春秋社）
頼富本宏『曼荼羅の鑑賞基礎知識』（至文堂）など

学生に対する評価
レポート（50%）、授業参加の積極性（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）曼荼羅とは何かが説明できる
（良）胎蔵曼荼羅の図像について説明することができる
（優）胎蔵曼荼羅を『大日経』の内容とともに理解し、そこに象徴される思想が説明できる

その他
曼荼羅に関する書籍や論文は多数ありますので、できるだけ目を通すように心掛けてください。また、高野山をはじめ、各地の密教寺院や博物館を訪れて、実際に曼荼羅に触れる機会を持ってください。

科目名
企画科目（両部曼荼羅を読み解くⅡ）
学期
後期
単位数
2
担当者
川﨑一洋

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：両部曼荼羅を中心に、曼荼羅とは何かを理解する
テ ー マ：密教の心髄である曼荼羅について、図像、儀礼、思想などの方面から多角的に学ぶ

授業の概要
前期の講義の続きとして、弘法大師・空海が日本に伝えた胎蔵曼荼羅・金剛界曼荼羅の両部曼荼羅のうち、特に『金剛頂経』に説かれる金剛曼荼羅を取り上げ、図像の解析をしながら、そこに秘められた思想を読み解きます。インドやチベットの金剛界曼荼羅も紹介し、さらに、後期密教の曼荼羅にも触れてみたいと思います。

授業計画
1．『金剛頂経』概説
2．『金剛頂経』と金剛界曼荼羅 1
3．『金剛頂経』と金剛界曼荼羅 2
4．金剛界五仏
5．十六大菩薩 1
6．十六大菩薩 2
7．四波羅蜜菩薩と八供養菩薩
8．四摂菩薩と賢劫尊
9．外金剛部の神々
10. 六種曼荼羅の表現方法
11.「四大品」の曼荼羅の図像
12. インドの金剛界系遺品とチベットの金剛界曼荼羅
13. 後期密教の曼荼羅 1
14. 後期密教の曼荼羅 2
15. まとめ

テキスト
毎回プリントを配布します

参考書・参考資料等
田中公明『曼荼羅イコノロジー』（平河出版社）
田中公明『両界曼荼羅の誕生』（春秋社）
田中公明『両界曼荼羅の仏たち』（春秋社）
森雅秀『マンダラ事典 100 のキーワードで読み解く』（春秋社）
頼富本宏『曼荼羅の鑑賞基礎知識』（至文堂）など

学生に対する評価
レポート（50%）、授業参加の積極性（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）金剛界曼荼羅の図像について説明することができる
（良）金剛界曼荼羅を『金剛頂経』の内容とともに理解し、そこに象徴される思想が説明できる
（優）『金剛頂経』と金剛界曼荼羅が密教史の上で果たした役割を説明できる

その他
曼荼羅に関する書籍や論文は多数ありますので、できるだけ目を通すように心掛けてください。また、高野山をはじめ、各地の密教寺院や博物館を訪れて、実際に曼荼羅に触れる機会を持ってください。

科目名	企画科目（心理統計学）
学期	前期
単位数	2
担当者	五明優介

授業の到達目標及びテーマ
テ ー マ：心理統計学の基礎を学ぶ

授業の概要
心理学研究における統計解析の基礎手法と意味を理解することを目的にしています。

統計学は、本を読ことや授業を聞いただけでは身につきません。課題を自分で解き、また各種のデータを使って自ら演習を行うといった主体的な学習が必要です。この講義で得た基礎的知識を発展させ、卒論研究で必要とされる各種分析手法を身につけるためには、さらに「心理測定法」を受講してください。

心理学の研究では、データにもとづいて判断を下すために統計的な方法が不可欠です。講義形式の授業であるが、授業内で電卓やパソコンを用いた計算等の演習を行います。

授業計画
1・2回目：
　1．授業の目的と方針
　　①なぜ心理学研究に統計が必要か
　　②日常生活の中でのデータにもとづく判断
3・4回目：
　2．さまざまな心理学データ
　　①変数のタイプ（質的・量的）分類
　　②量的変数と質的変数の集計：度数分布・代表値・散布度　等
5・6回目：
　3．2つの質的変数の分析
　　①クロス表を用いた場合
　　②関連と独立性の判断
7～9回目：
　4．量的変数の分析
　　①記述総計指標：度数分布・平均・散布度
　　②変数の標準化と正規分布
10～12回目：
　5．量的変数の条件間比較
　　①条件間比較のポイント・散布度の重要性・データ数の重要性
　　②1要因分散分析
　　③平均による比較が適切でない場合
　　④対応のあるデータの性質と分析方法
13～15回目：
　6．2つの量的変質数間の関係の分析
　　①相関図の作成方法
　　②相関係数の算出方法
　　③相関の解釈の問題点：相関関係と因果関係

テキスト
吉田寿夫『本当にわかりやすくすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』
山田剛史、村井潤一郎『よくわかる心理統計（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ』ミネルヴァ書房

参考書・参考資料等
下山晴彦ほか『心理学研究法入門』東京大学出版会 2004

学生に対する評価
授業ごとの演習と定期テストで総合評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名	企画科目（心理測定法）
学期	後期
単位数	2
担当者	五明優介

授業の到達目標及びテーマ
テ ー マ：心理学研究における測定・統計解析の実際

授業の概要
心理学の研究では、データにもとづいて判断を下すために統計的な方法が不可欠です。講義形式の授業であるが、授業内で電卓やパソコンを用いた計算等の演習を行い、また授業時間外課題としてコンピューター（表計算ソフト Excel や統計解析ソフト SPSS などを使用）を用いた分析実習とを行います。

授業計画
1～5回目：
　1．心理学的研究における統計的手法を理解するための基本的概念
　　1－1　データ縮約記述
　　1－2　推測統計
　　1－3　独立変数と従属変数
　　1－4　質的変数と量的変数
　　1－5　被験者内要因と被験者間要因
6～9回目：
　2．質的分析と量的変数の関係の分析
　　2－1　t検定と分散分析
　　2－2　1要因の分散分析
　　2－3　2要因分析
　　　　主効果と交互作用
　　2－4　被験者内要因を含む分散分析
　　2－5　ノンパラメトリック法
10～12回目：
　3．量的変数同士の関係の分析
　　3－1　相関
　　3－2　回帰分析
13～15回目：
　4．質的変数同士の関係の分析
　　4－1　連関
　　4－2　χ^2検定

テキスト
吉田寿夫『本当にわかりやすくすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』

参考書・参考資料等
下山晴彦ほか『心理学研究法入門』東京大学出版会 2004

学生に対する評価
授業ごとの演習作業と定期テストで総合評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他
本講義は、前期に開かれている「心理統計学」を受講し、統計的方法の基礎的知識を持っていることを前提にしています。

科目名	企画科目（臨床死生学）
学期	後期
単位数	2
担当者	井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ
テ ー マ：終末期にある人との関わり方を学ぶ。

授業の概要
終末期医療の現場について学ぶことを通して、終末期のあり方を理解し、死生観を育てることによってクライアントが自らの死を受けとめ、自分なりの仕方で終末期を生きることができるように支援するための基礎知識を身に着ける。

授業計画
1回目：全人的医療から全人的ケアへ
2回目：緩和ケアの現場から
3回目：緩和ケアにおけるコミュニケーション
4回目：告知とその心理
5回目：緩和ケアと代替療法
6回目：安楽死と尊厳死について
7回目：看取りとグリーフケア
8回目：エンド・オブ・ライフケア
9回目：チームケア（チームへの心理的支援の在り方）
10回目：家族支援
11回目：死生観と臨床
12回目：患者とその家族から学ぶ姿勢
13回目：ナラティブを生きる
14回目：喜怒哀楽を全うすること
15回目：ふりかえりとまとめ

テキスト
その都度プリントを配布する。

参考書・参考資料等
その都度指示する。

学生に対する評価
レポートによる評価。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名	企画科目（心理学基礎実験演習Ⅰ）
学期	前期
単位数	2
担当者	五明優介

授業の到達目標及びテーマ
テ ー マ：心理学的実験手法の基礎を身につける

授業の概要
心理学基礎実験演習ⅠとⅡを併せて受講すること。基礎実験演習Ⅰでは、心理学における基本的な実験方法とデータの分析方法、レポートの作成方法の学習を目的とする。各講義時間に提示される実験課題について、グループ毎に実験計画に従って実験実施し、データを収集する。その際に受講者は、毎回実験者と被検査者の両方を経験する。なお、講義時間内に十分なデータを収集できないときには、講義時間外にも実験を行い、データを収集すること。

実験課題毎に各グループで得られたデータを全員が共有し、各自がデータを分析、そして解釈や説明を加えて序論・方法・結果・考察から構成される心理学実験レポートを提出することが必須となる。

授業計画
1回目：
　ガイダンス（心理学実験法について・講義の進め方・レポートの書き方指導）
2～5回目：感覚・知覚領域：① 錯視　② 大きさの恒常性
6～9回目：記憶領域：③短期記憶測定　④単語の再生と再認
10・11回目：学習領域：⑤両側性転移
12・13回目：認知領域：⑥ストループ効果
14回目：
　レポート課題発表会
　（各自で各課題を1つ選択し結果と考察を発表する）
15回目：まとめ

テキスト
心理学実験指導研究会編
『実験とテスト：心理学の基礎－実習編－』培風館
鎌原雅彦 他『心理学マニュアル　質問紙法』北大路書房
フィンドレイ『心理学実験研究レポートの書き方』北大路書房

参考書・参考資料等
随時、紹介する。

学生に対する評価
課題毎に提出するレポートによる。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他
実験の授業は一旦始まると時間的な融通を利かせられないところがあるので、できるだけ遅刻欠席をしないようにしてください。また、本講義は基礎的な心理学の知識をもとに実験を行うので、予め心理学の概論書を読み予習しておくことをお勧めします。

科目名
企画科目（心理学基礎実験演習Ⅱ）
学期
後期
単位数
2
担当者
五明優介

授業の到達目標及びテーマ

テ ー マ：心理学的実験手法の基礎を身につける

授業の概要

心理学基礎実験演習ⅠとⅡを併せて受講すること。基礎実験演習Ⅱでは、主として心理学における基本的な質問紙、及び、インタビュー調査法とデータの分析方法、レポートの作成方法の学習を目的とする。各講義時間に提示される実験課題について、グループ毎に実験計画に従って実験実施し、データを収集する。その際に受講者は、毎回実験者と被検査者の両方を経験する。なお、講義時間内に十分なデータを収集できないときには、講義時間外にも実験を行い、データを収集すること。

実験課題毎に各グループで得られたデータを全員が共有し、各自がデータを分析、そして解釈や説明を加えて序論・方法・結果・考察から構成される心理学実験レポートを提出することが必須となる。

授業計画

1回目：
ガイダンス
（心理学測定法について・講義の進め方・レポートの書き方指導）
2～5回目：
社会領域：⑦パーソナルスペース測定
⑧囚人のジレンマ（ゲーム行動）
6～9回目：
産業領域：⑨ SD 法
⑩メンタルヘルス質問紙作成及び分析
10・11回目：
人格領域：⑪人格の測定法：質問紙作成及び分析
12・13回目：
臨床領域：⑫インタビュー面接法（KJ 法）
14回目：
レポート課題発表会
（各自で各課題を1つ選択し結果と考察を発表する）
15回目：まとめ

テキスト

心理学実験指導研究会編
『実験とテスト：心理学の基礎－実習編－』培風館
鎌原雅彦 他『心理学マニュアル　質問紙法』北大路書房
フィンドレイ『心理学実験研究レポートの書き方』北大路書房

参考書・参考資料等

随時、紹介する。

学生に対する評価

課題毎に提出するレポートによる。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

実験の授業は一旦始まると時間的な融通を利かせられないところがあるので、できるだけ遅刻欠席をしないようにしてください。また、本講義は基礎的な心理学の知識をもとに実験を行うので、予め心理学の概論書を読み予習しておくことをお勧めします。

科目名
企画科目（災害心理学）
学期
後期
単位数
2
担当者
森崎雅好

授業のテーマ

テ ー マ：災害時の心のケアについて多角的に学ぶ

授業の目的及び概要

PTSD、複雑性悲嘆などの基本的概念を理解したうえで、災害後の時期によって変化してゆく多様なニーズに応えるための心理学的、及び、その周辺領域の知識を修得する。

授業計画

1 回目：災害時支援における我が国の現状と課題
2 回目：災害教育
3 回目：心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）①
4 回目：心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）②
5 回目：心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）③
6 回目：復興支援学とは
7 回目：復興とコミュニティ
8 回目：復興と災害障害者
9 回目：復興支援とボランティア
10 回目：復興支援とホスピス活動
11 回目：復興支援とナチュラル・サポーター
12 回目：復興支援とジェンダー
13 回目：復興時の分断と格差への対応
14 回目：復興支援と宗教
15 回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する

参考書・参考資料等

適時、紹介する。

学生に対する評価

レポートにて評価する

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）災害時に生じる心理学的諸問題に関する基礎的な知識を身につけている。
（良）災害時に生じる心理学的諸問題への対応に関する知識を身につけている。
（優）災害時における心理的支援に学んだ知見を活用する態度を理解している。

その他

科目名
企画科目（こころのケアとは）
学期
前期
単位数
2
担当者
山添正

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：倫理の視点より、心のケアの問題を①意思決定、②価値観と援助関係　③境界の扱いと多重関係の三つの視点より理解する力をつける。
テ ー マ：倫理は哲学の一分野ですが、心のケアという実践においてなぜ、上に述べた3つの領域が問題になるか説明する。

授業の概要

心のケアの実践をする主体は、人であり、人と人との関わりの中でケアする訳である。場面を大きく2領域に分け、抽象的に学ぶのではなく、Corey 教授の倫理のテキストとビデオを使い、各事例を視聴した後、ワークブックの問題に取り組む事で、倫理の学習を具体的に進める。

授業計画

1．心のケアにおける倫理とは何か？
Ⅰ　意思決定
2．十代の妊娠と守秘義務
3．Big brother への対処とカウンセラーの逆転移
4．異文化理解と衝突
5．出生前診断と出産
Ⅱ　価値観と援助関係
6．離婚と子どものケア
7．親からの自立と責任
8．性的自由と問題
9．不倫と結婚生活
Ⅲ　境界問題と多重関係
10．面接室外での面接
11．治療関係と友人関係
12．性的魅力とカウンセラーの自己開示
13．カウンセリング料金の交換取引
14．贈与とカウンセリング関係
15．倫理を学ぶ目的：心のケアのプロフェッショナルをめざして
16．まとめ

テキスト

授業中に資料を配布します。

参考書・参考資料等

ジェラルド コウリー、パトリック キャラナン　2004 年
「援助専門家のための倫理問題ワークブック」創元社

学生に対する評価

レポート（＝ 30%）、発表（＝ 30%）、授業参加の積極性（＝ 40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）倫理の3領域の事例の基礎的理解はできている？
（良）倫理の3領域の事例を実践的に理解できているか？
（優）倫理の3領域の事例のみでなく自分の実践的問題としても理解できているか？

その他

科目名
企画科目（深層心理学）
学期
後期
単位数
2
担当者
山添正

授業のテーマ

テ ー マ：精神分析学と分析心理学の基本的な概念を学ぶ

授業の目的及び概要

日常の生活を送る上で、私たちは、自身の言動をすべて意識して行っているわけではない。例えば、普段口にしないようなことを思わず口走ってしまうことや、平時であればなんでもないことでも、ストレスフルな環境下では、些細なことでも怒りが湧いてくるといったことは誰もが体験していることだろう。このように自身が意識・感知していない領域、すなわち、無意識の心理過程が我々にはあると考え、研究を重ねてきた領域が深層心理学の分野である。

本講義では、深層心理学の分野において多大な影響を与えている精神分析学とその諸派の基本的な概念、及び、分析心理学の概念について取り扱う。

授業計画

1 回目：精神分析学以前の学説
2 回目：精神分析誕生について：夢判断・錯誤行為
3 回目：無意識の発見・心的構造論
4 回目：神経症の症例を通じて
5 回目：自我心理学とライフサイクル論について
6 回目：自己心理学について
7 回目：対象関係論について①
8 回目：対象関係論について②
9 回目：ラカンの精神分析理論について
10 回目：分析心理学誕生について
11 回目：タイプ論
12 回目：夢分析
13 回目：元型論
14 回目：集合的無意識と東洋思想
15 回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する

参考書・参考資料等

適時、紹介する。

学生に対する評価

レポートにて評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）精神分析に関する基礎的な知識を身につけている。
（良）精神分析の知識のみならず技能も理解している。
（優）臨床現場で精神分析の知見を活用する態度を理解している。

その他

講義中における活発な質疑、議論を求めます。積極的に参加してください。

科目名	企画科目（臨床心理学面接演習ⅠA）
学期	前期
単位数	2
担当者	山添　正

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：テキストは面接過程を13段階にわけており、段階ごとの基本的概念とテクニックを学ぶ。
テ ー マ：カウンセラーとしてケアワーカーとして、ケアを必要としている人との係わり方についての理論的概念かつ実践的なテクニックを学ぶ。それだけではなく、関わりの記録方法を学び、スーパービジョンを受ける事で実際の面接への応用方法を理解する。

授業の概要

まず面接のプロセスが、来談者と面接者との出会いから始まり、治療的関係が形成され、面接作業がどのように進むかについての理論学習と平行して、各ステップごとに教科書と関連するDVDを視聴して、具体的にどのように面接が進められているか実践的に理解します。その後、受講生同士で面接（ピア面接）を行い、記録に残してスーパービジョンを受け、実践的に面接技術の学習をします。

授業計画

1．面接のはじめ
2．治療的関係
3．治療目標の確立
4．多様性の理解と対応
5．抵抗の理解と対処
6．面接における認知的焦点化
7．面接における感情的焦点化
8．面接における行動的焦点化
9．面接における発達的焦点化
10．統合的視点
11．転移
12．逆転移
13．過去が現在に与える影響の理解
14．決断と行動変化への作業
15．評価と終結
16．まとめ

テキスト

ジェラルド・コーレイ　2011年「コーレイ教授の統合的カウンセリングの技術：理論と実践」金子書房　3800円

参考書・参考資料等

コーレイ教授の統合的カウンセリングの技術：理論と実践　DVD版　金子書房　10290円

学生に対する評価

レポート（＝30%）、発表（＝30%）、授業参加の積極性（＝40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）基本的概念の理解はできている。
（良）概念だけでなく技能の理解も出来ている。
（優）概念＋技能＋ロールプレイのパーフォーマンスが優れている。

その他

科目名	企画科目（臨床心理学面接演習ⅡA）
学期	後期
単位数	2
担当者	山添　正

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：事例に対する12の理論の基本とテクニックを学ぶ。
テ ー マ：事例に対して、12のアプローチ方法は、どのようなアセスメントと治療テクニックであるかをスーパービジョンを通して学ぶ。

授業の概要

ボランティアまたは実習で係わった人との事例報告書作成し、発表する。それに対して、どのようなアセスメントと治療テクニックがあるかをスーパービジョンを通して学ぶ。

授業計画

1．スーパービジョンについてのガイダンス
2．精神分析的視点からのケース・アプローチ
3．アドラー派の視点からのケース・アプローチ
4．実存分析的視点からのケース・アプローチ
5．来談者中心療法の視点からのケース・アプローチ
6．ゲシュタルト療法的視点からのケース・アプローチ
7．行動療法的視点からのケース・アプローチ
8．認知行動療法的視点からのケース・アプローチ
9．現実療法敵視点からのケース・アプローチ
10．フェミニスト療法的視点からのケース・アプローチ
11．ポストモダン敵視点からのケース・アプローチ
12．家族療法的視点からのケース・アプローチ
13．統合的視点からのルースへのケース・アプローチ
14．受講者自身の面接スタイルの探求
15．日本人と面接
16．まとめ

テキスト

松井紀和　2001年　カウンセリングを学ぶ人の為の心理療法の基礎と実際　カウンセリング教育サポートセンター　03-3407-3363 1000円

参考書・参考資料等

Gerald Corey 2009　Case approach to Counseling and Psychotherapy　Belmont Thomson

学生に対する評価

レポート（=30%）、発表（=30%）、授業参加の積極性（=40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）カウンセリングの基礎知識を理解している。
（良）カウンセリングの知識のみならず、技能も理解している。
（優）自分はどの理論が適切か現実への応用の理解が出来ている。

その他

科目名	企画科目（発達心理学）
学期	前期
単位数	2
担当者	西川みち子

授業の到達目標及びテーマ

テ ー マ：生涯発達の視点から、各発達時期の問題についての知見を深める

授業の概要

生涯発達の視点より、乳幼児期・児童期・思春期・青年期・成人期・老年期の各発達時期における認知、情動、運動、社会性などの特徴を解説する。主な発達理論や研究成果について触れながら、発達研究の実践との関係についても考えていく。また、発達が十分になされていない場合の問題や発達上の障害がある場合への発達援助的アプローチや心理援助的アプローチについて解説する。

授業計画

1回目：発達心理学とは
2回目：遺伝と環境、及び、初期経験
3回目：言語の発達について
4回目：認知の発達について
5回目：発達段階と発達課題（総論）
6回目：乳児期の発達について
7回目：幼児期の発達について
8回目：児童期の発達について
9回目：思春期の発達について
10回目：青年期の発達について
11回目：成人期の発達について
12回目：老年期の発達について
13回目：発達障害とその支援①
14回目：発達障害とその支援②
15回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等

その他の参考書は、随時、紹介する。

学生に対する評価

レポートによる評価。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）人の発達の道筋を理解する。
（良）問題が発生したことへの原因について考えることができる。
（優）適切な援助方法を考えることができる。

その他

科目名	企画科目（家族心理学）
学期	後期
単位数	2
担当者	西川みち子

授業の到達目標及びテーマ

テ ー マ：家族のあり方を心理学の視点から考察する

授業の概要

夫婦というヨコの関係、親子など血縁というタテの関係、法律上の家族、地域社会との関係など複雑に絡みあった関係から生じる種々の家族問題について、社会的背景を踏まえつつ、事例を通じて、心理学的視点から家族のあり方を考察し、支援方法について学ぶ。

授業計画

1回目：家族とは何か
2回目：夫婦について
3回目：父と息子について
4回目：父と娘について
5回目：母と息子について
6回目：母と娘について
7回目：兄弟・姉妹について
8回目：家族の危機について
9回目：高齢者と家族について
10回目：家族と地域について
11回目：家族療法について
12回目：家族を支援する自助グループについて
13回目：家族と地域支援ネットワークについて
14回目：シェルターと自立支援施設について
15回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

『家族心理学　家族システムの発達と臨床的援助』
中釜洋子・野末武義他　著

学生に対する評価

レポートにて評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）家族関係について理解できる。
（良）問題が発生した場合、その病理を関係性から読み取ることができる。
（優）適切な援助法が考えられる。

その他

科目名	企画科目（学校心理学）
学期	前期
単位数	2
担当者	木下忠恭

授業の到達目標及びテーマ

テ ー マ：学校教育場面における様々な問題の理解とその対応について学ぶ

授業の概要

学校生活において生じる種々の問題について、アセスメント・コンサルテーション・カウンセリングの知識などを通して、児童・生徒、及び、保護者や教師、学校に対して心理教育的支援を提供するための知識を深める。

授業計画

1 回目：学校教育と心理学：歴史的背景を知る
2 回目：発達心理学的視点と学校教育
3 回目：学校内チーム支援について
4 回目：保護者と学校を支援する視点
5 回目：児童期の発達と学校教育
6 回目：児童期の学習の問題について
7 回目：児童期の不登校について
8 回目：児童期の仲間関係といじめについて
9 回目：児童期における学校内チーム支援の在り方について
10 回目：思春期・青年期の発達と学校教育
11 回目：思春期・青年期の学習の問題について
12 回目：思春期・青年期の不登校について
13 回目：思春期・青年期の仲間関係といじめについて
14 回目：思春期・青年期における学校内チーム支援の在り方について
15 回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等

・石隈利紀著『学校心理学－教師』
・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス』（1999・誠信書房）
・学校心理士資格認定委員会編『学校心理学ガイドブック』第２版（2007・風間書房）
・その他の参考書は、適時紹介する。

学生に対する評価

レポートによる評価。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）２つ以上の学校の課題について、基本事項を知っている。
（良）心理教育的支援の方法について説明できる。
（優）学校の課題に対して心理教育的支援をどのように提供するか説明できる。

その他

科目名	企画科目（カウンセリング論）
学期	後期
単位数	2
担当者	木下忠恭

授業の到達目標及びテーマ

テ ー マ：カウンセリングの理論・技法について学ぶ

授業の概要

前半ではカウンセリングの各理論や技法の基本的な考え方を示し、後半ではカウンセリングの実際を事例に即して取り上げ、ロールプレイング等を通して体験的に学ぶ。

授業計画

1 回目：オリエンテーションとして、授業の内容や計画を説明
2 回目：カウンセリングの歴史的背景を知る
3 回目：心理アセスメントについて
4 回目：様々なカウンセリングを知る（クライエント中心療法）
5 回目：様々なカウンセリングを知る（精神分析的心理療法）
6 回目：様々なカウンセリングを知る（解決思考アプローチ）
7 回目：様々なカウンセリングを知る（認知行動療法）
8 回目：様々なカウンセリングを知る（その他）
9 回目：子どもへのカウンセリングの演習（ロールプレイ含）
10 回目：保護者へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含）
11 回目：発達障害を抱える人へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含）
12 回目：被虐待へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含）
13 回目：非行を行う人へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含）
14 回目：自傷・自殺念慮へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含）
15 回目：まとめ

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等

適時紹介する。

学生に対する評価

レポートによる評価。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）３つ以上のカウンセリング技法の概略について知っている。
（良）２つ以上のカウンセリング技法について、基本的な考え方を説明できる。
（優）カウンセリング技法を用いて、カウンセリングができる。

その他

できるだけ、わかりやすい授業を心がけます。講義と演習を取り入れ、受講生からの積極的な質疑・意見をいただき、"臨床の知" を共に深めていきたいと考えています。

科目名	企画科目（メンタルヘルス）
学期	前期
単位数	2
担当者	根岸和政

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：セルフケアが個人・グループで実行できること。
テ ー マ：メンタルヘルスにおける予防策とセルフケアの体験

授業の概要

メンタルヘルスの概念、セルフケアの重要性、ケア・予防を軸としたコミュニケーション、グループケアの体験

授業計画

1．メンタルヘルスの概念
2．セルフケア（ケアする側のケア）の重要性（trauma　Care）
3．ケア・予防を軸としたコミュニケーション１
4．ケア・予防を軸としたコミュニケーション２
5．ケア・予防を軸としたコミュニケーション３
6．ケア・予防を軸としたコミュニケーション４
7．ケア・予防を軸としたコミュニケーション５
8．グループケアについて１
9．グループケアについて２
10．グループケアについて３
11．グループケアについて４
12．グループケアについて５
13．グループケアについて６
14．グループケアについて７
15．総括
16. 小論文

テキスト

なし

参考書・参考資料等

・スタンフォードのストレスを力に変える教科書　大和書房　ケリーマクゴニガル　神崎朗子訳
・心を癒すノート　創元社　伊藤正哉　樫村正美　堀越　勝
・世界のエリートがIQ・学歴よりも重視レジリエンスの鍛え方　久世浩司　実業之日本社
・子どもの「逆境に負けない心」を育てる本　楽しいワークで身につく「レジリエンス」足立啓美　鈴木水季　久世浩司　イローナ・ボニウエル（監修）法研
・仏教とアドラー心理学　岡野守也　佼成出版社
・仏教とカウンセリング　友久久雄 編 法蔵館
・自分を信じるレッスン　手塚郁恵　春秋社
・心理療法に生かすロールプレイング・マニュアル　レイモンドJ.コルシニ　金子賢（監訳）金子書房
・一番やさしくNLPのことがわかる本　浦　登記　白石由利奈 監修 日本実業出版社
・コミュニケーション能力　理論と実践　サンドラ・サヴィニョン　法政大学出版局
・田中万里子のDVD　「子どもの心育て講座」　田中万里子Ph.D InnerCore9

学生に対する評価

レポート（30%）、発表（20%）、授業参加の積極性（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）講義内容を理解できる
（良）演習に積極的に取り組み、自己洞察ができる。
（優）講義内容・演習について、他者に説明、実践できる。

その他

科目名	企画科目（社会心理学）
学期	後期
単位数	2
担当者	松下歩睦

授業の到達目標及びテーマ

テ ー マ：社会の中で生きる人の心の心理過程について学ぶ

授業の概要

個人・対人関係・集団・社会の社会心理学の基礎的テーマを講義し、様々の社会心理測定尺度を体験してみることで講義の理解を深める。

個人の分野では、主に実験的方法により、社会における個人の自己のありかたや他者に対する認知や感情が研究されている。また、対人関係の分野では、より応用的な研究が行われている。たとえば、対人関係のスキルを円滑にするための社会的スキルなどである。この授業では、このような実験的･応用的研究結果とともに､それらの研究を支える様々な理論的枠組みについて学びます。

授業計画

1 回目：社会心理学概論
2 回目：社会的認知の基礎　脳と認知
3 回目：対人認知　第一印象形成
4 回目：対人感情
5 回目：自己概念
6 回目：自己開示
7 回目：向社会的行動
8 回目：反社会的行動
9 回目：対人コミュニケーション　言語的
10 回目：対人コミュニケーション　非言語的
11 回目：説得的コミュニケーション
12 回目：集団の中の人間　リーダー
13 回目：集団の中の人間　葛藤
14 回目：ネットワーク
15 回目：まとめ

テキスト

山岸俊男編集『社会心理学キーワード』有斐閣

参考書・参考資料等

ライブラリ『セレクション社会心理学１～22』サイエンス社
堀　洋道『心理測定尺度集』サイエンス社

学生に対する評価

授業参加の積極性＋小レポート（45%）、最終レポート（55%）。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名
企画科目（臨床心理学面接演習ⅠB）
学期
前期
単位数
2
担当者
山添　正

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：テキストは面接過程を13段階にわけており、段階ごとの基本的概念とテクニックを学ぶ。

テ ー マ：カウンセラーとしてケアワーカーとして、ケアを必要としている人との係わり方についての理論的概念かつ実践的なテクニックを学ぶ。それだけではなく、関わりの記録方法を学び、スーパービジョンを受ける事で実際の面接への応用方法を理解する。

授業の概要

まず面接のプロセスが、来談者と面接者との出会いから始まり、治療的関係が形成され、面接作業がどのように進むかについての理論学習と平行して、各ステップごとに教科書と関連するDVDを視聴して、具体的にどのように面接が進められているか実践的に理解します。その後、受講生同士で面接（ピア面接）を行い、記録に残してスーパービジョンを受け、実践的に面接技術の学習をします。

授業計画

1．面接のはじめ
2．治療的関係
3．治療目標の確立
4．多様性の理解と対応
5．抵抗の理解と対処
6．面接における認知的焦点化
7．面接における感情的焦点化
8．面接における行動的焦点化
9．面接における発達的焦点化
10. 統合的視点
11. 転移
12. 逆転移
13. 過去が現在に与える影響の理解
14. 決断と行動変化への作業
15. 評価と終結
16. まとめ

テキスト

ジェラルド・コーレイ　2011年「コーレイ教授の統合的カウンセリングの技術：理論と実践」金子書房　3800円

参考書・参考資料等

コーレイ教授の統合的カウンセリングの技術：理論と実践　DVD版
金子書房　10290円

学生に対する評価

レポート（= 30%）、発表（= 30%）、授業参加の積極性（= 40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）基本的概念の理解はできている。
（良）概念だけでなく技能の理解も出来ている。
（優）概念＋技能＋ロールプレイのパーフォーマンスが優れている。

その他

科目名
企画科目（臨床心理学面接演習ⅡB）
学期
後期
単位数
2
担当者
山添　正

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：事例に対する12の理論の基本とテクニックを学ぶ。

テ ー マ：事例に対して、12のアプローチ方法は、どのようなアセスメントと治療テクニックであるかをスーパービジョンを通して学ぶ。。

授業の概要

ボランティアまたは実習で係わった人との事例報告書作成し、発表する。それに対して、どのようなアセスメントと治療テクニックがあるかをスーパービジョンを通して学ぶ。

授業計画

1．スーパービジョンについてのガイダンス
2．精神分析的視点からのケース・アプローチ
3．アドラー派の視点からのケース・アプローチ
4．実存分析的視点からのケース・アプローチ
5．来談者中心療法の視点からのケース・アプローチ
6．ゲシュタルト療法的視点からのケース・アプローチ
7．行動療法的視点からのケース・アプローチ
8．認知行動療法的視点からのケース・アプローチ
9．現実療法敵視点からのケース・アプローチ
10. フェミニスト療法的視点からのケース・アプローチ
11. ポストモダン敵視点からのケース・アプローチ
12. 家族療法的視点からのケース・アプローチ
13. 統合的視点からのルースへのケース・アプローチ
14. 受講者自身の面接スタイルの探求
15. 日本人と面接
16. まとめ

テキスト

松井紀和　2001年　カウンセリングを学ぶ人の為の心理療法の基礎と実際　カウンセリング教育サポートセンター　03-3407-3363 1000円

参考書・参考資料等

Gerald Corey 2009 Case approach to Counseling and Psychotherapy Belmont Thomson

学生に対する評価

レポート（=30%）、発表（=30%）、授業参加の積極性（=40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）カウンセリングの基礎知識を理解している。
（良）カウンセリングの知識のみならず、技能も理解している。
（優）自分はどの理論が適切か現実への応用の理解が出来ている。

その他

科目名
企画科目（スピリチュアルケア演習Ⅰ）
学期
前期
単位数
2
担当者
大河内大博

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スピリチュアルケアの基本理解と自己課題の明確化

テ ー マ：スピリチュアルケアの対人援助姿勢・理論・援助論の修得とグループワークの基礎的演習

授業の概要

スピリチュアルケアの基本理解と対人援助理論を学習し、グループワークを通して、自己課題に取り組む。ケアされる経験を通してケアを学ぶ教育哲学のもと、自己の課題とグループメンバーへのケアを実践する。

授業計画

1～5．グループワークの基礎
6～10．生育歴セッション1
11～15．生育歴セッション2

テキスト

参考書・参考資料等

窪寺俊之他編著『スピリチュアルケアを語る〈第3集〉臨床的教育法の試み』（関西学院大学出版会、2010年）
大河内大博『今、この身で生きる』（ワニブックス、2014年）

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（25%）、授業参加の積極性（25%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）スピリチュアルケアの基本的対人姿勢が理解できている
（良）自己開示ができ、課題に取り組み姿勢がみえている
（優）自己課題が明確であり、グループダイナミックスを理解できている

その他

グループワークが中心で、自己開示を必要とします。
原則的に秋学期の「スピリチュアルケア演習Ⅱ」と両方の受講を求めます。
各回、欠席のないようにしてください。

科目名
企画科目（スピリチュアルケア演習Ⅱ）
学期
後期
単位数
2
担当者
大河内大博

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スピリチュアルケアの基本理解と自己課題の明確化

テ ー マ：スピリチュアルケアの対人援助姿勢・理論・援助論の修得とグループワークの基礎的演習

授業の概要

スピリチュアルケアの基本理解と対人援助理論を学習し、グループワークを通して、自己課題に取り組む。ケアされる経験を通してケアを学ぶ教育哲学のもと、自己の課題とグループメンバーへのケアを実践する。

授業計画

1～5．スピーチセッション1
6～10．スピーチセッション2
11～15．ＩＰＲセッション

テキスト

参考書・参考資料等

窪寺俊之他編著『スピリチュアルケアを語る〈第3集〉臨床的教育法の試み』（関西学院大学出版会、2010年）
大河内大博『今、この身で生きる』（ワニブックス、2014年）

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（25%）、授業参加の積極性（25%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）スピリチュアルケアの基本的対人姿勢が理解できている
（良）自己開示ができ、課題に取り組み姿勢がみえている
（優）自己課題が明確であり、グループダイナミックスを理解できている

その他

グループワークが中心で、自己開示を必要とします。
原則的に春学期の「スピリチュアルケア演習Ⅰ」の受講者を対象とします。
各回、欠席のないようにしてください。

科目名：企画科目（スピリチュアルケア概論）
学期：集中
単位数：2
担当者：窪寺俊之

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スピリチュアルケアの基本的概念を理解し関心と興味をもつこと。
テ ー マ：スピリチュアルケア、スピリチュアリティ、宗教的ケア、心理的ケア、終末期医療、日本的スピリチュアリティなどの概念。

授業の概要

各授業時間（90分）の内60分を講義に使い、残りの30分は受講者とのディスカッションをする。受講者の知識と経験を掘り起こしてスピリチュアルケアの本質との関係に気付くようにする。

授業計画

1．スピリチュアルケアとは何か（I）WHOの健康定義の改正案
2．スピリチュアルケアの必要性、終末期医療現場での苦悩
3．スピリチュアルケアの必要性と現代医療の問題点（治療中心医療の限界）
4．スピリチュアルケアに求められているもの
5．スピリチュアルケアとは何か（II）スピリチュアルケアの定義の多様性
6．スピリチュアルとは何か、スピリットとは何か
7．スピリチュアルケアの本質、関係性、人間とは何か
8．スピリチュアルケアの目的（QOLの向上）
9．スピリチュアルケアと宗教的ケア、心理的ケアの相違点
10．スピリチュアルティの垂直的関係
11．ケアとは何か
12．スピリチュアルケア・ギバー（提供者）の養成
13．スピリチュアルな感性を磨く（スピリチュアルな視点、側面、テーマなど）
14．「竹取物語」のスピリチュアルティ
15．金子みすゞのスピリチュアリティ
16．授業の振り返り

テキスト

窪寺俊之『スピリチュアルケア入門』三輪書店、2000

参考書・参考資料等

窪寺俊之『スピリチュアルケア序説』三輪書店、2004
窪寺俊之『スピリチュアルケア概説』三輪書店、2008

学生に対する評価

レポート（50％）、発表（20％）、授業参加の積極性（30％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）スピリチュアルケアの基本的用語を理解する。
（良）スピリチュアルケアの基本に加えて、宗教的ケア、心理的ケアとの関係など周辺領域との関係を広く理解する。
（優）スピリチュアルケアを全体的に理解することに加えて、ケア者（スピリチュアルケア援助者）として、他の参考図書を読んで理解できる。

その他

科目名：企画科目（コミュニケーション演習Ⅰ）
学期：集中
単位数：2
担当者：橋本久仁彦

授業の到達目標及びテーマ

相手が話したいことを話したいようにそのまま聞き受けること、人の言葉を継承するということを体得する。

授業の概要

学生の具体的な質問に答えつつそれぞれの心境や課題を意識化する。
現場で役立つコミュニケーションの核心＝聞くことについて講義と実習を行う。
講師である橋本の場作りの態度を素材にして活発な質疑応答を行う。
ミニカウンセリングの効果を体験する。
さらに身体の動きを聞くということ。身体というコト・バ＝現場の発見。

授業計画

三日間の集中講義である。
［全体の内容］
最前線の現場でのコミュニケーション場面で必須となる「聞く」ことの肝心要を「稽古」する。
［方法］
15分間の傾聴と5分間の影舞（身体の動きを聞く芸能）、学生の機に応じて講義
［展開］
聴き手（カウンセラー）と語り手（クライアント）の両方を体験し、録音記録と逐語記録を作る。二人の人間（聞き手と話手）の間に起こった現象を、音韻・間合い・環境音などのエネルギーのレベルにも着目して、ていねいに観察する。我々の思考の営みへの視力を鍛え、感情・感覚・存在といった人間を構成するエネルギー各層への視界を取り戻す。
思考の働きが、相互作用しつつ変化する柔らかいエネルギー（空間形質）の上に、観念を次々に投影して　固定していく様子を観察する。
人間関係が新鮮さを失っていく原因が、我々の聴く態度や存在のしかたにあることに気づく。
カウンセリングを行うときや、グループをファシリテートするとき、あるいは一般的に生じるあらゆる人間関係の中で、特に人の話を聞く時の態度や在り方について具体的に歪みなく対象を認識するための視力を回復する。
他者の話に耳を傾けるとき、「自分が聴いている」姿勢から「ただ聴いている」状態にシフトし、さらに出来事や現象の方がわれわれに耳を傾けているように感じられる「他力的・共時的な場（シンクロニック・フィールド）」に入ると、相手が語ってくださる物語は、援助すべき問題を持った「ケース」から、聞き手を魅了し、エネルギーを与えてくれる「作品」へと変容することの確認。
＊身体を動かすので動きやすい服装で参加のこと。

テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等

授業時に伝える。

学生に対する評価

授業態度、傾聴の実力とレポート提出によって判定する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）講義・実習にすべて参加し、一定の体験を積んだと認める。
（良）15分間の傾聴場面において、話者のことばを正確に辿る姿勢が身についたと認める。
（優）グループ（場）の中で錯綜することばを正確に辿り、場に明晰性をもたらす力があると認める。

その他

講師の講義や説明を録音してもよろしい。動きやすい服装で参加のこと。

科目名：企画科目（コミュニケーション演習Ⅱ）
学期：集中
単位数：2
担当者：橋本久仁彦

授業の到達目標及びテーマ

相手が話したいことを話したいようにそのまま聞き受けること、人の言葉を継承するということを体得する。

授業の概要

学生の具体的な質問に答えつつそれぞれの心境や課題を意識化する。
現場で役立つコミュニケーションの核心＝聞くことについて講義と実習を行う。
講師である橋本の場作りの態度を素材にして活発な質疑応答を行う。
ミニカウンセリングの効果を体験する。
さらに身体の動きを聞くということ。身体というコト・バ＝現場の発見。

授業計画

三日間の集中講義である。
［全体の内容］
最前線の現場でのコミュニケーション場面で必須となる「聞く」ことの肝心要を「稽古」する。
［方法］
15分間の傾聴と5分間の影舞（身体の動きを聞く芸能）、学生の機に応じて講義
［展開］
聴き手（カウンセラー）と語り手（クライアント）の両方を体験し、録音記録と逐語記録を作る。二人の人間（聞き手と話手）の間に起こった現象を、音韻・間合い・環境音などのエネルギーのレベルにも着目して、ていねいに観察する。我々の思考の営みへの視力を鍛え、感情・感覚・存在といった人間を構成するエネルギー各層への視界を取り戻す。
思考の働きが、相互作用しつつ変化する柔らかいエネルギー（空間形質）の上に、観念を次々に投影して固定していく様子を観察する。
人間関係が新鮮さを失っていく原因が、我々の聴く態度や存在のしかたにあることに気づく。
カウンセリングを行うときや、グループをファシリテートするとき、あるいは一般的に生じるあらゆる人間関係の中で、特に人の話を聞く時の態度や在り方について具体的に歪みなく対象を認識するための視力を回復する。
他者の話に耳を傾けるとき、「自分が聴いている」姿勢から「ただ聴いている」状態にシフトし、さらに出来事や現象の方がわれわれに耳を傾けているように感じられる「他力的・共時的な場（シンクロニック・フィールド）」に入ると、相手が語ってくださる物語は、援助すべき問題を持った「ケース」から、聞き手を魅了し、エネルギーを与えてくれる「作品」へと変容することの確認。
＊身体を動かすので動きやすい服装で参加のこと。

テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等

授業時に伝える。

学生に対する評価

授業態度、傾聴の実力とレポート提出によって判定する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）講義・実習にすべて参加し、一定の体験を積んだと認める。
（良）15分間の傾聴場面において、話者のことばを正確に辿る姿勢が身についたと認める。
（優）グループ（場）の中で錯綜することばを正確に辿り、場に明晰性をもたらす力があると認める。

その他

講師の講義や説明を録音してもよろしい。動きやすい服装で参加のこと。
企画科目（コミュニケーション演習Ⅰ）を受講していることが望ましい。

科目名：企画科目（密教瞑想）
学期：集中
単位数：2
担当者：佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教の世界観、死生観に触れる
テ ー マ：密教瞑想法と密教における死生観

授業の概要

阿字観は、阿の一字を徹頭徹尾観ずる密教の観法である。通常の密教実践は出家者にだけ許されているが、阿字観は在家の人でも修することができる。
密教観法の一つである阿字観について一般的な講義をおこなう。阿字観の実修も実際に行う。
後半は聖地巡礼で高野山を巡る。

授業計画

1．密教瞑想とは
2．阿息観の理論
3．阿息観の実践方法
4．阿字の哲学
5．阿息観の実習（1）
6．阿息観の実習（2）
7．密教における死生観（1）
8．密教における死生観（2）
9．月輪観
10．阿字観
11．聖地巡礼
12．聖地巡礼
13．聖地巡礼
14．聖地巡礼
15．聖地巡礼
16．まとめ

テキスト

山崎泰廣著『真言密教　阿字観瞑想入門』（春秋社）
その他コピー配布

参考書・参考資料等

『大日経』、『大日経疏』、『定本弘法大師全集』等

学生に対する評価

レポート（80％）、授業参加の積極性（20％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）密教の死生観について考えることが出来る。
（良）密教の死生観について従来の考え方を理解することが出来る。
（優）密教の死生観を踏まえたうえで、自らの死生観を論理的に他者に対して述べることが出来る。

その他

楽に坐れる服装で出席のこと。
匂いの強い化粧、ネックレス、イヤリングをしないこと。
受講の間に、釈尊の胸中、空海の悠大な悟境の片鱗に触れていただきたい。

科目名 企画科目（死生観）

学期 集中

単位数 2

担当者 山本 佳世子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：日本人の死生観についての理解を深めると同時に、受講者それぞれの死生観を見つめ直し、培う場とする。

テ ー マ：映画や絵本に現れる日本人の死生観

授業の概要

日本人の死生観の変遷と、現代日本人の死生観について、映画や絵本を取り上げながら、理解を深める。ディスカッションの時間を可能な限り取り入れ、受講者が自身の死生観を見つめ直し、培う場としたい。

授業計画

1．死生学と死生観
2．死に向き合う（映画「赤ひげ」）
3．死からの生を生きる（映画「殯の森」）
4．死までの生を生きる（映画「生きる」）
5．グループワーク、ディスカッション①（絵本『100万回生きた猫』）
6．日本人の死生観と他界観（絵本『このあとどうしちゃおう』）
7．死者を送る（映画「おくりびと」）
8．この世とあの世を媒介するもの：お迎え（映画「赤ひげ」）
9．この世にいる死者：幽霊（映画「岸辺の旅」）
10．グループワーク、ディスカッション②（絵本『おばあちゃんは木になった』）
11．新しい葬送の形：死者はどこにいるのか
12．「無宗教」という死生観
13．受け継がれていく生（映画「歩いても歩いても」）
14．死生観の生成と涵養
15．まとめ：グループワーク、ディスカッション③（絵本『岸辺のふたり』）

テキスト

適宜、指示する

参考書・参考資料等

・佐藤弘夫『死者の花嫁―葬送と追悼の列島死』幻戯書房、2015年
・波平恵美子『日本人の死のかたち』朝日新聞出版、2004年

学生に対する評価

期末レポート（50%）、毎回の授業時に提出する課題（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）日本人の死生観について基本概念を理解し、自身の死生観をなんとなく説明できる。
（良）日本人の死生観とその変遷を配布資料に沿って理解し、自身の死生観を自分の言葉で説明できる。
（優）日本人の死生観とその変遷を他者に自分の言葉で説明できる程度に理解し、自身の死生観を「日本人の死生観」に比較言及しながら自分の言葉で説明できる。

その他

映画は時間の関係で一部しか鑑賞できません。ぜひ、全編鑑賞することをおすすめします。

授業計画は予定であり、取り上げる映画等、一部変更する可能性があります。

科目名 企画科目（もの語り心理学）

学期 集中

単位数 2

担当者 やまだようこ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：もの語り（ナラティヴ）から人生とスピリチュアル・ケアを深く考える。

テ ー マ：喪失の語りと人生心理学

授業の概要

もの語り心理学の理論と方法論の基礎を、語りの共同生成の実践から体験しながら学ぶ。特に「喪失の語り」をテーマに、「人生」「スピリチュアリティ」「ケア」と関連づけるワークと討論を行う。

授業計画

1．人生のイメージ
2．人生観とライフストーリー
3．もの語り（ナラティヴ）とは？
4．人生をもの語る
5．もの語りアプローチの人間観
6．喪失から生成へのもの語り
7．「いのち」とスピリチュアリティとケア
8． いない人のイメージと人生のもの語り
9．生成継承性と日本文化の死生観
10．この世とあの世のイメージと「たましい」の表象
11．喪失から生成へのもの語り
12．もの語り直しと生き直し
13．もの語りによる人生の転換とレジリエンス
14．もの語りによるリフレクション
15．まとめ

テキスト

やまだようこ 『喪失の語り－生成のライフストーリー』新曜社

参考書・参考資料等

やまだようこ（編）『人生を物語る』ミネルヴァ書房
やまだようこ（編）『人生と病いの語り』東京大学出版会

学生に対する評価

授業への積極的参加と授業時の小レポート（50%）最終レポート（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

その他

科目名 企画科目（臨床実習Ⅰ）

学期 実習

単位数 2

担当者 森崎 雅好

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スピリチュアルケアの実践に必要なケア力を身につける。

テ ー マ：苦悩する方々へのケアの多様な在り方を学ぶ中でケアの本質を把捉し、その学びの中において自己の死生観を養う。

授業の概要

スピリチュアルケアに関する「専門知識」、「援助技法」及び「関連知識」を施設などの臨床現場で活用し、チームによる対人援助業務を展開するために必要な技術の習得及びその技術を活用する資質や能力を養うための実習を行う。

授業計画

具体的な実習目標

（1）スピリチュアルケアの基本的理念を体得し、その理念を相手に合わせて適切に伝えることができる。
（2）全人的苦悩（身体的苦悩、心理的苦悩、社会的苦悩、スピリチュアル的苦悩）について自らの見解を述べることができる。
（3）チームケアにおけるスピリチュアルケアの役割について自らの考えを的確に伝えることができる。
（4）自己の死生観への洞察を深め、その自身の死生観を他者に伝えることができる。
（5）前項1～4を踏まえた上で、適切な他者のケアを行うことができる。

上記の目標を達成するために、病院臨床、老人保健施設、障害者施設等でケアの実習を行う。

実習は、大学の指定実習先での実習指導を受けた後、各自で選択した実習先で実習を行う。実習時間は60時間とし、3年次の履修とする。

テキスト

特に指定はしない。

参考書・参考資料等

適時紹介する。

学生に対する評価

指定実習先での実習中の態度及び実習日誌により評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）苦悩する方々へのケアの多様な在り方を知る。
（良）スピリチュアルケアの実践に必要な技術や態度を理解する。
（優）スピリチュアルケアの実践に必要な資質や能力について理解する。

その他

スピリチュアルケア師資格取得を希望する者は、臨床実習Ⅰ（4年次）と臨床実習Ⅱ（4年次）を履修すること。

科目名 企画科目（臨床実習Ⅱ）

学期 実習

単位数 2

担当者 森崎 雅好

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スピリチュアルケアの実践に必要なケア力を身につける。

テ ー マ：苦悩する方々へのケアの多様な在り方を学ぶ中でケアの本質を把捉し、その学びの中において自己の死生観を養う。

授業の概要

スピリチュアルケアに関する「専門知識」、「援助技法」及び「関連知識」を施設などの臨床現場で活用し、チームによる対人援助業務を展開するために必要な技術の習得及びその技術を活用する資質や能力を養うための実習を行う。

授業計画

具体的な実習目標

（1）スピリチュアルケアの基本的理念を体得し、その理念を相手に合わせて適切に伝えることができること。
（2）全人的苦悩（身体的苦悩、心理的苦悩、社会的苦悩、スピリチュアル的苦悩）について自らの見解を述べることができる。
（3）チームケアにおけるスピリチュアルケアの役割について自らの考えを的確に伝えることができる。
（4）自己の死生観への洞察を深め、その自身の死生観を他者に伝えることができる。
（5）前項1～4を踏まえた上で、適切な他者のケアを行うことができる。

上記の目標を達成するために、病院臨床、老人保健施設、障害者施設等でケアの実習を行う。

実習は、大学の指定実習先での実習指導を受けた後、各自で選択した実習先で実習を行う。実習時間は60時間とし、４年次の履修とする。

テキスト

特に指定はしない。

参考書・参考資料等

適時紹介する。

学生に対する評価

指定実習先での実習中の態度及び実習日誌により評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）苦悩する方々へのケアの多様な在り方を知る。
（良）スピリチュアルケアの実践に必要な技術や態度を理解する。
（優）スピリチュアルケアの実践に必要な資質や能力について理解する。

その他

スピリチュアルケア師資格取得を希望する者は、臨床実習Ⅰ（3年次）と臨床実習Ⅱ（4年次）を履修すること。

科目名	学期	単位数	担当者
企画科目（臨床実習Ⅲ）	実習	2	森崎雅好

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：様々な宗教的世界観を理解した上で、自己の世界観を再確認し、社会実践活動に結び付ける視点を身につける。

テーマ：学びを通じて、自身のこれまでの世界観を振り返り、新たなる世界観構築の機会を体験する。

授業の概要

キリスト教の教義及び世界観並びに神道の教義及び世界観と社会実践活動の実際について、学外実習を通じて学ぶ。

授業計画

第１回：キリスト教の世界観を学ぶ
- 実施場所：和歌山県西牟婁郡白浜町・白浜バプテストキリスト教会
- 実習内容：①白浜での自殺防止活動の現場視察
  - ②実践講義１
  - ③実践講義２
  - ④礼拝出席

第２回：神道の世界観を学ぶ
- 実施場所：三重県伊勢市・皇學館大學神道博物館
- 実習内容：①実践講義１
  - ②実践講義２
  - ③神道博物館見学
  - ④伊勢神宮参拝

遠隔地での学外実習のため現地にて宿泊する。また、各実習終了後、自身の学びや気づきについてキーワードを３つ挙げ、レポート（2,000～3,200字以内）にまとめる。

テキスト

特に指定はしない。

参考書・参考資料等

適時紹介する。

学生に対する評価

実習後のレポートにより評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）様々な宗教的世界観を理解する。
（良）様々な宗教的世界観を理解した上で、自己の抱く世界観を理解する。
（優）自己の抱く世界観を理解し、社会実践活動に結びつける視点を身につける。

その他

科目名	学期	単位数	担当者
企画科目（臨床実習Ⅳ）	実習	2	川口道雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：現代社会における課題に関する見聞を広め、社会の中におけるケア実践活動のための教養や態度を身につける。

テーマ：新たな課題に触れることで課題に関する自身の意識が変わる体験をする。

授業の概要

各自が現代社会の課題について、各地で開催されるシンポジウム、研修会、学術大会、ボランティア活動などに参加し見聞を広める。

授業計画

自身が興味関心を抱く現代社会の課題に関する活動に３回または３ヶ所以上参加し、各活動についてキーワードを３つ挙げながら自身の学びや気づきをレポート（2,000～3,200字以内）にまとめる。

活動参加は、以下の内容とする。
- ・シンポジウムや研修会への参加
- ・ケア関係の学術大会への参加
  （例：日本スピリチュアルケア学会・日本死の臨床研究会など）
- ・各地域のボランティア活動への参加

テキスト

特に指定はしない。

参考書・参考資料等

適時紹介する。

学生に対する評価

実習後のレポートにより評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）現代社会の課題に関して、見識を広めることができている。
（良）現代社会の課題に関して、当事者意識を持つことができている。
（優）現代社会の課題に関して、自己が関与できることについて意識できている。

その他

臨床実習Ⅳは３年次に履修すること。

科目名	学期	単位数	担当者
企画科目（臨床実習Ⅴ）	実習	2	川口道雄

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：現代社会における課題に関する見聞を広め、社会の中におけるケア実践活動のための教養や態度を身につける。

テーマ：新たな課題に触れることで課題に関する自身の意識が変わる体験をする。

授業の概要

各自が現代社会の課題について、各地で開催されるシンポジウム、研修会、学術大会、ボランティア活動などに参加し見聞を広める。

授業計画

自身が興味関心を抱く現代社会の課題に関する活動に３回または３ヶ所以上参加し、各活動についてキーワードを３つ挙げながら自身の学びや気づきをレポート（2,000～3,200字以内）にまとめる。

活動参加は、以下の内容とする。
- ・シンポジウムや研修会への参加
- ・ケア関係の学術大会への参加
  （例：日本スピリチュアルケア学会・日本死の臨床研究会など）
- ・各地域のボランティア活動への参加

テキスト

特に指定はしない。

参考書・参考資料等

適時紹介する。

学生に対する評価

実習後のレポートにより評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）現代社会の課題に関して、見識を広めることができている。
（良）現代社会の課題に関して、当事者意識を持つことができている。
（優）現代社会の課題に関して、自己が関与できることについて意識できている。

その他

臨床実習Ⅴは４年次に履修すること。

科目名	学期	単位数	担当者
心理学ⅠB	集中	2	上野和久

授業の到達目標及びテーマ

テーマ：心理学の基礎的な知識を身に付ける。

授業の目的及び概要

一般に「心理学」ときくと、血液型や人の心を読むといったものを思い浮かべる方が多いだろう。しかし、「心理学」という学問領域は、私たちが「心」と名付けるところの「理」についての働きやその過程を幅広く研究する領域である。この講義（心理学Ⅰ）では、まず、個人の心理について、特に、情報を受け取り処理し、思考するという認知的な観点から、これまでの研究知見を紹介する。尚、対人関係や発達的視点からの心理学に関する講義は、心理学Ⅱで取り扱う。

授業計画及び授業方法

1. 心理学についてのガイダンス
2. 心理学の歴史と研究の方法
3. 感覚と知覚①
4. 感覚と知覚②
5. 記憶①
6. 記憶②
7. 記憶③
8. 学習①
9. 学習②
10. 学習③
11. 言語と思考①
12. 言語と思考②
13. 言語と思考③
14. 意識と認知システム
15. まとめ

テキスト

特に指定しない。

参考書・参考資料等

随時、紹介する。

学生に対する評価

小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）心理学領域ならびに近接領域で使用される基本用語を理解できる。
（良）上記の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。
（優）上記の基本用語について、関係する社会での出来事や日常生活の出来事と絡めながら自分の言葉で説明できる。

その他

科目名：心理学ⅡB
学期：集中
単位数：2
担当者：上野和久

授業の到達目標及びテーマ
テーマ：心理学の基礎的な知識を身に付ける。

授業の目的及び概要
私たちは、一人で生きることはできず、必ず他者との関係性をもって社会の中で生きている。また、生まれてから死ぬまでの間という時間の中で生きている、すなわち、私たちは発達し続ける存在として生を全うする。この講義では、社会と発達という視点から、人間の心理活動についてこれまでの研究知見を紹介する。尚、心理学Ⅰを受講していることが望ましい。

授業計画及び授業方法
1．心理学Ⅰの振り返り
2．動機付けと情動①
3．動機付けと情動②
4．動機付けと情動③
5．性格理論①
6．性格理論②
7．性格理論③
8．発達と課題①
9．発達と課題②
10．発達と課題③
11．対人関係①
12．対人関係②
13．対人関係③
14．個人と社会
15．まとめ

テキスト
特に指定しない。

参考書・参考資料等
随時、紹介する。

学生に対する評価
小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）心理学領域ならびに近接領域で使用される基本用語を理解できる。
（良）上記の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。
（優）上記の基本用語について、関係する社会での出来事や日常生活の出来事と絡めながら自分の言葉で説明できる。

その他

科目名：仏教学特殊講義E（心とはなにかⅠ）
学期：前期
単位数：2
担当者：岡田英作

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教が心についてどのように考えてきたのかを仏教の歴史の流れに沿って概観し、仏教における心についての各思想に関する基礎知識を習得する。
テーマ：心とはなにか

授業の概要
心とはなにか。人類の歴史の中で幾度も取り上げられてきたこの問いに対して、仏教思想から向き合う。初期仏教、部派仏教、大乗仏教、密教と仏教の歴史を辿り、仏教が心についてどのように考えてきたのかを学ぶ。

授業計画
1．オリエンテーション（シラバスの説明、講義の進め方等）
2．心について—ことばの多義性—
3．心について—各宗教の思想—
4．心について—現代の場合—
5．心について—仏教の思想—
6．仏教について—歴史的多様性—
7．仏教について—地域的多様性—
8．ゴータマ・シッダッタ—苦の自覚—
9．ゴータマ・シッダッタ—苦からの解放—
10．ゴータマ・シッダッタ—直弟子たち—
11．初期仏教経典—釈迦の直説は現存するか—
12．最古層の仏典—心への配慮—
13．最古層の仏典—執着と煩悩—
14．初期仏教—五蘊、心・意・識—
15．授業の総括とレポートの講評

テキスト
竹村牧男『心とはなにか－仏教の探究に学ぶ－』春秋社（書店で購入）
上記テキストとは別に授業中に資料を配布する。

参考書・参考資料等
相良亨『一語の辞典 こころ』三省堂、竹村牧男『入門 哲学としての仏教』講談社、佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか』化学同人、師茂樹『『大乗五蘊論』を読む』春秋社、大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編［改訂版］』大正大学、吉村均『空海に学ぶ仏教入門』筑摩書房。他は授業中に紹介する。

学生に対する評価
期末レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）仏教についての基礎的な事項を理解している。
（良）仏教における心についての各思想を理解している。
（優）仏教における心についての各思想を自分の言葉で説明できる。

その他
授業にはテキストの他に、ノートと授業中に配布したプリントを持参すること。

科目名：仏教学特殊講義F（心とはなにかⅡ）
学期：後期
単位数：2
担当者：岡田英作

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教が心についてどのように考えてきたのかを仏教の歴史の流れに沿って概観し、仏教における心についての各思想に関する基礎知識を習得する。
テーマ：心とはなにか

授業の概要
心とはなにか。人類の歴史の中で幾度も取り上げられてきたこの問いに対して、仏教思想から向き合う。初期仏教、部派仏教、大乗仏教、密教と仏教の歴史を辿り、仏教が心についてどのように考えてきたのかを学ぶ。

授業計画
1．オリエンテーション（講義の進め方等）とビデオ鑑賞（仏教に関するもの）
2．アビダルマ仏教－南方上座部ならびに説一切有部の範疇論－
3．アビダルマ仏教－説一切有部の心の分析（1）大地法－
4．アビダルマ仏教－説一切有部の心の分析（2）大善地法－
5．アビダルマ仏教－説一切有部の心の分析（3）大煩悩地法・大不善地法－
6．アビダルマ仏教－説一切有部の心の分析（4）小煩悩地法・不定地法－
7．アビダルマ仏教－説一切有部の心の分析（5）心心所の働き方－
8．大乗仏教－大乗経典と大乗論師－
9．大乗仏教－瑜伽行派の範疇論と心の分析（1）六識－
10．大乗仏教－瑜伽行派の心の分析（2）マナ識・アーラヤ識－
11．大乗仏教－転識得智－
12．大乗仏教－仏性・如来蔵－
13．大乗仏教－中観派の範疇論と心の分析－
14．密教－『大日経』「住心品」－
15．授業の総括とレポートの講評

テキスト
竹村牧男『心とはなにか－仏教の探究に学ぶ－』春秋社（書店で購入）
上記テキストとは別に授業中に資料を配布する。

参考書・参考資料等
相良亨『一語の辞典 こころ』三省堂、竹村牧男『入門 哲学としての仏教』講談社、佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか』化学同人、師茂樹『『大乗五蘊論』を読む』春秋社、大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編［改訂版］』大正大学、吉村均『空海に学ぶ仏教入門』筑摩書房。他は授業中に紹介する。

学生に対する評価
期末レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）仏教についての基礎的な事項を理解している。
（良）仏教における心についての各思想を理解している。
（優）仏教における心についての各思想を自分の言葉で説明できる。

その他

科目名：密教学概論ⅠB
学期：前期
単位数：2
担当者：土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テーマ：大乗仏教から密教へ

授業の概要
インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。この講義では、弘法大師によって確立された密教（真言密教）の思想について、先行する仏教の諸思想とどのように関連するのか、さらには弘法大師の著作に見られる思想の特徴を概観する。と同時に、その密教（真言密教）の思想が、人間観・死生観などとどのように関わるのか、という点についても考察する。

授業計画
1．ガイダンス
2．密教を学ぶための基礎知識（1）成仏とは？
3．〃（2）仏身論
4．何が秘密なのか（1）如来内証智の境界
5．〃（2）如来秘密と如来出現
6．〃（3）顕と密
7．神変（1）大乗経典における神変
8．〃（2）密教経典における神変
9．マンダラの思想（1）胎蔵マンダラ
10．〃（2）金剛界マンダラ
11．菩提心（1）心とは何か
12．菩提心（2）心とマンダラ
13．灌頂（1）如来秘密の開顕
14．灌頂（2）マンダラに入る
15．試験
16．試験問題の解答と確認

テキスト
毎回、資料を配布します。

参考書・参考資料等
・勝又俊教著『密教入門』春秋社・松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
・高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
・金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
・生井智紹著『菩提心の探求』大法輪閣・越智淳仁著『密教概論』法藏館
・小峰彌彦著『曼荼羅入門』角川ソフィア文庫
・梶山雄一著『神変と仏陀観・宇宙論』（『梶山雄一著作集』第3巻）春秋社
・宮坂宥勝編『空海コレクション』ちくま学芸文庫
・佐和隆研編『密教辞典』法藏館・中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店

学生に対する評価
期末レポート（60%）、授業参加への積極性（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）密教の基本的な用語を理解している。
（良）配布した資料の説明ができる。
（優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。

その他
・配布した資料は毎回持ってくること。
・仏教語に 関する辞典や解説書を手元置くようすること すること 。

科目名	密教学概論ⅡB
学期	後期
単位数	2
担当者	土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テ ー マ：弘法大師の思想。

授業の概要

インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は９世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。この講義では、弘法大師によって確立された密教（真言密教）の思想について、先行する仏教の諸思想とどのように関連するのか、さらには弘法大師の著作に見られる思想の特徴を概観する。と同時に、その密教（真言密教）の思想が、人間観・死生観などとどのように関わるのか、という点についても考察する。

授業計画

1．講義内容の説明
2．この身のままで仏と成る－『即身成仏義』を読む－（１）
3．　〃　（２）
4．　〃　（３）
5．　〃　（４）
6．密教の〈ことば〉－『声字実相義』を読む－（１）
7．　〃　（２）
8．　〃　（３）
9．　〃　（４）
10．心とは何か－『吽字義』を読む－（１）
11．　〃　（２）
12．　〃　（３）
13．　〃　（４）
14．総括
15．試験
16．試験の解答と確認

テキスト

毎回、資料を配布します。

参考書・参考資料等

・勝又俊教著『密教入門』春秋社・松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
・高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
・金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
・生井智紹著『菩提心の探求』大法輪閣・越智淳仁著『密教概論』法藏館
・小峰彌彦著『曼荼羅入門』角川ソフィア文庫
・梶山雄一著『神変と仏陀観・宇宙論』（『梶山雄一著作集』第３巻）春秋社
・宮坂宥勝編『空海コレクション』ちくま学芸文庫
・佐和隆研編『密教辞典』法藏館・中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店

学生に対する評価

期末レポート（60％）、授業参加への積極性（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）密教の基本的な用語を理解している。
（良）配布した資料の説明ができる。
（優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。

その他

・配布した資料は毎回持ってくること。
・仏教語に関する辞典や解説書を手元置くようこと。

科目名	真言密教特殊講義E（高野山の宗教文化Ⅰ）
学期	前期
単位数	2
担当者	北川真寛

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：1200年の歴史を有する高野山の宗教文化を学び、自らのスピリチュアリティや宗教性を涵養する。
テ ー マ：スピリチュアルケアの基盤となる仏教・密教の思想や歴史を学ぶ

授業の概要

日本のスピリチュアルケア実践の背景となる宗教の思想、特に日本仏教・密教の基本的な思想や歴史、専門的な用語などを学ぶことを目的とし、高野山を中心とした日本の宗教思想や歴史、文化について講義する。

授業計画

1．弘法大師空海の生涯
2．高野山の歴史
3．高野山の諸堂解説
4．弘法大師空海の教え－即身成仏－
5．弘法大師空海の教え－十住心－（１）
6．弘法大師空海の教え－十住心－（２）
7．弘法大師空海の教え－曼荼羅－
8．高野山の学道
9．高野山の年中行事
10．高野山の文化財
11．禅の教え
12．天台の教え
13．浄土の教え
14．神仏習合
15．真言密教の社会福祉史

テキスト

講師が用意する。

参考書・参考資料等

講義中に紹介する。

学生に対する評価

期末レポート（60％）、テキストの理解度（30％）、授業参加の積極性（10％）。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）基本的な仏教や密教の思想を理解できる
（良）基本的な仏教や密教の思想や用語を理解できる
（優）専門的な仏教や密教の思想や用語を理解できる

その他

科目名	真言密教特殊講義F（高野山の宗教文化Ⅱ）
学期	前期
単位数	2
担当者	北川真寛

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：1200年の歴史を有する高野山の宗教文化を学び、自らのスピリチュアリティや宗教性を涵養する。
テ ー マ：スピリチュアルケアの基盤となる弘法大師や高野山の思想や歴史を総合的に学ぶ。

授業の概要

日本のスピリチュアルケア実践の背景となる宗教の思想、特に日本密教や弘法大師の基本的な思想や歴史、専門的な用語などを学ぶことを目的とし、高野山を中心とした日本の宗教思想や歴史、文化について講義する。

授業計画

1．絵伝にみる弘法大師空海の生涯（１）
2．絵伝にみる弘法大師空海の生涯（２）
3．絵伝にみる弘法大師空海の生涯（３）
4．弘法大師空海の著作
5．弘法大師入定信仰と御宝号念誦
6．弘法大師の種子
7．弘法大師の伝説
8．中世の高野山史
9．近世の高野山史
10．真言密教の教え－綵画形像－
11．真言密教の教え－三密行－
12．真言密教の教え－六波羅蜜行－
13．真言密教の教え－如意宝珠－
14．高野山の神仏習合
15．高野山の町石道

テキスト

北川真寛『はじめての「弘法大師信仰・高野山信仰」入門』（セルバ出版、2018年）
上記テキストを講義初日に講師が一括で用意するので、講師より購入のこと。

参考書・参考資料等

山陰加春夫『中世の高野山を歩く』（吉川弘文館、2014年）
その他は、講義中に紹介する。

学生に対する評価

期末レポート（60％）、授業参加の積極性（30％）、ディスカッションへの参加度（10％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）基本的な密教や弘法大師の思想を理解できる
（良）基本的な密教や弘法大師の思想や用語を理解できる
（優）専門的な密教や弘法大師の思想や用語を理解できる

その他

「高野山の宗教文化Ⅰ（高野山の宗教文化A）」をあらかじめ受講しておくか、もしくは並行して受講すること。

科目名	真言密教特殊講義G（真言密教の儀礼ⅠA）
学期	前期
単位数	2
担当者	北川真寛

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：1200年の歴史を有する真言密教における実践行を体験し、奥深い真言密教の世界にふれる。
テ ー マ：真言密教の実践行を体感する

授業の概要

真言密教に伝わる様々な実践行について解説し、実際に体験する。真言密教では、理論と実践は車の両輪に譬えられて両方を重視するため、思想や教理だけでは汲み尽くせない真言密教の奥深い境地の一端を体験する。

授業計画

1．真言密教の読経－仏前勤行次第－
2．真言密教の読経－観音経・理趣経－
3．真言密教の読経－般若心経－
4．真言密教の写経
5．真言密教の行法－礼拝行－
6．真言密教の行法－護摩行－
7．真言密教の瞑想法（１）
8．真言密教の瞑想法（２）
9．真言密教の荘厳－仏具・衣体－
10．真言密教の仏像
11．真言密教と茶道
12．真言密教の葬制
13．真言密教の回向法
14．真言密教の祈願法
15．巡礼・遍路

テキスト

講師が用意する。

参考書・参考資料等

講義中に紹介する。

学生に対する評価

授業参加の積極性（60％）、期末レポート（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）講義での実践行に積極的に参加する。
（良）講義での実践行を完遂できる。
（優）講義での実践行の意義を理解できる。

その他

実修の際は、動きやすい服装にて行う。
別途、実修費を徴収する場合がある（数百円）

科目名

真言密教特殊講義H（真言密教の儀礼ⅠB）

学期：後期
単位数：2
担当者：北川真寛

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：1200年の歴史を有する真言密教における実践行を体験し、奥深い真言密教の世界にふれる。
テ ー マ：真言密教の実践行を体感する

授業の概要

真言密教に伝わる様々な実践行について解説し、実際に体験する。真言密教では、理論と実践は車の両輪に譬えられて両方を重視するため、思想や教理だけでは汲み尽くせない真言密教の奥深い境地の一端を体験する。

授業計画

1．真言密教の読経－仏前勤行次第－
2．真言密教の読経－観音経・理趣経－
3．真言密教の読経－般若心経―
4．真言密教の写経
5．真言密教の行法－礼拝行－
6．真言密教の行法－護摩行－
7．真言密教の荘厳－仏具・衣体－
8．真言密教の仏像
9．真言密教の瞑想法（1）
10. 真言密教の瞑想法（2）
11. 真言密教と茶道
12. 真言密教の祈願法
13. 真言密教の葬制
14. 真言密教の回向法
15. 巡礼・遍路

テキスト

講師が用意する。

参考書・参考資料等

講義中に紹介する。

学生に対する評価

授業参加の積極性（60%）、期末レポート（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）講義での実践行に積極的に参加する。
（良）講義での実践行を完遂できる。
（優）講義での実践行の意義を理解できる。

その他

実修の際は、動きやすい服装にて行う。
別途、実修費を徴収する場合がある（数百円）

科目名

密教学特殊講義C（空海書学の理論と実践Ⅰ）

学期：前期
単位数：2
担当者：野田悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢字に興味を持ち、毛筆による古典臨書を中心とした歴史認識と作品制作。
テ ー マ：書聖空海の漢字思想とその実践

授業の概要

日本の書聖空海の思想には、密教を含む東洋思想が原点である。この東洋思想の根幹を占めるのが、表意文字である漢字であることを理解し、唐代楷書を通して理論と実践の両面から焦点を当てる。

授業計画

1．ガイダンス、空海と漢字
2．臨摹：顔真卿「多寶塔碑」①
3．〃 〃 ②
4．〃 〃 ③
5．〃 〃 ④
6．臨摹：褚遂良「雁塔聖教序」①
7．〃 〃 ②
8．〃 〃 ③
9．〃 〃 ④
10. 顔法と摹法の比較研究①
11. 〃 〃 ②
12. 自選の法帖を徹底臨摹 ①
13. 〃 〃 ②
14. 〃 〃 ③
15. 〃 〃 ③
16. 作品提出と批評会

※ 全体的な能力や達成度を見て、変更あり。

テキスト

・中国法書選 40 顔真卿「多寶塔碑」、34 褚遂良「雁塔聖教序」：二玄社
・書道字典を持っている方が望ましい。
＊その他、必要に応じてプリントを配布する。

参考書・参考資料等

『説文解字』（中華書局等）
『聾瞽指帰』、『篆隷万象名義』等（高野山大学蔵）
『新書源』（二玄社）等々

学生に対する評価

レポート（100%）、発表（0%）、授業参加の積極性（100%）
・基本的に作品による評価（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）筆順が正しく理解する。
（良）旧漢字を正しく理解し、細かい部分まで理解した臨摹ができる。。
（優）臨摹を基にしたレベルの高い創作ができる。

その他

・ 中筆（できれば羊毛）、細筆（２～３本）、墨（４～５丁以上の大きさ、原則として墨汁は許可しない）、半紙用毛氈、文鎮、硯及び宣紙（半紙及び半切）は個々に準備のこと。〔ガイダンス時に説明する〕
・書道実技の講座時は、毎回の課題が課される。
・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。
・２回目の受講生は、相談の上、別課題を出し指導する。

科目名

密教学特殊講義D（空海書学の理論と実践Ⅱ）

学期：後期
単位数：2
担当者：野田悟

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：前期の唐代楷書と比較した北魏楷書を研究し、文字学の理解を深める。
テ ー マ：北魏楷書の臨摹における理論と実践。般若心経写経の創作。

授業の概要

日本への漢字の伝来において、写経は大きな意味合いを占める。そこで、前期に学んだ唐楷（帖学）と後期に学ぶ魏碑（碑学）の比較を通じて、臨摹の重要性を理解し、写経作品を作り上げる。

授業計画

1．夏休み課題の提出と前期の復習、北魏楷書を学ぶ。
2．臨摹：「張猛龍碑」①
3．〃 〃 ②
4．〃 〃 ③
5．臨摹：「張玄墓誌」①
6．〃 〃 ②
7．〃 〃 ③
8．「張猛龍碑」と「張玄墓誌」の比較研究①
9．〃 〃 ②
10. 〃 〃 ②
11.. 自選の法帖の臨摹研究と写経創作①
12. 〃 〃 ②
13. 〃 〃 ③
14. 〃 〃 ④
15. 作品提出
16. 中国書家の臨摹のＤＶＤ鑑賞

※ 全体的な能力や達成度を見て、変更あり。

テキスト

・中国法書選：23「張猛龍碑」、26「墓誌銘集・下」二玄社。
・その他必要な場合プリントを配布する。
＊写経セット〔LA26-59〕

参考書・参考資料等

・『空海』中央公論社、『光明皇后 空海 最澄集』二玄社
・季刊墨スペシャル 第７号『写経』二玄社等々

学生に対する評価

レポート（100%）、発表（0%）、授業参加の積極性（100%）
・基本的に作品による評価（素点）
・欠席各－３点、遅刻・早退－１点として計算する。
・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）写経の書式を理解し、表現できる。
（良）臨摹を基盤とした写経作品を創作できる。
（優）臨摹を基盤としたより高い写経作品創作できる。

その他

・学部生以上の受講生に限る。
・書道実技の講座時は、毎回の課題が課される。
・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。
・再度受講される方は、相談の上、別の課題を課し指導する。
・写経作品は、２月の学外書道展に出品する。（表装の費用は個人で負担）

科目名

祖典講読ⅠC（即身成仏義Ⅰ）

学期：前期
単位数：2
担当者：大柴清圓

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の『即身成仏義』を読み、その即身成仏思想を理解することを目標とする。
テ ー マ：「二頌八句」における前半の「一頌四句」の読解

授業の概要

『即身成仏義』は、顕教の三劫成仏に対して、密教の優位性であるこの身のままで成仏することができるとする即身成仏を論じた弘法大師の代表的な思想書である。その思想は「二頌八句」に凝縮されており、本講はその内容理解を中心に『即身成仏義』の読解を図るものである。

授業計画

1．概論（『即身成仏義』の真偽問題・『異本即身義』・『即身成仏義』の引用書）
2．二経一論八箇の証文①
3．二経一論八箇の証文②
4．前半一頌の第一句「六大無碍常瑜伽」の読解①
5．前半一頌の第一句「六大無碍常瑜伽」の読解②
6．前半一頌の第一句「六大無碍常瑜伽」の読解③
7．前半一頌の第一句「六大無碍常瑜伽」の読解④
8．前半一頌の第二句「四種曼荼各不離」の読解①
9．前半一頌の第二句「四種曼荼各不離」の読解②
10. 前半一頌の第三句「三密加持速疾顕」の読解①
11. 前半一頌の第三句「三密加持速疾顕」の読解②
12. 前半一頌の第三句「三密加持速疾顕」の読解③
13. 前半一頌の第三句「三密加持速疾顕」の読解④
14. 前半一頌の第四句「重重帝網名即身」の読解①
15. 前半一頌の第四句「重重帝網名即身」の読解②

テキスト

『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業中の素読・発表など（40%）、テスト（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）二頌八句を暗誦することができる。
（良）前半の一頌四句の思想を概説することができる。
（優）前半の一頌四句の思想を文献資料に基づいて論理的に説明することができる。

その他

・毎回受講者に素読してもらいます。
・二頌八句を暗誦することができた時点で、（可）となります。

科目名
祖典講読ⅡC（即身成仏義Ⅱ）
学期
後期
単位数
2
担当者
大柴清圓

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：弘法大師空海の『即身成仏義』を読み、その即身成仏思想を理解することを目標とする。
テーマ：「二頌八句」における後半の「一頌四句」の読解

授業の概要

『即身成仏義』は、顕教の三劫成仏に対して、密教の優位性であるこの身のままで成仏することができるとする即身成仏を論じた弘法大師の代表的な思想書である。その思想は「二頌八句」に凝縮されており、本講はその内容理解を中心に『即身成仏義』の読解を図るものである。

授業計画

1．前期の復習
2．後半一頌の第一句「法然具足薩般若」の読解①
3．後半一頌の第一句「法然具足薩般若」の読解②
4．後半一頌の第一句「法然具足薩般若」の読解③
5．後半一頌の第二句「心数心王過刹塵」の読解①
6．後半一頌の第二句「心数心王過刹塵」の読解②
7．後半一頌の第二句「心数心王過刹塵」の読解③
8．後半一頌の第三句「各具五智無際智」の読解①
9．後半一頌の第三句「各具五智無際智」の読解②
10．後半一頌の第三句「各具五智無際智」の読解③
11．後半一頌の第四句「円鏡力故実覚智」の読解①
12．後半一頌の第四句「円鏡力故実覚智」の読解②
13．後半一頌の第四句「円鏡力故実覚智」の読解③
14．余論
15．総復習

テキスト

『十巻章』高野山大学出版部

参考書・参考資料等

その他、授業において指示します。

学生に対する評価

授業中の素読・発表など（40%）、テスト（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）『即身成仏義』の指定箇所を素読できる。
（良）後半の一頌四句の思想を概説することができる。
（優））後半の一頌四句の思想を文献資料に基づいて論理的に説明することができる。

その他

・毎回受講者に素読してもらいます。

科目名
密教史概説ⅠB
学期
前期
単位数
2
担当者
德重弘志

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：インド文化圏における密教史に関する基礎知識を理解すること。
テーマ：インド文化圏の密教史

授業の概要

密教は、インドにおいて成立した後、チベット、ネパール、東南アジアといったインド文化圏に伝播した。本講義では、インドにおける密教の形成と展開や、周辺地域における密教の特色について概説する。

授業計画

1．イントロダクション
2．インドにおける仏教の歴史
3．インド初期密教：①密教の萌芽
4．インド初期密教：②密教の形成期
5．インド中期密教：①『大日経』
6．インド中期密教：②『金剛頂経』
7．インド中期密教：③『理趣経』
8．インド後期密教：①父タントラ
9．インド後期密教：②母タントラ・不二タントラ
10．チベットの密教：①前伝仏教期
11．チベットの密教：②後伝仏教期
12．チベットの密教：③宗派の概説
13．チベットの密教：④現代の仏教
14．ネパールの密教
15．インドネシアの密教

テキスト

松長有慶『密教の歴史』（平楽寺書店）
※入手が困難な場合、担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等

高橋尚夫他編『初期密教—思想・信仰・文化』（春秋社）
高橋尚夫他編『空海とインド中期密教』（春秋社）
松長有慶編『インド後期密教（上・下）』（春秋社）

学生に対する評価

授業参加の積極性（40%）、学期末のレポート（60%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）上座部仏教、大乗仏教、密教の関係を説明できる。
（良）密教経典の分類について、歴史の流れに沿って説明できる。
（優）インド文化圏を形成する諸国における密教の特徴を説明できる。

その他

指定したテキストの流れに沿って講義を進めるので、予習を欠かさないこと。

科目名
密教史概説ⅡB
学期
後期
単位数
2
担当者
櫻木潤

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：インドに生まれた密教が、唐代の中国で隆盛し、弘法大師空海によって日本に伝えられた後、日本社会の中で、時代や人々の求めに応じて、どのように変容を遂げながら現代へと受け継がれてきたのか、その歴史的変遷を理解する。
テーマ：中国密教・日本密教の歴史的変遷を知るとともに、真言宗の歴史を知る。

授業の概要

中国・日本の密教と真言宗の歴史をテキストにもとづきながら、最新の研究成果をふまえて概説する。

授業計画

1．授業ガイダンス
2．西域から中国への伝来
3．唐代の密教
4．古密教の世界
5．弘法大師空海による密教の請来
6．真言宗の成立
7．空海の後継者たち
8．天台宗の密教化
9．密教修法の隆盛
10．覚鑁の改革と挫折
11．密教と「鎌倉新仏教」
12．密教と戒律復興運動
13．根来教団の成立
14．江戸時代の戒律復興運動と密教
15．近代社会と密教
16．期末試験

テキスト

松長有慶『密教の歴史〈サーラ叢書19〉』
（平楽寺書店2007年。初版は1969年）

参考書・参考資料等

立川武蔵・頼富本宏編『中国密教〈シリーズ密教3〉』
（春秋社、2005年。初版は1999年）
立川武蔵・頼富本宏編『日本密教〈シリーズ密教4〉』
（春秋社、2005年。初版は2000年）
その他、授業中に適宜紹介します。

学生に対する評価

期末試験（60%）、毎回の授業で行う課題（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）中国密教と日本密教、真言宗の歴史を理解する。
（良）密教が日本仏教の歴史の中でどのような役割を担ってきたのかを説明できる。
（優）日本密教と真言宗の歴史をふまえて、これからの密教や真言宗のあり方を展望することができる。

その他

授業では、日本密教や真言宗にゆかりの深い寺院なども紹介します。積極的その地を訪ね日本密教や真言宗の歴史について、さら理解を深めること望みます。

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

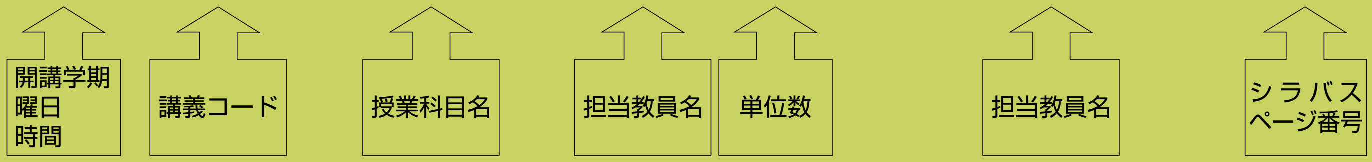
科目名
学期
単位数
担当者

大　学　院

◆目次について

この『平成 30 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の専攻のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備　考	頁
前期	水	1	53101	空海の思想入門	乾　　龍　仁	2	1年次	−		1



◆講義コードについて

講義コードは５ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。

□　□　□　□　□　（５ケタ）

課程
5 ＝文学部生用
8 ＝別科生用
9 ＝大学院生用

曜日
1 ＝月曜日
2 ＝火曜日
3 ＝水曜日
4 ＝木曜日
5 ＝金曜日
6 ＝土曜日
7 ＝集中講義
8 ＝実習
9 ＝論文

時限
1 ＝ 1 講時
2 ＝ 2 講時
3 ＝ 3 講時
4 ＝ 4 講時
5 ＝ 5 講時

通し番号
01 ～ 49 ＝前期授業および通年授業
51 ～ 99 ＝後期授業

◆受講登録について

1　受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**４月９日（月）から４月13日（金）午後５時まで**に教務課へ提出してください。

2　履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。

①　学籍番号（※ 身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。

②　履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成30年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（修士論文も含む）を記入してください。

3　履修登録票を教務課へ提出した学生は、**４月20日（金）から４月26日（木）午後５時まで**に、教務係で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

　この時に学生証（身分証明書）が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務課へ提出してください。

4　最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、１年間保管してください。

5　後期（９月25日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**９月25日（火）から９月28日（金）午後５時まで**の後期履修登録変更期間に、教務課へ申し出てください。ただし、通年科目の追加･変更･取消はできません。

◆出席票について

「出席票」は、各授業の第１回目から第３回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。

それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の３分の２以上の出席がないと「失格」になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加してください。午後の授業は実施されません。

1．文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

［密教学専攻　博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース］

1）基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	佐藤 隆彦	2	8 単位を超えて修了要件に参入できない。	院 -1
前期	火	4	92401	仏教学講義（大）	前谷 彰	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥山 直司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	佐藤 隆彦	2		院 -1

2）主要科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
前期	木	2	94201	密教学特殊研究１（大）	T.ドライトライン	2	主要科目 12 単位必修	院 -2
後期	木	2	94251	密教学特殊研究２（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
前期	金	2	95201	密教史特殊研究１（大）	土居 夏樹	2		院 -2
後期	金	2	95252	密教史特殊研究２（大）	土居 夏樹	2		院 -2
前期	水	1	93101	密教学演習Ａ - １（大）	南 昌宏	2		院 -3
後期	水	1	93153	密教学演習Ａ - ２（大）	南 昌宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習Ｂ - １（大）	乾 龍仁	2		院 -3
後期	水	2	93251	密教学演習Ｂ - ２（大）	乾 龍仁	2		院 -3
前期	火	3	92301	密教史演習Ａ - １（大）	奥山 直司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習Ａ - ２（大）	奥山 直司	2		院 -4
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	佐藤 隆彦	2		院 -4
前期	月	2	91201	密教史講読Ａ - １（大）	松長 恵史	2		院 -4
後期	月	3	91352	密教史講読Ａ - ２（大）	松長 恵史	2		院 -5
前期	火	1	92101	密教史講読Ｂ - １（大）	奥山 直司	2		院 -5
後期	火	1	92151	密教史講読Ｂ - ２（大）	奥山 直司	2		院 -5
後期	水	1	93154	現代社会と宗教（大）	奥山 直司	2	社会人コースは４単位必修	院 -5
後期	水	1	93151	密教と文化（大）	前谷 彰	2		院 -6
前期	金	3	95301	事相研究Ⅰ - １（大）	齋藤 天譽	2	僧侶コースは４単位必修	院 -6
後期	金	3	95351	事相研究Ⅰ - ２（大）	齋藤 天譽	2		院 -6
前期	木	3	94301	事相研究Ⅱ - １（大）	佐藤 隆彦	2		院 -6
後期	木	3	94351	事相研究Ⅱ - ２（大）	佐藤 隆彦	2		院 -7

3）関連科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
前期	木	3	94302	仏教学特殊研究１（大）	前谷 彰	2		院 -7
前期	水	2	93202	仏教史演習１（大）	前谷 彰	2		院 -7
後期	水	2	93252	仏教史演習２（大）	前谷 彰			院 -8
前期	月	5	91501	仏教史講読１（大）	浜畑 圭吾	2		院 -8
後期	月	5	91551	仏教史講読２（大）	浜畑 圭吾	2		院 -8

4）共通科目

学期	曜日	時限	コード	授業科目	担当者	単位	備考	頁
前期	火	3	92302	仏教芸術の研究１（大）	和田 圭子	2		院 -8

後期	火	3	92352	仏教芸術の研究２（大）	和　田　圭　子	2		院 -9
後期	水	1	93155	アジア地域の宗教文化の研究（大）	井 上 ウ ィ マ ラ	2		院 -9
後期	月	1	91151	比較宗教の研究（大）	森　本　一　彦	2		院 -9
前期	月	1	91101	現代社会と仏教の研究１（大）	Ｔ.ドライトライン	2		院 -9
後期	月	1	91152	現代社会と仏教の研究２（大）	Ｔ.ドライトライン	2		院 -10
前期	月	4	91401	教育学特殊研究（大）	山　脇　雅　夫	2		院 -10

5）修士論文

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	備　考	頁
通年	−	−	99001	修士論文（密教学）	大 学 院 委 員 長	0		−
前期	−	−	99003	修士論文（密教学）（前期）	大 学 院 委 員 長	0	７月提出許可者	−

2．文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

［仏教学専攻　博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース］

1）基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	備　考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	佐　藤　隆　彦	2	８単位を超えて修了要件に参入できない。	院 -1
前期	火	4	92401	仏教学講義（大）	前　谷　　彰	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥　山　直　司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	佐　藤　隆　彦	2		院 -1

2）主要科目

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	備　考	頁
前期	木	3	94302	仏教学特殊研究１（大）	前　谷　　彰	2	主要科目12単位必修	院 -7
前期	水	2	93202	仏教史演習１（大）	前　谷　　彰	2		院 -7
後期	水	2	93252	仏教史演習２（大）	前　谷　　彰			院 -8
前期	月	5	91501	仏教史講読１（大）	浜　畑　圭　吾	2		院 -8
後期	月	5	91551	仏教史講読２（大）	浜　畑　圭　吾	2		院 -8
後期	水	1	93154	現代社会と宗教（大）	奥　山　直　司	2	社会人コースは４単位必修	院 -5
後期	水	1	93152	仏教と文化（大）	前　谷　　彰	2		院 -6
前期	金	3	95301	事相研究Ⅰ-１（大）	齋　藤　天　譽	2	僧侶コースは４単位必修	院 -6
後期	金	3	95351	事相研究Ⅰ-２（大）	齋　藤　天　譽	2		院 -6
前期	木	3	94301	事相研究Ⅱ-１（大）	佐　藤　隆　彦	2		院 -6
後期	木	3	94351	事相研究Ⅱ-２（大）	佐　藤　隆　彦	2		院 -7

3）関連科目

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	備　考	頁
前期	木	2	94201	密教学特殊研究１（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
後期	木	2	94251	密教学特殊研究２（大）	T.ドライトライン	2		院 -2
前期	金	2	95201	密教史特殊研究１（大）	土　居　夏　樹	2		院 -2
後期	金	2	95252	密教史特殊研究２（大）	土　居　夏　樹	2		院 -2
前期	水	1	93101	密教学演習Ａ-１（大）	南　　昌　宏	2		院 -3
後期	水	1	93153	密教学演習Ａ-２（大）	南　　昌　宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習Ｂ-１（大）	乾　　龍　仁	2		院 -3
後期	水	2	93251	密教学演習Ｂ-２（大）	乾　　龍　仁	2		院 -3
前期	火	3	92301	密教史演習Ａ-１（大）	奥　山　直　司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習Ａ-２（大）	奥　山　直　司	2		院 -4
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	佐　藤　隆　彦	2		院 -4
前期	月	2	91201	密教史講読Ａ-１（大）	松　長　恵　史	2		院 -4
後期	月	3	91352	密教史講読Ａ-２（大）	松　長　恵　史	2		院 -5
前期	火	1	92101	密教史講読Ｂ-１（大）	奥　山　直　司	2		院 -5
後期	火	1	92151	密教史講読Ｂ-２（大）	奥　山　直　司	2		院 -5

4）共通科目

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担 当 者	単位	備　考	頁
前期	火	3	92302	仏教芸術の研究１（大）	和　田　圭　子	2		院 -8
後期	火	3	92352	仏教芸術の研究２（大）	和　田　圭　子	2		院 -9

後期	水	1	93155	アジア地域の宗教文化の研究（大）	井 上 ウ ィ マ ラ	2		院 -9
後期	月	1	91151	比較宗教の研究（大）	森　本　一　彦	2		院 -9
前期	月	1	91101	現代社会と仏教の研究１（大）	Ｔ.ドライトライン	2		院 -9
後期	月	1	91152	現代社会と仏教の研究２（大）	Ｔ.ドライトライン	2		院 -10
前期	月	4	91401	教育学特殊研究（大）	山　脇　雅　夫	2		院 -10

５）修士論文

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
通年	−	−	99002	修士論文（仏教学）	大 学 院 委 員 長	0		−
前期	−	−	99004	修士論文（仏教学）（前期）	大 学 院 委 員 長	0	７月提出許可者	−

3．文学研究科博士後期課程（修了要件：12 単位）

［密教学専攻］

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
前期	木	2	94201	密教学特殊研究１（大）	T. ドライトライン	2	※密教特殊演習4単位を含め、12単位以上を履修しなければならない。（複数回履修可）	院 -2
後期	木	2	94251	密教学特殊研究２（大）	T. ドライトライン	2		院 -2
前期	金	2	95201	密教史特殊研究１（大）	土居夏樹	2		院 -2
後期	金	2	95252	密教史特殊研究２（大）	土居夏樹	2		院 -2
前期	水	1	93101	密教学演習Ａ - １（大）	南昌宏	2		院 -3
後期	水	1	93153	密教学演習Ａ - ２（大）	南昌宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習Ｂ - １（大）	乾龍仁	2		院 -3
後期	水	2	93251	密教学演習Ｂ - ２（大）	乾龍仁	2		院 -3
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	佐藤隆彦	2		院 -4
前期	火	3	92301	密教史演習Ａ - １（大）	奥山直司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習Ａ - ２（大）	奥山直司	2		院 -4
前期	月	2	91201	密教史講読Ａ - １（大）	松長恵史	2		院 -4
後期	月	3	91352	密教史講読Ａ - ２（大）	松長恵史	2		院 -5
前期	火	1	92101	密教史講読Ｂ - １（大）	奥山直司	2		院 -5
後期	火	1	92151	密教史講読Ｂ - ２（大）	奥山直司	2		院 -5
前期	金	4	95401	密教特殊演習Ａ - １（大）	奥山直司	2		－
後期	金	4	95451	密教特殊演習Ａ - ２（大）	奥山直司	2		－
前期	金	4	95402	密教特殊演習Ｂ - １（大）	佐藤隆彦	2		－
後期	金	4	95452	密教特殊演習Ｂ - ２（大）	佐藤隆彦	2		－

［仏教学専攻］

学期	曜日	時限	コード	授　業　科　目	担当者	単位	備　考	頁
前期	木	3	94302	仏教学特殊研究１（大）	前谷彰	2	※仏教特殊演習4単位を含め、12単位以上を履修しなければならない。（複数回履修可）	院 -7
前期	水	2	93202	仏教史演習１（大）	前谷彰	2		院 -7
後期	水	2	93252	仏教史演習２（大）	前谷彰	2		院 -8
前期	月	5	91501	仏教史講読１（大）	浜畑圭吾	2		院 -8
後期	月	5	91551	仏教史講読２（大）	浜畑圭吾	2		院 -8
前期	金	4	95403	仏教特殊演習Ａ - １（大）	前谷彰	2		－
後期	金	4	95453	仏教特殊演習Ａ - ２（大）	前谷彰	2		－

講　義　概　要

・

授　業　計　画

科目名 密教学講義（大）
学期 後期
単位数 2
担当者 佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。
テ ー マ：密教の基礎知識の養成

授業の概要

インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は９世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。

授業計画

1．講義内容の説明
2．真言密教の仏陀観；①釈迦如来から大日如来へ
3．真言密教の仏陀観；②大日如来と四仏（五仏）・密教の仏身観
4．真言密教の仏陀観；③様々な信仰の対象、密教の祖師
5．曼荼羅；①両部曼荼羅の成立
6．曼荼羅；②四種曼荼羅とは
7．真言密教の人間観；①空海と心の本性の探求
8．真言密教の人間観；②心性本浄思想の源流
9．即身成仏への道；①密教の三昧耶戒、②四重禁戒と十善戒
10. 即身成仏への道；③浄菩提心と観法
11. 即身成仏への道；①六大・四曼・三密１
12. 即身成仏への道；①六大・四曼・三密２
13. 即身成仏思想；②即身の意味と三種即身成仏
14. 密教の特性
15. 試験
16. 試験の解答と確認

テキスト

勝又俊教著『密教入門』春秋社

参考書・参考資料等

松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店
高神覚昇著『密教概論』大法輪閣
金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
佐和隆研編『密教辞典』法蔵館
中村元他編『岩波仏教辞典』岩波書店

学生に対する評価

試験（80％）、授業参加への積極性（20％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）密教の基本的な用語を理解している。
（良）配布した資料の説明ができる。
（優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。

その他

講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。
授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。

科目名 仏教学講義（大）
学期 前期
単位数 2
担当者 前谷 彰

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏教の基礎知識についての確認作業を行い、仏教の思想が将来的にどのように生かし得るかについて、それぞれの認識を深めてもらう。
テ ー マ：仏教とは何か

授業の概要

仏教とは何かについての基本的疑問を提示することによって、仏教が初期・大乗・密教と歴史的に展開してきた足跡を追うことによって、仏教の何たるかについての基本的問題に焦迫する。

授業計画

1．オリエンテーション
2．初期仏教の基礎知識の確認 (1)
3．初期仏教の基礎知識の確認 (2)
4．アビダルマの基礎知識の確認
5．大乗仏教の起源について (1)
6．大乗仏教の起源について (2)
7．大乗とは何か (1)
8．大乗とは何か (2)
9．密教とは何か (1)
10. 密教とは何か (2)
11. 初期仏教思想を現代にどのように生かすか
12. 大乗・密教を現代にどのように生かすか
13. 現代への応用とその方法論的疑問 (1)
14. 現代への応用とその方法論的疑問 (2)
15. 現代への応用とその方法論的疑問 (3)
16. 総まとめ

テキスト

担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等

佐々木閑『科学するブッダ：犀の角たち』（角川ソフィア文庫）
佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか：アビダルマ仏教の科学的世界観』（DOJIN 選書）

学生に対する評価

授業時に指示する課題をどれだけこなしているか（50％）、学期末のレポート（50％）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）仏教の基礎語彙を抑えている。
（良）仏教の基礎語彙を歴史の流れに沿って説明できる。
（優）仏教思想を現代の諸問題に応用し、説明することができる。

その他

受講者は、サンスクリット語の基礎知識を習得済であることが望ましい。

科目名 インド学講義（大）
学期 後期
単位数 2
担当者 奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける。
②チベットの仏像を見た時に、その名称が言えるようになる。
③インド・チベット仏教史の流れを理解する。
テ ー マ：インド・チベット密教の図像資料の研究

授業の概要

チベット探検で知られる河口慧海が持ち帰った図像資料などに基づいて、インド・チベット仏教美術の主題と表現形式を学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解読の練習を行う。あわせてインド・チベット仏教史の流れについて基礎的な知識の整理を行う。

授業計画

1．イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか
2．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式１
3．インド・チベット仏教美術の主題と表現形式２
4．河口慧海とそのコレクション
5．河口慧海コレクション１
6．河口慧海コレクション２
7．河口慧海コレクション３
8．河口慧海コレクション４
9．『三百尊図像集』１
10.『三百尊図像集』２
11.『三百尊図像集』３
12.『三百尊図像集』４
13.『三百尊図像集』５
14.『三百尊図像集』６
15.『三百尊図像集』７
16. まとめ

テキスト

『河口慧海請来チベット資料図録』佼成出版社
『三百尊図像集』（ビブリオテカ・ブッディカ）

参考書・参考資料等

頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典　インドと日本の仏たち』人文書院

学生に対する評価

提出物の評価を含む授業参加状況（60％）、期末レポート（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）チベット仏教と日本仏教の尊各分類法の違いを述べることができる。
（良）資料を参照しながら、チベット仏教の尊像を同定できる。
（優）チベット仏教の尊像の特徴が大体において頭に入っている。

その他

遅刻３回で１欠席と見なす。

科目名 祖典演習（大）
学期 前期
単位数 2
担当者 佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：『吽字義』の総合的理解
テ ー マ：密教実践の教理的解釈

授業の概要

『吽字義』は『即身義』『声字義』とあわせて三部書といわれる。ところが、内容的には密教の実践法とも密接なかかわりが想定される。そこで、『吽字義』と密教実践について着目してみたい。特に密教教理と密教実践との接点を『吽字義』に探り、多角的総合的に理解を深めたい。

授業計画

1．オリエンテーション
2．『吽字義』の成立背景
3．『吽字義』の綱領
4．『吽字義』の講読
5．『吽字義』の講読
6．『吽字義』の講読
7．『吽字義』の講読
8．『吽字義』の講読
9．『吽字義』と『阿字観用心口訣』
10.『吽字義』と『阿字観用心口訣』
11.『吽字義』と『秘蔵記』
12.『吽字義』と『秘蔵記』
13.『吽字義』と字輪観
14.『吽字義』と字輪観
15. 総復習とレポート提出
16. 総括

テキスト

『十巻章』高野山大学出版

参考書・参考資料等

小田慈舟著『十巻章講説』高野山出版社など

学生に対する評価

授業参加の積極性（40％）・試験（60％）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）漢文にて『吽字義』が読める
（良）『吽字義』について自分の言葉で説明ができる。
（優）『吽字義』について独自の知見を合理的に説明できる。

その他

科目名：密教学特殊研究１（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。
テ ー マ：『大日経』と胎蔵界の行法への理解を深める。

授業の概要

『大日経』の６巻 31 品は経典の本文であり、最後の第七巻の５品は『大日経』の法門による供養次第を説く儀軌である。新羅の不可思議撰の『大毘盧遮那経供養次第法疏』（『不思議疏』、２巻）はその注釈書である。『大日経』の第七巻と『不思議疏』を平行して講読する。

授業計画

1．『大日経』と『不思議疏』の行法体系
2．「供養念誦三昧耶法門真言行学処品第一」を読む
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．同上７
9．「増益守護清浄行品第二」を読む
10. 同上２
11. 同上３
12. 同上４
13. 同上５
14. 同上６
15. 同上７
16. 試験

テキスト

『大日経』第七巻と高野版の『不思議疏』のコピーを配布

参考書・参考資料等

金剛智訳『大毘盧遮那仏説要略念誦経』やその他の漢訳儀軌、チベット訳『大毘盧遮那現等覚所属供養儀軌』の和訳、Giebel, Rolf W., *The Vairocanabhisambodhi Sūtra*, Berkeley: Numata Center for Buddhist Translation and Research, 2001、その他

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストの漢文を読み、用語を説明できる。
（良）テキストの漢文を読み、大意を解説できる。
（優）テキストの漢文を読み、真言密教における意義を詳しく論説できる。

その他

受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。
別に課題を与えて受講生による発表を行う。
内容は後期に続くため、「密教学特殊研究２」を続けて受講することを推薦する。
プログラムは改訂される場合がある。
已潅頂者（伝法潅頂を入壇した者）のみが受講できる。

科目名：密教学特殊研究２（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。
テ ー マ：『大日経』と胎蔵界の行法への理解を深める。

授業の概要

『大日経』の６巻 31 品は経典の本文であり、最後の第七巻の５品は『大日経』の法門による供養次第を説く儀軌である。新羅の不可思議撰の『大毘盧遮那経供養次第法疏』（『不思議疏』、２巻）はその注釈書である。『大日経』の第七巻と『不思議疏』を平行して講読する。

授業計画

1．『大日経』と『不思議疏』の行法体系
2．「供養儀式品第三」を読む
3．同上２
4．同上３
5．同上４
6．同上５
7．同上６
8．同上７
9．「持誦法則品第四」を読む
10. 同上２
11. 同上３
12. 同上４
13.「真言事業品第五」を読む
14. 同上２
15. 同上３
16. 試験

テキスト

『大日経』第七巻と高野版の『不思議疏』のコピーを配布

参考書・参考資料等

金剛智訳『大毘盧遮那仏説要略念誦経』やその他の漢訳儀軌、チベット訳『大毘盧遮那現等覚所属供養儀軌』の和訳、Giebel, Rolf W., The *Vairocanabhisambodhi Sūtra*, Berkeley: Numata Center for Buddhist Translation and Research, 2001、その他

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストの漢文を読み、用語を説明できる。
（良）テキストの漢文を読み、大意を解説できる。
（優）テキストの漢文を読み、真言密教における意義を詳しく論説できる。

その他

受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。
別に課題を与えて受講生による発表を行う。
後期から受講できるが、前期の「密教学特殊研究１」から続く内容のため、前期からの受講を推薦する。
プログラムは改訂される場合がある。
已潅頂者（伝法潅頂を入壇した者）のみが受講できる。

科目名：密教史特殊研究１（大）
学期：前期
単位数：2
担当者：土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山史に関する写本資料の翻刻を通して、近世初期の高野山内の動向を理解するとともに、資料調査の方法を修得する。
テ ー マ：：『高野山真俗興廃之記』の研究（1）

授業の概要

高野山上で展開された教学研究の歴史は、同時に中院流の歴史でもある。しかしながら、その内容については不明な点が多く、特に中世から近世にかけての高野山上の動向は判然としていない。
この講義では、蓮華三昧院光宥（？ -1653）の『高野山真俗興廃之記』（写本・翻刻有り）をとり上げ、諸本との校合を行ないつつその内容を確認し、近世初期の高野山における教団史・教学史の伝承について考察する。

授業計画

1．概論（講義の進め方についてのオリエンテーション）
2．『高野山真俗興廃之記』について（1）
3．　〃　（2）
4．『高野山真俗興廃之記』の翻刻作業（1）
5．　〃　（2）
6．　〃　（3）
7．　〃　（4）
8．　〃　（5）
9．　〃　（6）
10.　〃　（7）
11.　〃　（8）
12.　〃　（9）
13.　〃　（10）
14.　〃　（11）
15.　〃　（12）
16. 前期のまとめ

テキスト

・『高野山真俗興廃之記』（写本）慶安３年（1650）写
享保３年（1718）写
大正11年（1922）写

参考書・参考資料等

・長谷宝秀「高野山真俗興廃之記」、『密宗学報』第98号附録、1921年。
・栂尾祥雲『日本密教学道史』、『栂尾祥雲全集』6、密教文化研究所、1982年。
・『金剛峯寺諸院家析負輯』、『続真言宗全書』34／35、密教文化研究所、1976～1978年。
・『紀伊続風土記』、『続真言宗全書』36～40、密教文化研究所、1979年。
・※その他、授業中に指示します。

学生に対する評価

授業内での発表（80%）、レポート（20%）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）写本資料の内容を解読することができる。
（良）写本の内容について、諸資料から調査・検討することができる。
（優）『高野山真俗興廃之記』の資料的価値を学術的に論じることができる。

その他

・この授業は特殊研究ですが、担当を決めて発表資料を作り、発表をしてもらいます。
・担当回に無断で欠席した者は、失格にします。
・受講生の理解や希望に応じて進捗や進め方を変更する場合があります。
・この講義の成果は、担当者連名で『高野山大学大学院紀要』に投稿する予定です。

科目名：密教史特殊研究２（大）
学期：後期
単位数：2
担当者：土居夏樹

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：高野山史に関する写本資料の翻刻を通して、近世初期の高野山内の動向を理解するとともに、資料調査の方法を修得する。
テ ー マ：『高野山真俗興廃之記』の研究（1）

授業の概要

高野山上で展開された教学研究の歴史は、同時に中院流の歴史でもある。しかしながら、その内容については不明な点が多く、特に中世から近世にかけての高野山上の動向は判然としていない。
この講義では、蓮華三昧院光宥（？ -1653）の『高野山真俗興廃之記』（写本・翻刻有り）をとり上げ、諸本との校合を行ないつつその内容を確認し、近世初期の高野山における教団史・教学史の伝承について考察する。

授業計画

1．概論（講義の進め方についてのオリエンテーション）
2．『高野山真俗興廃之記』の翻刻作業 (13)
3．　〃　(14)
4．　〃　(15)
5．　〃　(16)
6．　〃　(17)
7．　〃　(18)
8．　〃　(19)
9．　〃　(20)
10.　〃　(21)
11.　〃　(22)
12.　〃　(23)
13.　〃　(24)
14.　〃　(25)
15.　〃　(26)
16. 後期のまとめ

テキスト

・『高野山真俗興廃之記』（写本）慶安３年（1650）写
享保３年（1718）写
大正11年（1922）写

参考書・参考資料等

・長谷宝秀「高野山真俗興廃之記」、『密宗学報』第98号附録、1921年。
・栂尾祥雲『日本密教学道史』、『栂尾祥雲全集』6、密教文化研究所、1982年。
・『金剛峯寺諸院家析負輯』、『続真言宗全書』34／35、密教文化研究所、1976～1978年。
・『紀伊続風土記』、『続真言宗全書』36～40、密教文化研究所、1979年。
・※その他、授業中に指示します。

学生に対する評価

授業内での発表（80%）、レポート（20%）で評価します。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）写本資料の内容を解読することができる。
（良）写本の内容について、諸資料から調査・検討することができる。
（優）『高野山真俗興廃之記』の資料的価値を学術的に論じることができる。

その他

・この授業は特殊研究ですが、担当を決めて発表資料を作り、発表をしてもらいます。
・担当回に無断で欠席した者は、失格にします。
・受講生の理解や希望に応じて進捗や進め方を変更する場合があります。
・この講義の成果は、担当者連名で『高野山大学大学院紀要』に投稿する予定です。

科目名：密教学演習AⅠ1（大）

学期：前期

単位数：2

担当者：南 昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な読解力・調査能力を養い、論文執筆に際しての形式などを修得し、文献を批判的に読む訓練をする。

テ ー マ：中文和訳。和文中訳。

授業の概要

受講者は、授業に際して、文献の翻訳、語彙の解説などを作成し、必要に応じて、補助的な資料を準備しなければならない。受講生相互の質疑によって、理解を深める。受講生には、資料作成による発表を必須とする。

授業計画

1．ガイダンス
2．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
3．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
4．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
5．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
6．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
7．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
8．（例）松長有慶『密教』の中訳
9．（例）松長有慶『密教』の中訳
10．（例）松長有慶『密教』の中訳
11．（例）松長有慶『密教』の中訳
12．（例）松長有慶『密教』の中訳
13．（例）松長有慶『密教』の中訳
14．（例）松長有慶『密教』の中訳
15．期末試験
16．答案返却

テキスト

授業計画は例であり、受講生が希望・持参したものを読む。

参考書・参考資料等

『密教大辞典』『仏教語大辞典』『大漢和辞典』『国史大辞典』など。

学生に対する評価

発表50%。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50%。授業中に発言がない者は欠席とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）中文和訳または和文中訳ができる。
（良）単純な翻訳に加え、専門用語を理解できる。
（優）論文執筆に十分な能力を備えている。

その他

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。

科目名：密教学演習AⅠ2（大）

学期：後期

単位数：2

担当者：南 昌宏

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な読解力・調査能力を養い、論文執筆に際しての形式などを修得し、文献を批判的に読む訓練をする。

テ ー マ：中文和訳。和文中訳。

授業の概要

受講者は、授業に際して、文献の翻訳、語彙の解説などを作成し、必要に応じて、補助的な資料を準備しなければならない。受講生相互の質疑によって、理解を深める。受講生には、資料作成による発表を必須とする。

授業計画

1．ガイダンス
2．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
3．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
4．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
5．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
6．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
7．（例）呂建福『中国密教史』の和訳
8．（例）松長有慶『密教』の中訳
9．（例）松長有慶『密教』の中訳
10．（例）松長有慶『密教』の中訳
11．（例）松長有慶『密教』の中訳
12．（例）松長有慶『密教』の中訳
13．（例）松長有慶『密教』の中訳
14．（例）松長有慶『密教』の中訳
15．期末試験
16．答案返却

テキスト

授業計画は例であり、受講生が希望・持参したものを読む。

参考書・参考資料等

『密教大辞典』『仏教語大辞典』『大漢和辞典』『国史大辞典』など。

学生に対する評価

発表50%。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50%。授業中に発言がない者は欠席とする。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）中文和訳または和文中訳ができる。
（良）単純な翻訳に加え、専門用語を理解できる。
（優）論文執筆に十分な能力を備えている。

その他

授業実数の３分の１を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は２分の１欠席と計算する。

科目名：密教学演習BⅠ1（大）

学期：前期

単位数：2

担当者：乾 龍仁

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教儀礼に関する漢文読解力と知識を培う

テ ー マ：空海の受法した灌頂とその後の展開

授業の概要

密教はいわゆる秘密仏教としての性格をもつ。その理由となるのは二つある。一つには、密教は本来灌頂という入門儀礼を受けた者以外には公開されない教えであること。灌頂を受けない者には非公開という秘密性をもつということである。もう一つは、凡夫には想像の及ばない仏の悟りの秘密を、密教は象徴によって開示する教えであるということ。その象徴というのは、印・真言・曼荼羅という三要素である。これらは入門儀礼である灌頂を受けて初めて授かることができるのである。この授業では主に漢籍史料を用いて中国および日本における灌頂儀礼の展開を考える。

授業計画

1．はじめに（オリエンテーション）
2．空海の御将来目録１
3．空海の御将来目録２
4．実恵等書状にみる灌頂
5．高雄山寺での灌頂１
6．高雄山寺での灌頂２
7．平城上皇への灌頂
8．義真阿闍梨記録を読む１
9．義真阿闍梨記録を読む２
10．義真阿闍梨記録を読む３
11．義真阿闍梨記録を読む４
12．義真阿闍梨記録を読む５
13．修論 中間報告会
14．修論 中間報告会
15．レポート提出
16．レポート講評

テキスト

武内孝善『空海伝の研究』（吉川弘文館）所収の論文・翻刻等を用いる。
その他、『定本弘法大師全集』等よりコピーを配布。

参考書・参考資料等

武内孝善『空海伝の研究』（吉川弘文館）
甲田宥吽「恵果和尚以後の密教僧たち」『密教文化研究所紀要』15
その他、授業中に適宜指示する。

学生に対する評価

レポート（80%）、授業参加への積極性（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストの漢文を訓読することができる。
（良）テキストの漢文を訓読し、用語について説明できる。
（優）テキストの漢文を訓読し、用語について説明でき、引用文の典拠を確認できる。

その他

授業に望むにあたっては、予め漢文が読めるように予習してくること。その上で、用語の意味を調べ、内容が理解できるように努めること。また引用文については典拠を確認してくること。

科目名：密教学演習BⅠ2（大）

学期：後期

単位数：2

担当者：乾 龍仁

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教儀礼に関する漢文読解力と知識を培う

テ ー マ：空海の受法した灌頂とその後の展開

授業の概要

前期に引き続いて、中国および日本における灌頂儀礼の展開を考える。後期は、主に『大日経』と『金剛頂経』を取り上げて、それぞれの灌頂儀礼の特色を確認し、中国・日本の灌頂儀礼の展開を考える。なお後期も修論の中間報告会を実施する。

授業計画

1．はじめに（オリエンテーション）
2．『大日経』具縁品の灌頂儀礼１
3．『大日経』具縁品の灌頂儀礼２
4．『大日経』具縁品の灌頂儀礼３
5．修論 中間報告会
6．『大日経疏』を読む１
7．『大日経疏』を読む２
8．『大日経疏』を読む３
9．『金剛頂経』の灌頂儀礼１
10．『金剛頂経』の灌頂儀礼２
11．『金剛頂経』の灌頂儀礼３
12．『金剛頂経』の灌頂儀礼４
13．『金剛頂経』の灌頂儀礼５
14．『金剛頂経』の灌頂儀礼６
15．レポート提出
16．レポート講評

テキスト

善無畏・一行共訳『大毘盧遮那成仏神変加持経』大正18巻848番
一行記『大毘盧遮那成仏経疏』大正39巻1796番
不空訳『金剛頂一切如来真実摂大乗現証大教王経』大正18巻865番
金剛智訳『金剛頂瑜伽中略出念誦経』大正18巻866番

参考書・参考資料等

『新国訳大蔵経』（大蔵出版）、『国訳一切経』（大東出版社）の国訳を随時参照する。
頼富本宏『『大日経』入門』大法輪閣
頼富本宏『『金剛頂経』入門』大法輪閣
その他、授業中に適宜指示する。

学生に対する評価

レポート（80%）、授業参加への積極性（20%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストの漢文を訓読することができる。
（良）テキストの漢文を訓読し、用語について説明できる。
（優）テキストの漢文を訓読し、用語について説明でき、引用文の典拠を確認できる。

その他

授業に望むにあたっては、予め漢文が読めるように予習してくること。その上で、用語の意味を調べ、内容が理解できるように努めること。また引用文については典拠を確認してくること。

科目名

密教史演習A−1（大）

学期 前期

単位数 2

担当者 奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的文脈に当てはめて解釈できるようになること。
テ ー マ：土宜法龍の研究

授業の概要

土宜法龍（どぎ・ほうりゅう 1854 − 1923）は日本近代の代表的な真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を歴任し、明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探ってゆく。基本的には、当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。

授業計画

1．　ガイダンス
2〜4．土宜法龍の生涯
5〜15.『木母堂全集』を読む
16.　まとめ

テキスト

宮崎忍海編『木母堂全集』

参考書・参考資料等

奥山直司「近代日本仏教史の中の土宜法龍」『環』vol.35、2008 年
奥山直司「土宜法龍と南方熊楠」『南方熊楠の森』方丈堂出版、2003 年

学生に対する評価

予習・発表準備状況（60%）、授業参加状況（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）法龍の書いた文章の内容を理解し、まとめることができる。
（良）法龍の書いた文章の内容を分析し、そこに込められた思想のアウトラインを描くことができる。
（優）法龍の思想と行動を近代日本密教史の中に位置づけることができる。

その他

科目名

密教史演習A−2（大）

学期 後期

単位数 2

担当者 奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的文脈に当てはめて解釈できるようになること。
テ ー マ：土宜法龍の研究

授業の概要

土宜法龍（どぎ・ほうりゅう 1854 − 1923）は日本近代の代表的な真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を歴任し、明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探ってゆく。基本的には、当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。

授業計画

1．　ガイダンス
2〜4．土宜法龍の生涯
5〜15.『木母堂全集』を読む
16.　まとめ

テキスト

宮崎忍海編『木母堂全集』大空社

参考書・参考資料等

奥山直司「近代日本仏教史の中の土宜法龍」『環』vol.35、2008 年
奥山直司「土宜法龍と南方熊楠」『南方熊楠の森』方丈堂出版、2003 年

学生に対する評価

予習・発表準備状況（60%）、授業参加状況（40%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）法龍の書いた文章の内容を理解し、まとめることができる。
（良）法龍の書いた文章の内容を分析し、そこに込められた思想のアウトラインを描くことができる。
（優）法龍の思想と行動を近代日本密教史の中に位置づけることができる。

その他

科目名

密教学講読（大）

学期 後期

単位数 2

担当者 佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：『菩提心論』の講読を通して密教瞑想法の理解を深めることを目的とする。
テ ー マ：『菩提心論』の研究。

授業の概要

『菩提心論』は勝義、行願、三摩地の三種心を説く。このうち、三摩地段は古来不読段に触れる場合が少なくない。そこで今回は、『菩提心論』の三摩地段に着目して講義を進める。『菩提心論』の講読を通して密教の構造を解明する端緒としたい。

授業計画

1．オリエンテーション
2．『菩提心論』梗概
3．『菩提心論』梗概
4．『釈摩訶衍論』梗概
5．『菩提心論』「菩提心の概説」①
6．『菩提心論』「大悲行願心について」②
7．『菩提心論』「大悲行願心について」③
8．『菩提心論』「大智勝義心について」④
9．『菩提心論』「大智勝義心について」⑤
10．『菩提心論』「大智勝義心について」⑥
11．『菩提心論』「大定三摩地心について」⑦
12．『菩提心論』「大定三摩地心について」⑧
13．『菩提心論』「大定三摩地心について」⑨
14．『菩提心論』「大定三摩地心について」⑩
15．三種心の総復習とレポート提出
16．総括

テキスト

『菩提心論』（『十巻章』高野山大学出版部）

参考書・参考資料等

吉祥真雄著『菩提心論講説』藤井佐兵衛
小田慈舟著『十巻章講説』高野山出版社
田中千秋著『田中千秋著作講話集』高野山出版社
生井智紹編『密教　自心の探求『菩提心論』を読む』大法輪閣

学生に対する評価

授業参加への積極性（40%）　レポート（60%）とし評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）漢文によって『菩提心論』を読む事ができる。
（良）『菩提心論』に関する注釈書を読み理解できる。
（優）『菩提心論』について先行研究を踏まえて自分の独自の見解を合理的に説明できる。

その他

演習形式で講義を進めるので予習して準備をしておいてください。なお原則毎回出席をお願いします。

科目名

密教史講読A−1（大）

学期 前期

単位数 2

担当者 松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教の付法の歴史について理解を深め、かつ文献の読解力と分析力を高める。
テ ー マ：『秘密漫荼羅教付法傳』を読む。

授業の概要

『秘密漫荼羅教付法傳』は、通常『広付法傳』と呼ばれ、密教の付法を授受した祖師たちの伝記を叙述し、空海自らが密教を相承した正嫡としての証を立てる目的を持つ。本文に典拠として引用される経録、史伝、碑文等も含め講読し、密教の相承に関する理解を深めることを目的とする。基本的には当番制でテキストを読み、発表する形で授業を進める。

授業計画

1．ガイダンス
2．付法傳の歴史的背景
3．『広付法傳』講読 1　因起感通分第一　叙意
4．『広付法傳』講読 2　叙意
5．『広付法傳』講読 3　第一祖大日如来　金剛薩埵
6．『広付法傳』講読 4　龍猛①
7．『広付法傳』講読 5　龍猛②
8．『広付法傳』講読 6　龍智
9．『広付法傳』講読 7　金剛智①
10．『広付法傳』講読 8　金剛智②
11．『広付法傳』講読 9　金剛智③
12．『広付法傳』講読 10 金剛智④
13．『広付法傳』講読 11 金剛智⑤
14．『広付法傳』講読 12 金剛智⑥
15．『広付法傳』講読 13 金剛智⑦
16．まとめ

テキスト

「定本弘法大師全集」第一巻

参考書・参考資料等

『密教』中央文庫　松長有慶
『弘法大師空海全集』第二巻　筑摩書房

学生に対する評価

予習状況（50%）、授業参加状況（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）付法傳を正確に読むことができる。
（良）付法傳の内容を理解できる。
（優）付法傳の内容に関して新しい知見を見出すことができる。

その他

十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名
密教史講読A－2（大）

学期 後期
単位数 2
担当者 松長恵史

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：密教の付法の歴史について理解を深め、かつ文献の読解力と分析力を高める。
テーマ：『秘密漫荼羅教付法傳』を読む。

授業の概要

秘密漫荼羅教付法傳』は、通常『広付法傳』と呼ばれ、密教の付法を授受した祖師たちの伝記を叙述し、空海自らが密教を相承した正嫡としての証を立てる目的を持つ。本文に典拠として引用される経録、史伝、碑文等も含め講読し、密教の相承に関する理解を深めることを目的とする。基本的には当番制でテキストを読み、発表する形で授業を進める。

授業計画

1．ガイダンス
2．付法傳　前期授業のまとめ
3．『広付法傳』講読14　不空①
4．『広付法傳』講読15　不空②
5．『広付法傳』講読16　不空③
6．『広付法傳』講読17　不空④
7．『広付法傳』講読18　不空⑤
8．『広付法傳』講読19　不空⑥
9．『広付法傳』講読20　不空⑦
10．『広付法傳』講読21　不空⑧
11．『広付法傳』講読22　恵果①
12．『広付法傳』講読23　恵果②
13．『広付法傳』講読24　恵果③
14．『広付法傳』講読25　恵果④
15．『広付法傳』講読26　問答決疑
16．まとめ

テキスト

「定本弘法大師全集」第一巻

参考書・参考資料等

『密教』中央文庫　松長有慶
『弘法大師空海全集』第二巻　筑摩書房

学生に対する評価

予習状況（50%）、授業参加状況（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）付法傳を正確に読むことができる。
（良）付法傳の内容を理解できる。
（優）付法傳の内容に関して新しい知見を見出すことができる。

その他

十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名
密教史講読B－1（大）

学期 前期
単位数 2
担当者 奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：梵語で書かれた密教経論のテクストをチベット語訳・漢訳と対照して読解できるようになる。
テーマ：梵語密教文献を読む

授業の概要

梵語で書かれた密教の経論を取り上げ、そのテクストを写本から起こし、チベット語訳･漢訳と対照の上、読解する。この訓練を通じて、梵蔵漢それぞれのテクストの扱い方を身につける。そのため受講者は毎回定められた箇所について予習して授業に臨まなければならない。

授業計画

1．ガイダンス
2．『サーダナマーラー』を読む（1）
3．『サーダナマーラー』を読む（2）
4．『サーダナマーラー』を読む（3）
5．『サーダナマーラー』を読む（4）
6．『サーダナマーラー』を読む（5）
7．『サーダナマーラー』を読む（6）
8．『サーダナマーラー』を読む（7）
9．『サーダナマーラー』を読む（8）
10．『サーダナマーラー』を読む（9）
11．『サーダナマーラー』を読む（10）
12．『パンチャラクシャー』を読む（1）
13．『パンチャラクシャー』を読む（2）
14．『パンチャラクシャー』を読む（3）
15．『パンチャラクシャー』を読む（4）
16．『パンチャラクシャー』を読む（5）

テキスト

『サーダナマーラー』『パンチャラクシャー』の写本並びにその校訂テクスト（授業において説明する）

参考書・参考資料等

塚本啓祥・松長有慶・磯田熙文編『梵語仏典の研究　Ⅳ密教経典篇』（平楽寺書店、1989年）

学生に対する評価

発表（50%）、予習を含む授業参加（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）写本の文字を正確にローマナイズできる。
（良）ローマナイズした梵文テクストをチベット語訳・漢訳と合わせることができる。
（優）梵蔵漢合璧テクストを読解し、内容を分析することができる。

その他

科目名
密教史講読B－2（大）

学期 後期
単位数 2
担当者 奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：梵語で書かれた密教経論のテクストをチベット語訳・漢訳と対照して読解できるようになる。
テーマ：梵語密教文献を読む

授業の概要

梵語で書かれた密教の経論を取り上げ、そのテクストを写本から起こし、チベット語訳･漢訳と対照の上、読解する。この訓練を通じて、梵蔵漢それぞれのテクストの扱い方を身につける。そのため受講者は毎回定められた箇所について予習して授業に臨まなければならない。

授業計画

1．ガイダンス
2．『初会金剛頂経』を読む（1）
3．『初会金剛頂経』を読む（2）
4．『初会金剛頂経』を読む（3）
5．『初会金剛頂経』を読む（4）
6．『初会金剛頂経』を読む（5）
7．『初会金剛頂経』を読む（6）
8．『初会金剛頂経』を読む（7）
9．『初会金剛頂経』を読む（8）
10．『初会金剛頂経』を読む（9）
11．『初会金剛頂経』を読む（10）
12．『初会金剛頂経』を読む（11）
13．『初会金剛頂経』を読む（12）
14．『初会金剛頂経』を読む（13）
15．『初会金剛頂経』を読む（14）
16．『初会金剛頂経』を読む（15）

テキスト

『初会金剛頂経』の写本並びにその校訂テクスト（授業において説明する）

参考書・参考資料等

塚本啓祥・松長有慶・磯田熙文編『梵語仏典の研究　Ⅳ密教経典篇』（平楽寺書店、1989年）

学生に対する評価

発表（50%）、予習を含む授業参加（50%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）写本の文字を正確にローマナイズできる。
（良）ローマナイズした梵文テクストをチベット語訳・漢訳と合わせることができる。
（優）梵蔵漢合璧テクストを読解し、内容を分析することができる

その他

科目名
現代社会と宗教（大）

学期 後期
単位数 2
担当者 奥山直司

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：現代仏教の抱える問題点について理解を深める
テーマ：アジアの社会参加仏教

授業の概要

現代仏教の特徴のひとつは、エンゲイジド・ブッディズムの隆盛である。本授業では、アジア各地の仏教が現代社会の抱えている問題にどのように取り組んでいるかを、「社会参加仏教」の視点から検討してゆく。基本的には当番がテキストを読んでレジュメを作り、発表する形式で授業を進める。

授業計画

1．ガイダンス
2．東アジアの政教関係と福祉①
3．東アジアの政教関係と福祉②
4．近代日本の政教関係と宗教の社会参加①
5．近代日本の政教関係と宗教の社会参加②
6．妹尾義郎と新興仏教青年同盟の反戦・平和運動①
7．妹尾義郎と新興仏教青年同盟の反戦・平和運動②
8．東南アジアの政教関係①
9．東南アジアの政教関係②
10．ミャンマーの社会参加仏教
11．ベトナムの政教関係
12．インドネシアの政教関係と仏教の展開
13．南アジアの政教関係
14．バングラデシュの政教関係とマイノリティ仏教徒
15．政治的締めつけと文化的想像力

テキスト

櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武編著『アジアの社会参加仏教　政教関係の視座から』北海道大学出版会、2015年

参考書・参考資料等

教室で指示する。

学生に対する評価

授業への参加度（40%）・レポート（60%）で評価する。

養成をめざす力

表現力、思索力

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）テキストを正確に読解できる
（良）テキストの内容を要約し、問題点を析出できる
（優）現代仏教の抱える諸問題を分析し、解決策を提言できる

その他

科目名
密教と文化 仏教と文化（大）（大）
学期
後期
単位数
2
担当者
前谷 彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：幸福とは何か。『ラッセル幸福論』「第二部」の読解を通して、宗教は人々を幸福にするか否かの問題について考察する。
テ ー マ：哲学と宗教の対話

授業の概要
言葉の意味概念を厳密に捉えるトレーニングを行いながら、哲学と宗教とがいかに対話すべきなのかについて考えて行く。

授業計画
1．オリエンテーション　哲学・宗教・幸福の意味概念について解説
2．『ラッセル幸福論』第10章「幸福はそれでも可能か」を読む。
3．　　　　　　同
4．第11章「熱意」を読む。
5．第12章「愛情」を読む。
6．第13章「家族」を読む。
7．第14章「仕事」を読む。
8．第15章「私心のない興味」を読む。
9．　　　　　　同
10．第16章「努力とあきらめ」を読む。
11．　　　　　　同
12．第17章「幸福な人」を読む。
13．　　　　　　同
14～15．1から13までに読んだ内容から、矛盾点や問題点を抽出し、それらについて議論する。

テキスト
『ラッセル幸福論』安藤貞雄訳　岩波文庫

参考書・参考資料等
必要に応じて担当者が紹介する。

学生に対する評価
学期末のレポート（100%）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）講義で支持する課題をこなすこと。
（良）書籍を読んで、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を持っていること。
（優）疑問点や問題点を文章としてまとめる能力を身につけること。

その他

科目名
事相研究Ⅰ－1（大）
学期
前期
単位数
2
担当者
齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要
葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。

授業計画
1．　葬送儀礼の歴史
2．　真言宗の葬儀
3～16．導師と職衆の心得
高野山の寺家の葬儀（1）～（9）
戒名について
葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等）
葬儀に関する質疑応答

テキスト
宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂

参考書・参考資料等
自習は不要、予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。

学生に対する評価
レポート提出により採点（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）「高野山の寺家と在家の葬儀」について理解している。
（良）「高野山の寺家と在家の葬儀」について大まかに説明できる。
（優）「高野山の寺家と在家の葬儀」について、よく理解し、詳しい説明が出来る。

その他
【受講資格について】
原則として伝法潅頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已潅頂者と未潅頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名
事相研究Ⅰ－2（大）
学期
後期
単位数
2
担当者
齋藤天譽

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得
テ ー マ：葬送儀礼の実践習得

授業の概要
『引導畧作法（二巻疏）』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。

授業計画
1～16．『引導畧作法（二巻疏）』の伝授と解説（1）～（15）

テキスト
宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂

参考書・参考資料等
自習は不要、予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。

学生に対する評価
レポート提出により採点（100%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）「二巻疏」と「葬儀の構成」を理解している。
（良）「二巻疏」について説明が出来る。
（優）「二巻疏」の詳しい説明を後進の者に伝えられる。

その他
【受講資格について】
原則として伝法潅頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。
但し、已潅頂者と未潅頂者は、区別して講義します。（詳細は開講時に）

科目名
事相研究Ⅱ－1（大） 事相研究Ⅰ（聖教の伝授と実習）（別）
学期
前期
単位数
2
担当者
佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：秘密事相の基礎知識を習得することを授業の目的とする。
テ ー マ：秘密事相の研究

授業の概要
初心者を対象に基礎知識の習得に重点を置く。浄厳の『通用字輪観口訣』を読む。

授業計画
1．授業についてのオリエンテーション
2．三種秘観について
3．浄厳和尚について
4～15．『通用字輪観口訣』を読む
16．総括
上記項目にしたがって、1～3は講義形式。4～15は講義と演習討論形式とを併用しながら授業を行う。これによって、事相研究の方法論を身につけるようにする。

テキスト
コピーにて配布する。

参考書・参考資料等
『新安流四度口訣集』

学生に対する評価
期末レポート（65%）　課題発表（20%）　小テスト（15%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）テキスト（漢文写本）を読み下すことが出来る。
（良）字輪観についてテキストに従って説明できる。
（優）字輪観についてテキスト以外の文献を参照して説明することができる。

その他

科目名	
事相研究Ⅱ（聖教の伝授と実習）（別） 事相研究Ⅱ－2（大）	
学期	後期
単位数	2
担当者	佐藤隆彦

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：理趣経法の専門知識を習得することを授業の目的とする。
テ ー マ：理趣経法の研究

授業の概要
潅頂終了者を対象に理趣経法の高度な知識の習得に重点を置く。

授業計画
1．授業についてのオリエンテーション
2．事相の歴史
3．四度の行法と次第
4．潅頂と印可
5．各種の修法
6．諸流派の行要
7．印と真言
8．聖教の解説
9．『理趣經法』の歴史
10～15『理趣經法』の実際（伝受）
16. レポート講評
上記項目にしたがって、講義形式で授業を行う。

テキスト
中川善教『理趣経法』（數珠屋四郎兵衞）

参考書・参考資料等
栂尾祥雲『祕密事相の研究』（臨川書店）
上田霊城『真言密教事相概説』四度部、諸尊法潅頂部上、下（同朋舎）
高見寛恭『理趣法の意得』

学生に対する評価
期末レポート（65％） 課題発表（20％） 小テスト（15％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）『理趣経法』が修法できる。
（良）『理趣経法』についてその構成を説明できる。
（優）『理趣経法』の目指す方向を合理的に説明できる。

その他
伝受については僧衣で受講のこと。

科目名	
仏教学特殊研究1（大）	
学期	前期
単位数	2
担当者	前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：原語と漢訳語の比較作業を通して、仏教思想のある意味での「歪み」を修正できればよいと考えている。
テ ー マ：原典における原語と漢訳語の異相

授業の概要
サンスクリット語やパーリ語の原典における原語と、漢訳語との間には仏教思想を根底から覆さなければならないような重要な異相を認めることができるので、当講義では重要な原語を取り上げ、それらの語がどのような漢語に置き換えられているかを検証することによって、仏教思想の誤謬性について考察する。

授業計画
1．原語と翻訳語の異相全般について概略する。
2．八正道について
3．梵行・清浄行について
4．顕示・開顕について
5．　　同上
6．苦行について
7．清浄について
8．菩提心・菩薩について
9．一乗・一趣道について
10. 一心について
11. 涅槃について
12. 渇愛について
13. 小乗・大乗・密教について
14. 　　同上
15. まとめ
16.

テキスト
担当者がプリントを用意する。

参考書・参考資料等
必要に応じて紹介する。

学生に対する評価
学期末のレポートによって評価（100％）する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）漢訳語の曖昧さを疑う力を身につける。
（良）原典と漢訳経典におけるキーワードを比較することができる。
（優）仏教における問題のある原語を自分の言葉で説明できる。

その他

科目名	
仏教史演習1（大）	
学期	前期
単位数	2
担当者	前谷彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏教の基礎知識を養う。
テ ー マ：仏教要語の意味を徹底的に探究する。

授業の概要
前期は仏教要語の基礎知識を養う。

授業計画
1．オリエンテーション
2～15回（前期）は、仏教要語を原語から掘り出し、その意味を解説する。

テキスト
担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等
必要に応じて担当者が紹介する。

学生に対する評価
学期末のレポート（100％）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）講義で支持する課題をこなすこと。
（良）仏教要語を原語に置換する能力を身に着ける。
（優）仏教要語に関して、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を身に着ける。

その他

科目名
仏教史演習２（大）
学期
後期
単位数
2
担当者
前谷　彰

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：修士論文の書き方を訓練する。
テ ー マ：学術論文をいかに作成するか。

授業の概要
修士論文を作成する能力を、個人指導によって養成する。

授業計画
1．オリエンテーション
2～15回　修士論文作成指導。

テキスト
担当者が用意する。

参考書・参考資料等
必要に応じて担当者が紹介する。

学生に対する評価
学期末のレポート（100％）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）講義で支持する課題をこなすこと。
（良）書籍を読んで、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を持っていること。
（優）修士論文を基本的手続きを経て作成できること。

その他

科目名
仏教史講読１（大）
学期
前期
単位数
2
担当者
浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：高野山に関する軍記文学の特徴を理解する。
テ ー マ：高野山関係軍記文学の研究

授業の概要
織田信長の高野攻めを描く軍記文学『天正高野治乱記』を取り上げる。受講者と相談の上、各回の発表者を決め、本文を翻刻して諸本を対観する。同作品の構造や表現、または背景となった事柄について発表してもらう。

授業計画
1．ガイダンス－講義の進め方－
2．後期軍記の世界
3．『天正高野治乱記』読解①
4．『天正高野治乱記』読解②
5．『天正高野治乱記』読解③
6．『天正高野治乱記』読解④
7．『天正高野治乱記』読解⑤
8．『天正高野治乱記』読解⑥
9．『天正高野治乱記』読解⑦
10．『天正高野治乱記』読解⑧
11．『天正高野治乱記』読解⑨
12．『天正高野治乱記』読解⑩
13．『天正高野治乱記』読解⑪
14．『天正高野治乱記』読解⑫
15．『天正高野治乱記』読解⑬
16．まとめ

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
古典遺産の会編『戦国軍記事典』群雄割拠篇･天下統一篇（和泉書院）

学生に対する評価
発表（60％）、受講態度（40％）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）『天正高野治乱記』の基本的な事柄について理解している。
（良）『天正高野治乱記』について、他文献を利用して、その特徴を述べることができる。
（優）『天正高野治乱記』を基にして、高野山関係軍記文学の特徴を述べることができる。

その他
4回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。発表とディスカッションが中心である。積極的な受講を求める。

科目名
仏教史講読２（大）
学期
後期
単位数
2
担当者
浜畑圭吾

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：高野山に関する軍記文学の特徴を理解する。
テ ー マ：高野山関係軍記文学の研究

授業の概要
織田信長の高野攻めを描く軍記文学『天正高野治乱記』を取り上げる。前期の続きとして受講者と相談の上、各回の発表者を決め、本文を翻刻して諸本を対観する。同作品の構造や表現、または背景となった事柄について発表してもらう。

授業計画
1．ガイダンス－講義の進め方－
2．『天正高野治乱記』読解①
3．『天正高野治乱記』読解②
4．『天正高野治乱記』読解③
5．『天正高野治乱記』読解④
6．『天正高野治乱記』読解⑤
7．『天正高野治乱記』読解⑥
8．『天正高野治乱記』読解⑦
9．『天正高野治乱記』読解⑧
10．『天正高野治乱記』読解⑨
11．『天正高野治乱記』読解⑩
12．『天正高野治乱記』読解⑪
13．『天正高野治乱記』読解⑫
14．『天正高野治乱記』読解⑬
15．『天正高野治乱記』読解⑭
16．まとめ

テキスト
教員が用意する。

参考書・参考資料等
古典遺産の会編『戦国軍記事典』群雄割拠篇･天下統一篇（和泉書院）

学生に対する評価
発表（60％）、受講態度（40％）によって評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）『天正高野治乱記』の基本的な事柄について理解している。
（良）『天正高野治乱記』について、他文献を利用して、その特徴を述べることができる。
（優）『天正高野治乱記』を基にして、高野山関係軍記文学の特徴を述べることができる。

その他
4回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。発表とディスカッションが中心である。積極的な受講を望む。

科目名
仏教芸術の研究１（大）
学期
前期
単位数
2
担当者
和田圭子

授業の到達目標及びテーマ
到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。
テ ー マ：仏像のかたち－その姿と意味　如来・菩薩編

授業の概要
仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。
授業では、仏画、仏像等、現存遺品の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印･持物の意味を考察し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画
1．はじめに：仏教美術の基礎知識
2．釈迦如来
3．薬師如来
4．阿弥陀如来
5．毘盧遮那仏と大日如来
6．弥勒仏と弥勒菩薩
7．十一面観音
8．千手観音
9．不空羂索観音等
10．如意輪観音等
11．文殊菩薩
12．普賢菩薩
13．地蔵菩薩
14．虚空蔵菩薩
15．妙見菩薩等
16．レポートの課題に関する解説と講評

テキスト
授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等
至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
関根俊一編『仏尊の事典』学習研究社
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価
授業参加の積極性（40％）、期末レポート（60％）の比率で評価する。後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する4000字程度のレポートを提出する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）
（可）各尊像の姿や形像について理解している。
（良）各尊像の成立と信仰の歴史について基礎的な知識がある。
（優）各尊像の代表的な作例の画像を見ながら、その特徴や形像について説明できる。

その他
仏教美術の研究２（大）（後期）を履修・聴講することが望ましい。

霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像のかたちについて研究してください。

科目名
仏教芸術の研究２（大）
学期
後期
単位数
２
担当者
和田圭子

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功徳や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。
テーマ：仏像のかたち－その姿と意味　明王・天・その他編

授業の概要

仏尊は如來・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、仏画、仏像等、現存遺品の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。

授業計画

1．不動明王
2．五大明王
3．愛染明王
4．孔雀明王
5．梵天・帝釈天
6．吉祥天・弁才天
7．四天王
8．毘沙門天
9．十二天
10．十二神将
11．八部衆等
12．閻魔・十王
13．仏弟子・祖師等
14．垂迹神等
15．その他
16．レポートの課題に関する解説と講評

テキスト

授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。

参考書・参考資料等

水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』
至文堂編『日本の美術』ぎょうせい
『日本美術全集』講談社

学生に対する評価

授業参加の積極性（40％）、期末レポート（60％）の比率で評価する。
後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）各尊像の姿や形像について理解している。
（良）各尊像の成立と信仰の歴史について基礎的な知識がある。
（優）各尊像の代表的な作例の画像を見ながら、その特徴や形像について説明できる。

その他

仏教芸術の研究１（大）（前期）を履修・聴講することが望ましい。
霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像の特徴について研究してください。

科目名
アジア地域の宗教文化の研究（大）
学期
後期
単位数
２
担当者
井上ウィマラ

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：スリランカ、ミャンマー、タイなどの上座仏教に伝わる瞑想実践の根拠になっている基本文献を学んだ上で、それらが現代の西洋仏教においてでどのように応用されているのかを知る。
テーマ：上座仏教の瞑想実践と現代的応用としてのマインドフルネス

授業の概要

教材を読み進めながら、多角的に考察し議論していく。パーリ語による勤行やヴィパッサナー瞑想の実践も取り入れて、文献に示されていることを体感し理解できるように工夫する。

授業計画

1．自己紹介と授業の流れ（西洋仏教とアジアの伝統仏教について）
2．マインドフルネスとはなにか？
3．三宝帰依の意味
4．戒・定・慧という修行のステップ
5．解脱と悟りについて
6．「大念住経」略説を読む
7．「大念住経」身体に関する随観を読む
8．「大念住経」身体に関する随観を読む
9．「大念住経」感受に関する随観を読む
10．「大念住経」心に関する随観を読む
11．「大念住経」法に関する随観を読む
12．「大念住経」法に関する随観を読む
13．仏教瞑想と心理療法
14．マインドフルネスによる燃えつき防止法：GRACEプログラムの紹介
15．ふりかえりとまとめ
16．レポート返却と講評

テキスト

『南方仏教基本聖典』　ウ・ウェープッラ　仏教書林中山書房
（書店で購入）

参考書・参考資料等

『中部根本五十経篇Ⅰ』　片山一良訳　大蔵出版
『マインドフルな生き方』　クリストファー・ティットムス　産調出版
『マインドフルネスストレス低減法』　ジョン・カバットジン（書店で購入）北大路書房
『ブッダのサイコセラピー』　マーク・エプスタイン　春秋社（書店で購入）
『仏教心理学キーワード事典』　春秋社

学生に対する評価

授業への参加態度（30％）と期末レポート（70％）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）ヴィパッサナー、マインドフルネスについて理解できている。
（良）講読した基礎的文献をよく理解し、ヴィパッサナーやマインドフルネスの特徴が説明できる。
（優）授業で学んだことをよく理解して、他の瞑想との類似点や相違点を明確に説明できる。

その他

授業の最初に瞑想をしますので、坐りやすい服装でご参加ください。

科目名
比較宗教の研究（大）
学期
後期
単位数
２
担当者
森本一彦

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：民俗宗教に関する論文や歴史資料を読むことを通して、日本の信仰の特徴を理解するとともに、読解力を高める。
テーマ：民俗宗教の研究

授業の概要

日本における民俗宗教について、論文や歴史資料を講読することによって、日本の信仰の特徴について検討をする。授業中に受講者にテキストを音読するとともに、解説してもらう。

授業計画

1．ガイダンス
2．民俗宗教に関する論文を読む（1）
3．民俗宗教に関する論文を読む（2）
4．民俗宗教に関する論文を読む（3）
5．民俗宗教に関する論文を読む（4）
6．民俗宗教に関する論文を読む（5）
7．民俗宗教に関する論文を読む（6）
8．民俗宗教に関する論文を読む（7）
9．民俗宗教に関する歴史資料を読む（1）
10．民俗宗教に関する歴史資料を読む（2）
11．民俗宗教に関する歴史資料を読む（3）
12．民俗宗教に関する歴史資料を読む（4）
13．民俗宗教に関する歴史資料を読む（5）
14．民俗宗教に関する歴史資料を読む（6）
15．日本における民俗宗教の特徴
16．

テキスト

プリントを配布する。

参考書・参考資料等

森本一彦『先祖祭祀と家の確立－「半檀家」から一家一寺へ』
ミネルヴァ書房
日野西眞定『お大師さんと高野山〔奥の院〕』慶友社
その他授業中に紹介する。

学生に対する評価

レポート（60％）、論文や資料の音読、意見発表など積極的な授業態度（40％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）論文や資料を読むことができる。
（良）論文や資料の内容を理解して、要約することができる。
（優）論文や資料の内容について、自分の意見を述べることができる。

その他

授業で講読する論文や歴史資料については、受講生の研究関心に合わせながら初回の授業で決定する。授業は受講生が論文や歴史資料を音読・解説をする形式で進めて行くので、必ず予習をすること。

科目名
現代社会と仏教の研究１（大）
学期
前期
単位数
２
担当者
T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：英文の読解力を向上しながら、仏教の基礎知識を再確認し、現代社会におけるその役割と応用を考える。
テーマ：英文を通じて仏教の教えとその現代社会における貢献を考察する。

授業の概要

英語を通じて仏教の基本的な用語とテーマを学習しながら、現代社会が直面する問題に対して仏教から何を学べるかを考察する。仏教のテーマをまとまった英文の論文集を読みながら、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。

授業計画

1．イントロダクション
2．Buddha
3．　同上
4．　同上
5．　同上
6．Person
7．　同上
8．　同上
9．Death
10．　同上
11．　同上
12．　同上
13．Power
14．　同上
15．　同上
16．試験

テキスト

Lopez, Donald S., Jr. *Critical Terms for the Study of Buddhism*. Chicago University Press, 2005.

参考書・参考資料等

Keown, Damien. *Buddhism, A Very Short Introduction*, 2nd ed. Oxford University Press, 2013.

学生に対する評価

レポート（50％）、発表（20％）、授業参加の積極性（30％）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）英文を解読し和訳でき、用語を説明できる。
（良）英文を解読し和訳し、その意味について説明できる。
（優）英文を解読し和訳し、その意味について仏教の思想をまとめることができる。

その他

参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。
テキストのテーマに沿って、別に課題を与えて受講生による発表を行う。
英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。
プログラムは改訂される場合がある。

科目名
現代社会と仏教の研究２（大）
学期
後期
単位数
2
担当者
T・ドライトライン

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：英文の読解力を向上しながら、仏教の基礎知識を再確認し、現代社会におけるその役割と応用を考える。
テ ー マ：英文を通じて仏教の教えとその現代社会における貢献を考察する。

授業の概要

英語を通じて仏教の基本的な用語とテーマを学習しながら、現代社会が直面する問題に対して仏教から何を学べるかを考察する。仏教のテーマをまとまった英文の論文集を読みながら、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。

授業計画

1．イントロダクション
2．Word
3．　　　同上
4．　　　同上
5．　　　同上
6．Practice
7．　　　同上
8．　　　同上
9．Ritual
10.　　　同上
11.　　　同上
12.　　　同上
13.　Economy
14.　　　同上
15.　　　同上
16.　試験

テキスト

Lopez, Donald S., Jr. *Critical Terms for the Study of Buddhism*. Chicago University Press, 2005.

参考書・参考資料等

Keown, Damien. *Buddhism, A Very Short Introduction*, 2nd ed. Oxford University Press, 2013.

学生に対する評価

レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

（可）英文を解読し和訳でき、用語を説明できる。
（良）英文を解読し和訳し、その意味について説明できる。
（優）英文を解読し和訳し、その意味について仏教の思想をまとめることができる。

その他

参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。
テキストのテーマに沿って、別に課題を与えて受講生による発表を行う。
英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。
プログラムは改訂される場合がある。

科目名
教育学特殊研究（大）
学期
前期
単位数
2
担当者
山脇雅夫

授業の到達目標及びテーマ

到達目標：学校経営・管理とキャリア教育がどれだけ密接に関わっているかの理解度に焦点を当てる。
テ ー マ：キャリア教育を活かした学校経営・管理

授業の概要

本講義は中学校及び高等学校教諭の専修免許状を取得することを目的とした科目である。学校管理・経営とキャリア教育という一見関係のなさそうに見えるこの問題は、根幹のところで深くつながっていることを考察する。

授業計画

1．学校経営とはどのような営みなのか解説し考察する。（1）
2．学校管理とはどのような営みなのか解説し考察する。（2）
3．学校管理と組織運営の問題について考察する。（1）
4．学校管理と組織運営の問題について考察する。（2）
5．学校管理と組織運営の問題について考察する。（3）
6．日本のキャリア教育について考察する。（1）
7．日本のキャリア教育について考察する。（2）
8．米国のキャリア教育の現状について解説する。
9．欧州（独仏中心）のキャリア教育について解説する。
10.　キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（1）
11.　キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（2）
12.　キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（3）
13.　学校管理の問題とキャリア教育、進路指導、職業指導の関係を明らかにする。
14.　学校管理の問題とキャリア教育、真の指導、職業指導の関係を考察する。
15.　総括講義
16.　参加者による振り返り

テキスト

なし、必要に応じて資料を配布する。

参考書・参考資料等

伊藤一雄著　「キャリア開発と職業指導」　法律文化社　2011

学生に対する評価

講義内容に対する理解と考察の深さで判断する。
課題レポート（70%）、議論への参加（30%）

ルーブリック（目標に準拠した評価）

	論理的思考力	問題発見力	キャリア教育についての理解
可	講義の内容を理解できる。	それぞれのテーマを理解できる。	キャリア教育について概括的な理解を持っている。
良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	キャリア教育についての概括的な理解と、現代のキャリア教育の問題点を理解している。
優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる。	現代のキャリア教育の問題点についての、自分なりの対応案を持っている。

その他

教職関係科目を履修していることが望ましい。

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

科目名
学期
単位数
担当者

教員別索引

【あ　行】

有松孝雄	企画科目（仏画）	文 - 19
伊藤博美	教育方法論	文 - 43
乾　龍仁	空海の思想入門	文 - 1
	密教学演習Ｂ - １（大）	院 - 3
	密教学演習Ｂ - ２（大）	院 - 3
井上ウィマラ	仏教学特殊講義Ｄ	文 - 13
	企画科目（マインドフルネス）	文 - 19
	人間学概論Ⅱ	文 - 46
	人間学基礎ゼミⅢ	文 - 46
	人間学基礎ゼミⅣ	文 - 47
	人間学演習ⅠＣ（卒論指導）	文 - 49
	人間学特殊ゼミⅠＣ（仏教心理学と事例検討）	文 - 50
	人間学特殊ゼミⅡＣ（マインドフルネス）	文 - 50
	人間学演習ⅡＣ（卒論指導）	文 - 52
	総合科目（聖地巡礼Ⅰ）	文 - 53
	総合科目（聖地巡礼Ⅱ）	文 - 53
	企画科目（臨床心理学面接演習Ⅲ）	文 - 53
	企画科目（臨床心理学面接演習Ⅳ）	文 - 53
	企画科目（臨床死生学）	文 - 55
	アジア地域の宗教文化の研究（大）	院 - 9
上田恭寿	国語学Ⅰ	文 - 29
	国語学Ⅱ	文 - 29
	国語学講義Ⅰ	文 - 34
	国語学講義Ⅱ	文 - 34
上野和久	心理学ⅠＢ	文 - 62
	心理学ⅡＢ	文 - 63
上山雄慈	企画科目（詠歌）	文 - 21
内海周浩	法式	文 - 31
	法式（別）	文 - 31
大河内大博	人間学演習ⅠＥ（臨床心理学演習）	文 - 50
	人間学特殊ゼミⅠＦ（悲嘆学）	文 - 51
	人間学特殊ゼミⅡＦ（スピリチュアルケア実践論）	文 - 52
	人間学演習ⅡＥ（臨床心理学演習）	文 - 52
	企画科目（スピリチュアルケア演習Ⅰ）	文 - 59
	企画科目（スピリチュアルケア演習Ⅱ）	文 - 59
大柴清圓	宗教史Ⅰ	文 - 32
	宗教の歴史１（別）	文 - 32
	宗教史Ⅱ	文 - 32
	宗教の歴史２（別）	文 - 32
	祖典講読ⅠＣ（即身成仏義Ⅰ）	文 - 65
	祖典講読ⅡＣ（即身成仏義Ⅱ）	文 - 66
岡田英作	宗教家教育法Ⅲ	文 - 42
	仏教学特殊講義Ｅ（心とはなにかⅠ）	文 - 63
	仏教学特殊講義Ｆ（心とはなにかⅡ）	文 - 63
岡本文音	伝統文化実習（茶道）	文 - 40
奥山直司	密教学演習Ｂ	文 - 14
	宗教学Ⅰ	文 - 31
	世界の宗教１（別）	文 - 31
	宗教学Ⅱ	文 - 31
	世界の宗教２（別）	文 - 31
	インド学講義（大）	院 - 1
	密教史演習Ａ - １（大）	院 - 4
	密教史演習Ａ - ２（大）	院 - 4
	密教史講読Ｂ - １（大）	院 - 5
	密教史講読Ｂ - ２（大）	院 - 5
	現代社会と宗教（大）	院 - 5

【か　行】

加賀　博	企画科目（寺院経営講座）	文 - 17
加陽生子	体育実技	文 - 26
川口道雄	企画科目（臨床実習Ⅳ）	文 - 62
	企画科目（臨床実習Ⅴ）	文 - 62
川﨑一洋	密教学講読演習Ｃ	文 - 9
	密教学講読演習Ｄ	文 - 9
	宗教思想史Ⅰ	文 - 26
	宗教思想史Ⅱ	文 - 27
	企画科目（両部曼荼羅を読み解くⅠ）	文 - 54
	企画科目（両部曼荼羅を読み解くⅡ）	文 - 54
北川真寛	真言密教特殊講義Ｅ（高野山の宗教文化Ⅰ）	文 - 64
	真言密教特殊講義Ｆ（高野山の宗教文化Ⅱ）	文 - 64
	真言密教特殊講義Ｇ（真言密教の儀礼ⅠＡ）	文 - 64
	真言密教特殊講義Ｈ（真言密教の儀礼ⅠＢ）	文 - 65
木地茂典	企画科目（おもしろ数学思考力）	文 - 18
	情報処理	文 - 30
木下忠恭	企画科目（心理検査法演習Ⅰ）	文 - 54
	企画科目（心理検査法演習Ⅱ）	文 - 54
	企画科目（学校心理学）	文 - 58
	企画科目（カウンセリング論）	文 - 58
木本滋久	漢字Ⅱ	文 - 37
	条幅制作Ａ	文 - 38
糀谷有桜	企画科目（芸能）	文 - 20
窪寺俊之	企画科目（スピリチュアルケア概論）	文 - 60
高祖彩恵子	企画科目（舞踊）	文 - 17
五味和樹	企画科目（華道）	文 - 18
五明優介	企画科目（心理統計学）	文 - 55
	企画科目（心理測定法）	文 - 55
	企画科目（心理学基礎実験演習Ⅰ）	文 - 55
	企画科目（心理学基礎実験演習Ⅱ）	文 - 56
近藤堯寛	布教	文 - 31
	布教（別）	文 - 31

【さ　行】

齋藤天譽	真言密教特殊講義Ｃ	文 - 13
	密教儀礼の理論と実習１（別）	文 - 13
	真言密教特殊講義Ｄ	文 - 14
	密教儀礼の理論と実習２（別）	文 - 14
	梵字悉曇	文 - 30
	梵字悉曇（別）	文 - 30
	事相研究Ⅰ - １（大）	院 - 6
	事相研究Ⅰ - ２（大）	院 - 6
坂口太郎	総合科目（書誌学）	文 - 16
	総合科目（古文書入門）	文 - 16
	企画科目（歴史学Ⅰ）	文 - 22
	企画科目（歴史学Ⅱ）	文 - 22
	日本文化講読演習Ｂ	文 - 36
	日本文化特殊講義Ｂ	文 - 35
	人間学概論Ⅰ	文 - 46
櫻木　潤	密教学演習Ｄ	文 - 15
	日本語Ｂ	文 - 2
	日本語（再履修）	文 - 2
	弘法大師伝	文 - 3
	弘法大師空海の生涯（別）	文 - 3
	密教史概説ⅡＡ	文 - 6
	仏教学講読演習Ａ	文 - 10
	仏教学講読演習Ｂ	文 - 10
	密教史概説ⅡＢ	文 - 66
佐藤隆彦	密教学概論ⅠＡ	文 - 6
	真言宗の教え１（別）	文 - 6
	密教学概論ⅡＡ	文 - 6
	真言宗の教え２（別）	文 - 6
	企画科目（阿息観）	文 - 21
	観法の理論と実習１（別）	文 - 21
	企画科目（月輪観と阿字観）	文 - 21
	観法の理論と実習２（別）	文 - 21
	企画科目（密教瞑想）	文 - 60
	密教学講義（大）	院 - 1
	祖典演習（大）	院 - 1
	密教学講読（大）	院 - 4
	事相研究Ⅱ - １（大）	院 - 6
	事相研究Ⅰ（聖教の伝授と実習）（別）	院 - 6
	事相研究Ⅱ - ２（大）	院 - 7
	事相研究Ⅱ（聖教の伝授と実習）（別）	院 - 7
塩野三恵子	かなⅠ	文 - 37
	かなⅡ	文 - 37
	条幅制作Ｂ	文 - 38
静　春樹	英語ⅠＢ	文 - 1
	英語ⅡＢ	文 - 5
	英会話	文 - 25
嶋田　博	教職入門	文 - 40
	教育課程論	文 - 41
下西　忠	国文法Ⅰ	文 - 28
	国文法Ⅱ	文 - 28
	日本文学史概説Ⅰ	文 - 33
	日本文学史概説Ⅱ	文 - 33
	国語科教育法Ⅰ	文 - 42
	国語科教育法Ⅱ	文 - 43
	国語科教育法Ⅲ	文 - 43
	国語科教育法Ⅳ	文 - 43
鈴木裕範	企画科目（地域産業論）	文 - 23

【た　行】

高 倉 正 行　英語ⅠA　文 - 1
英語Ⅰ（再履修）　文 - 2
英語ⅡA　文 - 5
英語Ⅱ（再履修）　文 - 5
英語Ⅲ　文 - 47
高 田 綾 子　企画科目（キャリアカウンセリングⅣ）　文 - 23
企画科目（キャリアカウンセリングⅤ）　文 - 23
企画科目（キャリアカウンセリングⅥ）　文 - 24
キャリアカウンセリングⅠ　文 - 39
キャリアカウンセリングⅡ　文 - 39
キャリアカウンセリングⅢ就職スキル講座　文 - 40
高 柳 健太郎　漢文ⅠB（再履修）　文 - 4
漢文ⅡB（再履修）　文 - 4
竹 村 和 也　現代の人権　文 - 29
日本国憲法　文 - 29
人権と福祉（別）　文 - 29
辻 佐智子　企画科目（舞踊）　文 - 17
辻 秀 道　企画科目（詠歌）　文 - 21
企画科目（声明上級）　文 - 22
声明上級（別）　文 - 22
声明　文 - 30
声明（別）　文 - 30
テンジン・ウセル　企画科目（チベット語会話）　文 - 22
土 居 夏 樹　日本語A　文 - 2
祖典講読ⅠB　文 - 7
真言宗典講読1 - 1（別）　文 - 7
祖典講読ⅡB　文 - 7
真言宗典講読1 - 2（別）　文 - 7
密教学演習E　文 - 15
企画科目（導入研修）　文 - 23
祖典講読ⅢA　文 - 8
祖典講読ⅣA　文 - 8
真言密教講読演習A　文 - 10
真言宗典講読2 - 2（別）　文 - 10
密教学概論ⅠB　文 - 63
密教学概論ⅡB　文 - 64
密教史特殊研究1（大）　院 - 2
密教史特殊研究2（大）　院 - 2
德 重 弘 志　密教史概説ⅠA　文 - 6
チベット語　文 - 25
チベット語（別）　文 - 25
密教史概説講読　文 - 66
栃 澤 健 史　企画科目（社会調査方法論）　文 - 19
企画科目（情報リテラシー論）　文 - 20
企画科目（基礎統計学）　文 - 20
T. ドライトライン　真言密教講読演習B　文 - 10
真言密教講読演習C　文 - 11
真言密教講読演習D　文 - 11
真言密教講読演習E　文 - 11
密教学演習Ⅰ　文 - 16
密教学特殊研究1（大）　院 - 2
密教学特殊研究2（大）　院 - 2
現代社会と仏教の研究1（大）　院 - 9
現代社会と仏教の研究2（大）　院 - 10

【な　行】

中 西 雄 泰　真言密教特殊講義A　文 - 13
真言密教特殊講義B　文 - 13
西 川 みち子　企画科目（発達心理学）　文 - 57
企画科目（家族心理学）　文 - 57
根 岸 和 政　企画科目（メンタルヘルス）　文 - 58
野 田 悟　密教学演習A　文 - 14
中国文化特殊講義A　文 - 35
漢字Ⅰ　文 - 36
篆刻Ⅰ　文 - 37
篆刻Ⅱ　文 - 38
書道史（中国）　文 - 38
密教学特殊講義C（空海書学の理論と実践Ⅰ）　文 - 65
密教学特殊講義D（空海書学の理論と実践Ⅱ）　文 - 65

【は　行】

土生川 正 賢　中国語（初級）　文 - 26
中国語（上級）　文 - 26
橋 本 久 仁 彦　企画科目（コミュニケーション演習Ⅰ）　文 - 60
橋 本 久 仁 彦　企画科目（コミュニケーション演習Ⅱ）　文 - 60
浜 畑 圭 吾　日本文学Ⅰ　文 - 28
浜 畑 圭 吾　日本文学Ⅱ　文 - 28
日本文学概論Ⅰ　文 - 33
日本文学概論Ⅱ　文 - 33
日本文化特殊講義A　文 - 35
日本文化講読演習A　文 - 36
国語科教育法Ⅲ　文 - 43
国語科教育法Ⅳ　文 - 43
人間学概論Ⅰ　文 - 46
仏教史講読1（大）　院 - 8
仏教史講読2（大）　院 - 8
廣 田 恵美子　企画科目（日本語留学生中級A）　文 - 24
企画科目（日本語留学生上級A）　文 - 24
人間学演習ⅠB　文 - 47
人間学演習ⅡB　文 - 49
笛 木 淳　企画科目（地方行政論）　文 - 18
企画科目（地方自治法）　文 - 18
福 本 幹 雄　社会福祉各論（地域福祉Ⅰ）　文 - 39
地域福祉A（別）　文 - 39
社会保障総論Ⅰ　文 - 39
社会保障B（別）　文 - 39
渕 田 雲 渓　企画科目（法式上級）　文 - 20
法式上級（別）　文 - 20
戸 來 知 子　心理学ⅠA　文 - 27
心理学ⅡA　文 - 27
心の科学Ⅰ（別）　文 - 27
心の科学Ⅱ（別）　文 - 27
教育心理学　文 - 41
情報技術論　文 - 44
特別教育活動指導　文 - 44
生徒指導・進路指導　文 - 44
教育相談　文 - 45
教職実践演習　文 - 45
教育実習の研究　文 - 45

【ま　行】

前 谷 彰　釈尊伝　文 - 3
釈尊の生涯（別）　文 - 3
仏教史概説Ⅰ　文 - 7
仏教史概説Ⅱ　文 - 7
仏教学特殊講義C　文 - 12
密教学演習C　文 - 14
サンスクリット語Ⅰ　文 - 25
サンスクリット語（別）　文 - 25
密教と文化（大）　院 - 6
仏教学講義（大）　院 - 1
仏教と文化（大）　院 - 6
仏教学特殊研究1（大）　院 - 7
仏教史演習1（大）　院 - 7
仏教史演習2（大）　院 - 8
松 下 歩 睦　企画科目（社会心理学）　文 - 58
松 長 恵 史　祖典講読ⅠA　文 - 7
祖典講読ⅡA　文 - 7
祖典講読ⅢB　文 - 8
祖典講読ⅣB　文 - 8
密教学講読演習A　文 - 9
密教学講読演習B　文 - 9
密教学演習F　文 - 15
宗教科教育法Ⅰ　文 - 42
宗教科教育法Ⅱ　文 - 42
密教史講読A - 1（大）　院 - 4
密教史講読A - 2（大）　院 - 5
松 本 貴 子　企画科目（日本語留学生中級B）　文 - 24
企画科目（日本語留学生上級B）　文 - 25
人間学特殊ゼミⅠB　文 - 48
人間学特殊ゼミⅡB　文 - 48
南 昌 宏　漢文ⅠA　文 - 4
漢文ⅡA　文 - 4
密教学演習G　文 - 15
密教学演習H　文 - 16
漢文学概論Ⅰ　文 - 34
漢文学概論Ⅱ　文 - 34
中国文化特殊講義B　文 - 35
中国文化講読演習　文 - 36

南　　昌　宏	密教学演習Ａ - １（大）	院 - 3
	密教学演習Ａ - ２（大）	院 - 3
宮　田　永　明	常用経典	文 - 30
	常用経典（別）	文 - 30
村　上　公　教	企画科目（詠歌）	文 - 21
森　崎　雅　好	人間学演習ⅠＤ（臨床心理学演習）	文 - 49
	人間学特殊ゼミⅠＥ（悲嘆学）	文 - 51
	人間学特殊ゼミⅡＥ（自殺学）	文 - 51
	人間学演習ⅡＤ（臨床心理学演習）	文 - 52
	企画科目（災害心理学）	文 - 56
	企画科目（臨床実習Ⅰ）	文 - 61
	企画科目（臨床実習Ⅱ）	文 - 61
	企画科目（臨床実習Ⅲ）	文 - 62
森　本　一　彦	企画科目（社会調査入門）	文 - 17
	企画科目（質的調査論）	文 - 17
	企画科目（高野文化圏論）	文 - 19
	企画科目（地域連携）	文 - 21
	地域福祉Ｂ（別）	文 - 21
	企画科目（導入研修）	文 - 23
	社会学Ⅰ	文 - 27
	社会保障Ａ（別）	文 - 27
	宗教学方法論	文 - 32
	伝統文化実習（民俗調査）	文 - 40
	教育社会学	文 - 41
	人間学基礎ゼミⅠ	文 - 45
	人間学基礎ゼミⅡ	文 - 46
	人間学概論Ⅱ	文 - 46
	人間学演習ⅠＡ	文 - 47
	人間学特殊ゼミⅠＡ	文 - 48
	人間学特殊ゼミⅡＡ	文 - 48
	人間学演習ⅡＡ	文 - 49
	比較宗教の研究（大）	院 - 9

【や　行】

山　添　　正	企画科目（こころのケアとは）	文 - 56
	企画科目（深層心理学）	文 - 56
	企画科目（臨床心理学面接演習ⅠＡ）	文 - 57
	企画科目（臨床心理学面接演習ⅡＡ）	文 - 57
	企画科目（臨床心理学面接演習ⅠＢ）	文 - 59
	企画科目（臨床心理学面接演習ⅡＢ）	文 - 59
やまだようこ	企画科目（もの語り心理学）	文 - 61
山　本　佳世子	企画科目（死生観）	文 - 61
山　脇　雅　夫	現代思想	文 - 3
	哲学（別）	文 - 3
	人間と宗教	文 - 3
	哲学方法論	文 - 32
	教育原論	文 - 41
	道徳教育の研究	文 - 44
	教育実習の研究	文 - 45
	人間学特殊ゼミⅠＤ（宗教学入門）	文 - 50
	人間学特殊ゼミⅡＤ（現代日本と宗教）	文 - 51
	教育学特殊研究（大）	院 - 10

【わ　行】

和　田　圭　子	密教学特殊講義Ａ	文 - 11
	密教学特殊講義Ｂ	文 - 12
	仏教学特殊講義Ａ	文 - 12
	仏教学特殊講義Ｂ	文 - 12
	仏教芸術の研究１（大）	院 - 8
	仏教芸術の研究２（大）	院 - 9

KOYASAN UNIVERSITY